

静岡県 富士市

# 富士市内遺跡発掘調査報告書

—令和 5 年度—

2025 年 3 月

富士市教育委員会






# 例 言







- 1 本書は、富士市教育委員会が令和 5 年度に静岡県富士市内において実施した埋蔵文化財発掘調査の報告書である。  
ただし、一部には令和 5 年度以前に実施された天間沢遺跡の調査成果の報告も含んでいる。
- 2 令和 5 年度の発掘調査は、富士市教育委員会教育長を主体者として実施し、実務は富士市教育委員会文化財課職員がこれにあたった。調査体制、担当者は第 1 章第 1 節に譲る。  
令和 5 年度の調査の一部は『国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金』及び『静岡県文化財保存費補助金』を得て実施した。
- 3 本書の編集は、佐藤祐樹（富士市教育委員会文化財課主幹）による。第 1 章は調査を担当した佐藤・藤村 翔（富士市教育委員会文化財課主査）による調査所見をもとに佐藤・若林美希（富士市教育委員会文化財課文化財調査員）、第 2 章は第 1 節および第 2 ～ 8 節の遺物部分を笹原芳郎（富士市教育委員会文化財課文化財調査員）、第 2 ～ 8 節の遺構部分を若林が執筆した。  
第 3 章は村井咲月氏（南山大学大学院人間文化研究科修士課程）から玉稿を賜った。
- 4 令和 5 年度の現地調査における記録写真は佐藤、藤村が撮影した。天間沢遺跡の記録写真は各調査担当者による。  
整理作業における遺物写真は佐藤が撮影した。第 3 章の遺物写真は村井氏による。
- 5 本書の作成にあたり、多くの皆様からの御指導、御協力を賜りました。記して感謝申し上げます。（五十音順、敬称略）  
池谷初恵      上峯篤史      滝沢 誠      若狭 徹
- 6 本書で報告した調査に関わる記録図面・出土遺物等の資料は、すべて富士市教育委員会（富士市埋蔵文化財調査室・富士市伝法 79-2）で保管している。今後、富士山かぐや姫ミュージアム（富士市立博物館・富士市伝法 66-2）に移管する予定でいる。














静岡県富士市の位置

# 凡 例

- 本書で示す座標は、平面直角座標第Ⅷ系を用いた国土座標、世界測地系（平成 14 年 4 月施行）を使用している。  
令和 5 年度の調査では、国土地理院による都市再生街区基本調査成果を用いた。  
天間沢遺跡の調査は、任意の座標で測量し、世界測地系に合成した。
- 挿図の縮尺は、各図に添付したスケールで示す。写真図版の縮尺はすべて任意である。
- 土器の実測図では、断面を以下のように表現することで種類の違いを示した。  
縄文土器・弥生土器・土師器  須恵器  灰釉陶器・陶器 
- 土層・遺物の色調は『標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議局監修）に準拠した。
- 遺構・遺物ともに、法量の（ ）は残存値、[ ] は推定値である。また、土器の残存率は図示中での残存率を示した。
- 遺構の略記号は以下の通りである。  
SB：竪穴建物 SD：溝状遺構 SK：土坑 Pit：小穴 SX：不明遺構 FP：炉穴 SU：埋甕  
SS：配石 Tr：トレンチ L：水準高
- 遺構図は、以下の基準に則り記載した。

| 【確認調査・試掘調査】 |   |          |       | 《平面図》   |                   |         |   | 《断面図》   |       |   |                   |
|-------------|---|----------|-------|---|-------------------|---------|---|---------|-------|---|-------------------|
| 《線》         |   | 線幅       | 線色    | 《トーン》   |                   | 《線》     |   | 線幅      | 線色    | 《トーン》   |                   |
| ——          | 遺構上端（検出）                                  | 0.15 mm  | K100% |  | 遺構検出<br>K30%      | ——      | 地表面                                       | 0.15 mm | K100% |  | 遺構覆土<br>K30%      |
| ——          | 遺構中端                                      | 0.075 mm | K100% |   |                   | ——      | 遺構外形線                                     | 0.2 mm  | K100% |   |                   |
| ——          | 遺構下端                                      | 0.05 mm  | K100% |   |                   | ——      | 分層線                                       | 0.1 mm  | K100% |   |                   |
| - - - -     | カクラン<br>(破線 2 mm -0.8 mm -0.5 mm -0.8 mm) | 0.05 mm  | K100% |  | 粘土<br>K40%        | - - - - | カクラン<br>(破線 2 mm -0.8 mm -0.5 mm -0.8 mm) | 0.1 mm  | K100% |  | 粘土<br>K40%        |
| ——          | トレンチ上端                                    | 0.2 mm   | K100% |   |                   | - - - - | 掘削停止面<br>(破線 1 mm -0.5 mm)                | 0.1 mm  | K100% |   |                   |
| ——          | トレンチ中端                                    | 0.15 mm  | K100% |   |                   |         |   |         |       |   |                   |
| ——          | トレンチ下端                                    | 0.1 mm   | K100% |  | 焼土<br>炭化物<br>K20% |         |   |         |       |  | 焼土<br>炭化物<br>K20% |
| ——          | 調査地区                                      | 0.2 mm   | K100% |   |                   |         |   |         |       |   |                   |

| 【本発掘調査】 |   |   |  | 《平面図》  |   |         |   | 《断面図》  |   |  |  |
|---------|---|---|--|--|---|---------|---|--|---|--|--|
| 《線》     |   | 線幅  | 線色   | 《土器》   |   | 《線》     |   | 線幅   | 線色  | 《土器》   |  |
| ——      | 遺構上端                                      | 0.2 mm  | K100%  |       | 外形線 0.1 mm<br>稜線 0.05 mm<br>塗り K10%           | ——      | 地表面                                       | 0.15 mm  | K100%   |       | 外形線 0.1 mm<br>塗り なし  |
| ——      | 遺構中端                                      | 0.15 mm   | K100%  |  |   | ——      | 遺構外形線                                     | 0.2 mm   | K100%   |  |  |
| ——      | 遺構下端                                      | 0.1 mm  | K100%  |  |   | ——      | 分層線                                       | 0.1 mm   | K100%   |  |  |
| ——      | 掘立柱復元線<br>(すべて、推定部分は破線 1 mm -1 mm)        | 0.1 mm  | K100%  |       | 《石・金属など》<br>外形線 0.1 mm<br>稜線 0.05 mm<br>塗り なし | ——      | 切りあう遺構                                    | 0.1 mm   | K100%   |       | 《石》<br>外形線 0.1 mm<br>塗り 斜線<br>(線幅 0.4 mm<br>間隔 1 mm<br>斜度 45°)                             |
| ——      | 調査区                                       | 0.15 mm   | K 30%  |  |   | - - - - | カクラン<br>(破線 2 mm -0.8 mm -0.5 mm -0.8 mm) | 0.1 mm   | K100%   |  |  |
| ——      | 切りあう遺構                                    | 0.1 mm  | K 30%  |  |   | - - - - | 掘削停止面<br>(破線 1 mm -0.5 mm)                | 0.1 mm   | K100%   |  |  |
| - - - - | カクラン<br>(破線 2 mm -0.8 mm -0.5 mm -0.8 mm) | 0.1 mm  | K 30%  |  |   |         |   |  |   |  |  |
| 《トーン》   |   |  K5% |  K40% |  K20% |   | 《トーン》   |   |  K10% |  K30% |  K40% |  K20% |
|         |   | 硬化面   | 粘土   | 焼土<br>炭化物  |   |         |   | 掘方埋土   | 地山  | 粘土   | 焼土<br>炭化物  |



- 8 第1章で報告する出土遺物の評価については、主として次の文献に基づいて検討した。

佐藤祐樹 2021「東駿河における古墳時代の土器様相」『地域と考古学』Ⅱ 向坂鋼二先生米寿記念論集

鈴木敏則 2004「静岡県下の須恵器編年」『有玉古窯』浜松市教育委員会

藤村 翔 2021「駿河国富士郡域における土師器の変遷」『地域と考古学』Ⅱ 向坂鋼二先生米寿記念論集

- 9 第2章天間沢遺跡出土の縄文土器は以下のように分類した。

### I 群土器

縄文時代早期の土器をI群とした。時期としては早期後葉の条痕文系土器群のみである。

I群A類は、胎土に繊維および石英や青灰色の砂粒を多く含み、黒灰褐色を呈す。その多くは内面に条痕を施し、口唇近くの口縁部に1段、さらに弱く2段の段をもつ。この段部分を文様帯とし、爪形の連続刺突文で三角および斜行文を施文する。口唇の刻みと、口縁内部にも口唇に並行して連続刺突を行うものがほとんどで、波状口縁や二対の注口のような酒坏状把手をもつものがある。出土地点もほぼQ地区に限定される。茅山下層式並行の東海系土器である八ッ崎I式に比定した。

I群B類は、A類より厚めで繊維を含む量が少なく、全体として赤みを帯びA類に比べて明るい胎土の土器である。棒状工具による斜め刺突と、平行押し引き文による直線と弧線文が施文される。この土器にはまだ型式名は付与されていないが、愛鷹山山麓のいくつかの遺跡にて検出例が知られており、茅山下層式並行の土器と考えられている。

### II 群土器

縄文時代前期の土器をII群とした。

II群A類は、器壁が非常に薄く、細線を地文とする土器をあてた。木島式に比定した。

### III 群土器

縄文時代中期の土器をIII群とした。中期中葉から後葉まで、ほぼ連続して続いている。天間沢遺跡の主体となる時期で、特に中期後葉が量・質ともに充実している。

III群A-1類は、隆帯による立体的な造形を特徴とする、勝坂式の範疇の土器をあてた。時期的には新道式から井戸尻式まで出土している。完形品は無く、把手等の部分的なものが目立つ。

III群A-2類は、隆帯と条線文によって文様を構成する土器群をあてた。天間沢遺跡で最も多く出土し、その主体となる土器群である。曾利式土器に比定したが、曾利Ⅳ・Ⅴ式が大半を占める。

III群B-2類は、隆帯と縄文で文様が構成される土器群を充てた。縄文が施文されていても文様構成がA-2類にあたるものはA-2類としている。加曾利E式に比定した。

III群C-2類は、薄手で灰白色系の色調を持ち、撚糸文を地文に、並行沈線による弧線文と渦巻文を組み合わせた文様をもつ。咲畑式に比定した。

III群D-2類は、薄手で灰白色系の色調を持ち、口縁部文様帯に隅丸長方形の楕円文を施文する。北白川C式に比定した。

### IV 群土器

縄文時代後期の土器をIV群とした。III群から断続なく続いていると考えられるが、多くはE地区に集中している。

IV群A-1類は、器面全体を、並行沈線による弧線や直線で描画し、磨消縄文、あるいは並行沈線内を列点文で

充填するものをあてた。称名寺式に比定した。

Ⅳ群 A-2 類は、小型巻貝の殻頂かと思われる刺突と沈線、および細かい縄文で文様を構成し、磨消縄文による帯縄文を多用して、器面を精緻な研磨で整形するものをあてた。堀之内式に比定した。

Ⅳ群 B-2 類は、やや厚めの器壁をもち、太い縄文原体を用いた付加条縄文を表面全体に施文した粗製の深鉢土器およびそれに類似する土器をあてた。

Ⅳ群 A-3 類は、磨消縄文と「の」字文で文様を描き、裏面口縁部に沈線を施文、器面を精緻な研磨で整形する土器をあてた。加曽利 B 式に比定した。

Ⅳ群 C 類は、胎土が灰白色傾向で、器厚が薄く砂粒を多く含む、西日本系と思われるものをあてた。

10 縄文土器の編年は、以下の文献を参考基準とした。(年代順)

戸沢充則 編 1994 『縄文時代研究事典』東京堂出版

今福利恵 ほか 1999 「2 縄文時代の編年」『山梨県史 資料編 2 原始古代 2 考古（遺構・遺物）』山梨県

縄文時代文化研究会 編 1999 『縄文時代文化研究の 100 年 -21 世紀における縄文時代文化研究の深化に向けて - 縄文時代 第 10 号』縄文時代文化研究会

小林達雄 編 2008 『総覧 縄文土器』アム・プロモーション

# 目 次

例 言

凡 例

目 次

## 第 1 章 令和 5 年度の調査

|       |               |    |
|-------|---------------|----|
| 第 1 節 | 調査体制と調査概要     | 1  |
| 第 2 節 | 確認調査の報告       | 5  |
| 第 3 節 | 埋蔵文化財包蔵地の内容変更 | 63 |

## 第 2 章 天間沢遺跡の調査

|       |                               |     |
|-------|-------------------------------|-----|
| 第 1 節 | 天間沢遺跡の概要                      | 65  |
| 第 2 節 | Q 地区（第 17 地区）の調査              | 71  |
| 第 3 節 | R 地区・V 地区（第 18 地区・第 22 地区）の調査 | 93  |
| 第 4 節 | S 地区（第 19 地区）の調査              | 96  |
| 第 5 節 | T 地区（第 20 地区）の調査              | 101 |
| 第 6 節 | U 地区（第 21 地区）の調査              | 103 |
| 第 7 節 | 横道下地区（第 23 地区）の調査             | 106 |
| 第 8 節 | 表面採集資料等の報告                    | 124 |

## 第 3 章 資料報告

|  |                               |     |
|--|-------------------------------|-----|
|  | 静岡県富士市破魔射場遺跡出土の黒曜岩製尖頭器（村井 咲月） | 127 |
|--|-------------------------------|-----|

写真図版

報告書抄録



## 挿 図 目 次

### 第 1 章 令和 5 年度の調査

#### 第 1 節 調査体制と調査概要

|                            |   |
|----------------------------|---|
| 第 1 図 令和 5 年度 調査地の位置と地形区分図 | 2 |
|----------------------------|---|

#### 第 2 節 確認調査の報告

|   |    |
|---|----|
| 第 2 図 中野沖田遺跡第 4 地区 位置図                      | 5  |
| 第 3 図 中野沖田遺跡第 4 地区 トレンチ配置図、セクション図           | 5  |
| 第 4 図 滝下遺跡 Q 地区 位置図                         | 6  |
| 第 5 図 滝下遺跡 Q 地区 トレンチ配置図、セクション図              | 6  |
| 第 6 図 東平遺跡第 156 地区 位置図                      | 7  |
| 第 7 図 東平遺跡第 156 地区 トレンチ配置図、セクション図           | 7  |
| 第 8 図 中原遺跡第 33 地区 位置図                       | 8  |
| 第 9 図 中原遺跡第 33 地区 トレンチ配置図                   | 8  |
| 第 10 図 中原遺跡第 33 地区 セクション図                   | 9  |
| 第 11 図 三新田遺跡 Q 地区 位置図                       | 9  |
| 第 12 図 三新田遺跡 Q 地区 トレンチ配置図、セクション図            | 10 |
| 第 13 図 舟久保遺跡第 77 地区 位置図                     | 10 |
| 第 14 図 舟久保遺跡第 77 地区 トレンチ配置図、セクション図          | 10 |
| 第 15 図 天間沢遺跡第 72 地区 位置図                     | 11 |
| 第 16 図 天間沢遺跡第 72 地区 トレンチ配置図、セクション図          | 11 |
| 第 17 図 亀窪遺跡第 1 地区 位置図                       | 12 |
| 第 18 図 亀窪遺跡第 1 地区 トレンチ配置図                   | 12 |
| 第 19 図 亀窪遺跡第 1 地区 トレンチ平面図、セクション図            | 13 |
| 第 20 図 善得寺廃寺跡第 9 地区 位置図                     | 13 |
| 第 21 図 善得寺廃寺跡第 9 地区<br>トレンチ配置図、セクション図       | 13 |
| 第 22 図 川窪遺跡第 7 地区 位置図                       | 14 |
| 第 23 図 川窪遺跡第 7 地区 トレンチ配置図                   | 14 |
| 第 24 図 川窪遺跡第 7 地区 トレンチ平面図、セクション図            | 15 |
| 第 25 図 児森遺跡第 4 地区 位置図                       | 15 |
| 第 26 図 児森遺跡第 4 地区<br>トレンチ配置図、トレンチ平面図、セクション図 | 16 |
| 第 27 図 東平遺跡第 158 地区 位置図                     | 17 |
| 第 28 図 東平遺跡第 158 地区 トレンチ配置図、セクション図          | 17 |
| 第 29 図 富士岡 1 古墳群第 20 地区 位置図                 | 17 |
| 第 30 図 富士岡 1 古墳群第 20 地区 トレンチ配置図             | 18 |
| 第 31 図 富士岡 1 古墳群第 20 地区<br>トレンチ平面図、セクション図   | 18 |
| 第 32 図 比奈 1 古墳群第 12 地区 位置図                  | 19 |
| 第 33 図 比奈 1 古墳群第 12 地区 トレンチ配置図              | 19 |
| 第 34 図 比奈 1 古墳群第 12 地区 セクション図               | 20 |
| 第 35 図 沖田遺跡第 170 次調査地点 位置図                  | 20 |
| 第 36 図 沖田遺跡第 170 次調査地点<br>トレンチ配置図、セクション図    | 21 |
| 第 37 図 川坂遺跡第 14 地区 位置図                      | 21 |
| 第 38 図 川坂遺跡第 14 地区 トレンチ配置図、セクション図           | 22 |
| 第 39 図 東平遺跡第 121 地区 位置図                     | 22 |
| 第 40 図 東平遺跡第 121 地区 トレンチ配置図、セクション図          | 23 |
| 第 41 図 国久保遺跡第 13 地区 位置図                     | 23 |
| 第 42 図 国久保遺跡第 13 地区 出土遺物実測図                 | 23 |
| 第 43 図 国久保遺跡第 13 地区 トレンチ配置図、セクション図          | 24 |
| 第 44 図 国久保遺跡第 14 地区 位置図                     | 24 |
| 第 45 図 国久保遺跡第 14 地区 トレンチ配置図、セクション図          | 24 |
| 第 46 図 神谷古墳群第 13 地区 位置図                     | 25 |
| 第 47 図 神谷古墳群第 13 地区 出土遺物実測図                 | 25 |
| 第 48 図 神谷古墳群第 13 地区 トレンチ配置図、セクション図          | 26 |
| 第 49 図 神谷古墳群第 13 地区 SZJ12 平面図、セクション図        | 27 |
| 第 50 図 沢東 A 遺跡第 31 次調査地点 位置図                | 28 |

|  |    |
|--|----|
| 第 51 図 沢東 A 遺跡第 31 次調査地点<br>トレンチ配置図、セクション図         | 28 |
| 第 52 図 厚原横道下遺跡第 7 地区 位置図                           | 29 |
| 第 53 図 厚原横道下遺跡第 7 地区<br>トレンチ配置図、セクション図             | 29 |
| 第 54 図 柏原遺跡第 22 地区 位置図                             | 29 |
| 第 55 図 柏原遺跡第 22 地区 トレンチ配置図、セクション図                  | 30 |
| 第 56 図 天間沢遺跡第 73 地区 位置図                            | 30 |
| 第 57 図 天間沢遺跡第 73 地区 トレンチ配置図、セクション図                 | 30 |
| 第 58 図 宇東川遺跡第 34 地区 位置図                            | 31 |
| 第 59 図 宇東川遺跡第 34 地区<br>トレンチ配置図、トレンチ平面図             | 31 |
| 第 60 図 宇東川遺跡第 34 地区 セクション図                         | 32 |
| 第 61 図 宇東川遺跡第 34 地区 出土遺物実測図                        | 32 |
| 第 62 図 外原遺跡第 1 地区 位置図                              | 33 |
| 第 63 図 外原遺跡第 1 地区 トレンチ配置図、セクション図                   | 33 |
| 第 64 図 富士岡 1 古墳群第 21 地区 位置図                        | 33 |
| 第 65 図 富士岡 1 古墳群第 21 地区<br>トレンチ配置図、セクション図          | 34 |
| 第 66 図 東平遺跡第 159 地区 位置図                            | 34 |
| 第 67 図 東平遺跡第 159 地区<br>トレンチ配置図、トレンチ平面図、セクション図      | 34 |
| 第 68 図 舟久保遺跡第 78 地区 位置図                            | 35 |
| 第 69 図 舟久保遺跡第 78 地区 トレンチ配置図、セクション図                 | 35 |
| 第 70 図 善得寺城跡・東泉院跡第 10 地区 位置図                       | 35 |
| 第 71 図 善得寺城跡・東泉院跡第 10 地区<br>トレンチ配置図、トレンチ平面図、セクション図 | 36 |
| 第 72 図 善得寺城跡・東泉院跡第 10 地区 出土遺物実測図                   | 37 |
| 第 73 図 沖田遺跡第 171 次調査地点 位置図                         | 37 |
| 第 74 図 沖田遺跡第 171 次調査地点<br>トレンチ配置図、セクション図           | 37 |
| 第 75 図 国久保遺跡第 6 地区 位置図                             | 38 |
| 第 76 図 国久保遺跡第 6 地区 出土遺物実測図                         | 38 |
| 第 77 図 国久保遺跡第 6 地区 トレンチ配置図                         | 38 |
| 第 78 図 国久保遺跡第 6 地区 トレンチ平面図、セクション図                  | 39 |
| 第 79 図 中野遺跡第 2 地区 位置図                              | 39 |
| 第 80 図 中野遺跡第 2 地区<br>トレンチ配置図、トレンチ平面図、セクション図        | 40 |
| 第 81 図 中野遺跡第 2 地区 出土遺物実測図                          | 41 |
| 第 82 図 花守遺跡第 10 地区 位置図                             | 41 |
| 第 83 図 花守遺跡第 10 地区 トレンチ配置図、セクション図                  | 42 |
| 第 84 図 東平遺跡第 160 地区 位置図                            | 42 |
| 第 85 図 東平遺跡第 160 地区 トレンチ配置図、トレンチ平面図                | 43 |
| 第 86 図 東平遺跡第 160 地区 2Tr 遺構平面図、セクション図               | 44 |
| 第 87 図 東平遺跡第 160 地区 出土遺物実測図                        | 45 |
| 第 88 図 祢宜ノ前遺跡第 8 地区 位置図                            | 46 |
| 第 89 図 祢宜ノ前遺跡第 8 地区 トレンチ配置図、セクション図                 | 46 |
| 第 90 図 東平遺跡第 161 地区 位置図                            | 47 |
| 第 91 図 東平遺跡第 161 地区 トレンチ配置図、セクション図                 | 47 |
| 第 92 図 東下天間古墳群第 1 地区 位置図                           | 47 |
| 第 93 図 東下天間古墳群第 1 地区 トレンチ配置図                       | 48 |
| 第 94 図 東下天間古墳群第 1 地区 セクション図                        | 49 |
| 第 95 図 天間沢遺跡第 74 地区 位置図                            | 50 |
| 第 96 図 天間沢遺跡第 74 地区 トレンチ配置図、セクション図                 | 50 |
| 第 97 図 天間沢遺跡第 75 地区 位置図                            | 51 |
| 第 98 図 天間沢遺跡第 75 地区 トレンチ配置図、セクション図                 | 51 |
| 第 99 図 三新田遺跡 R 地区 位置図                              | 52 |

|         |                          |                        |    |                               |                               |                |     |
|---------|--------------------------|------------------------|----|-------------------------------|-------------------------------|----------------|-----|
| 第 100 図 | 三新田遺跡 R 地区               | トレンチ配置図、セクション図         | 52 | 第 141 図                       | 天間沢遺跡 Q 地区                    | 出土遺物実測図 ①      | 84  |
| 第 101 図 | 富士岡 1 古墳群第 22 地区         | 位置図                    | 53 | 第 142 図                       | 天間沢遺跡 Q 地区                    | 出土遺物実測図 ②      | 85  |
| 第 102 図 | 富士岡 1 古墳群第 22 地区         | トレンチ配置図、セクション図         | 53 | 第 143 図                       | 天間沢遺跡 Q 地区                    | 出土遺物実測図 ③      | 86  |
| 第 103 図 | 厚原遺跡第 11 地区              | 位置図                    | 54 | 第 144 図                       | 天間沢遺跡 Q 地区                    | 出土遺物実測図 ④      | 87  |
| 第 104 図 | 厚原遺跡第 11 地区              | トレンチ配置図、セクション図         | 54 | 第 145 図                       | 天間沢遺跡 Q 地区                    | 出土遺物実測図 ⑤      | 88  |
| 第 105 図 | 東平遺跡第 143 地区             | 位置図                    | 55 | 第 146 図                       | 天間沢遺跡 Q 地区                    | 出土遺物実測図 ⑥      | 89  |
| 第 106 図 | 東平遺跡第 143 地区             | トレンチ配置図、トレンチ平面図、セクション図 | 55 | 第 3 節                         | R 地区・V 地区（第 18 地区・第 22 地区）の調査 |                |     |
| 第 107 図 | 沢上遺跡第 7 次調査地点            | 位置図                    | 56 | 第 147 図                       | 天間沢遺跡 R 地区・V 地区               | 位置図            | 93  |
| 第 108 図 | 沢上遺跡第 7 次調査地点            | トレンチ配置図、セクション図         | 56 | 第 148 図                       | 天間沢遺跡 R 地区                    | トレンチ配置図、セクション図 | 94  |
| 第 109 図 | 東平遺跡第 162 地区             | 位置図                    | 56 | 第 149 図                       | 天間沢遺跡 V 地区                    | トレンチ配置図、セクション図 | 95  |
| 第 110 図 | 東平遺跡第 162 地区             | トレンチ配置図、トレンチ平面図、セクション図 | 57 | 第 4 節                         | S 地区（第 19 地区）の調査              |                |     |
| 第 111 図 | 中桁・中ノ坪遺跡第 24 地区          | 位置図                    | 57 | 第 150 図                       | 天間沢遺跡 S 地区                    | 位置図            | 96  |
| 第 112 図 | 中桁・中ノ坪遺跡第 24 地区          | トレンチ配置図、セクション図         | 58 | 第 151 図                       | 天間沢遺跡 S 地区                    | トレンチ配置図、セクション図 | 97  |
| 第 113 図 | 東平遺跡第 163 地区             | 位置図                    | 58 | 第 152 図                       | 天間沢遺跡 S 地区                    | 出土遺物実測図 ①      | 98  |
| 第 114 図 | 東平遺跡第 163 地区             | トレンチ配置図、トレンチ平面図、セクション図 | 59 | 第 153 図                       | 天間沢遺跡 S 地区                    | 出土遺物実測図 ②      | 99  |
| 第 115 図 | 舟久保遺跡第 79 地区             | 位置図                    | 60 | 第 154 図                       | 天間沢遺跡 S 地区                    | 出土遺物実測図 ③      | 99  |
| 第 116 図 | 舟久保遺跡第 79 地区             | トレンチ配置図、セクション図         | 60 | 第 5 節                         | T 地区（第 20 地区）の調査              |                |     |
| 第 117 図 | 中島遺跡第 17 地区              | 位置図                    | 60 | 第 155 図                       | 天間沢遺跡 T 地区                    | 位置図            | 101 |
| 第 118 図 | 中島遺跡第 17 地区              | トレンチ配置図、セクション図         | 61 | 第 156 図                       | 天間沢遺跡 T 地区                    | トレンチ配置図、セクション図 | 102 |
| 第 119 図 | 水神堂遺跡第 4 地区              | 位置図                    | 61 | 第 6 節                         | U 地区（第 21 地区）の調査              |                |     |
| 第 120 図 | 水神堂遺跡第 4 地区              | トレンチ配置図、セクション図         | 62 | 第 157 図                       | 天間沢遺跡 U 地区                    | 位置図            | 103 |
| 第 3 節   | 埋蔵文化財包蔵地の内容変更            |                        |    | 第 158 図                       | 天間沢遺跡 U 地区                    | トレンチ配置図        | 104 |
| 第 121 図 | 神谷古墳群の内容変更               |                        | 63 | 第 159 図                       | 天間沢遺跡 U 地区                    | セクション図         | 105 |
| 第 122 図 | 富士岡 3 古墳群・富士岡 4 古墳群の内容変更 |                        | 64 | 第 7 節                         | 横道下地区（第 23 地区）の調査             |                |     |
| 第 2 章   | 天間沢遺跡の調査                 |                        |    | 第 160 図                       | 天間沢遺跡横道下地区                    | 位置図            | 106 |
| 第 1 節   | 天間沢遺跡の概要                 |                        |    | 第 161 図                       | 天間沢遺跡横道下地区                    | 全体図、セクション図     | 107 |
| 第 123 図 | 天間沢遺跡 標準土層               |                        | 65 | 第 162 図                       | 天間沢遺跡横道下地区                    | セクション図         | 108 |
| 第 124 図 | 天間沢遺跡の位置                 |                        | 65 | 第 163 図                       | 天間沢遺跡横道下地区                    |                |     |
| 第 125 図 | 天間沢遺跡 調査履歴図              |                        | 66 |                               | b 地区全体図、セクション図                |                | 109 |
| 第 126 図 | 天間沢遺跡 遺構分布状況図            |                        | 67 | 第 164 図                       | 天間沢遺跡横道下地区                    |                |     |
| 第 2 節   | Q 地区（第 17 地区）の調査         |                        |    |                               | b 地区遺構平面図、セクション図 ①            |                | 110 |
| 第 127 図 | 天間沢遺跡 Q 地区               | 位置図                    | 71 | 第 165 図                       | 天間沢遺跡横道下地区                    |                |     |
| 第 128 図 | 天間沢遺跡 Q 地区               | トレンチおよび本調査区配置図         | 72 |                               | b 地区遺構平面図、セクション図 ②            |                | 111 |
| 第 129 図 | 天間沢遺跡 Q 地区               | トレンチ全体図                | 73 | 第 166 図                       | 天間沢遺跡横道下地区                    | 出土遺物実測図 ①      | 112 |
| 第 130 図 | 天間沢遺跡 Q 地区               | トレンチセクション図             | 74 | 第 167 図                       | 天間沢遺跡横道下地区                    | 出土遺物実測図 ②      | 113 |
| 第 131 図 | 天間沢遺跡 Q 地区               | 1Tr 遺構平面図、セクション図       | 76 | 第 168 図                       | 天間沢遺跡横道下地区                    | 出土遺物実測図 ③      | 114 |
| 第 132 図 | 天間沢遺跡 Q 地区               | 2Tr 遺構平面図、セクション図       | 77 | 第 169 図                       | 天間沢遺跡横道下地区                    | 出土遺物実測図 ④      | 115 |
| 第 133 図 | 天間沢遺跡 Q 地区               | 4Tr 遺構平面図、セクション図       | 77 | 第 170 図                       | 天間沢遺跡横道下地区                    | 出土遺物実測図 ⑤      | 116 |
| 第 134 図 | 天間沢遺跡 Q 地区               | 3Tr 遺構平面図、セクション図       | 78 | 第 171 図                       | 天間沢遺跡横道下地区                    | 出土遺物実測図 ⑥      | 117 |
| 第 135 図 | 天間沢遺跡 Q 地区               | 7Tr 遺構平面図、セクション図 ①     | 78 | 第 172 図                       | 天間沢遺跡横道下地区                    | 出土遺物実測図 ⑦      | 118 |
| 第 136 図 | 天間沢遺跡 Q 地区               | 7Tr 遺構平面図、セクション図 ②     | 79 | 第 173 図                       | 天間沢遺跡横道下地区                    | 出土遺物実測図 ⑧      | 119 |
| 第 137 図 | 天間沢遺跡 Q 地区               | 本調査区セクション図             | 79 | 第 8 節                         | 表面採集資料等の報告                    |                |     |
| 第 138 図 | 天間沢遺跡 Q 地区               | 本調査区全体図                | 80 | 第 174 図                       | 天間沢遺跡表面採集資料等                  | 実測図            | 125 |
| 第 139 図 | 天間沢遺跡 Q 地区               | 本調査区 遺構平面図、セクション図 ①    | 81 | 第 3 章                         | 資料報告                          |                |     |
| 第 140 図 | 天間沢遺跡 Q 地区               | 本調査区 遺構平面図、セクション図 ②    | 82 | 静岡県富士市破魔射場遺跡出土の黒曜岩製尖頭器（村井 咲月） |                               |                |     |
|         |                          |                        |    | 第 1 図                         | 破魔射場遺跡の位置                     |                | 127 |
|         |                          |                        |    | 第 2 図                         | 破魔射場遺跡の基本土層図                  |                | 127 |
|         |                          |                        |    | 第 3 図                         | 割れ速度と剝離方法の関係                  |                | 128 |
|         |                          |                        |    | 第 4 図                         | ガルウィングの開き角と割れ速度の関係            |                | 128 |
|         |                          |                        |    | 第 5 図                         | 破魔射場遺跡出土尖頭器の<br>金属顕微鏡による観察箇所  |                | 129 |
|         |                          |                        |    | 第 6 図                         | 破魔射場遺跡出土尖頭器の<br>被熱痕跡が確認された剝離痕 |                | 130 |
|         |                          |                        |    | 図版 1                          |                               |                | 133 |
|         |                          |                        |    | 図版 2                          |                               |                | 134 |

挿 表 目 次

第 1 章 令和 5 年度の調査

第 1 節 調査体制と調査概要

|       |                     |   |
|-------|---------------------|---|
| 第 1 表 | 文化財保護法に基づく各届出の件数一覧表 | 1 |
| 第 2 表 | 令和 5 年度 発掘調査一覧表     | 3 |

第 2 節 確認調査の報告

|       |                           |    |
|-------|---------------------------|----|
| 第 3 表 | 国久保遺跡第 13 地区 出土遺物観察表      | 24 |
| 第 4 表 | 神谷古墳群第 13 地区 出土遺物観察表      | 25 |
| 第 5 表 | 宇東川遺跡第 34 地区 出土遺物観察表      | 32 |
| 第 6 表 | 善得寺城跡・東泉院跡第 10 地区 出土遺物観察表 | 37 |
| 第 7 表 | 国久保遺跡第 6 地区 出土遺物観察表       | 39 |
| 第 8 表 | 中野遺跡第 2 地区 出土遺物観察表        | 41 |
| 第 9 表 | 東平遺跡第 160 地区 出土遺物観察表      | 45 |

第 3 節 埋蔵文化財包蔵地の内容変更

|        |                  |    |
|--------|------------------|----|
| 第 10 表 | 埋蔵文化財包蔵地 登録内容の変更 | 63 |
|--------|------------------|----|

第 2 章 天間沢遺跡の調査

第 1 節 天間沢遺跡の概要

|        |           |    |
|--------|-----------|----|
| 第 11 表 | 天間沢遺跡調査履歴 | 68 |
|--------|-----------|----|

第 2 節 Q 地区（第 17 地区）の調査

|        |                      |    |
|--------|----------------------|----|
| 第 12 表 | 天間沢遺跡 Q 地区 遺構一覧表     | 82 |
| 第 13 表 | 天間沢遺跡 Q 地区 出土土器観察表   | 89 |
| 第 14 表 | 天間沢遺跡 Q 地区 出土石器観察表   | 92 |
| 第 15 表 | 天間沢遺跡 Q 地区 出土金属製品観察表 | 92 |

第 4 節 S 地区（第 19 地区）の調査

|        |                    |     |
|--------|--------------------|-----|
| 第 16 表 | 天間沢遺跡 S 地区 出土土器観察表 | 100 |
| 第 17 表 | 天間沢遺跡 S 地区 出土石器観察表 | 100 |

第 7 節 横道下地区（第 23 地区）の調査

|        |                                |     |
|--------|--------------------------------|-----|
| 第 18 表 | 天間沢遺跡横道下地区（第 23 地区）<br>出土土器観察表 | 120 |
| 第 19 表 | 天間沢遺跡横道下地区（第 23 地区）<br>出土石器観察表 | 122 |

第 8 節 表面採集資料等の報告

|        |                    |     |
|--------|--------------------|-----|
| 第 20 表 | 天間沢遺跡表面採集資料等 土器観察表 | 124 |
| 第 21 表 | 天間沢遺跡表面採集資料等 石器観察表 | 124 |

## 写真図版目次

### PL.1 ～ 19 第 1 章 令和 5 年度確認調査

|       |  |
|-------|--|
| PL.1  | 1. 中野沖田遺跡 第 4 地区 1 次調査<br>2. 滝下遺跡 Q 地区 1 次調査<br>3. 東平遺跡第 156 地区 1 次調査<br>4. 中原遺跡 第 33 地区 1 次調査             |
| PL.2  | 5. 三新田遺跡 Q 地区 1 次調査<br>6. 舟久保遺跡 第 77 地区 1 次調査<br>7. 天間沢遺跡 第 72 地区 1 次調査<br>8. 亀窪遺跡 第 1 地区 1 次調査            |
| PL.3  | 9. 善得寺廃寺跡 第 9 地区 1 次調査<br>10. 川窪遺跡 第 7 地区 2 次調査・3 次調査<br>12. 東平遺跡 第 158 地区 1 次調査                           |
| PL.4  | 11. 児森遺跡 第 4 地区 1 次調査<br>13. 富士岡 1 古墳群 第 20 地区 1 次調査   |
| PL.5  | 14. 比奈 1 古墳群 第 12 地区 1 次調査・2 次調査<br>15. 沖田遺跡 第 170 次調査地点 1 次調査   |
| PL.6  | 16. 川坂遺跡 第 14 地区 1 次調査<br>17. 東平遺跡 第 121 地区 2 次調査<br>18. 国久保遺跡 第 13 地区 1 次調査<br>19. 国久保遺跡 第 14 地区 1 次調査    |
| PL.7  | 20. 神谷古墳群 第 13 地区 1 次調査・2 次調査  |
| PL.8  | 20. 神谷古墳群 第 13 地区 1 次調査・2 次調査  |
| PL.9  | 20. 神谷古墳群 第 13 地区 1 次調査・2 次調査<br>21. 沢東 A 遺跡 第 31 次調査地点 1 次調査<br>22. 厚原横道下遺跡 第 7 地区 1 次調査                  |
| PL.10 | 23. 柏原遺跡 第 22 地区 1 次調査<br>24. 天間沢遺跡 第 73 地区 1 次調査<br>25. 宇東川遺跡 第 34 地区 1 次調査                               |
| PL.11 | 26. 外原遺跡 第 1 地区 1 次調査<br>27. 富士岡 1 古墳群 第 21 地区 1 次調査<br>28. 東平遺跡 第 159 地区 1 次調査<br>29. 舟久保遺跡 第 78 地区 1 次調査 |
| PL.12 | 30. 善得寺城跡・東泉院跡 第 10 地区 1 次調査・2 次調査   |

|       |  |
|-------|--|
| PL.13 | 31. 沖田遺跡 第 171 次調査地点 1 次調査<br>32. 国久保遺跡 第 6 地区 2 次調査<br>34. 花守遺跡 第 10 地区 1 次調査                               |
| PL.14 | 33. 中野遺跡 第 2 地区 1 次調査<br>36. 称宜ノ前遺跡 第 8 地区 1 次調査   |
| PL.15 | 35. 東平遺跡 第 160 地区 1 次調査  |
| PL.16 | 37. 東平遺跡 第 161 地区 1 次調査<br>38. 東下天間古墳群 第 1 地区 1 次調査<br>39. 天間沢遺跡 第 74 地区 1 次調査                               |
| PL.17 | 40. 天間沢遺跡 第 75 地区 1 次調査<br>41. 三新田遺跡 R 地区 1 次調査<br>42. 富士岡 1 古墳群 第 22 地区 1 次調査<br>43. 厚原遺跡 第 11 地区 1 次調査     |
| PL.18 | 44. 東平遺跡 第 143 地区 2 次調査<br>45. 沢上遺跡 第 7 次調査地点 1 次調査<br>46. 東平遺跡 第 162 地区 1 次調査<br>47. 中桁・中ノ坪遺跡 第 24 地区 1 次調査 |
| PL.19 | 48. 東平遺跡 第 163 地区 1 次調査<br>49. 舟久保遺跡 第 79 地区 1 次調査<br>50. 中島遺跡 第 17 地区 1 次調査<br>51. 水神堂遺跡 第 4 地区 1 次調査       |

### PL.20 ～ 40 第 2 章 天間沢遺跡

|            |  |
|------------|--|
| PL.20 ～ 27 | 天間沢遺跡 Q 地区                             |
| PL.28      | 天間沢遺跡 R 地区<br>天間沢遺跡 V 地区<br>天間沢遺跡 S 地区 |
| PL.29      | 天間沢遺跡 S 地区                             |
| PL.30      | 天間沢遺跡 T 地区<br>天間沢遺跡 U 地区               |
| PL.31 ～ 39 | 天間沢遺跡 横道下地区                            |
| PL.40      | 天間沢遺跡 表面採集資料等                          |



# 第1章 令和5年度の調査

## 第1節 調査体制と調査概要

### 1 調査体制

令和5年度の埋蔵文化財発掘調査は、以下の体制で実施した。

[調査主体]

|          |       |        |
|----------|-------|--------|
| 富士市教育委員会 | 教 育 長 | 森田 嘉幸  |
| 文 化 財 課  | 課 長   | 久保田 伸彦 |
| 文化財活用担当  | 統括主幹  | 石川 武男  |
| 文化財活用担当  | 主 幹   | 瀧浪 和美  |

[調査担当]

|         |     |        |
|---------|-----|--------|
| 文化財活用担当 | 主 幹 | 佐藤 祐樹  |
| 文化財活用担当 | 主 査 | 藤村 翔   |
| 文化財調査員  |     | 笹原 芳郎  |
|         |     | 小島 利史  |
|         |     | 若林 美希  |
| 発掘調査作業員 |     | 渡辺 美規子 |

### 2 発掘調査の概要

**縄文時代** 令和5年度に調査した中では、特に注目すべき調査はないが、次章で報告する昭和57年に実施した天間沢遺跡Q地区（17地区）の調査が注目される。調査では、縄文時代早期後葉の土器型式で、東海地方を中心に関東から関西まで分布しているハッ崎Ⅰ式の土器がまとまって出土している。特に器形のわかる個体は近隣でも、例が少なく貴重な調査例と言える。

**弥生時代** 中野遺跡ではこれまでも弥生時代後期の方形周溝墓やガラス勾玉などが出土しており、隣接地での試掘調査を実施した（39頁）。その結果、弥生時代後期の遺物・炉跡が検出されたため、令和5年12月に中野遺跡の包蔵地範囲の追加および滅失をおこなった。

第1表 文化財保護法に基づく各届出の件数一覧表

|       |     |       | 道路 | 鉄道 | 空港 | 河川 | 港湾 | ダム | 学校 | 住宅 | 個人住宅 | 工場 | 店舗 | 住宅兼 | その他<br>建物 | 宅地造成 | 土地区画整理 | 公園造成 | ゴルフ場 | 観光開発 | ガス等 | 農業基盤 | 農業関係 | 土砂採取 | その他<br>開発 | 自然崩壊 | 遺跡地図作製等 | 保存目的 | 学術 | 遺跡整備 | 計   |     |
|-------|-----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|-----|-----------|------|--------|------|------|------|-----|------|------|------|-----------|------|---------|------|----|------|-----|-----|
| 工事の届等 | 93条 | 現状保存  |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |     |           |      |        |      |      |      |     |      |      |      |           |      |         |      |    |      |     |     |
|       |     | 発掘調査  |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |     |           |      |        |      |      |      |     |      |      |      |           |      |         |      |    |      |     |     |
|       |     | 工事立会  |    |    |    |    |    |    |    |    | 1    | 91 | 2  | 2   | 1         | 4    | 4      |      |      |      |     | 88   |      |      |           | 1    |         |      |    |      |     | 194 |
|       |     | 慎重工事  |    |    |    |    |    |    |    |    |      | 3  |    |     |           |      |        |      |      |      |     | 43   |      |      |           |      |         |      |    |      |     | 46  |
|       |     | 注意    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |     |           |      |        |      |      |      |     |      |      |      |           |      |         |      |    |      |     |     |
|       |     | 未指示   |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |     |           |      |        |      |      |      |     |      |      |      |           |      |         |      |    |      |     |     |
|       | 計   |       | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 94   | 2  | 2  | 1   | 4         | 4    | 0      | 0    | 0    | 0    | 131 | 0    | 0    | 0    | 1         | 0    | 0       | 0    | 0  | 0    | 240 |     |
|       | 94条 | 現状保存  |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |     |           |      |        |      |      |      |     |      |      |      |           |      |         |      |    |      |     |     |
|       |     | 発掘調査  |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |     |           |      |        |      |      |      |     |      |      |      |           | 1    |         |      |    |      |     | 1   |
|       |     | 工事立会  | 4  |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |     |           |      |        |      | 1    |      |     | 19   |      |      |           |      |         |      |    |      |     | 24  |
|       |     | 慎重工事  |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |     |           |      |        |      |      |      |     | 2    |      |      |           |      |         |      |    |      |     | 2   |
|       |     | 注意    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |     |           |      |        |      |      |      |     |      |      |      |           |      |         |      |    |      |     |     |
|       |     | 未指示   |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |     |           |      |        |      |      |      |     |      |      |      |           |      |         |      |    |      |     |     |
|       | 計   |       | 4  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0    | 0  | 0  | 0   | 0         | 0    | 0      | 0    | 1    | 0    | 0   | 21   | 0    | 0    | 0         | 1    | 0       | 0    | 0  | 0    | 0   | 27  |
|       | 合計  |       |    | 4  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1    | 94 | 2  | 2   | 1         | 4    | 4      | 0    | 1    | 0    | 0   | 152  | 0    | 0    | 0         | 2    | 0       | 0    | 0  | 0    | 0   | 267 |
| 発掘届等  | 92条 | 確認調査  |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |     |           |      |        |      |      |      |     |      |      |      |           |      |         |      |    |      |     |     |
|       |     | 本発掘調査 |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |     |           |      |        |      |      |      |     |      |      |      |           |      |         |      |    |      |     |     |
|       |     | 計     |    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0    | 0  | 0  | 0   | 0         | 0    | 0      | 0    | 0    | 0    | 0   | 0    | 0    | 0    | 0         | 0    | 0       | 0    | 0  | 0    | 0   | 0   |
|       | 99条 | 確認調査  |    |    |    |    |    |    |    | 2  | 24   | 1  | 3  |     | 4         | 4    |        | 3    |      |      | 2   |      |      |      | 13        |      |         |      |    |      | 56  |     |
|       |     | 本発掘調査 |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |     |           |      |        |      |      |      | 1   |      |      |      |           |      |         |      |    |      |     | 1   |
|       |     | 計     |    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2  | 24   | 1  | 3  | 0   | 4         | 4    | 0      | 3    | 0    | 0    | 3   | 0    | 0    | 0    | 13        | 0    | 0       | 0    | 0  | 0    | 0   | 57  |
| 合計    |     |       | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2  | 24 | 1    | 3  | 0  | 4   | 4         | 0    | 3      | 0    | 0    | 3    | 0   | 0    | 0    | 13   | 0         | 0    | 0       | 0    | 0  | 0    | 57  |     |

**古墳時代** 令和5年度から継続的に確認調査を実施してきた比奈1古墳群第11地区の調査において、現地保存ができないため、記録保存を目的とした本発掘調査を実施した。調査は令和5年度に新規発見した横穴式石室墳である石切平第2号墳を対象に実施し、大刀や鉄鏃、馬具などが出土した。報告は今年度刊行する別冊による。

富士岡1古墳群第20地区の確認調査を実施し、横穴式石室墳の一部とみられる遺構を検出した(17頁)。古墳であれば、過去の分布調査で存在が確認されていた富士岡F-第66号墳の奥壁部分とみられる。検出された石室の一部は現在も現地に保存されている。

市指定史跡千人塚古墳及びその一帯において実施する古墳整備工事に伴って、あらためて千人塚古墳の周溝幅などを確認するための調査をおこない、直径約21.0m、周溝幅約3.0mの円墳であることが確定した。また、南西部分に所在している集石の性格を把握するための調査を実施し、横穴式石室墳(SZJ-12/須津J-第12号墳)を検出した(25頁)。なお、千人塚古墳は昭和51年に市の史跡に指定されているが、令和6年6月19日に内容変更され、千人塚古墳を含めた周辺3基の古墳も市の史跡に指定され、指定名称を「千人塚古墳(須津J-第10号墳) 附 須津J-第7・9・12号墳」となった。

**古代** 富士郡家である東平遺跡では第160地区において奈良時代から平安時代(10世紀まで)の遺構が濃密に分布する状況を確認した(42頁)。

**中世** 善得寺城跡・東泉院跡第10地区において、出土した土器のうち、土師器の内耳埴(37頁第72図3)は中世後期に遠江や西三河で多くみられる「くの字形」のものであり、富士市域では極めて希少な器種である。今川氏親の命で東泉坊が日吉宮(現日吉浅間神社)の造営を始めたのが15世紀末～16世紀初頭とみられており、今回の成果が当該地周辺の隆盛の一端を示す資料となる可能性がある。

**史跡の保存・管理** 令和5年度から2年間の計画で史跡浅間古墳保存活用計画の策定作業をおこなっている。浅間古墳を将来に渡って確実に継承していくためにも、墳丘上に存在する樹木を適切にコントロールすることが必要であり、そのためにはまず、浅間古墳に存在する樹木の基本的な情報である位置、樹種、高さ、太さなどを一覧で管理する必要があることから、令和6年3月20日に富士市教育委員会文化財課職員、公募で集まった市民総勢32名が、古墳上の樹木の樹種や高さなどの基本情報の取得を行った。これについては、令和7年度に刊行する浅間古墳保存活用計画書の中で詳細を報告する予定でいる。



第1図 令和5年度 調査地の位置と地形区分図

第2表 令和5年度 発掘調査一覧表

| 調査<br>番号    | 所収<br>番号   | 遺跡名<br>地区名                       | 調査<br>種類 | 調査期間                   | 所在地<br>原因・目的              | 対象面積<br>調査面積<br>(㎡)  | 時代              | 遺構                | 遺物                              | 調査<br>担当者    |
|-------------|------------|----------------------------------|----------|------------------------|---------------------------|----------------------|-----------------|-------------------|---------------------------------|--------------|
| R05<br>-101 | 別途<br>本報告  | 比奈1古墳群<br>第11地区4次調査<br>【石切平第2号墳】 | 本<br>発掘  | 20240112<br>～ 20240329 | 原田 1980-1<br>配水池築造        | 224.450              | 古墳              | 古墳（横穴式石室墳）<br>・土坑 | 土器・金属製品<br>・ガラス製品<br>（古墳時代）     | 藤村           |
| R05<br>-01  | 1章<br>2節1  | 中野沖田遺跡<br>第4地区1次調査               | 確認       | 20230405<br>～ 20230406 | 北松野 1883-1 外<br>店舗建設      | 11,024.000<br>79.727 | 古墳              | なし                | 土器（古墳時代）                        | 藤村・小島        |
| R05<br>-02  | 1章<br>2節2  | 滝下遺跡<br>Q地区1次調査                  | 確認       | 20230404               | 伝法 1944-1<br>不動産売買        | 1,310.000<br>16.782  |                 | なし                | なし                              | 佐藤・若林        |
| R05<br>-03  | 1章<br>2節3  | 三日市廃寺跡<br>東平第156地区1次調査           | 確認       | 20230417               | 浅間本町 3423-3 外<br>共同住宅建設   | 1,072.900<br>3.345   |                 | なし                | なし                              | 藤村・小島        |
| R05<br>-04  | 1章<br>2節4  | 中原遺跡<br>第33地区1次調査                | 確認       | 20230410<br>～ 20230412 | 伝法 444-1 外<br>工場建設        | 3,000.000<br>243.868 |                 | なし                | なし                              | 藤村・小島<br>・若林 |
| R05<br>-05  | 1章<br>2節5  | 三新田遺跡<br>Q地区1次調査                 | 確認       | 20230406               | 三新田 4-11<br>個人住宅建設        | 338.230<br>7.392     |                 | なし                | なし                              | 藤村・若林        |
| R05<br>-07  | 1章<br>2節6  | 舟久保遺跡<br>第77地区1次調査               | 確認       | 20230412               | 今泉六丁目 662-19<br>個人住宅建設    | 104.000<br>2.128     |                 | なし                | なし                              | 佐藤・若林        |
| R05<br>-08  | 1章<br>2節7  | 天間沢遺跡<br>第72地区1次調査               | 確認       | 20230419               | 天間 1327-14<br>個人住宅建設      | 163.720<br>4.971     | 平安              | なし                | 土器（平安時代）                        | 佐藤・若林        |
| R05<br>-09  | 1章<br>2節8  | 亀窪遺跡<br>隣接地【第1地区1次調査】            | 試掘       | 20230414               | 鶴無ヶ淵 43 外<br>不動産売買        | 1,310.000<br>23.396  |                 | なし                | なし                              | 佐藤・小島        |
| R05<br>-10  | 1章<br>2節9  | 善得寺廃寺跡<br>第9地区1次調査               | 確認       | 20230509               | 今泉三丁目 1067-1<br>個人住宅建設    | 370.530<br>3.636     |                 | なし                | なし                              | 佐藤・若林        |
| R05<br>-11  | 別途<br>本報告  | 比奈1古墳群<br>第11地区3次調査              | 確認       | 20230418<br>～ 20230419 | 原田 1980-1、1979<br>配水池整備事業 | 2,604.000<br>116.316 |                 | なし                | なし                              | 藤村・小島        |
| R05<br>-12  | 1章<br>2節10 | 川窪遺跡<br>第7地区2次調査                 | 確認       | 20230426               | 厚原 185-1<br>不動産売買         | 1,316.000<br>6.821   |                 | なし                | なし                              | 藤村・小島        |
| R05<br>-13  | 1章<br>2節11 | 児森遺跡<br>第4地区1次調査                 | 確認       | 20230427               | 中里 1379-2<br>宅地造成         | 353.000<br>22.930    | 古墳              | 溝・土坑・ピット          | 土器（古墳時代）                        | 佐藤・若林        |
| R05<br>-14  | 1章<br>2節12 | 東平遺跡<br>東平第158地区1次調査             | 確認       | 20230628               | 伝法 2795-4 外<br>個人住宅建設     | 87.150<br>7.048      |                 | なし                | なし                              | 佐藤・若林        |
| R05<br>-15  | 1章<br>2節13 | 富士岡1古墳群<br>第20地区1次調査             | 確認       | 20230525<br>～ 20230526 | 比奈 2819-1<br>個人住宅建設       | 318.410<br>6.165     | 古墳              | 古墳（横穴式石室墳）        | なし                              | 藤村・小島        |
| R05<br>-16  | 1章<br>2節14 | 比奈1古墳群<br>第12地区1次調査              | 確認       | 20230605<br>～ 20230607 | 比奈 2359-1 外<br>店舗建設       | 2,998.280<br>156.969 |                 | なし                | なし                              | 藤村・小島<br>・若林 |
| R05<br>-17  | 1章<br>2節15 | 沖田遺跡<br>第170次調査地点1次調査            | 確認       | 20230608               | 今泉二丁目 124-5 外<br>不動産売買    | 1,066.250<br>9.279   |                 | なし                | なし                              | 佐藤・若林        |
| R05<br>-18  | 1章<br>2節16 | 川坂遺跡<br>第14地区1次調査                | 確認       | 20230621               | 天間 845-6 外<br>不動産売買       | 380.050<br>17.983    |                 | なし                | なし                              | 佐藤・若林        |
| R05<br>-19  | 1章<br>2節7  | 東平遺跡<br>東平第121地区2次調査             | 確認       | 20230613               | 伝法 2502-1 外<br>個人住宅建設     | 178.620<br>9.233     |                 | なし                | なし                              | 佐藤・若林        |
| R05<br>-21  | 1章<br>2節18 | 国久保遺跡<br>第13地区1次調査               | 確認       | 20230614<br>～ 20230615 | 国久保三丁目 2245-23 外<br>不動産売買 | 135.000<br>5.982     | 奈良・平安           | なし                | 土器<br>（奈良時代・平安時代）               | 藤村・小島        |
| R05<br>-22  | 1章<br>2節19 | 国久保遺跡<br>第14地区1次調査               | 確認       | 20230724               | 国久保二丁目 2003-6 外<br>個人住宅建設 | 198.000<br>5.247     |                 | なし                | なし                              | 佐藤・若林        |
| R05<br>-23  | 1章<br>2節20 | 神谷古墳群<br>第13地区1次調査               | 確認       | 20230628<br>～ 20230719 | 神谷 846-4 外<br>公園整備        | 1,231.000<br>33.563  | 古墳              | 古墳（横穴式石室墳）        | 土器（古墳時代）                        | 藤村・小島        |
| R05<br>-24  | 1章<br>2節14 | 比奈1古墳群<br>第12地区2次調査              | 確認       | 20230712<br>～ 20230718 | 比奈 2359-1 外<br>店舗建設       | 2,998.280<br>58.430  |                 | なし                | なし                              | 藤村・小島<br>・若林 |
| R05<br>-26  | 1章<br>2節21 | 沢東A遺跡<br>第31次調査地点1次調査            | 確認       | 20230817               | 久沢 180-2<br>不動産売買         | 618.450<br>14.555    |                 | なし                | なし                              | 佐藤・若林        |
| R05<br>-27  | 1章<br>2節15 | 厚原横道下遺跡<br>第7地区1次調査              | 確認       | 20230728               | 厚原 1200-4 外<br>事務所建設      | 167.650<br>4.721     |                 | なし                | なし                              | 佐藤・小島        |
| R05<br>-28  | 1章<br>2節23 | 柏原遺跡<br>第22地区1次調査                | 確認       | 20230817<br>～ 20230818 | 中柏原新田 187-1 外<br>不動産売買    | 493.210<br>13.340    | 古墳              | なし                | 土器（古墳時代）                        | 藤村・小島        |
| R05<br>-29  | 1章<br>2節24 | 天間沢遺跡<br>第73地区1次調査               | 確認       | 20230828               | 天間 1022-1<br>個人住宅建設       | 473.570<br>14.221    |                 | なし                | なし                              | 佐藤・若林        |
| R05<br>-30  | 1章<br>2節25 | 宇東川遺跡<br>第34地区1次調査               | 確認       | 20230824<br>～ 20230825 | 原田 691-4 外<br>公園整備        | 1,731.000<br>50.484  | 縄文・古墳・<br>奈良・平安 | 竪穴建物、土坑           | 土器<br>（縄文時代・古墳時代<br>・奈良時代・平安時代） | 藤村・小島        |
| R05<br>-31  | 1章<br>2節26 | 外原遺跡<br>第1地区1次調査                 | 確認       | 20230824               | 北松野 616-1 外<br>個人住宅建設     | 298.000<br>1.200     |                 | なし                | なし                              | 佐藤・若林        |
| R05<br>-32  | 1章<br>2節27 | 富士岡1古墳群<br>第21地区1次調査             | 確認       | 20230830<br>～ 20230831 | 比奈 1704-1<br>個人住宅建設       | 299.470<br>23.903    |                 | なし                | なし                              | 藤村・小島        |
| R05<br>-33  | 1章<br>2節28 | 東平遺跡<br>東平第159地区1次調査             | 確認       | 20230904               | 伝法 2505-1<br>個人住宅建設       | 128.900<br>10.449    |                 | なし                | なし                              | 佐藤           |
| R05<br>-34  | 1章<br>2節29 | 舟久保遺跡<br>第78地区1次調査               | 確認       | 20230829               | 今泉九丁目 1510-2<br>不動産売買     | 519.000<br>9.456     |                 | なし                | なし                              | 佐藤・若林        |

| 調査番号   | 所収番号       | 遺跡名<br>地区名              | 調査種類 | 調査期間                  | 所在地<br>原因・目的             | 対象面積<br>調査面積<br>(㎡) | 時代    | 遺構          | 遺物                             | 調査<br>担当者    |
|--------|------------|-------------------------|------|-----------------------|--------------------------|---------------------|-------|-------------|--------------------------------|--------------|
| R05-35 | 1章<br>2節30 | 善得寺城跡・東泉院跡<br>第10地区1次調査 | 確認   | 20230911              | 今泉八丁目1370-6 外<br>個人住宅建設  | 494.660<br>4.438    | 奈良・平安 | なし          | 土器<br>(奈良時代・平安時代)              | 藤村・小島        |
| R05-36 | 1章<br>2節31 | 沖田遺跡<br>第171次調査地点1次調査   | 確認   | 20231113              | 今泉495-3 外<br>営業所建設       | 2,167.380<br>5.490  |       | なし          | なし                             | 藤村・小島        |
| R05-37 | 1章<br>2節32 | 国久保遺跡<br>第6地区2次調査       | 確認   | 20230914              | 国久保一丁目2120-6 外<br>不動産売買  | 561.450<br>17.958   | 奈良・平安 | 竪穴建物        | 土器<br>(奈良時代・平安時代)              | 佐藤・若林        |
| R05-38 | 1章<br>2節33 | 中野遺跡<br>隣接地【第2地区1次調査】   | 試掘   | 20231101              | 南松野2465-1<br>不動産売買       | 784.000<br>56.347   | 弥生    | 炉           | 土器(弥生時代)                       | 藤村・小島        |
| R05-39 | 1章<br>2節34 | 花守遺跡<br>第10地区1次調査       | 確認   | 20231010              | 富士岡225-1 外<br>集合住宅建設     | 496.370<br>18.036   |       | なし          | なし                             | 藤村・小島        |
| R05-40 | 1章<br>2節35 | 東平遺跡<br>東平第160地区1次調査    | 確認   | 20231010<br>～20231011 | 伝法2452-1 外<br>個人住宅建設     | 775.160<br>84.650   | 奈良・平安 | 竪穴建物・土坑・ピット | 土器・陶磁器<br>・金属製品<br>(奈良時代・平安時代) | 佐藤・笹原<br>・若林 |
| R05-41 | 1章<br>2節36 | 祢宜ノ前遺跡<br>第8地区1次調査      | 確認   | 20231005              | 比奈1619<br>個人住宅建設         | 496.370<br>3.203    |       | なし          | なし                             | 藤村・若林        |
| R05-42 | 1章<br>2節37 | 東平遺跡<br>東平第161地区1次調査    | 確認   | 20231106              | 伝法2542-3<br>個人住宅建設       | 157.280<br>15.046   |       | なし          | なし                             | 佐藤・若林        |
| R05-43 | 1章<br>2節38 | 東下天間古墳群<br>第1地区1次調査     | 確認   | 20231107<br>～20231108 | 天間1408-4 外<br>店舗建設       | 3,104.290<br>74.149 | 縄文    | なし          | 土器(縄文時代)                       | 藤村・小島        |
| R05-44 | 1章<br>2節30 | 善得寺城跡・東泉院跡<br>第10地区2次調査 | 確認   | 20231023<br>～20231025 | 今泉八丁目1370-6 外<br>個人住宅建設  | 494.660<br>7.525    | 平安～中世 | なし          | 土器(平安時代～中世)                    | 藤村・若林        |
| R05-46 | 1章<br>2節39 | 天間沢遺跡<br>第74地区1次調査      | 確認   | 20231102              | 天間1942-5<br>個人住宅建設       | 731.780<br>5.893    |       | なし          | なし                             | 佐藤・若林        |
| R05-47 | 1章<br>2節10 | 川窪遺跡<br>第7地区3次調査        | 確認   | 20231121              | 厚原185-1<br>事務所建設         | 1,378.540<br>10.567 | 古墳    | 溝・ピット       | 土器(古墳時代)                       | 佐藤・若林        |
| R05-48 | 1章<br>2節40 | 天間沢遺跡<br>第75地区1次調査      | 確認   | 20231129<br>～20231130 | 天間1296-6<br>宅地分譲         | 2,259.000<br>28.269 |       | なし          | なし                             | 佐藤・小島<br>・若林 |
| R05-49 | 1章<br>2節41 | 三新田遺跡<br>R地区1次調査        | 確認   | 20231120              | 田中新田275-15 外<br>不動産売買    | 495.000<br>17.691   |       | なし          | なし                             | 藤村・小島        |
| R05-50 | 1章<br>2節20 | 神谷古墳群<br>第13地区2次調査      | 確認   | 20231121<br>～20231122 | 神谷846-4 外<br>公園整備        | 1,231.000<br>5.512  | 古墳    | なし          | 土器(古墳時代)                       | 藤村・小島        |
| R05-51 | 1章<br>2節42 | 富士岡1古墳群<br>第22地区1次調査    | 確認   | 20231225              | 富士岡1610-1<br>浄化槽設置       | 496.440<br>10.337   |       | なし          | なし                             | 藤村・小島        |
| R05-52 | 1章<br>2節43 | 厚原遺跡<br>第11地区1次調査       | 確認   | 20240111              | 厚原741-1、-7<br>建売住宅建設     | 763.410<br>16.134   |       | なし          | なし                             | 佐藤・小島        |
| R05-53 | 1章<br>2節44 | 東平遺跡<br>東平第143地区2次調査    | 確認   | 20240111              | 伝法3091-1<br>個人住宅建設       | 361.380<br>10.644   |       | なし          | なし                             | 佐藤・若林        |
| R05-54 | 1章<br>2節45 | 沢上遺跡<br>第7次調査地点1次調査     | 確認   | 20240214              | 中之郷4056-13<br>個人住宅建設     | 266.590<br>4.203    |       | なし          | なし                             | 佐藤・小島        |
| R05-55 | 1章<br>2節46 | 東平遺跡<br>東平第162地区1次調査    | 確認   | 20240118              | 伝法2502-5 外<br>個人住宅建設     | 393.640<br>4.935    | 奈良・平安 | ピット         | 土器<br>(奈良時代・平安時代)              | 佐藤・小島        |
| R05-56 | 1章<br>2節47 | 中桁・中ノ坪遺跡<br>第24地区1次調査   | 確認   | 20240313              | 厚原429-9<br>不動産売買         | 717.350<br>5.469    | 奈良・平安 | なし          | 土器<br>(奈良時代・平安時代)              | 佐藤・小島        |
| R05-57 | 1章<br>2節48 | 東平遺跡<br>東平第163地区1次調査    | 確認   | 20240304<br>～20240306 | 伝法2736-1 外<br>宅地分譲       | 611.640<br>18.023   | 奈良・平安 | ピット・溝       | 土器<br>(奈良時代・平安時代)              | 佐藤・小島        |
| R05-58 | 1章<br>2節49 | 舟久保遺跡<br>第79地区1次調査      | 確認   | 20240227              | 今泉六丁目1598-12 外<br>個人住宅建設 | 323.560<br>6.255    |       | なし          | なし                             | 佐藤・小島        |
| R05-59 | 1章<br>2節50 | 中島遺跡<br>第17地区1次調査       | 確認   | 20240313<br>～20240315 | 原田774-4<br>個人住宅建設        | 182.620<br>4.365    |       | なし          | なし                             | 佐藤・小島        |
| R05-60 | 1章<br>2節51 | 水神堂遺跡<br>第4地区1次調査       | 確認   | 20240313              | 原田810<br>宅地分譲            | 1,368.000<br>16.250 | 奈良・平安 | なし          | 土器<br>(奈良時代・平安時代)              | 佐藤・小島        |

## 第2節 確認調査の報告

## 1. 中野沖田遺跡 第4地区 1次調査

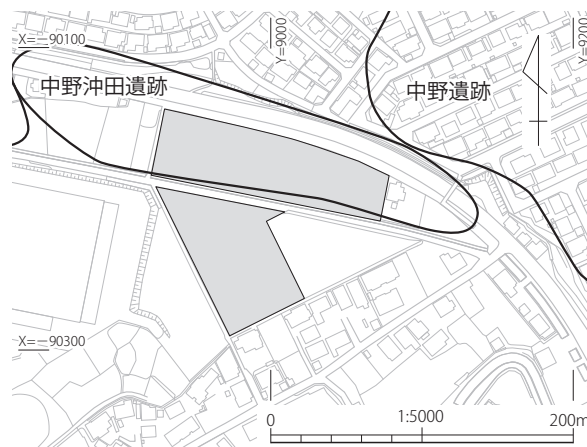
所在地 北松野 1883-1 外

調査面積 79.727 m<sup>2</sup> (対象面積 11,024 m<sup>2</sup>)

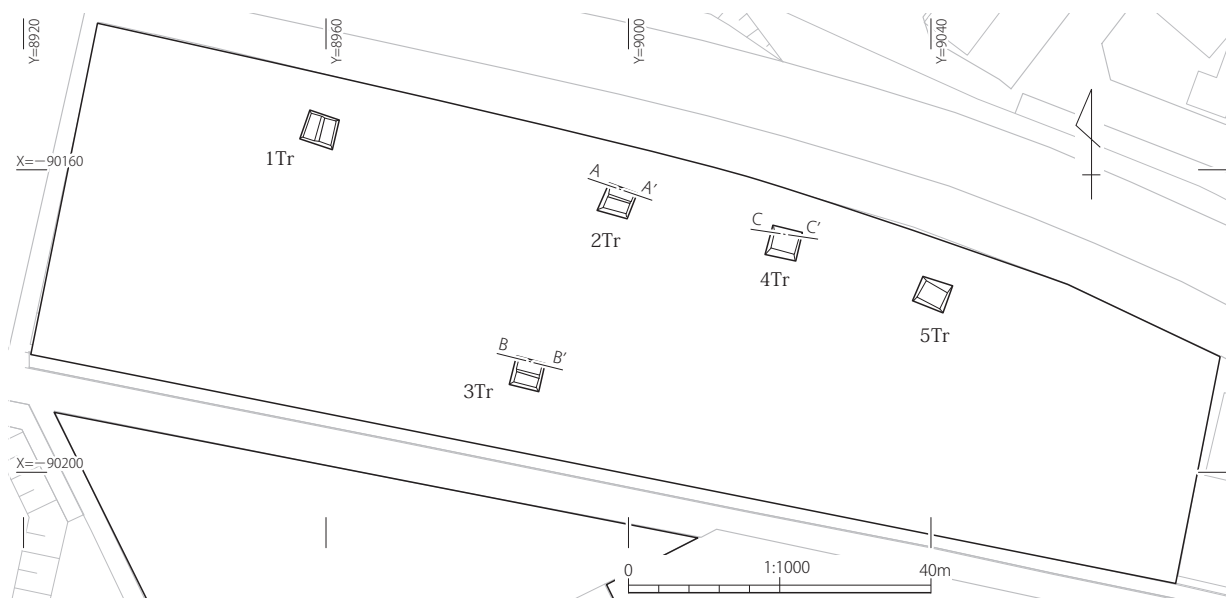
調査期間 令和5年4月5日～4月6日

調査の原因 店舗建設

調査の概要 中野沖田遺跡の包蔵地範囲内に位置する敷地内北部分に5箇所のトレンチ(1～5Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。



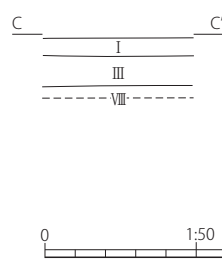
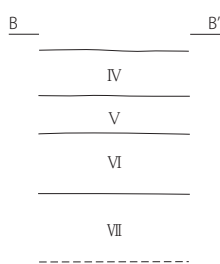
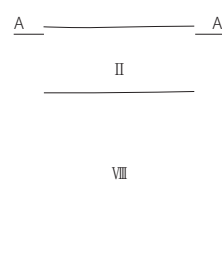
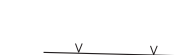
第2図 中野沖田遺跡第4地区 位置図



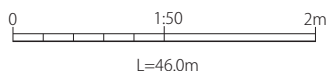
2Tr 東西セクション北壁

3Tr 東西セクション北壁

4Tr 東西セクション北壁



- I 褐灰色粘土層 (7.5YR4/1)  
しまりやや弱、粘性強。黄褐色土中量。  
水田耕作土
- II 黒褐色土層 (7.5YR2/2)  
しまりやや強、粘性やや弱。礫 (1～3cm) 少量。
- III 暗褐色土層 (7.5YR3/3)  
しまり強、粘性弱。礫 (3～5cm) 多量。
- IV 暗褐色土層 (10YR3/3)  
しまりやや強、粘性やや強。礫 (1～3cm) 微量。
- V 暗褐色土層 (7.5YR3/2)  
しまりやや強、粘性やや弱。
- VI 灰オリーブ色粘質土層 (5Y5/3)  
しまりやや強、粘性強。砂中量。
- VII 灰色粘土層 (7.5Y4/1)  
しまり弱、粘性強。
- VIII 褐色粘質土層 (10YR4/4)  
しまり強、粘性強。黄黒色土少量。  
地山



第3図 中野沖田遺跡第4地区 トレンチ配置図、セクション図



**調査の結果** 地表下約1.2～2.5mで基盤層（Ⅷ層）を確認し、4Trではその直上から古墳時代の土師器小片を検出したものの、遺物包含層を形成しているとは判断できず、遺構も検出されなかった。

調査地北半部はかろうじて有瀬川扇状地の河岸段丘上に位置するが、南半部は湿地帯にかかっており、居住に適さない環境であったと考えられる。

## 2. 滝下遺跡 Q 地区 1 次調査

**所在地** 伝法 1944-1

**調査面積** 16.782 m<sup>2</sup> (対象面積 1,310 m<sup>2</sup>)

**調査期間** 令和5年4月4日

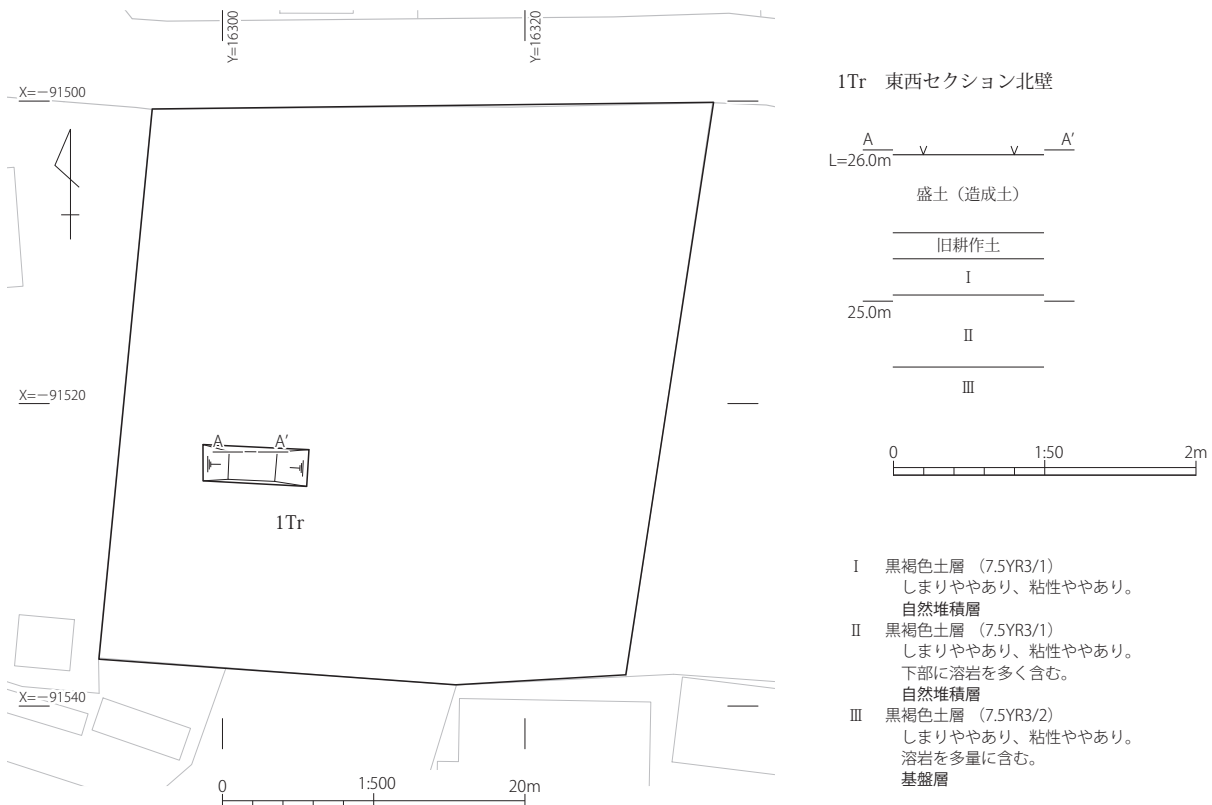
**調査の原因** 不動産売買

**調査の概要** 敷地内に1箇所のトレンチ（1Tr）を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

**調査の結果** 遺構・遺物は検出されなかった。隣接するM地区（平成26年度調査）・O地区（令和3年度調査）の調査結果を踏まえ、令和5年10月、包蔵地範囲を削減した。



第4図 滝下遺跡Q地区 位置図



第5図 滝下遺跡Q地区 トレンチ配置図、セクション図

### 3. 三日市廃寺跡（東平遺跡第156地区1次調査）

所在地 浅間本町 3423-3 外

調査面積 3,345 m<sup>2</sup>（対象面積 1,072.90 m<sup>2</sup>）

調査期間 令和5年4月17日

調査の原因 共同住宅建設

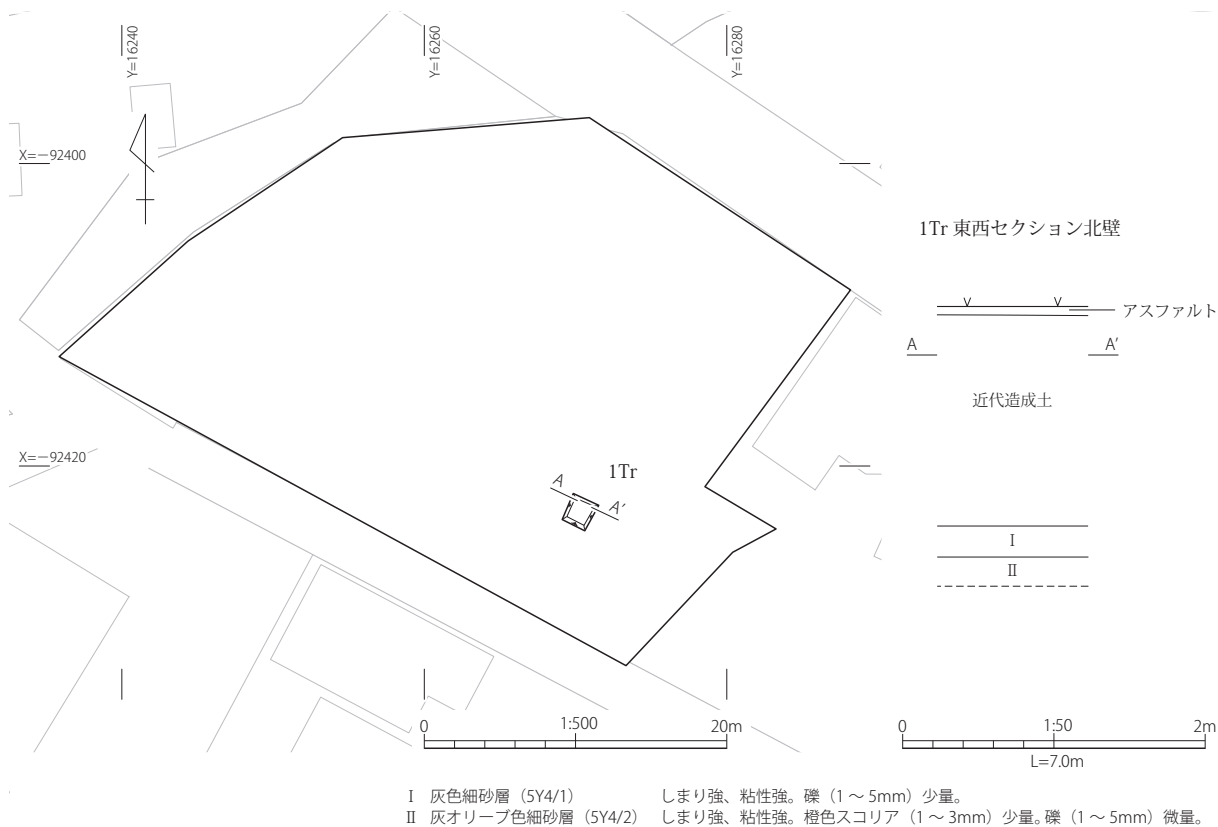
調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ（1Tr）を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 地表下約1.7mで大淵スコリアを含む細砂層（Ⅱ層）を確認し、その前後の層を中心に精査したものの、遺構・遺物は検出されなかった。

調査地は、すぐ北側を流れる和田川の影響により、Ⅰ層上面における湧水量が極めて多く、埋蔵文化財は存在しないものと判断できる。



第6図 東平遺跡第156地区 位置図



第7図 東平遺跡第156地区 トレンチ配置図、セクション図

#### 4. 中原遺跡 第33地区 1次調査

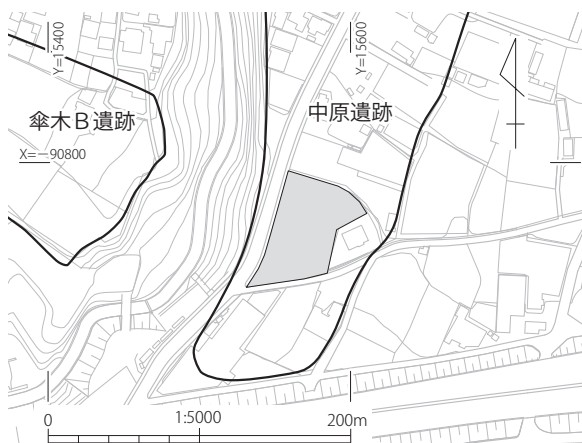
所在地 伝法444-1外

調査面積 243.868 m<sup>2</sup> (対象面積 3,000 m<sup>2</sup>)

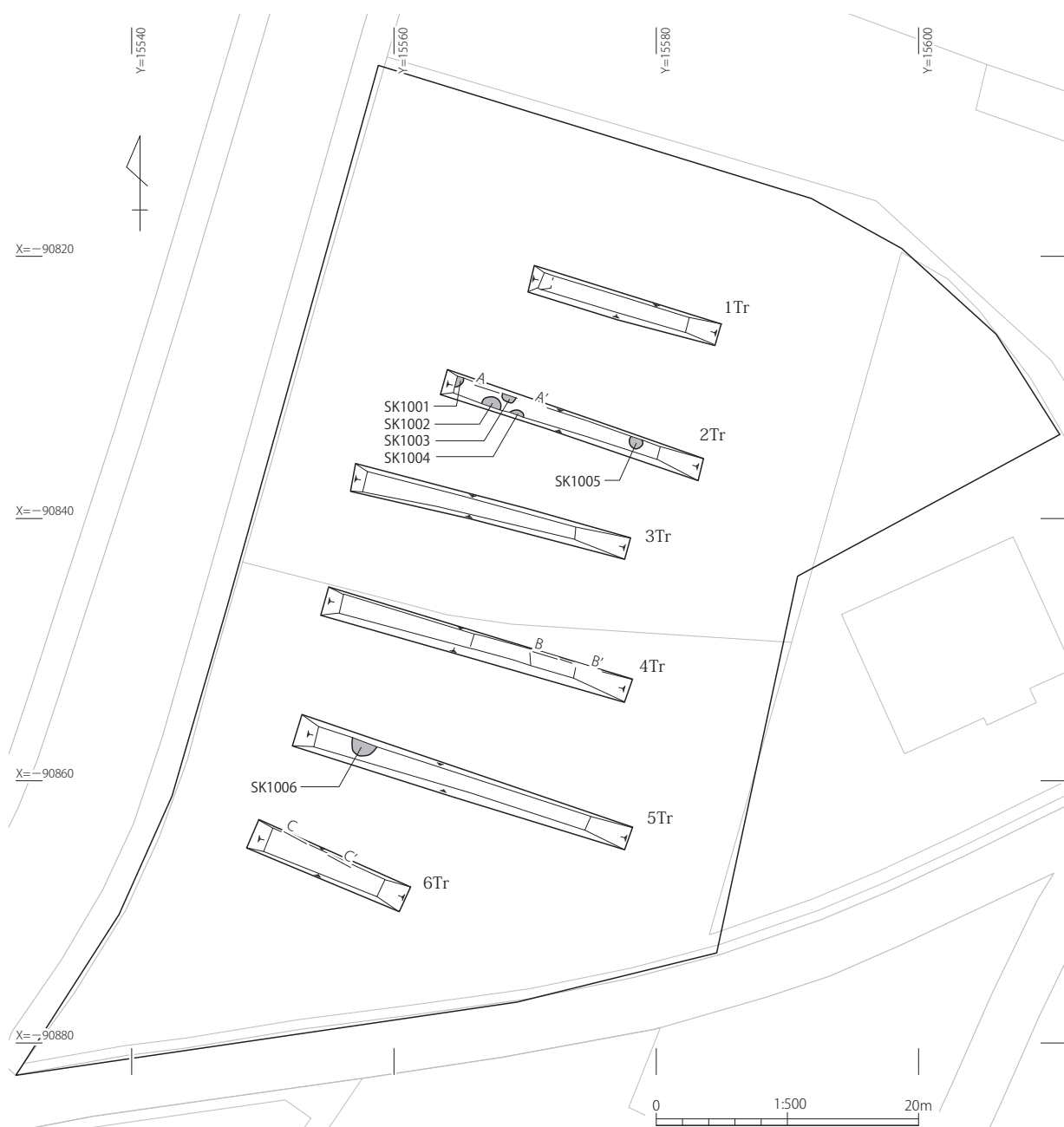
調査期間 令和5年4月10日～4月12日

調査の原因 工場建設

調査の概要 敷地内に6箇所のトレンチ (1～6Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。



第8図 中原遺跡第33地区 位置図

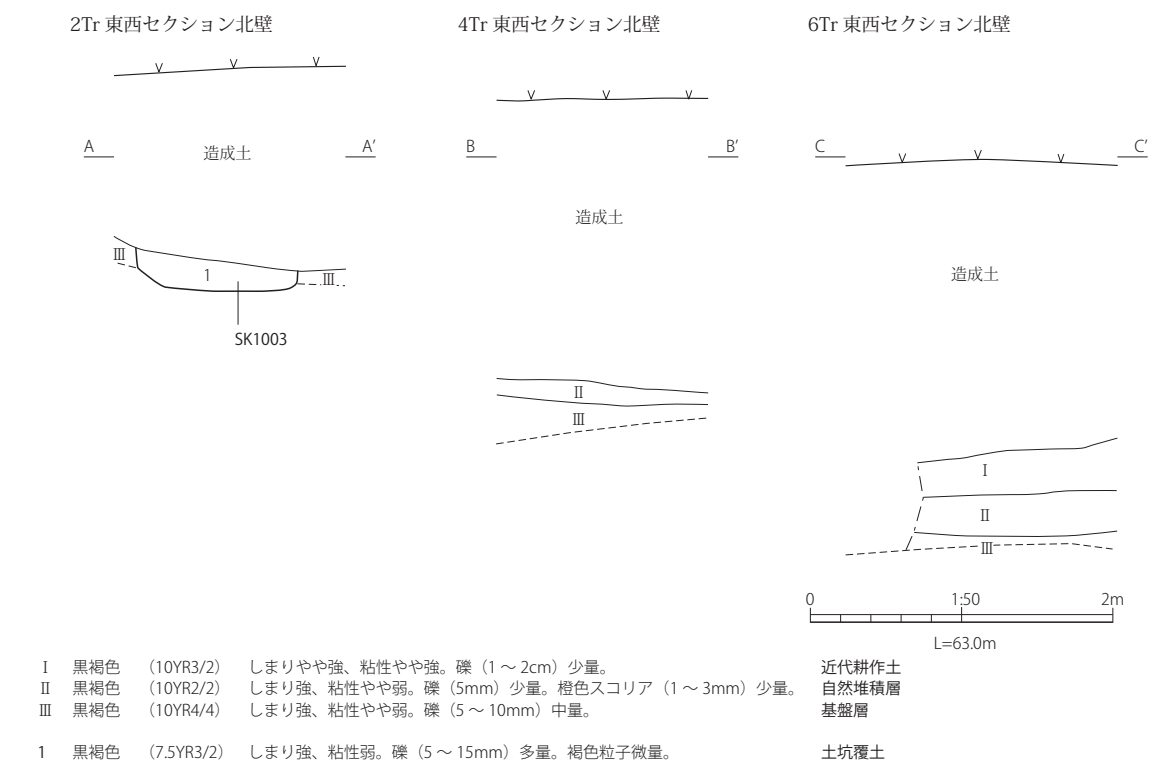


第9図 中原遺跡第33地区 トレンチ配置図



**調査の結果** 地表下約 1.2 ～ 2.5m で基盤層（Ⅲ層）を確認し、2Tr・5Tr ではその上面において近世以降とみられる土坑を検出したが、大淵スコリアを内包した自然堆積層が良好に遺存する 6Tr を含めて、中世以前に遡る遺構や遺物は検出されなかった。

以上のことから、調査地内に埋蔵文化財は存在しないものと判断できる。



第 10 図 中原遺跡第 33 地区 セクション図

## 5. 三新田遺跡 Q地区 1次調査

**所在地** 三新田 4-11

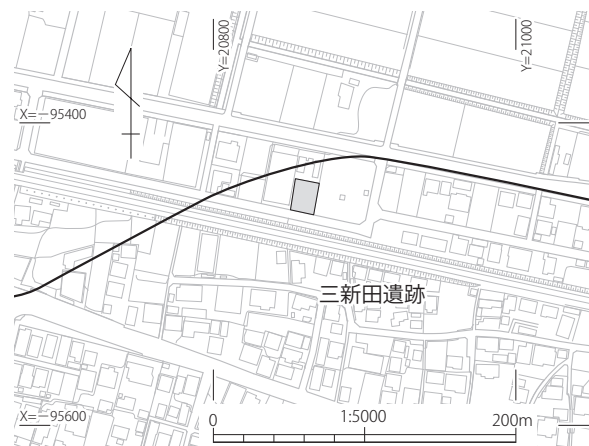
**調査面積** 7.392 m<sup>2</sup> (対象面積 338.23 m<sup>2</sup>)

**調査期間** 令和 5 年 4 月 6 日

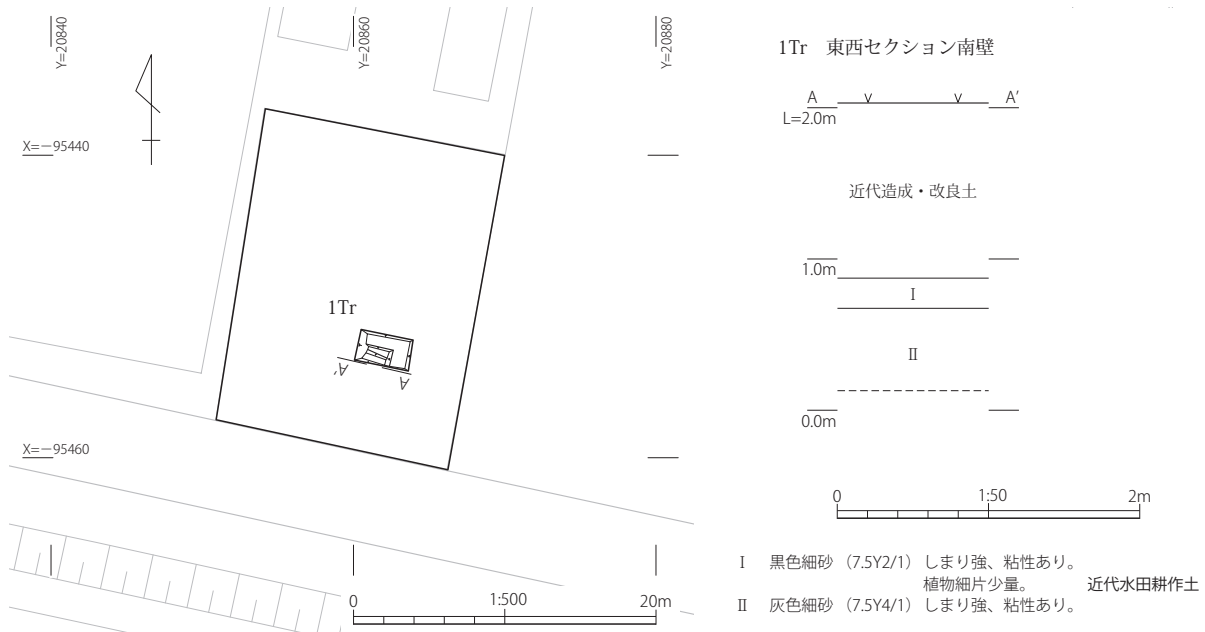
**調査の原因** 個人住宅建設

**調査の概要** 敷地内に 1 箇所のトレンチ (1Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

**調査の結果** 地表下 1.1m ～ 1.9m において旧水田耕作土や湿地性の砂層が認められたが、遺構や遺物は検出されなかった。調査地は旧浮島沼の縁辺部にあたり、居住に適さない環境であったと考えられる。



第 11 図 三新田遺跡 Q 地区 位置図



第12図 三新田遺跡Q地区 トレンチ配置図、セクション図

## 6. 舟久保遺跡 第77地区 1次調査

所在地 今泉六丁目 662-19

調査面積 2.128 m<sup>2</sup> (対象面積 104 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年4月12日

調査の原因 個人住宅建設

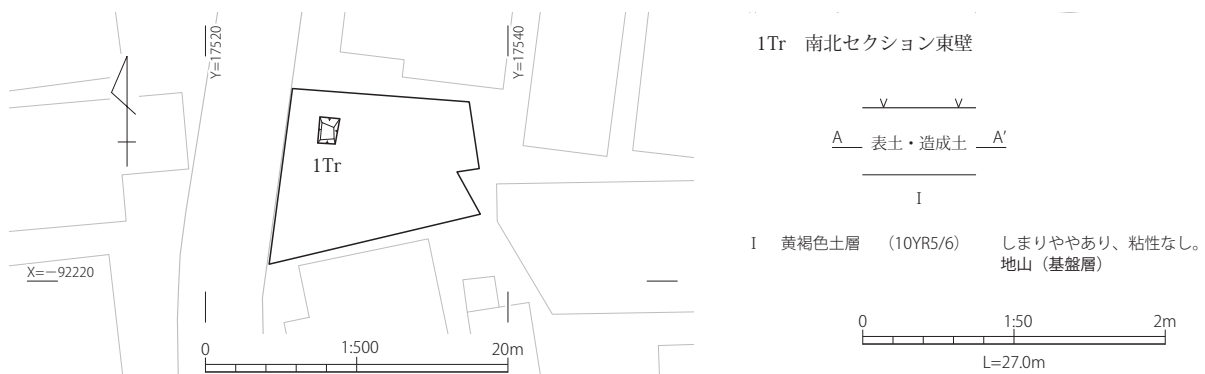
調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ (1Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 遺構・遺物は検出されなかった。

調査地内では溶岩が露頭しており、表土直下 30～40cm で溶岩が検出されたことから、古代の居住域としては適していなかったと推測される。そのため、埋蔵文化財は存在しないと結論付けられる。



第13図 舟久保遺跡第77地区 位置図



第14図 舟久保遺跡第77地区 トレンチ配置図、セクション図

## 7. 天間沢遺跡 第72地区 1次調査

所在地 天間 1327-14

調査面積 4,971 m<sup>2</sup> (対象面積 163.72 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年4月19日

調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ(1Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 遺構は検出されなかった。

地表下1.5mで10～30cmの石で構成される旧河道を検出した。その上面から、平安時代の土器小片1点が出土したものの、遺物包含層は形成されず、河川の影響により上流から流れ込んだものと判断される。そのため、敷地内に埋蔵文化財は残存しないと結論付けられる。



第15図 天間沢遺跡第72地区 位置図



第16図 天間沢遺跡第72地区 トレンチ配置図、セクション図

## 8. 包蔵地外 亀窪遺跡隣接地(第1地区 1次調査)

所在地 鶴無ヶ淵 43 外

調査面積 23,396 m<sup>2</sup> (対象面積 1,310 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年4月14日

調査の原因 不動産売買

調査の概要 対象地は包蔵地範囲外であるが、周知の埋蔵文化財包蔵地「亀窪遺跡」の西側に近接するため、試掘調査を行った。

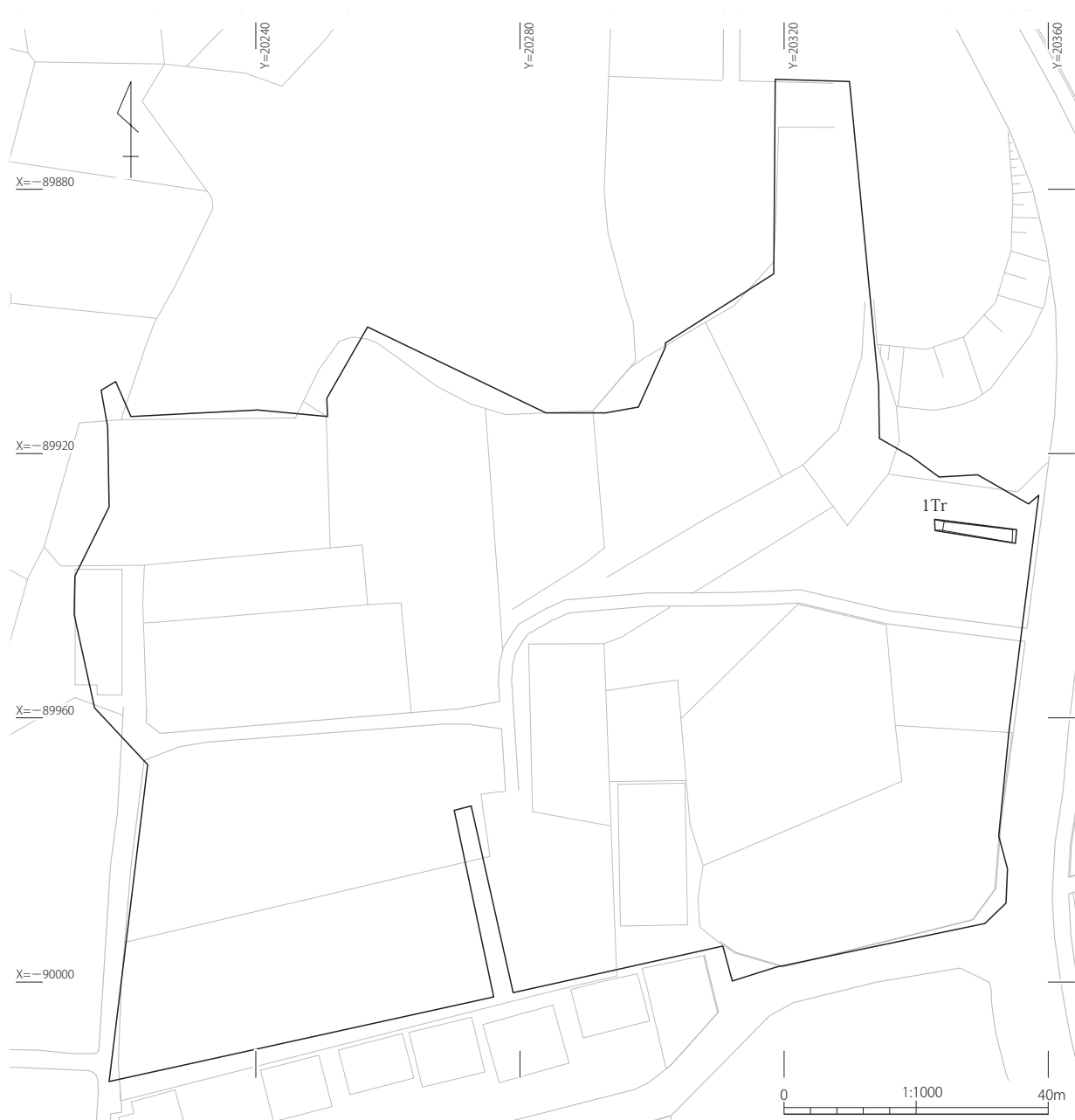
包蔵地範囲に近い敷地内東側に1箇所のトレンチ(1Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 大淵スコリアを含む土層は確認されたものの、その下層に遺物包含層は残存せず、溶岩が検出された。

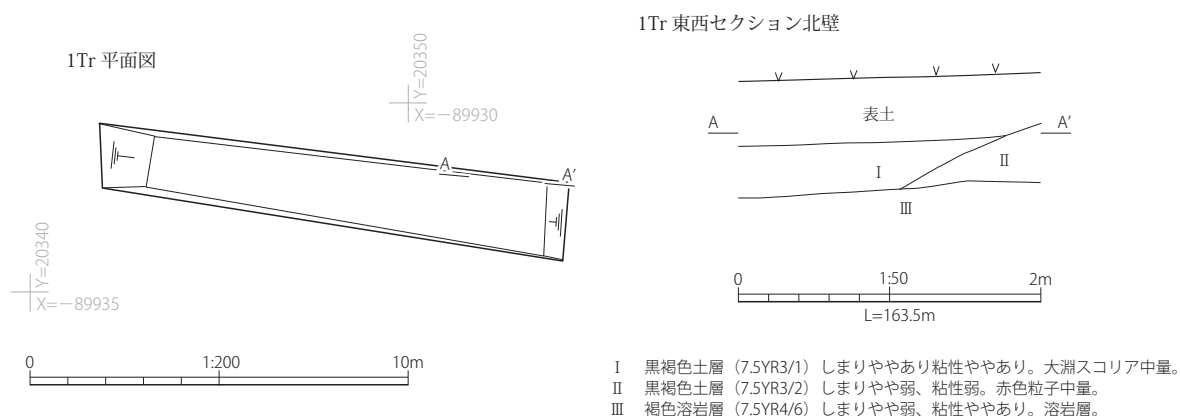
敷地内には埋蔵文化財は確認されなかった。



第17図 亀窪遺跡第1地区 位置図



第18図 亀窪遺跡第1地区 トレンチ配置図



第 19 図 亀窪遺跡第 1 地区 トレンチ平面図、セクション図

## 9. 善得寺廃寺跡 第 9 地区 1 次調査

所在地 今泉三丁目 1067-1

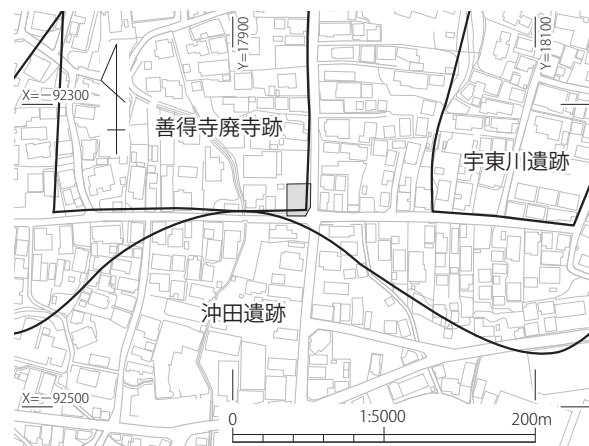
調査面積 3.636 m<sup>2</sup> (対象面積 370.53 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和 5 年 5 月 10 日

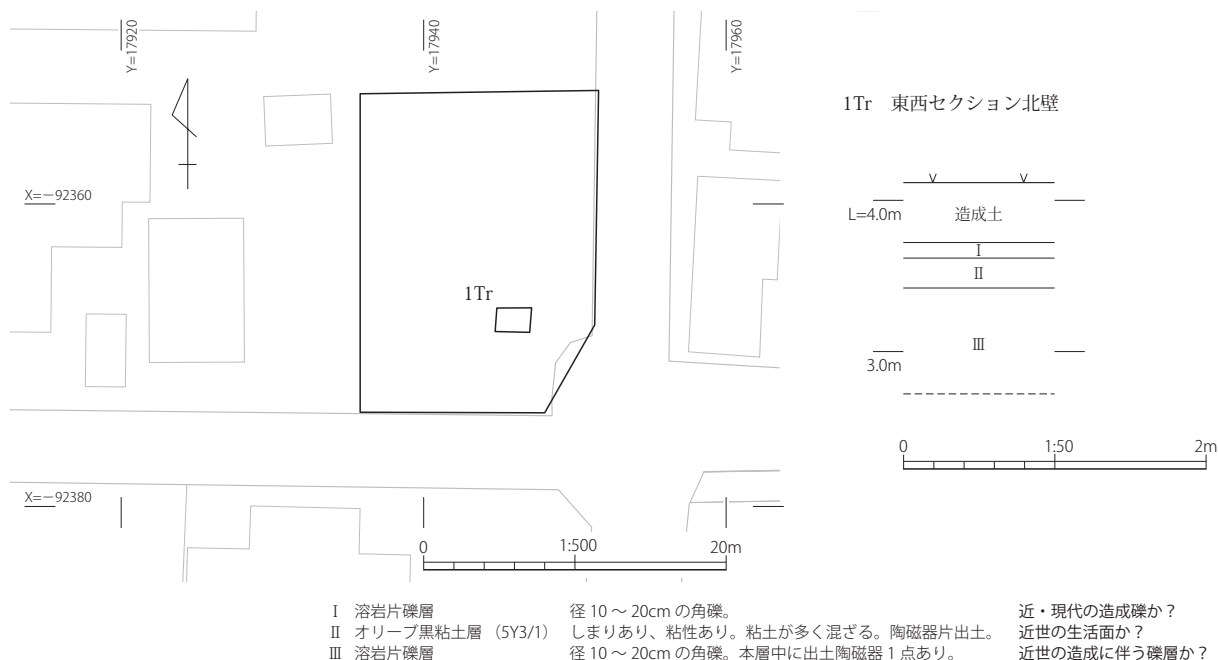
調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 敷地内に 1 箇所のトレンチ (1Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 近世 (幕末) と考えられる土地造成の痕跡が明らかとなったものの、中世に遡る遺構・遺物は発見されなかった。



第 20 図 善得寺廃寺跡第 9 地区 位置図



第 21 図 善得寺廃寺跡第 9 地区 トレンチ配置図、セクション図

## 10. 川窪遺跡 第7地区 2次調査・3次調査

所在地 厚原185-1

調査面積 2次：6.821 m<sup>2</sup> 3次：10.567 m<sup>2</sup>  
(対象面積 1,378.54 m<sup>2</sup>)

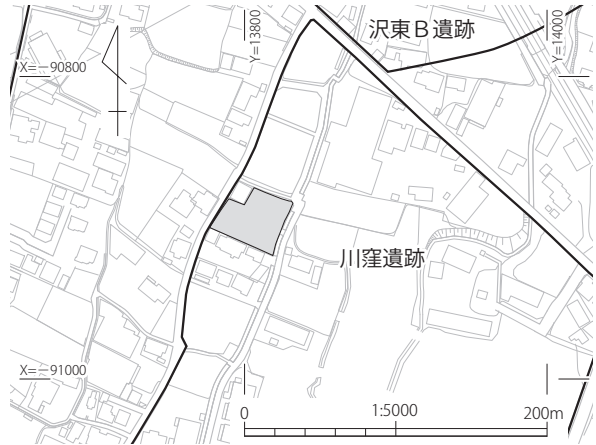
調査期間 2次：令和5年4月26日  
3次：令和5年11月21日

調査の原因 2次：不動産売買 3次：事務所建設

調査の概要 対象地では令和4年度に確認調査（1次調査）を実施し、古墳時代とみられる少量の土器片が出土している。

2次調査では敷地東側に2箇所（2～3Tr）、3次調査では南側に1箇所（4Tr）のトレンチを設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 2次調査では、3Trにおいて1次調査で土器片を検出した遺物包含層（IV層）の広がりを確認したが、遺構・遺物は見つからなかった。また、2Trでは旧地形が高くなり、遺物包含層が既に削平されている状況も判明した。



第22図 川窪遺跡第7地区 位置図

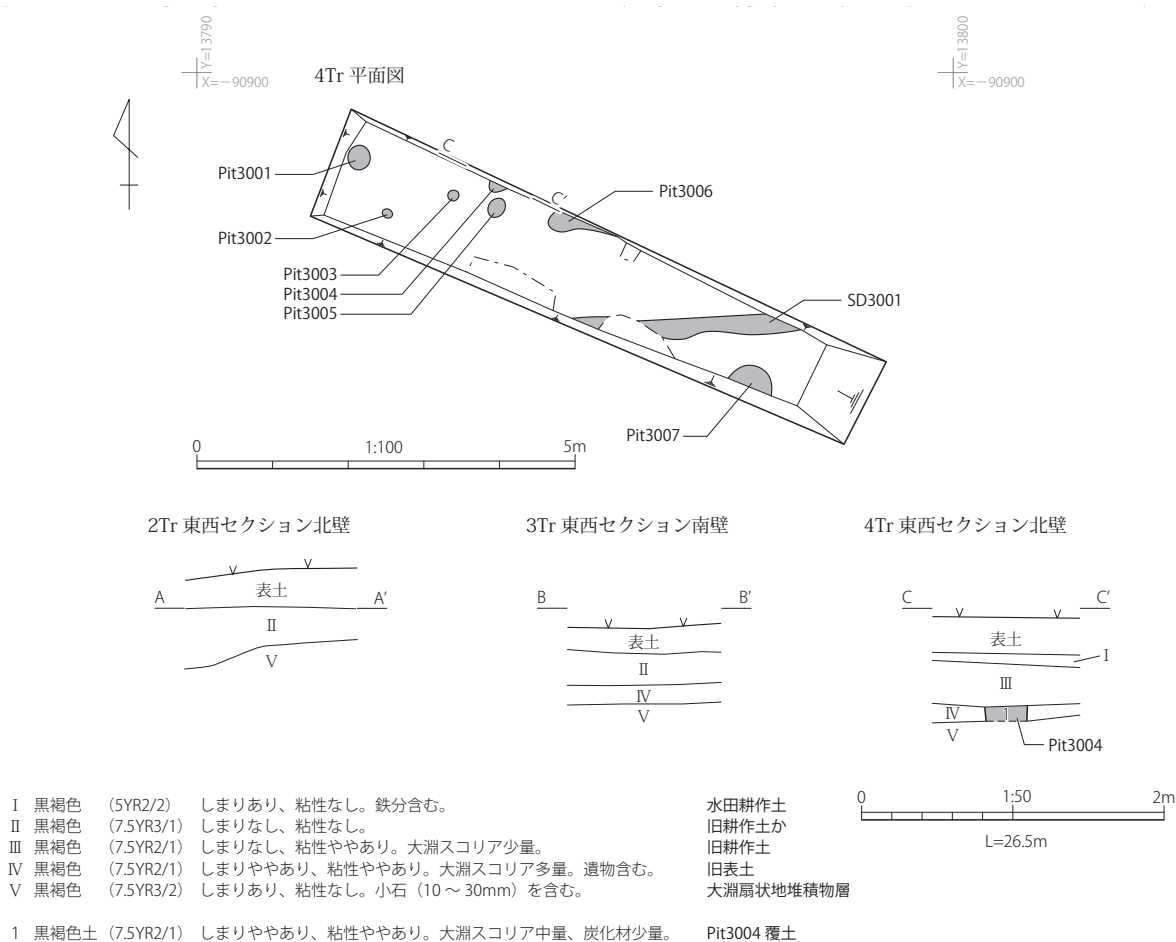
3次調査では、散漫な状況ではあるものの、古墳時代とみられる溝（SD3001）とピット（Pit3001～3007）を検出し、土師器が出土した。

これまでの調査結果から、敷地の北東部分を除いて、埋蔵文化財が残存すると結論付けられる。



第23図 川窪遺跡第7地区 トレンチ配置図





第 24 図 川窪遺跡第 7 地区 トレンチ平面図、セクション図

# 11. 児森遺跡 第 4 地区 1 次調査

所在地 中里 1379-2

調査面積 22,930 m<sup>2</sup> (対象面積 353 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和 5 年 4 月 27 日

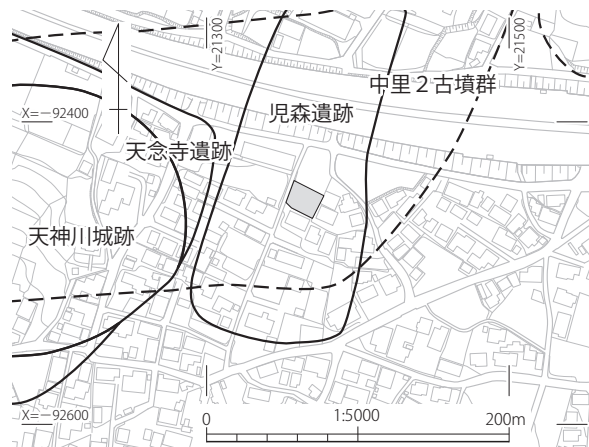
調査の原因 宅地造成

調査の概要 敷地南半に 2 箇所のトレンチ (1～2Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

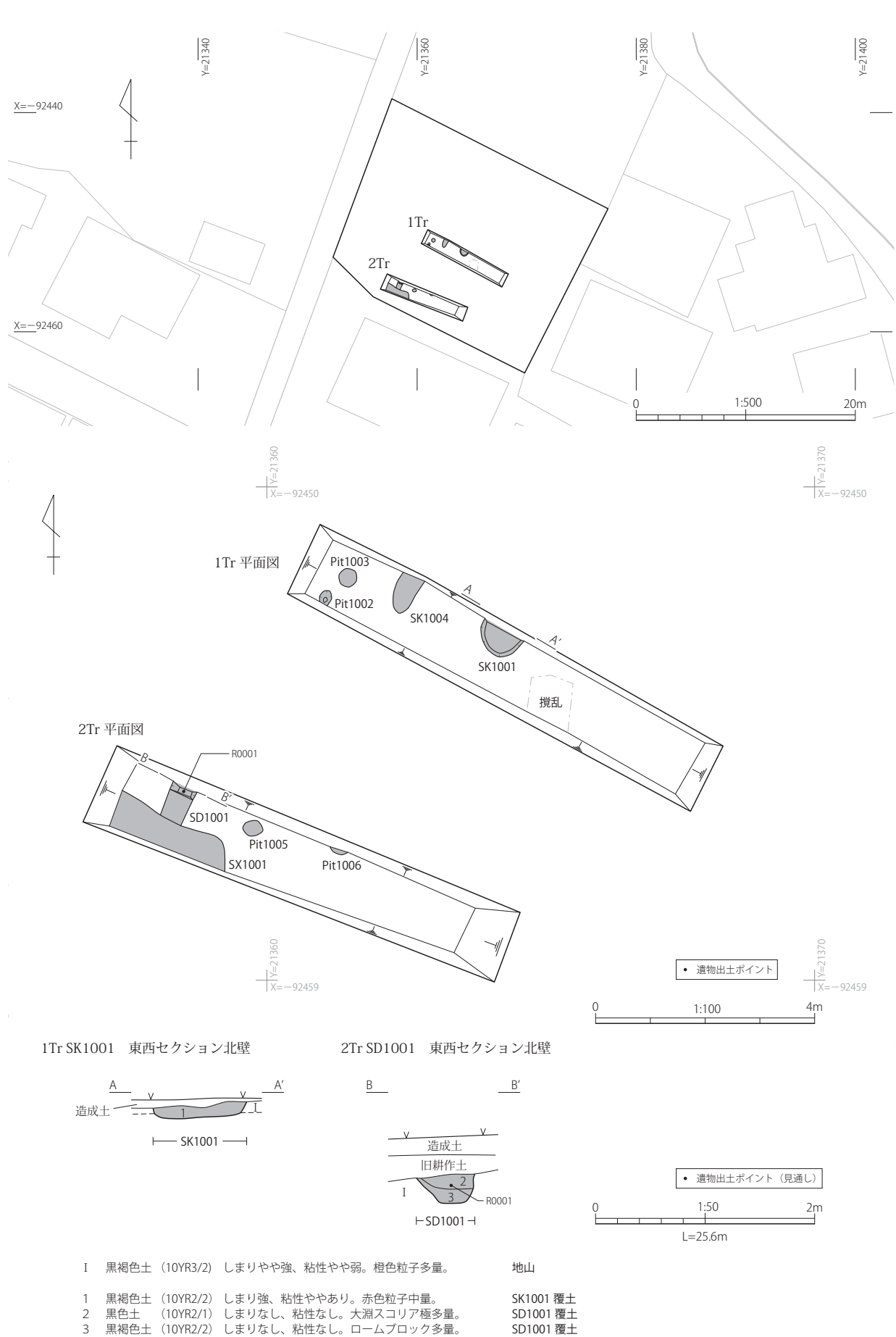
調査の結果 溝 (SD1001)、土坑・ピット (SK1001～Pit1006)、不明遺構 (SX1001) などを検出した。

敷地中央に設定した 1Tr で検出された遺構は、覆土に大淵スコリアを含まないことや色調から、縄文時代の可能性も想定される。一方、敷地南側に設定した 2Tr の遺構は覆土に大淵スコリアを極多量に含むことから、古墳時代中期末頃の遺構と想定される。

遺物は古墳時代の土師器片が出土した。



第 25 図 児森遺跡第 4 地区 位置図



第 26 図 児森遺跡第 4 地区 トレンチ配置図、トレンチ平面図、セクション図



## 12. 東平遺跡 第158地区1次調査

所在地 伝法 2795-4 外

調査面積 7.048 m<sup>2</sup> (対象面積 87.15 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年6月28日

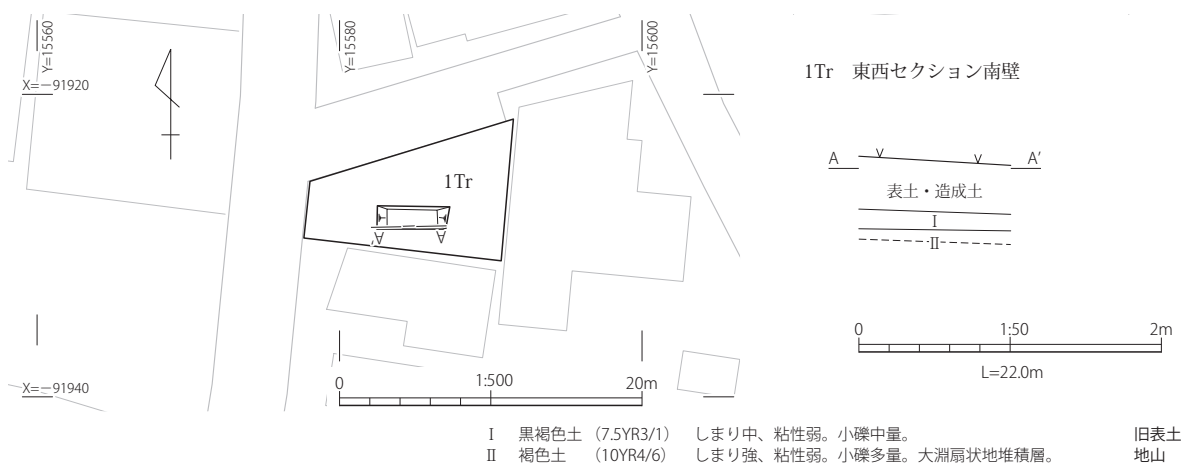
調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ (1Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 旧表土は残存するものの遺構・遺物は確認されなかった。埋蔵文化財が希薄なエリアと結論付けられる。



第27図 東平遺跡第158地区 位置図



第28図 東平遺跡第158地区 トレンチ配置図、セクション図

## 13. 富士岡1古墳群 第20地区1次調査

所在地 比奈 2819-1

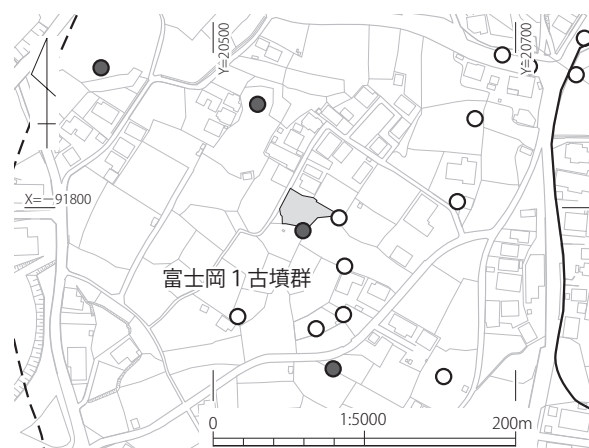
調査面積 6.165 m<sup>2</sup> (対象面積 318.41 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年5月25日～5月26日

調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ (1Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 敷地南東隅に設定した1Trの地表下約0.1mにおいて、横穴式石室墳の一部とみられる遺構 (SZ1001) を検出した。古墳であれば、過去の分布調査で存在が確認されていた富士岡F-第66号墳の奥壁部分とみられ、南東に位置する敷地境界の石垣面まで石室が遺存する可能性が高い。遺物は出土しなかった。



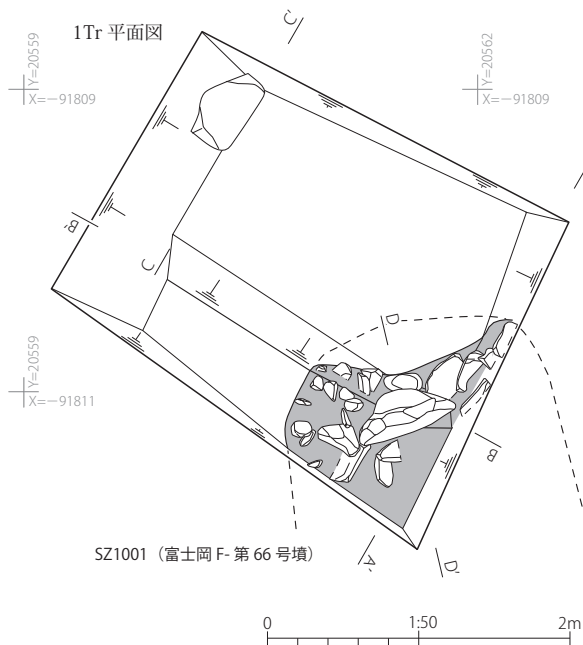
第29図 富士岡1古墳群第20地区 位置図

その他の敷地部分については、1Trの北西隅部で基盤層まで削平が及ぶことが確認できる点、敷地西側で溶岩の露頭がみられる点から、大部分が基盤層まで削平されていることが窺える。

以上の状況から、南東隅部の古墳を除いた敷地部分については、埋蔵文化財が存在しないものと判断できる。

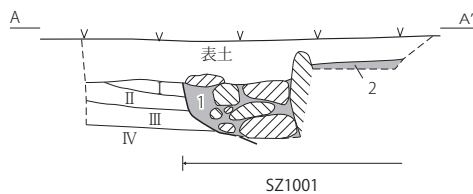


第 30 図 富士岡 1 古墳群第 20 地区 トレンチ配置図

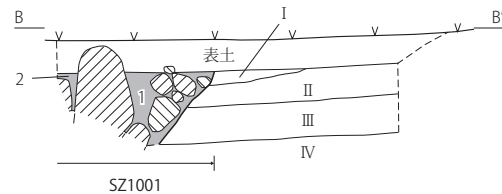


- I 黒褐色 (10YR3/1) しまりやや強、粘性なし。  
橙色発泡スコリア (3～5mm) 極多量。  
大淵スコリア自然堆積層
- II 黒色 (10YR2/1) しまり強、粘性なし。  
橙色スコリア粒子 (1～3mm) 中量。
- III 暗褐色 (10YR3/3) しまり強、粘性なし。  
橙色スコリア粒子 (1～3mm) 少量。
- IV 褐色 (10YR4/4) しまり強、粘性なし。  
溶岩礫 (10～20cm) 多量。  
基盤層
- 1 黒褐色 (10YR3/1) しまりやや弱、粘性なし。  
橙色発泡スコリア (3～5mm) 少量。  
SZ1001 墓坑埋土
- 2 黒褐色 (10YR3/1) しまりやや弱、粘性なし。  
礫 (10～20cm) 多量。  
SZ1001 石室内崩落土

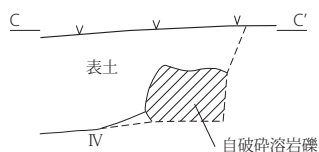
1Tr 東西セクション南壁



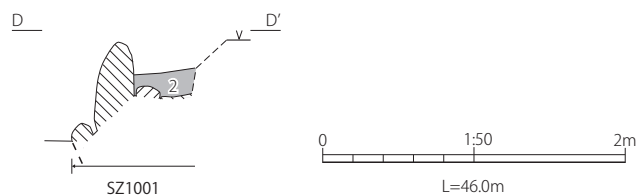
1Tr 南北セクション東壁



1Tr 南北セクション西壁



SZ1001 南北エレベーション東壁



第 31 図 富士岡 1 古墳群第 20 地区 トレンチ平面図、セクション図

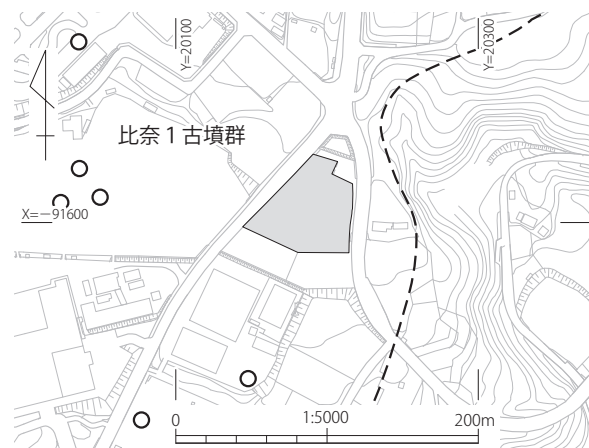
## 14. 比奈1古墳群 第12地区 1次調査・2次調査

所在地 比奈2359-1外

調査面積 1次：156,969 m<sup>2</sup> 2次：58,430 m<sup>2</sup>  
(対象面積 2,998.28 m<sup>2</sup>)調査期間 1次：令和5年6月5日～6月7日  
2次：令和5年7月12日～7月18日

調査の原因 店舗建設

調査の概要 1次調査では敷地西半部分に8箇所(1～8Tr)、2次調査では敷地東半部分に5箇所(9～13Tr)のトレンチを設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。



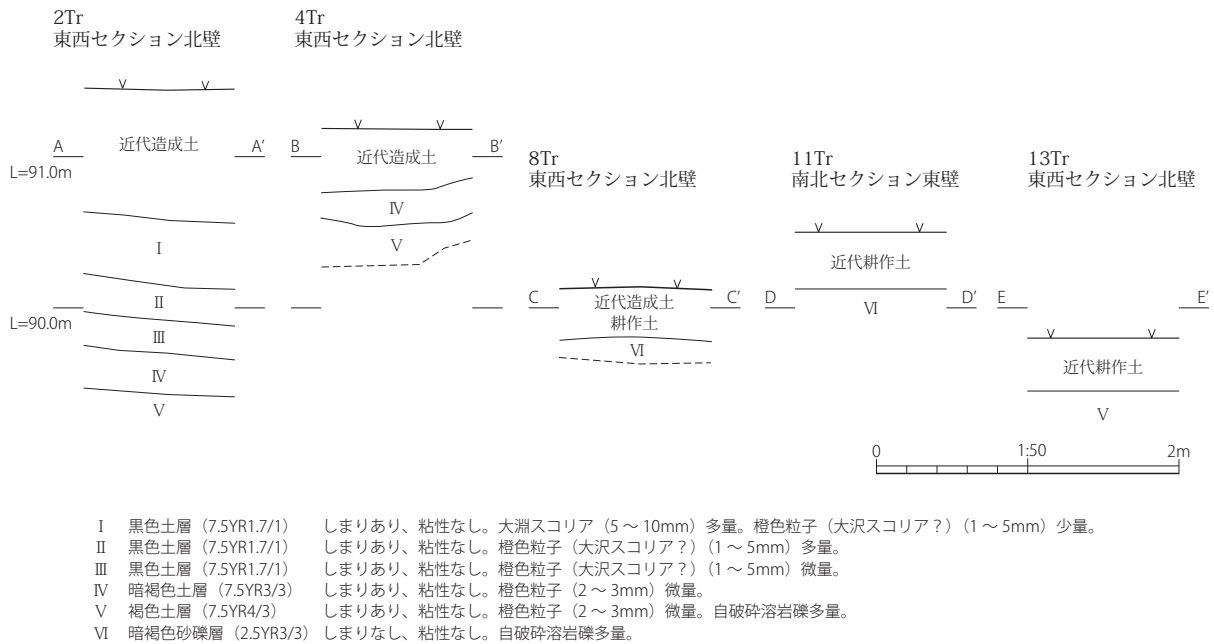
第32図 比奈1古墳群第12地区 位置図



第33図 比奈1古墳群第12地区 トレンチ配置図

**調査の結果** 調査地は南側や西側の道路一帯から北東方向に向かって降る傾斜地に位置するが、4Tr・10Tr以南ではいずれも表土直下の浅い位置で溶岩礫の層を検出しており、埋蔵文化財が遺存しないことを確認した。

傾斜面に位置する北側の2Tr・3Tr・9Tr周辺には大淵スコリアを含む古墳時代の自然堆積層が良好に遺存していたため、その上下の層を中心に精査したものの、遺構や遺物は検出されなかった。



第34図 比奈1古墳群第12地区 セクション図

#### 15. 沖田遺跡 第170次調査地点1次調査

**所在地** 今泉二丁目124-5外

**調査面積** 9.279 m<sup>2</sup> (対象面積1,066.25 m<sup>2</sup>)

**調査期間** 令和5年6月8日

**調査の原因** 不動産売買

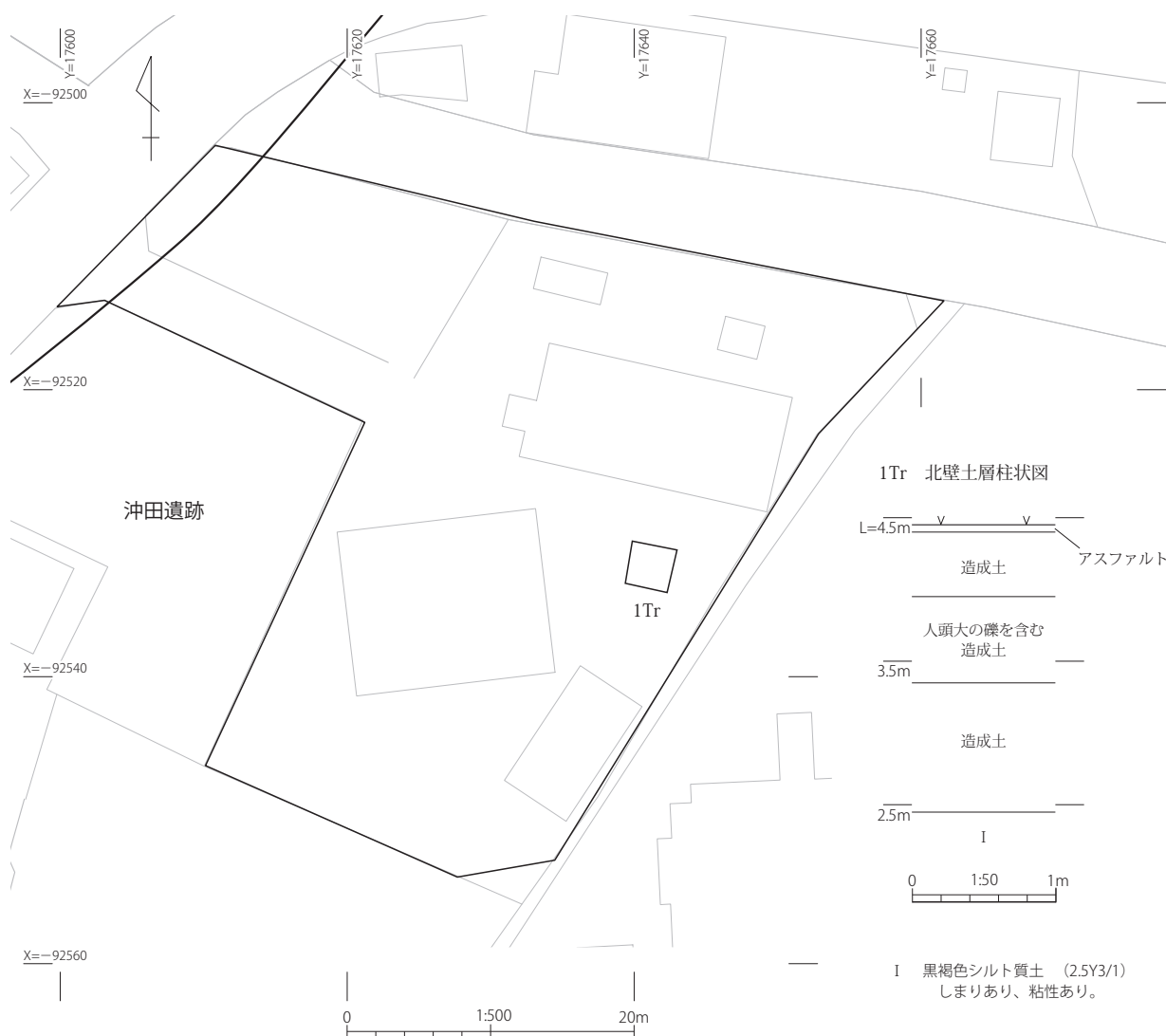
**調査の概要** 敷地内に1箇所のトレンチ(1Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

**調査の結果** 地表下2.0mまでは現代の造成土が存在することが確認された。さらに下層には黒褐色シルト質土が堆積していることが確認されたが、湧水やそれに伴う調査区壁の崩落が激しく、安全面から調査を継続することができなかった。

遺構・遺物は確認されていない。



第35図 沖田遺跡第170次調査地点 位置図



第36図 沖田遺跡第170次調査地点 トレンチ配置図、セクション図

#### 16. 川坂遺跡 第14地区1次調査

所在地 天間 845-6 外

調査面積 17.983 m<sup>2</sup> (対象面積 380.05 m<sup>2</sup>)

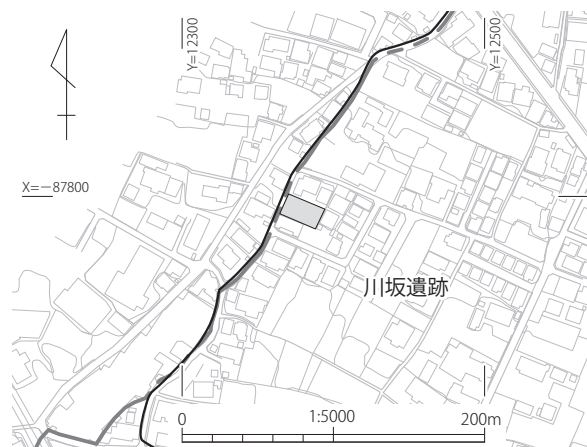
調査期間 令和5年6月21日

調査の原因 不動産売買

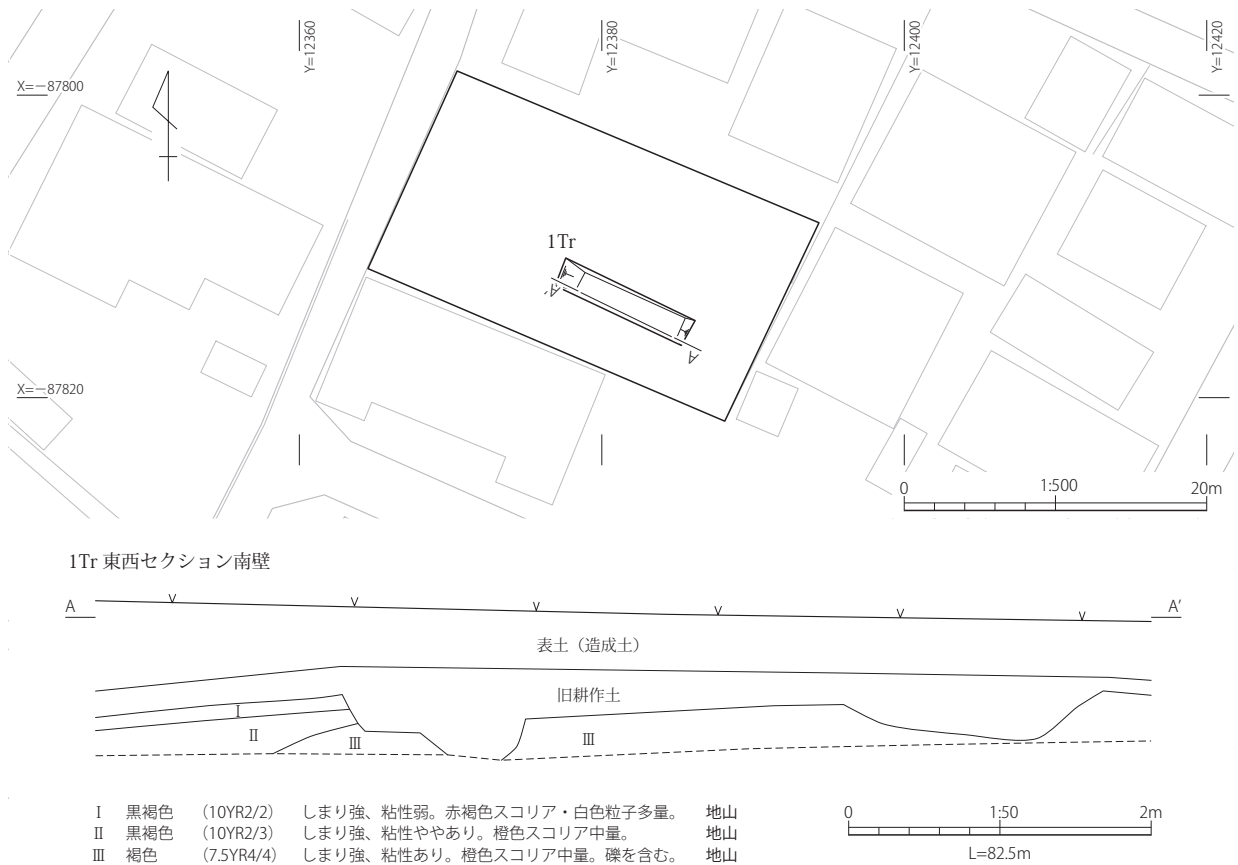
調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ(1Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 遺構・遺物は検出されなかった。

土地全体が削平を受けており、古墳時代以降の遺構検出面が残存しないことが明らかとなった。そのため、敷地内には埋蔵文化財は残存しないと結論付けられる。



第37図 川坂遺跡第14地区 位置図



第38図 川坂遺跡第14地区 トレンチ配置図、セクション図

## 17. 東平遺跡 第121地区 2次調査

所在地 伝法2502-1外

調査面積 9.233 m<sup>2</sup> (対象面積 178.62 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年6月13日

調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 調査地では令和元年度に1次調査を実施し、奈良時代とみられる溝とピット、土器片が出土している。

敷地南側に2箇所のトレンチ(1～2Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

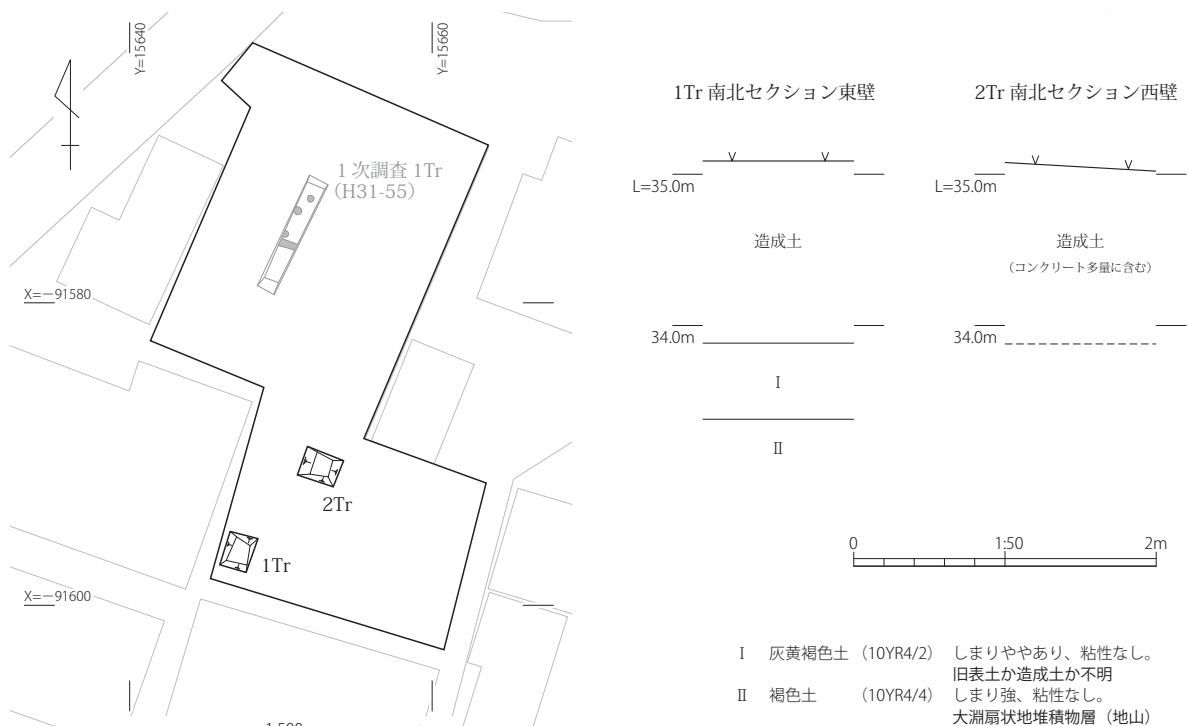
調査の結果 敷地全体に大規模な盛り土がなされており、地表下約2.0mにおいて漸く地山を検出した。

安全面等から調査面積に制限があったものの、遺構・遺物は確認されなかった。



第39図 東平遺跡第121地区 位置図





第40図 東平遺跡第121地区 トレンチ配置図、セクション図

#### 18. 国久保遺跡 第13地区 1次調査

所在地 国久保三丁目 2245-23 外

調査面積 5.982 m<sup>2</sup> (対象面積 135 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年6月14日～6月15日

調査の原因 不動産売買

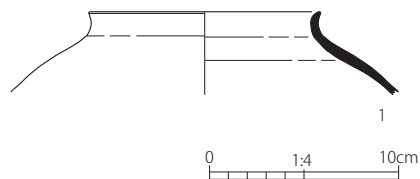
調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ (1Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 地表下0.3mにおいて、奈良・平安時代の遺物包含層 (I・II層) を検出し、当該期の土器が出土した。第42図1は1Trで出土した須恵器の短頸壺である。肩部は丸く張り、頸部はごく短く、口縁端部は外反する。

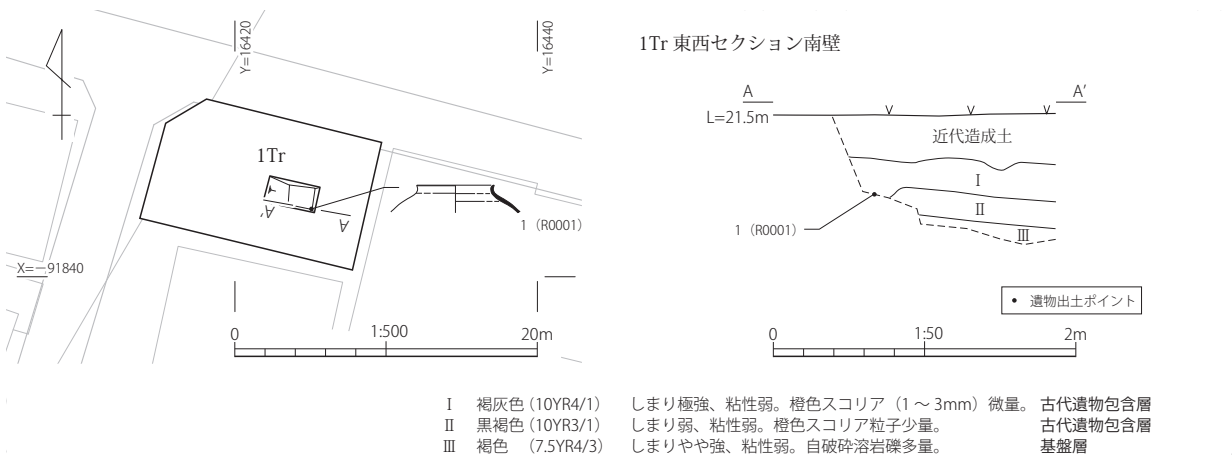
敷地北側に広がる耕作地においても多量の土器片が散布することから、敷地内やその周辺に古代の集落が広がっていた可能性が高い。



第41図 国久保遺跡第13地区 位置図



第42図 国久保遺跡第13地区 出土遺物実測図



第 43 図 国久保遺跡第 13 地区 トレンチ配置図、セクション図

第 3 表 国久保遺跡第 13 地区 出土遺物観察表

| 報告<br>番号 | 挿図<br>番号 | 写真<br>図版 | R 番号 (PC 点)<br>R 番号 (一括) | 出土<br>場所 | 種別  | 細別  | 時代    | 法量 (cm) |    |       | 焼成 | 残存<br>率 | 内面色調       | 外面色調       | 備考 |
|----------|----------|----------|--------------------------|----------|-----|-----|-------|---------|----|-------|----|---------|------------|------------|----|
|          |          |          |                          |          |     |     |       | 口径      | 底径 | 器高    |    |         |            |            |    |
| 1        | 第 42 図   | PL.6     | 0001                     | 1Tr      | 須恵器 | 短頸壺 | 奈良・平安 | (12.0)  | —  | (4.4) | 良好 | 20%     | 2.5Y6/1 黄灰 | 2.5Y7/1 灰白 |    |

19. 国久保遺跡 第 14 地区 1 次調査

所在地 国久保二丁目 2003-6 外

調査面積 5.247 m<sup>2</sup> (対象面積 198 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和 5 年 7 月 24 日

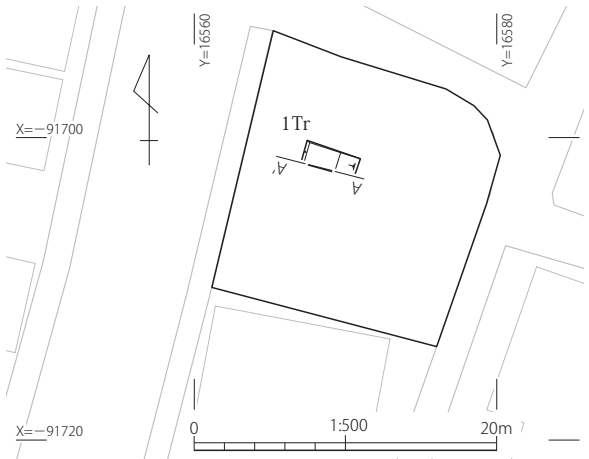
調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 敷地内に 1 箇所のトレンチ (1Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 土地全体が削平を受けており、遺構・遺物は確認されなかった。そのため、敷地内には埋蔵文化財は残存しないと結論付けられる。



第 44 図 国久保遺跡第 14 地区 位置図



第 45 図 国久保遺跡第 14 地区 トレンチ配置図、セクション図



## 20. 神谷古墳群 第13地区 1次調査・2次調査

所在地 神谷 846-4 外

調査面積 1次：33.563 m<sup>2</sup> 2次：5.512 m<sup>2</sup>  
(対象面積 1,231 m<sup>2</sup>)

調査期間 1次：令和5年6月28日～7月19日  
2次：令和5年11月21日～11月22日

調査の原因 公園整備

調査の概要 調査地には富士市指定史跡「千人塚古墳」が所在し、また、古墳の可能性のある巨石も散乱している。

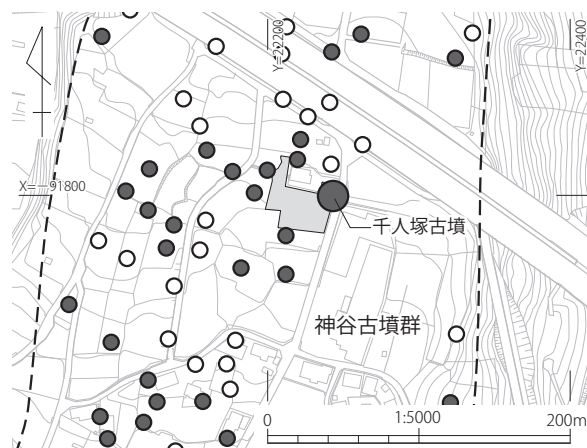
1次調査では千人塚古墳の西側や古墳とみられる巨石の周囲を中心に9箇所のトレンチ（1～9Tr）を設定し、2次調査では敷地北西隅に1箇所のトレンチ（10Tr）を設定し、重機による掘削を行った後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 敷地内の南西部分において横穴式石室墳（SZJ-12／須津J-第12号墳）を検出したほか、東側では富士市指定史跡である千人塚古墳（須津J-第10号墳）の周溝の一部を検出した。

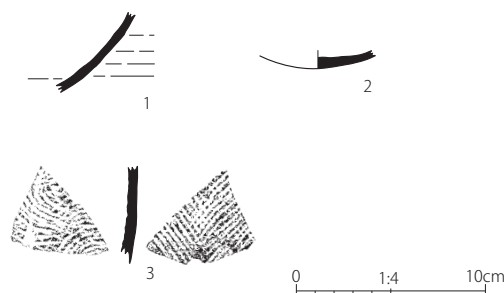
SZJ-12は西側部分を中心に近代耕作に伴う改変が著しいものの、奥壁から東側壁については1～2段程度が残存することを確認できたほか、東側や北側では墓坑や周溝の一部も検出した。

千人塚古墳で今回検出された周溝は、平成18年度調査（第5地区4次調査2Tr）で検出したものとはほぼ同規模（幅約3.0m）であり、指定地域外である石室南西部分に周溝が良好に遺存することを確認できた。

敷地北西隅の10Trでは、基盤層であるIV層上面から須恵器の小片1点を検出したものの、顕著な遺物の広がりや遺構は確認できなかった。



第46図 神谷古墳群第13地区 位置図

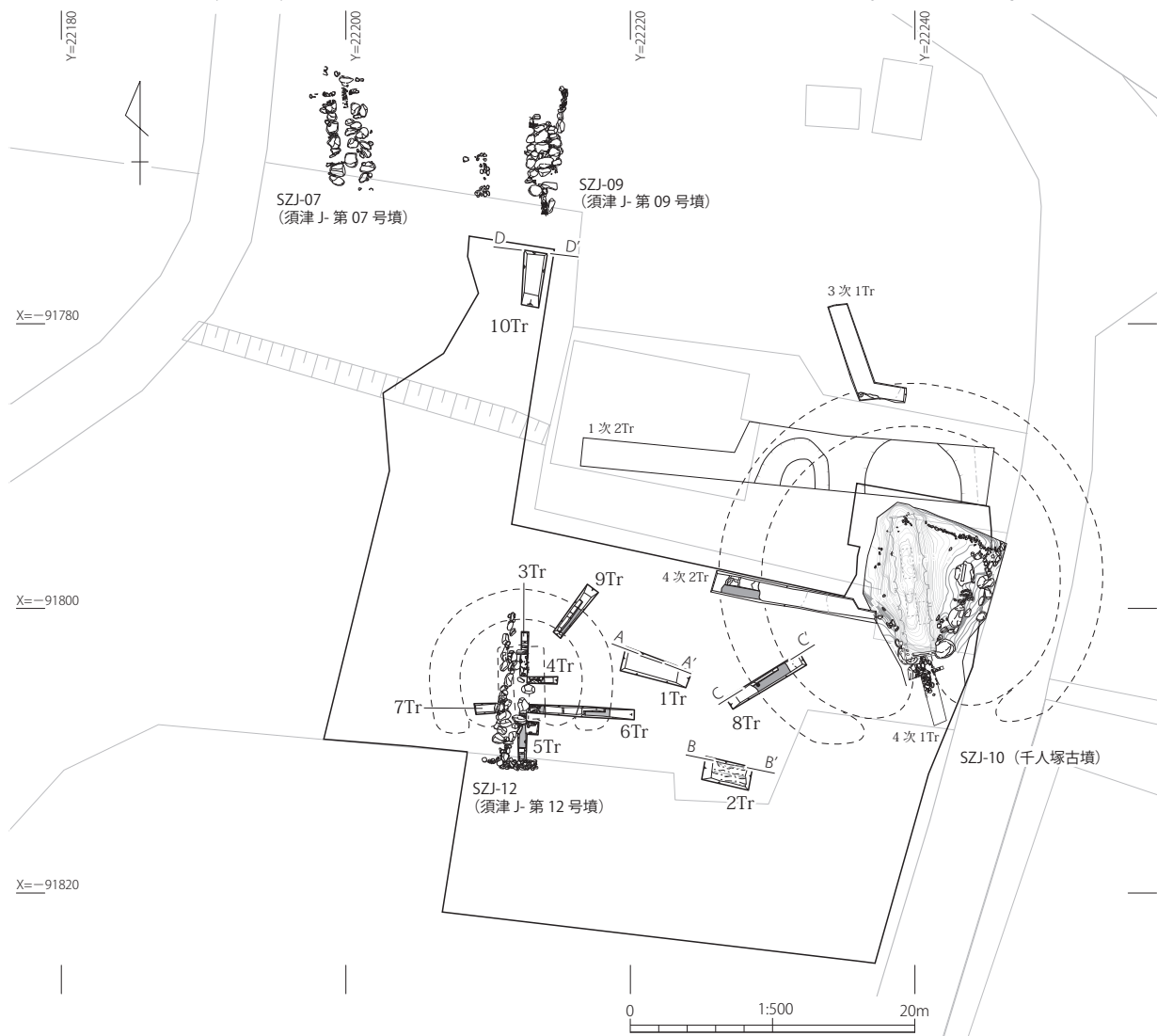


第47図 神谷古墳群第13地区 出土遺物実測図

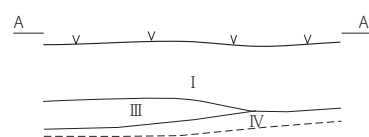
遺物は、少量の須恵器片が出土し、3点を図示した。第47図1・2は5Tr（SZJ-12）から出土した体部片と丸底の底部片である。いずれも内外面は滑らかに整えられている。器種は特定できないが、同一個体の可能性がある。3は8Trで出土した甕の胴部片である。外面にタタキ痕、内面にオサエ痕が明瞭に残る。

第4表 神谷古墳群第13地区 出土遺物観察表

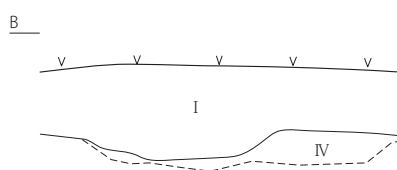
| 報告<br>番号 | 挿図<br>番号 | 写真<br>図版 | R 番号(PC 点)<br>R 番号(一括) | 出土<br>場所           | 種別  | 細別 | 時代 | 法量 (cm) |    |       | 焼成 | 残存<br>率 | 内面色調       | 外面色調       | 備考    |
|----------|----------|----------|------------------------|--------------------|-----|----|----|---------|----|-------|----|---------|------------|------------|-------|
|          |          |          |                        |                    |     |    |    | 口径      | 底径 | 器高    |    |         |            |            |       |
| 1        | 第47図     | PL.9     | 0004                   | 5Tr SZJ-12<br>石室覆土 | 須恵器 |    |    | —       | —  | (4.1) | 良好 | -       | 2.5Y7/1 灰白 | 2.5Y5/1 黄灰 | 2と同一か |
| 2        | 第47図     | PL.9     | 0007                   | 5Tr SZJ-12         | 須恵器 |    |    | —       | —  | (1.0) | 良好 | 50%     | 2.5Y7/1 灰白 | 2.5Y6/1 黄灰 | 1と同一か |
| 3        | 第47図     | PL.9     | 0003                   | 8Tr                | 須恵器 | 甕  |    | —       | —  | (5.2) | 良好 | -       | 2.5Y6/1 黄灰 | 2.5Y6/1 黄灰 |       |



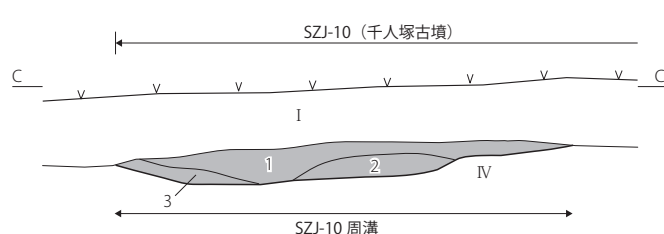
1Tr東西セクション北壁



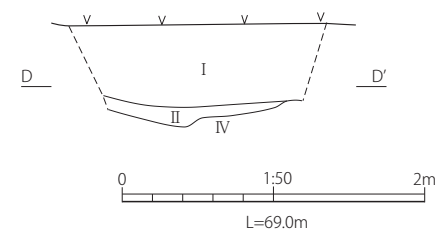
2Tr東西セクション北壁



8Tr南北セクション西壁

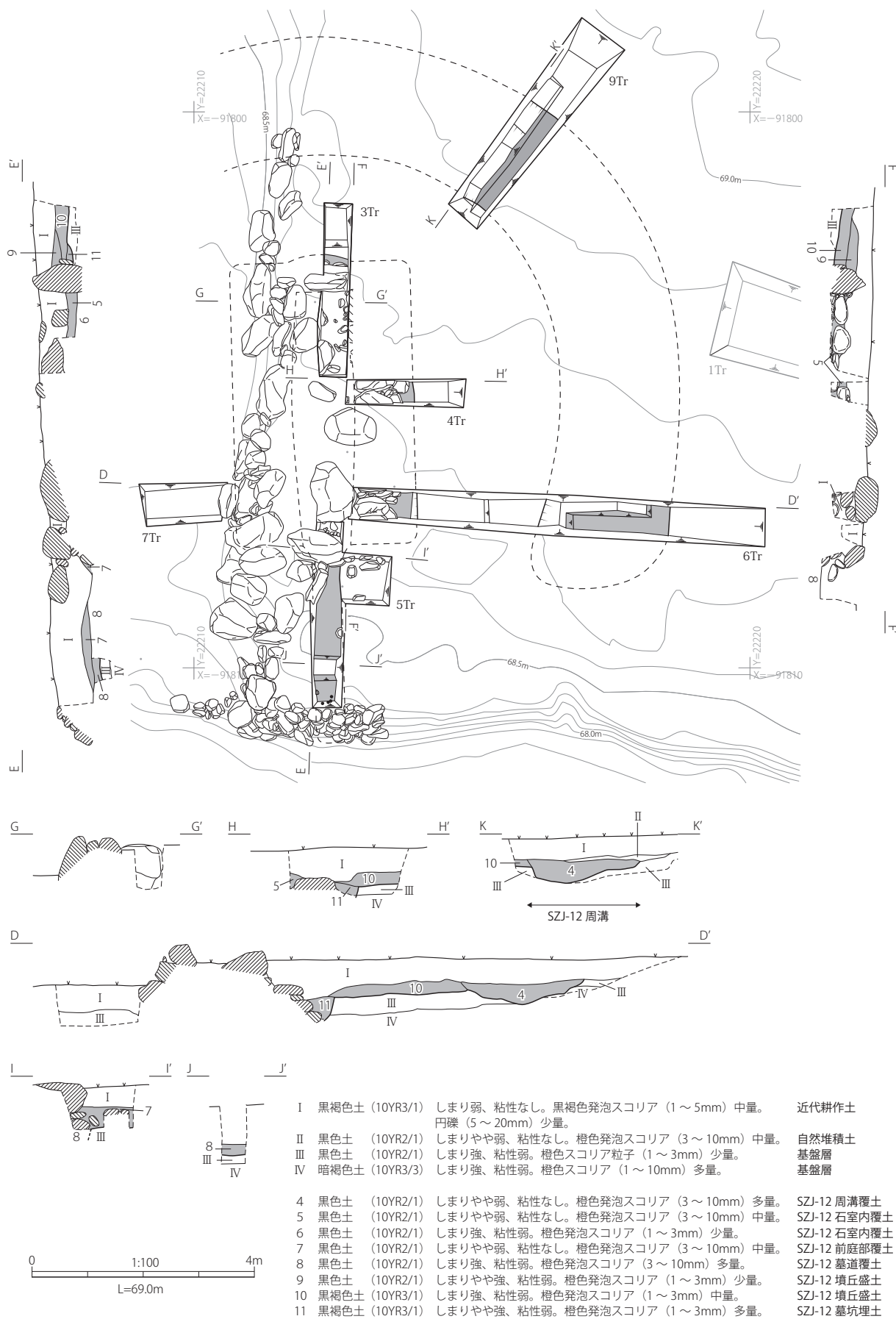


10Tr 東西セクション北壁



- |                   |  |             |
|-------------------|--|-------------|
| I 黒褐色土 (10YR3/1)  | しまり弱、粘性なし。黒褐色発泡スコリア (1～5mm) 中量。円礫 (5～20mm) 少量。 | 近代耕作土       |
| II 黒色土 (10YR2/1)  | しまりやや弱、粘性なし。橙色発泡スコリア (3～10mm) 中量。              | 自然堆積土       |
| III 黒色土 (10YR2/1) | しまり強、粘性弱。橙色スコリア粒子 (1～3mm) 少量。                  | 基盤層         |
| IV 暗褐色土 (10YR3/3) | しまり強、粘性弱。橙色スコリア (1～10mm) 多量。                   | 基盤層         |
| 1 黒色土 (10YR2/1)   | しまりやや強、粘性弱。橙色発泡スコリア (5～10mm) 中量。               | SZJ-10 周溝覆土 |
| 2 黒色土 (10YR2/1)   | しまりやや強、粘性弱。橙色発泡スコリア (5～10mm) 多量。               | SZJ-10 周溝覆土 |
| 3 黒色土 (10YR2/1)   | しまりやや強、粘性弱。橙色発泡スコリア (5～10mm) 多量。暗褐色ロームブロック少量。  | SZJ-10 周溝覆土 |

第48図 神谷古墳群第13地区 トレンチ配置図、セクション図



第 49 図 神谷古墳群第 13 地区 SZJ12 平面図、セクション図

## 21. 沢東 A 遺跡 第31次調査地点1次調査

所在地 久沢 180-2

調査面積 14.555 m<sup>2</sup> (対象面積 618.45 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年8月17日

調査の原因 不動産売買

調査の概要 敷地内に2箇所のトレンチ (1～2Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 遺構・遺物は確認されなかった。

そのため、敷地内には埋蔵文化財は残存しないと結論付けられる。

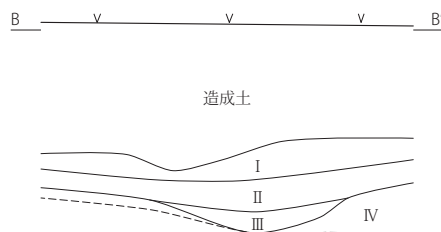
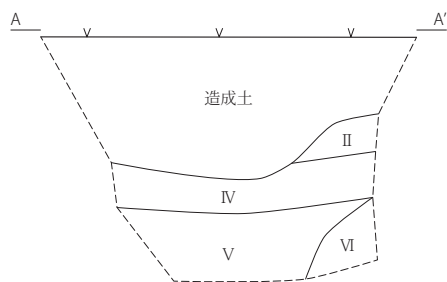


第50図 沢東 A 遺跡第31次調査地点 位置図

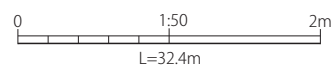


2Tr 東西セクション北壁

1Tr 東西セクション北壁



|     |      |            |             |    |
|-----|------|------------|-------------|----|
| I   | 黒褐色  | (7.5YR3/2) | しまりあり、粘性なし。 | 地山 |
| II  | 黒褐色  | (7.5YR3/1) | しまりあり、粘性なし。 | 地山 |
| III | 極暗褐色 | (7.5YR2/3) | しまりあり、粘性なし。 | 地山 |
| IV  | 極暗褐色 | (7.5YR2/3) | しまりあり、粘性なし。 | 地山 |
| V   | 黒褐色  | (7.5YR3/1) | しまりあり、粘性なし。 | 地山 |
| VI  | 極暗褐色 | (7.5YR2/3) | しまりあり、粘性なし。 | 地山 |



第51図 沢東 A 遺跡第31次調査地点 トレンチ配置図、セクション図

## 22. 厚原横道下遺跡 第7地区 1次調査

所在地 厚原 1200-4 外

調査面積 4,721 m<sup>2</sup> (対象面積 167.65 m<sup>2</sup>)

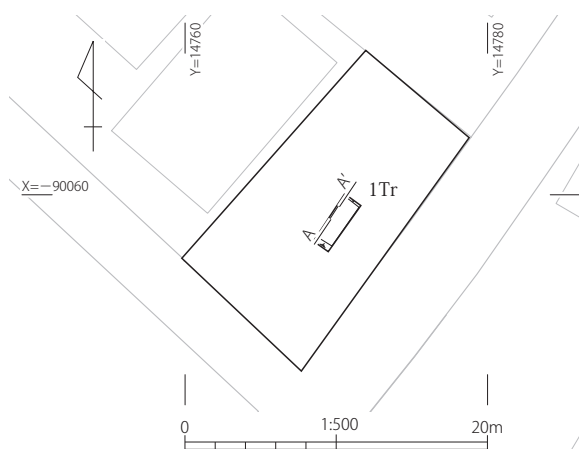
調査期間 令和5年7月28日

調査の原因 事務所建設

調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ (1Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 遺構・遺物は確認されなかった。

そのため、敷地内には埋蔵文化財は残存しないと結論付けられる。

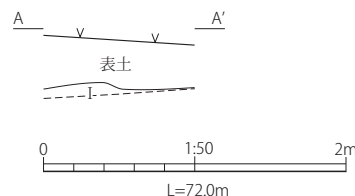


第53図 厚原横道下遺跡第7地区 トレンチ配置図、セクション図



第52図 厚原横道下遺跡第7地区 位置図

1Tr 南北セクション西壁



I 褐色 (7.5YR4/6) しまり強、粘性なし。礫 (1～3cm) 多量。  
大淵扇状地堆積物層

## 23. 柏原遺跡 第22地区 1次調査

所在地 中柏原新田 187-1 外

調査面積 13,340 m<sup>2</sup> (対象面積 493.21 m<sup>2</sup>)

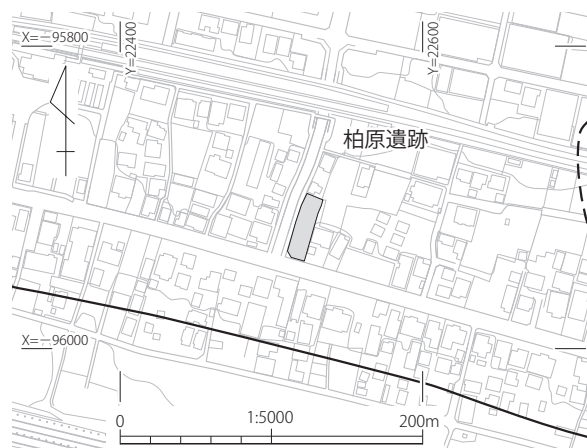
調査期間 令和5年8月17日～8月18日

調査の原因 不動産売買

調査の概要 敷地内に2箇所のトレンチ (1～2Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 1Tr の地表下約 1.2 m (Ⅲ層) において古墳時代の土師器片を検出したものの、器壁の摩滅が多く、流れ込みの可能性が考えられる。また、その上下の層を中心に精査したものの、遺構を検出することはできなかった。

以上のことから、当該地においては集落の広がりとは認められないと判断できる。



第54図 柏原遺跡第22地区 位置図





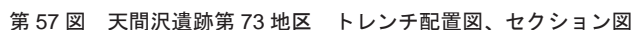
## 所在地 天間 1022-1

調査期間 令和5年8月28日

調査の原因 個人住宅建設

**調査の概要** 敷地内に1箇所のトレンチ(1Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

**調査の結果** 遺構・遺物は確認されなかった。土地全体が大規模に削平を受けていることから、敷地内には埋蔵文化財は残存しないと結論付けられる。



## 25. 宇東川遺跡 第34地区 1次調査

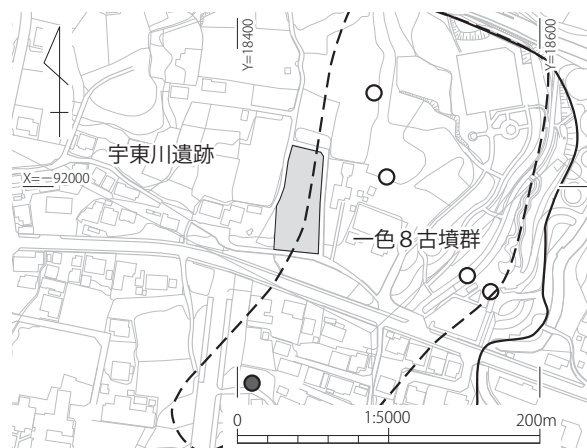
所在地 原田 691-4 外

調査面積 50.484 m<sup>2</sup> (対象面積 1,731 m<sup>2</sup>)

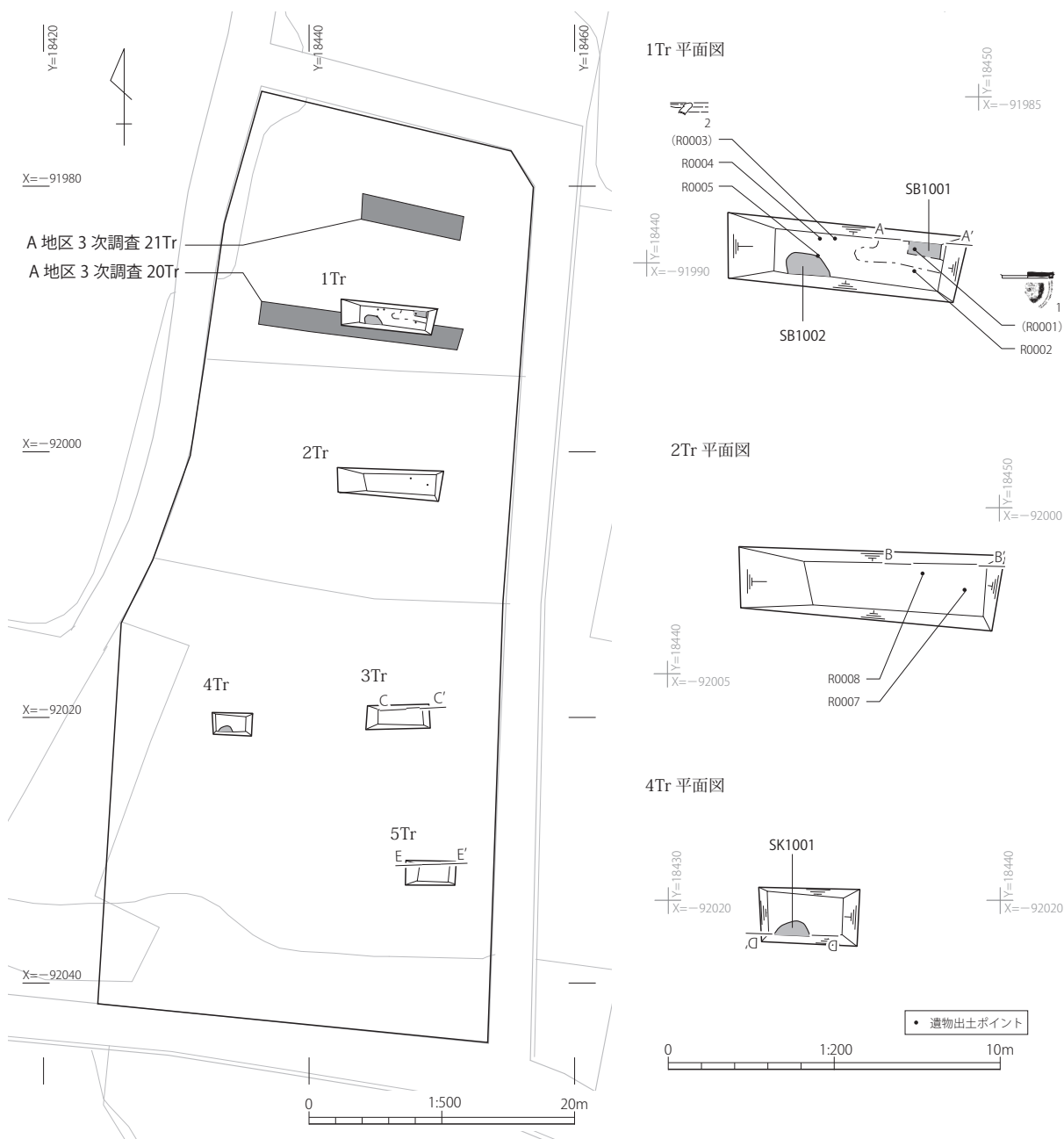
調査期間 令和5年8月24日～8月25日

調査の原因 公園整備

調査の概要 敷地内に5箇所のトレンチ (1～5Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。



第58図 宇東川遺跡第34地区 位置図

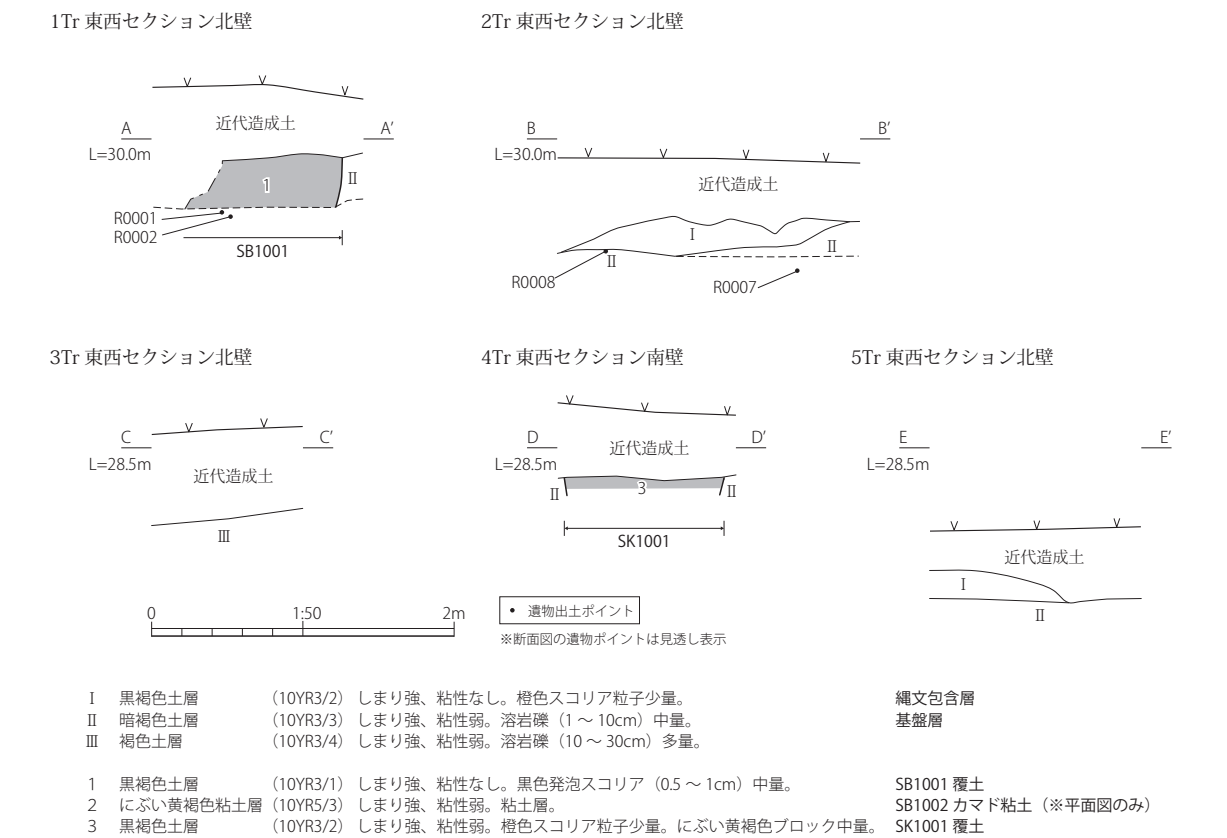


第59図 宇東川遺跡第34地区 トレンチ配置図、トレンチ平面図

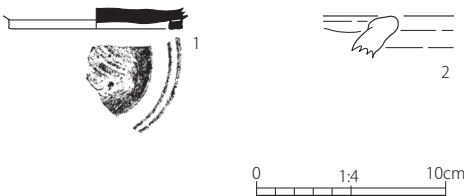


調査の結果 1Tr・2Tr・4Trでは地表下0.4mにおいて古墳～平安時代の遺構や縄文時代の遺物包含層（Ⅰ層）を、5Trでは地表下0.3mにおいて縄文時代の遺物包含層を検出した。平成18年度に実施したA地区3次調査（20・21Tr）でも遺構・遺物を検出しており、敷地北側一帯に古代の集落が広がっていた可能性が高い。一方、3Trは削平が著しく、埋蔵文化財が遺存しないことを確認した。

遺物は、縄文土器・土師器・須恵器が出土し、2点を図示した。第61図1は1Tr SB1001で出土した須恵器高台坏の底部である。底面は回転ヘラケズリ後、中心を木口で整え、断面方形の高台を貼り付けている。2は土師器甕の口縁部片である。口縁端部が内側に肥厚する。



第 60 図 宇東川遺跡第 34 地区 セクション図



第 61 図 宇東川遺跡第 34 地区 出土遺物実測図

第 5 表 宇東川遺跡第 34 地区 出土遺物観察表

| 報告<br>番号 | 挿図<br>番号 | 写真<br>図版 | R 番号(PC 点)<br>R 番号 (一括) | 出土<br>場所      | 種別  | 細別 | 時代 | 法量 (cm) |              |       | 焼成 | 残存<br>率 | 内面色調    | 外面色調 | 備考           |
|----------|----------|----------|-------------------------|---------------|-----|----|----|---------|--------------|-------|----|---------|---------|------|--------------|
|          |          |          |                         |               |     |    |    | 口径      | 底径           | 器高    |    |         |         |      |              |
| 1        | 第 61 図   | PL.25    | 0001                    | 1Tr<br>SB1001 | 須恵器 | 坏  |    | —       | 高台径<br>[9.1] | (1.1) | 良好 | 20%     | 2.5Y7/1 | 灰白   | 2.5Y7/1 灰白   |
| 2        | 第 61 図   | -        | 0003                    | 1Tr           | 土師器 | 甕  |    | —       | —            | (2.2) | 良好 | -       | 5YR4/2  | 灰褐   | 5YR5/3 にぶい赤褐 |

## 26. 外原遺跡 第1地区 1次調査

所在地 北松野 616-1 外

調査面積 1,200 m<sup>2</sup> (対象面積 298 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年8月24日

調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ(1Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 遺構・遺物は確認されなかった。敷地内には埋蔵文化財は残存しないと結論付けられる。

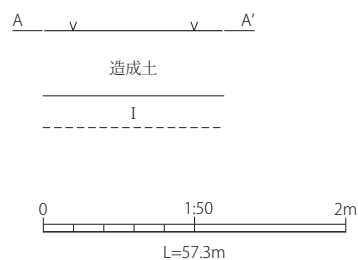


第62図 外原遺跡第1地区 位置図



第63図 外原遺跡第1地区 トレンチ配置図、セクション図

1Tr 南北セクション西壁



I 黒褐色 (7.5YR3/1) しまりなし、粘性ややあり。  
径1cmほどの小石少量。  
地山

## 27. 富士岡1古墳群 第21地区 1次調査

所在地 比奈 1704-1

調査面積 23,903 m<sup>2</sup> (対象面積 299.47 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年8月30日～8月31日

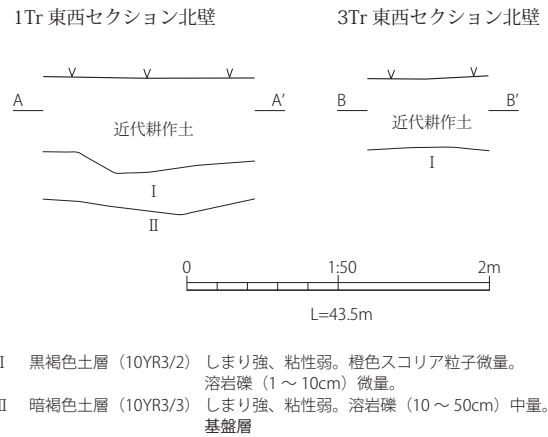
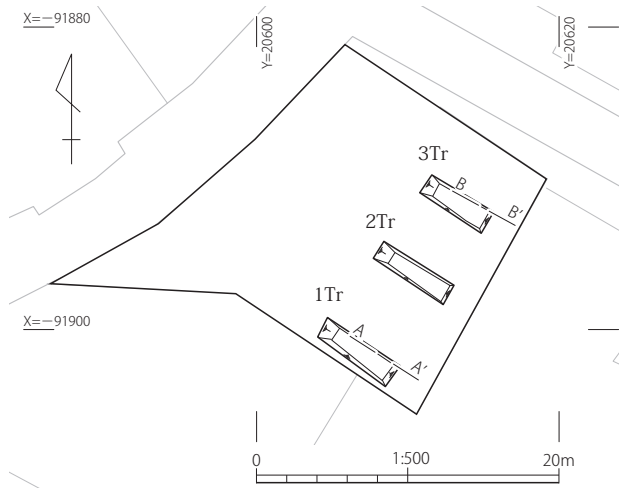
調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 敷地内に3箇所のトレンチ(1～3Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 調査地は北西から南東方向に向かって緩やかに降る傾斜地に位置し、自然堆積層が比較的良好に遺存する敷地東側を中心に精査したものの、遺構や遺物は検出されなかった。



第64図 富士岡1古墳群第21地区 位置図



第65図 富士岡1古墳群第21地区 トレンチ配置図、セクション図

## 28. 東平遺跡 第159地区1次調査

所在地 伝法2505-1

調査面積 10.449 m<sup>2</sup> (対象面積 128.9 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年9月4日

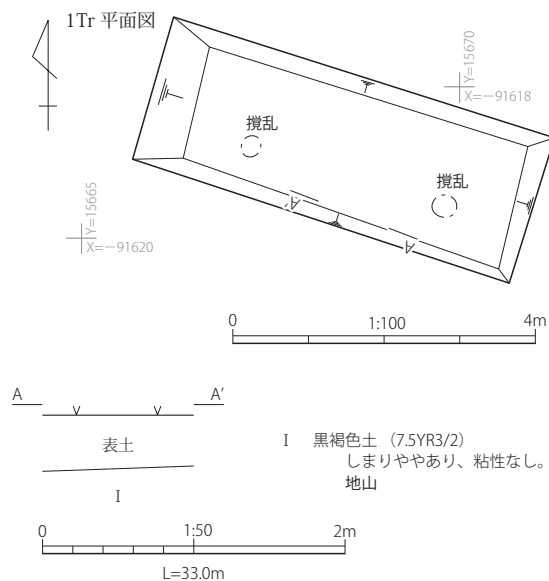
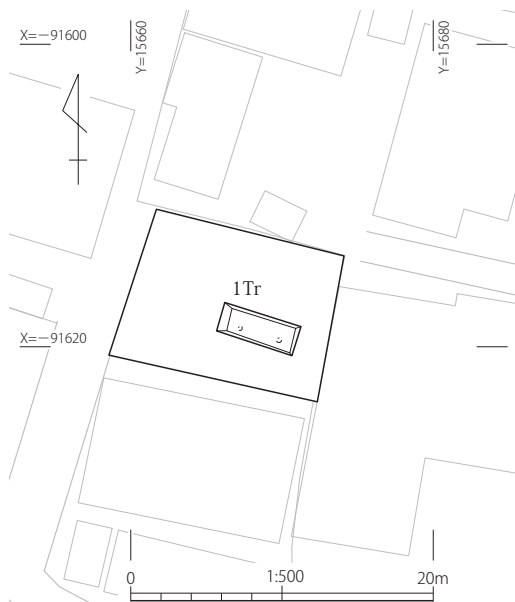
調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ (1Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 遺構検出面が削平されており、遺構・遺物は確認されなかった。敷地内に埋蔵文化財は残存しないと結論付けられる。



第66図 東平遺跡第159地区 位置図



第67図 東平遺跡第159地区 トレンチ配置図、トレンチ平面図、セクション図

## 29. 舟久保遺跡 第78地区 1次調査

所在地 今泉九丁目 1510-2

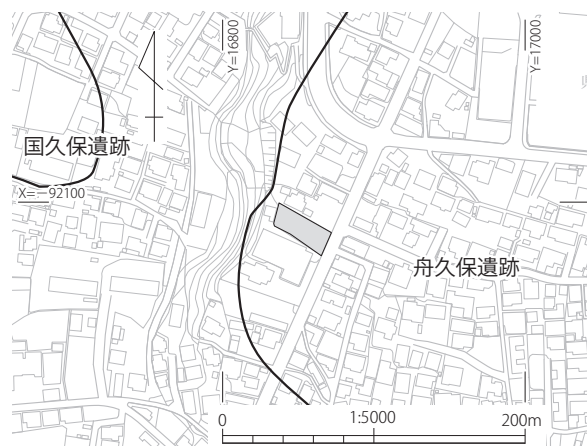
調査面積 9,456 m<sup>2</sup> (対象面積 519 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年8月29日

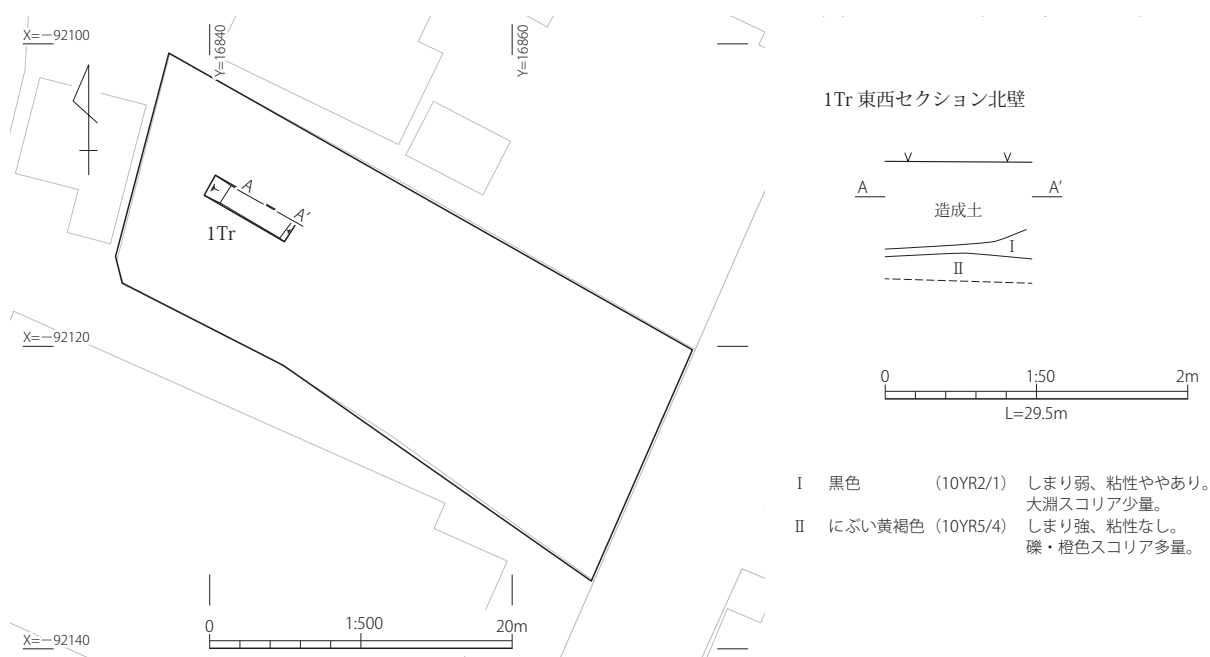
調査の原因 不動産売買

調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ(1Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 旧表土は残存するものの、遺構・遺物は検出されなかった。敷地内には埋蔵文化財は残存しないと結論付けられる。



第68図 舟久保遺跡第78地区 位置図



第69図 舟久保遺跡第78地区 トレンチ配置図、セクション図

## 30. 善得寺城跡・東泉院跡

第10地区 1次調査・2次調査

所在地 今泉八丁目 1370-6 外

調査面積 1次: 4,438 m<sup>2</sup> 2次: 7,525 m<sup>2</sup>  
(対象面積 494.66 m<sup>2</sup>)

調査期間 1次: 令和5年9月11日

2次: 令和5年10月23日～10月25日

調査の原因 個人住宅建設



第70図 善得寺城跡・東泉院跡第10地区 位置図

**調査の概要** 1次調査で敷地南寄りに1箇所(1Tr)、2次調査で敷地北寄りに1箇所(2Tr)のトレンチを設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

**調査の結果** 遺構は確認されなかった。

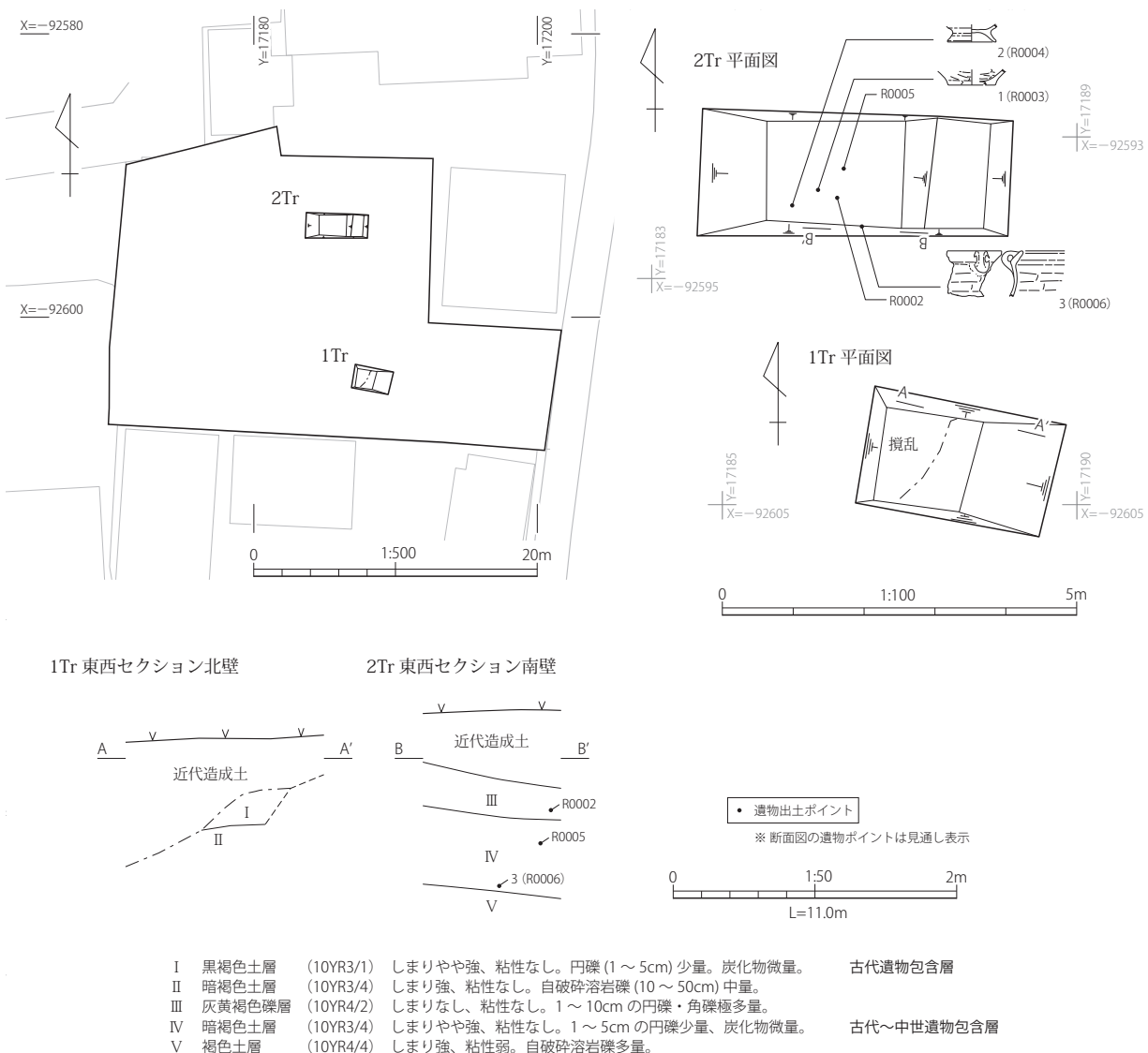
1Trでは地表下0.4mにおいて、奈良・平安時代とみられる遺物包含層(I層)を検出した。ただし、トレンチ北西部分に現在の宅地造成時に行われた大規模な攪乱痕が認められることから、敷地内の限られた範囲にだけI層が遺存する可能性もある。

2Trでは地表下0.75mにおいて、平安時代～中世の土器を含む遺物包含層(II層)を検出した。

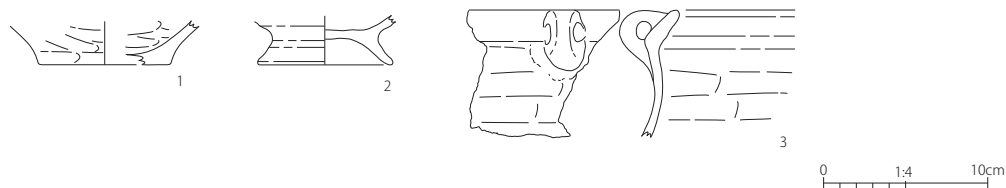
出土した土器のうち、土師器の内耳埴(第72図3)は中世後期に遠江や西三河で多くみられる「くの字

形」のものであり、富士市域では極めて希少な器種である。今川氏親の命で東泉坊が日吉宮(現日吉浅間神社)の造営を始めたのが15世紀末～16世紀初頭とみられており、今回の成果が当該地周辺の隆盛の一端を示す資料となる可能性がある。

第72図1は弥生土器の壺である。胴部は内外面ともにナデ調整で、底部外面に木葉痕を残す。2は土師器の高台埴である。高脚でハの字状に開く高台から、富士Ⅷ(10世紀後半から11世紀)頃とみられる。



第71図 善得寺城跡・東泉院跡第10地区 トレンチ配置図、トレンチ平面図、セクション図



第 72 図 善得寺城跡・東泉院跡第 10 地区 出土遺物実測図

第 6 表 善得寺城跡・東泉院跡第 10 地区 出土遺物観察表

| 報告<br>番号 | 挿図<br>番号 | 写真<br>図版 | R 番号(PC 点)<br>R 番号(一括) | 出土<br>場所 | 種別   | 細別  | 時代   | 法量 (cm) |              |       | 焼成 | 残存<br>率 | 内面色調          | 外面色調         |
|----------|----------|----------|------------------------|----------|------|-----|------|---------|--------------|-------|----|---------|---------------|--------------|
|          |          |          |                        |          |      |     |      | 口径      | 底径           | 器高    |    |         |               |              |
| 1        | 第 72 図   | -        | 0003                   | 2Tr      | 弥生土器 | 壺   | 弥生   | -       | [8.0]        | (2.7) | 良好 | 20%     | 7.5YR7/6 橙    | 7.5YR7/6 橙   |
| 2        | 第 72 図   | PL.12    | 0004                   | 2Tr      | 土師器  | 高台埴 | 平安   | -       | 高台径<br>[8.0] | (3.0) | 良好 | 45%     | 7.5YR8/4 浅黄橙  | 7.5YR8/4 浅黄橙 |
| 3        | 第 72 図   | PL.12    | 0006                   | 2Tr      | 土師器  | 内耳埴 | 中世後期 | -       | -            | (7.8) | 良好 | -       | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 7.5YR4/1 褐灰  |

### 31. 沖田遺跡 第 171 次調査地点 1 次調査

所在地 今泉 495-3 外

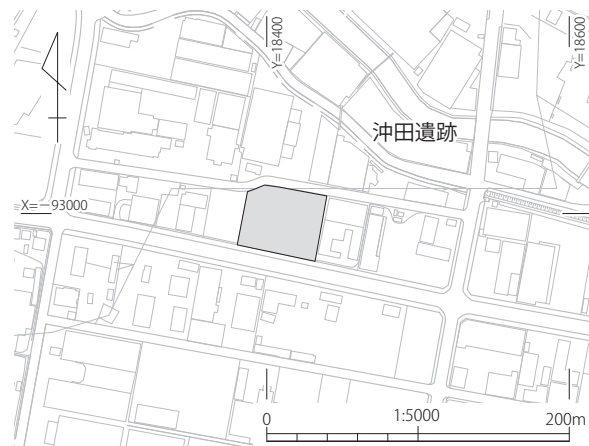
調査面積 5,490 m<sup>2</sup> (対象面積 2,167.38 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和 5 年 11 月 13 日

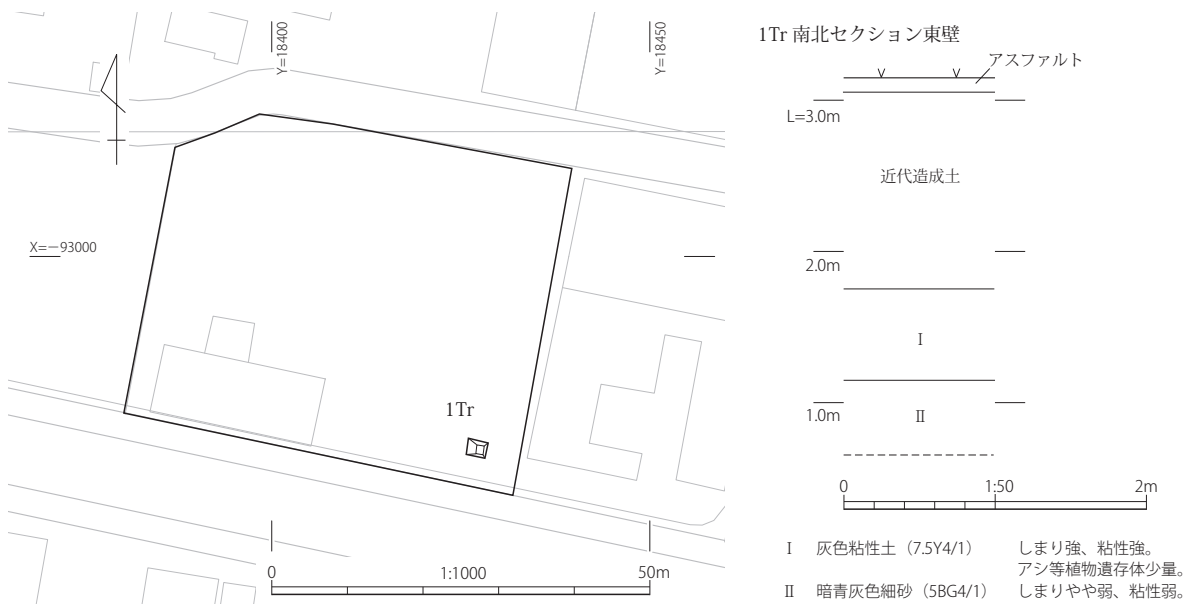
調査の原因 営業所建設

調査の概要 敷地内に 1 箇所のトレンチ (1Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 地表下約 1.4 m 以下において低湿地性の粘土や砂層を検出し、地表下 2.5 m 前後まで掘削したものの、遺構や遺物は発見されなかった。



第 73 図 沖田遺跡第 171 次調査地点 位置図



第 74 図 沖田遺跡第 171 次調査地点 トレンチ配置図、セクション図



### 32. 国久保遺跡 第6地区 2次調査

所在地 国久保一丁目 2120-6 外

調査面積 17.958 m<sup>2</sup> (対象面積 561.45 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年9月14日

調査の原因 不動産売買

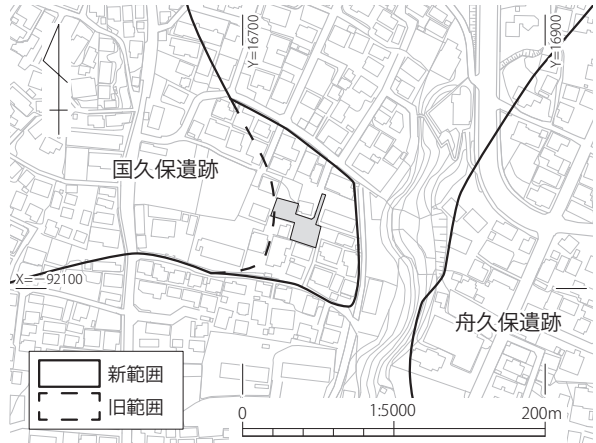
調査の概要 調査地は西側の一部分が国久保遺跡の範囲に含まれている。平成29年度に1次調査を実施しており、奈良・平安時代とみられる土坑と少量の土師器・須恵器が出土している。

敷地東側に1箇所のトレンチ(2Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

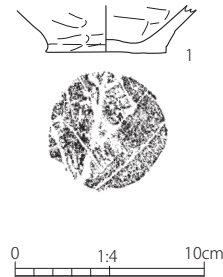
調査の結果 1次調査同様、地表下1.9mにおいて、奈良・平安時代の竪穴建物(SB2001)とピット(Pit2001)を検出し、奈良・平安時代の土器が出土した。敷地内においても多量の土器片が散布することから、敷地内やその周辺に古代の集落が広がっていた可能性が高い。

SB2001 出土の土師器長胴甕(甕F)の底部を図示した(第76図1)。胴部外面はナデ調整、内面は胴部から底部までヘラナデ調整する。底部外面には、葉を2枚重ねた様子の木葉痕が残る。富士VI(9世紀後葉から10世紀初頭ごろ)に位置づけられる。

調査結果を受けて、令和5年10月、国久保遺跡の包蔵地範囲の変更(追加)を行った。



第75図 国久保遺跡第6地区 位置図

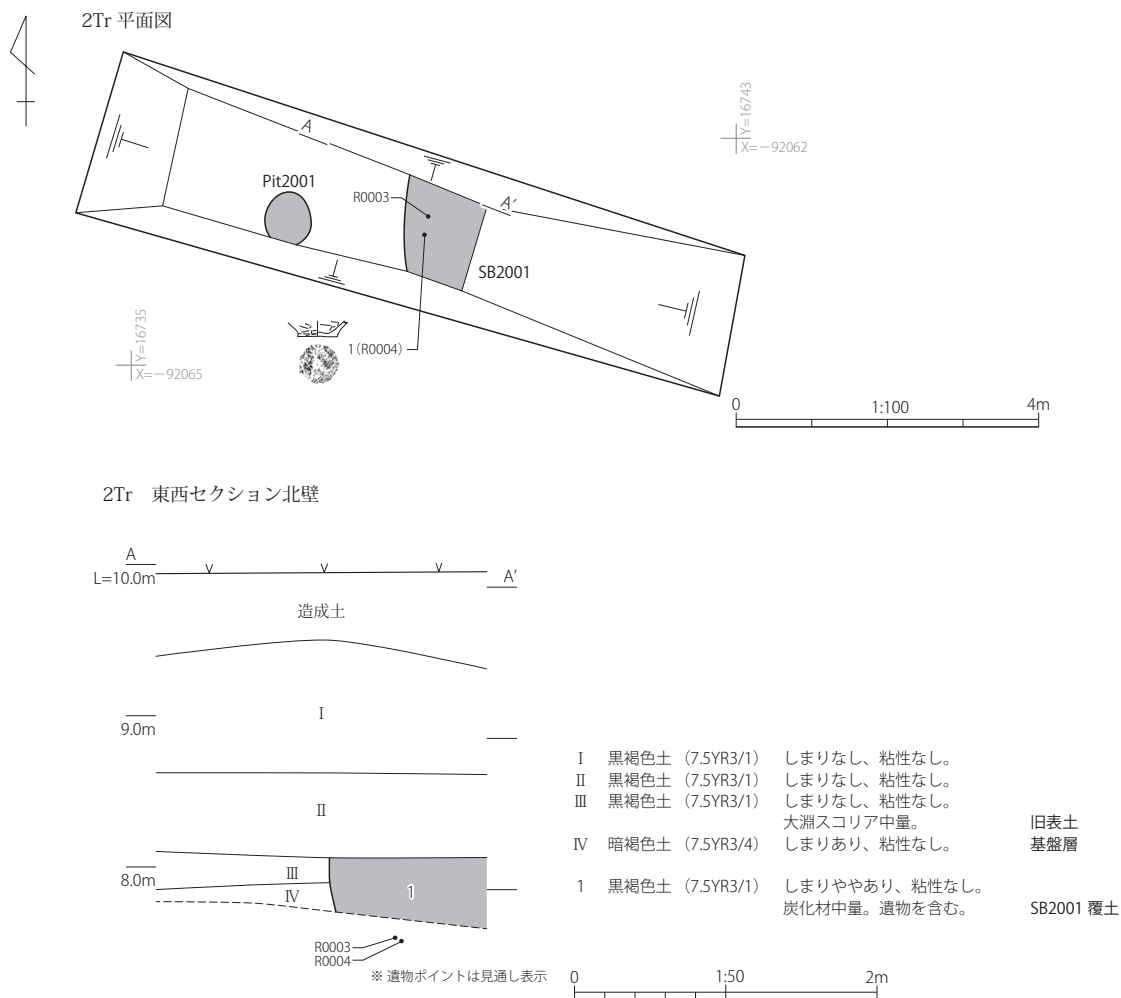


第76図 国久保遺跡第6地区 出土遺物実測図



第77図 国久保遺跡第6地区 トレンチ配置図





第 78 図 国久保遺跡第 6 地区 トレンチ平面図、セクション図

第 7 表 国久保遺跡第 6 地区 出土遺物観察表

| 報告<br>番号 | 挿図<br>番号 | 写真<br>図版 | R 番号 (PC 点)<br>R 番号 (一括) | 出土<br>場所   | 種別  | 細別 | 時代 | 法量 (cm) |     |       | 焼成 | 残存<br>率 | 内面色調     | 外面色調       | 備考 |
|----------|----------|----------|--------------------------|------------|-----|----|----|---------|-----|-------|----|---------|----------|------------|----|
|          |          |          |                          |            |     |    |    | 口径      | 底径  | 器高    |    |         |          |            |    |
| 1        | 第 76 図   | PL.13    | 0004                     | 2Tr SB2001 | 土師器 | 甕  | 平安 | —       | 6.3 | (2.2) | 良好 | 60%     | 5YR6/6 橙 | 5YR5/6 明赤褐 |    |

### 33. 包蔵地外 中野遺跡隣接地 (第 2 地区 1 次調査)

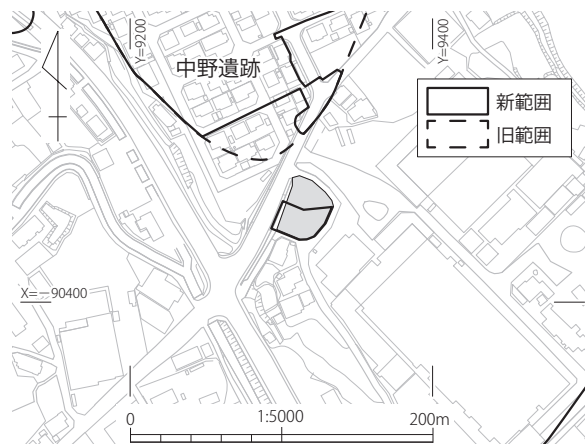
所在地 南松野 2465-1

調査面積 56.347 m<sup>2</sup> (対象面積 784 m<sup>2</sup>)

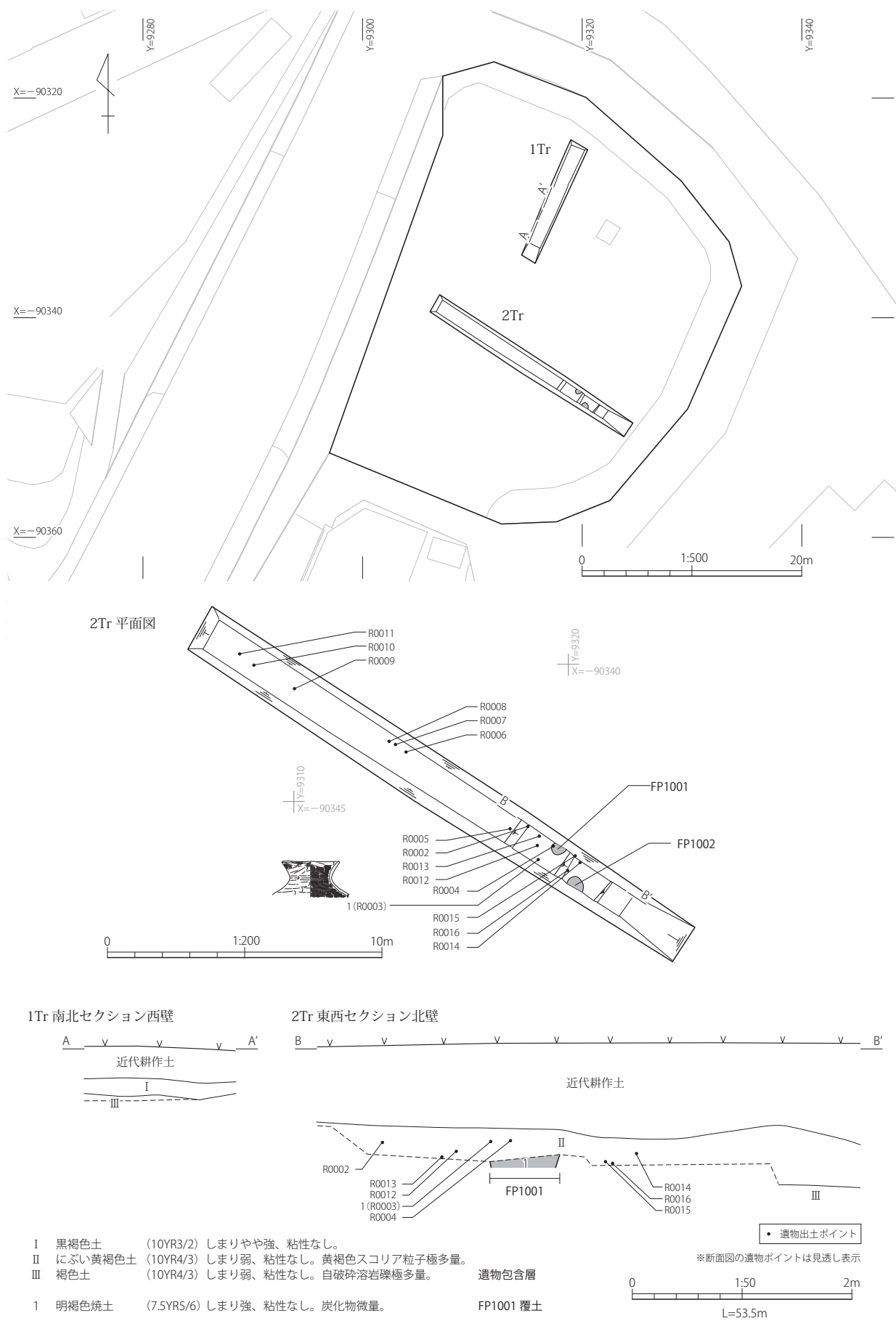
調査期間 令和 5 年 11 月 1 日

調査の原因 不動産売買

調査の概要 敷地内に 2 箇所のトレンチ (1 ~ 2Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。



第 79 図 中野遺跡第 2 地区 位置図



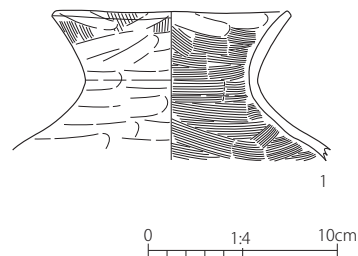
第 80 図 中野遺跡第 2 地区 トレンチ配置図、トレンチ平面図、セクション図

**調査の結果** 敷地南側に設定した2Trの地表下0.7mにおいて、弥生時代の土器を含む遺物包含層（Ⅲ層）を確認し、包含層中には同時期とみられる炉（FP）を2基検出した。

一方、北側に設定した1Tr周辺では地表下0.1m程度で溶岩が検出できることから、遺構や遺物は存在しないものと判断できる。

第81図1は2Tr出土の弥生土器壺である。内面は細かいヨコハケ目調整後、口縁部近くをナデている。外面は粗いタテハケ目調整後、全体をヨコナデしている。ハケ目の溝などにわずかに赤彩が残存している。

今回の調査結果および過去の調査結果を踏まえて、令和5年12月、中野遺跡の包蔵地範囲の追加および滅失をおこなった。



第81図 中野遺跡第2地区 出土遺物実測図

第8表 中野遺跡第2地区 出土遺物観察表

| 報告<br>番号 | 挿図<br>番号 | 写真<br>図版 | R 番号(PC 点)<br>R 番号(一括) | 出土<br>場所 | 種別   | 細別 | 時代 | 法量 (cm) |    |       | 焼成 | 残存<br>率 | 内面色調       | 外面色調       | 備考 |
|----------|----------|----------|------------------------|----------|------|----|----|---------|----|-------|----|---------|------------|------------|----|
|          |          |          |                        |          |      |    |    | 口径      | 底径 | 器高    |    |         |            |            |    |
| 1        | 第81図     | PL.14    | 0003                   | 2Tr      | 弥生土器 | 壺  | 弥生 | [12.2]  | —  | (7.9) | 良好 | -       | 5YR5/6 明赤褐 | 5YR5/6 明赤褐 |    |

#### 34. 花守遺跡 第10地区1次調査

**所在地** 富士岡 225-1 外

**調査面積** 18.036 m<sup>2</sup> (対象面積 496.37 m<sup>2</sup>)

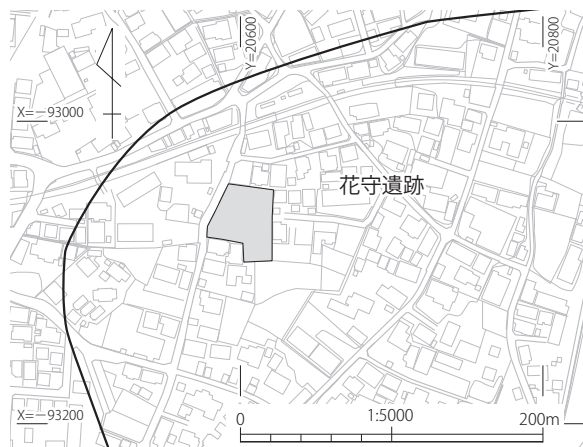
**調査期間** 令和5年10月10日

**調査の原因** 集合住宅建設

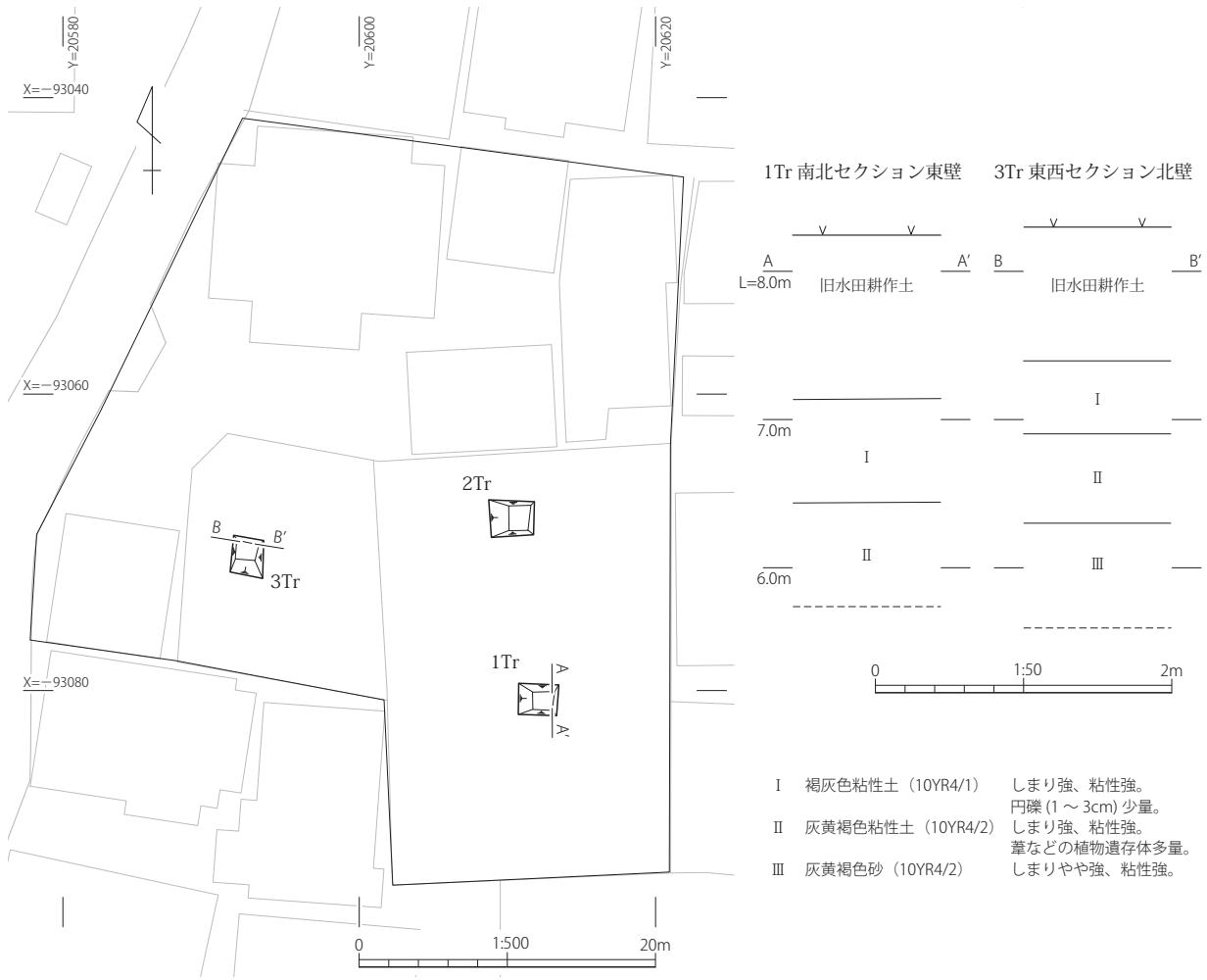
**調査の概要** 敷地内に3箇所のトレンチ（1～3Tr）を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

**調査の結果** 地表下約1.0 m以下において低湿地性の粘土や砂層を検出し、地表下2.7 m前後まで掘削したものの、遺構や遺物は発見されなかった。

敷地一帯は地下の湧水量が非常に多く、砂交じりの粘土層が厚く堆積することから、赤淵川の氾濫原に相当すると考えられる。したがって、古代以前には居住に適さない土地であったと判断できる。



第82図 花守遺跡第10地区 位置図



第 83 図 花守遺跡第 10 地区 トレンチ配置図、セクション図

### 35. 東平遺跡 第 160 地区 1 次調査

所在地 伝法 2452-1 外

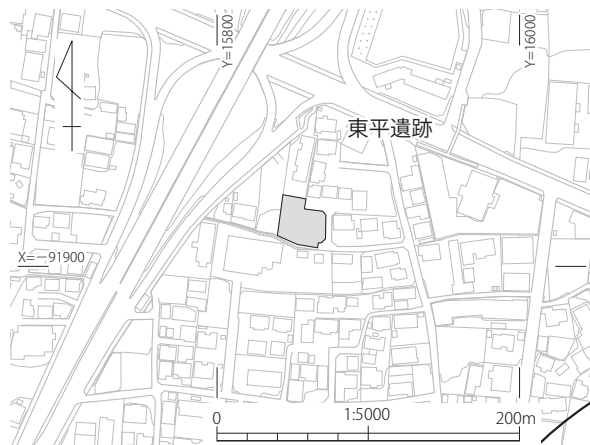
調査面積 84.650 m<sup>2</sup> (対象面積 775.16 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和 5 年 10 月 10 日～10 月 11 日

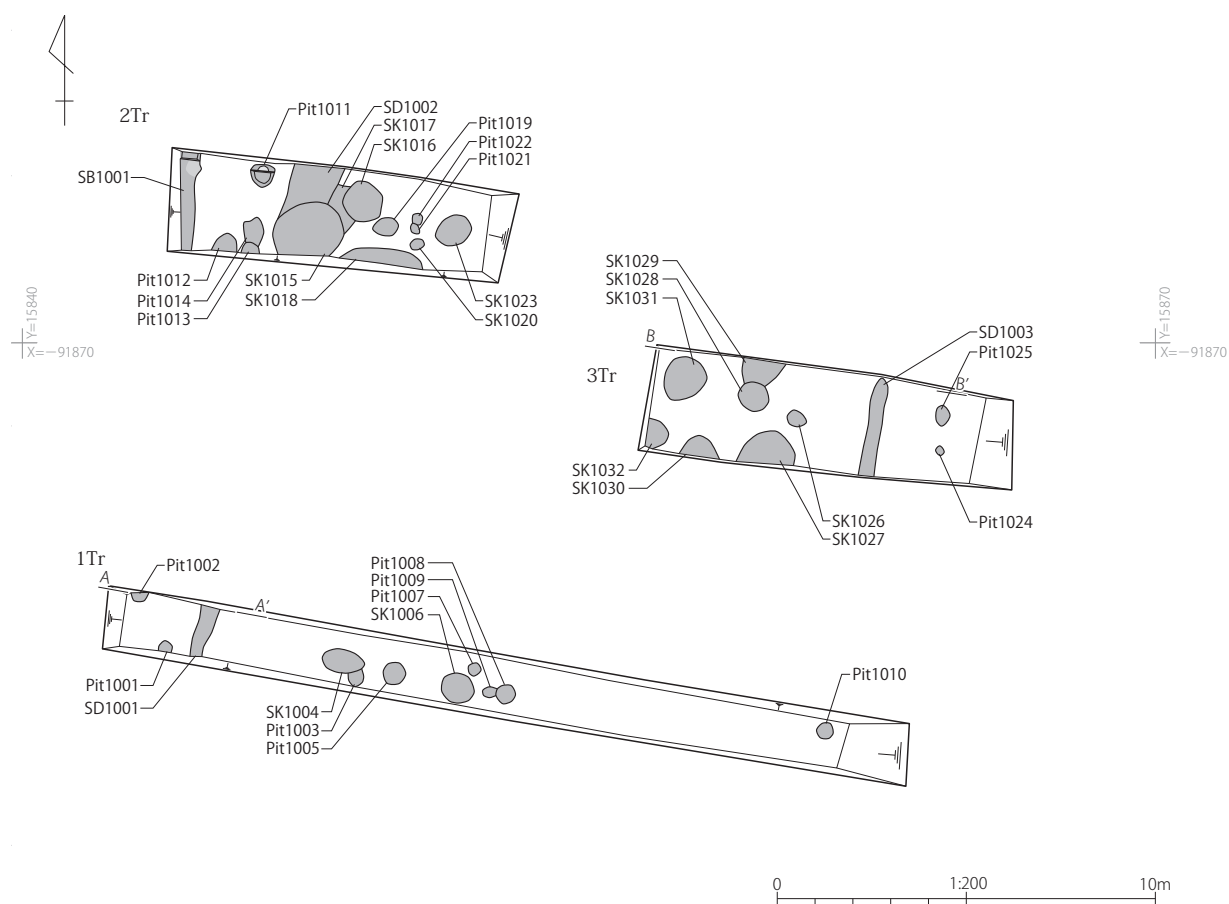
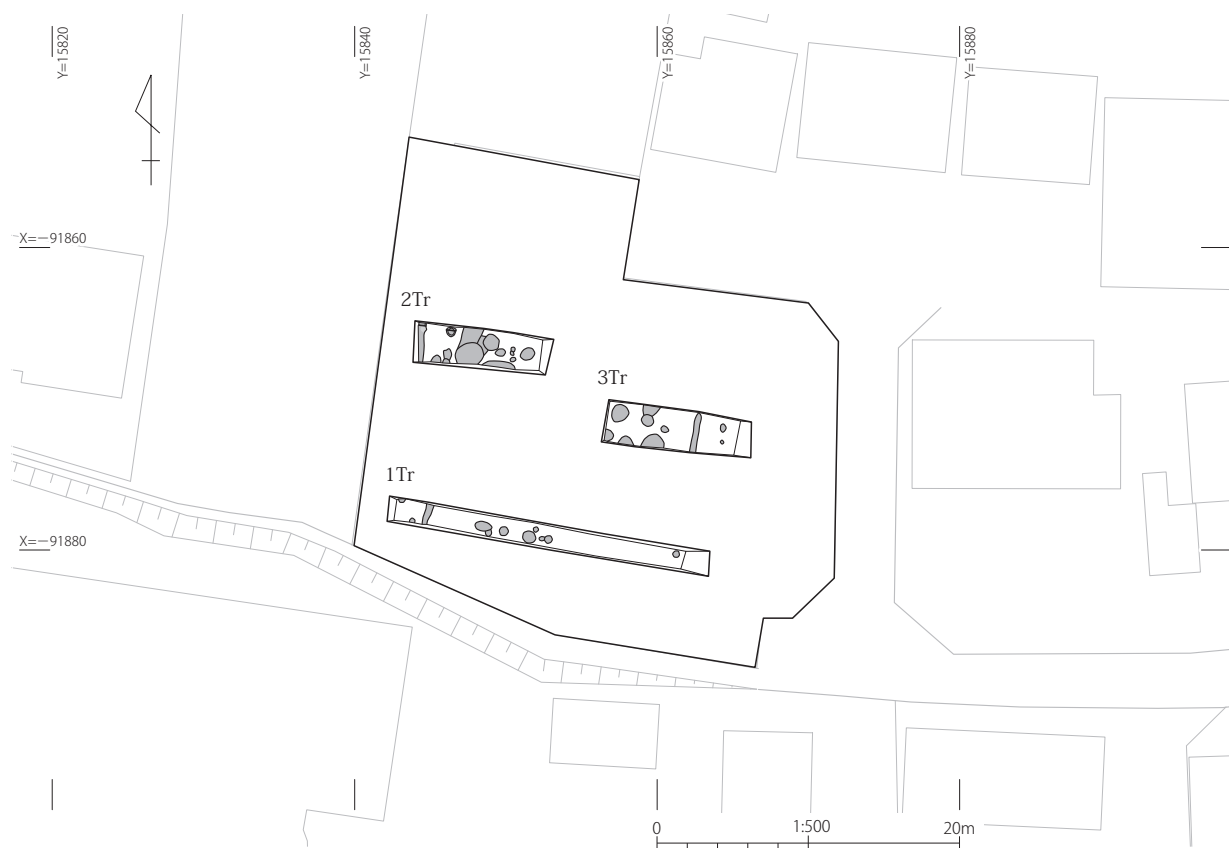
調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 敷地内に 3 箇所のトレンチ (1～3Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

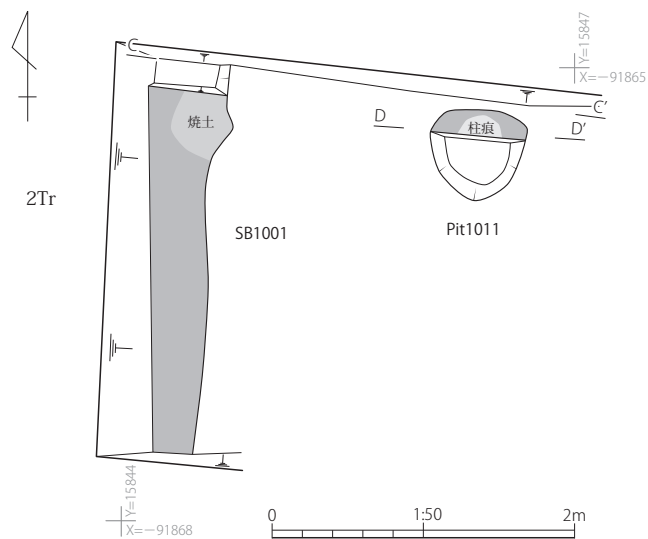
調査の結果 奈良時代から平安時代と考えられる竪穴建物・土坑・ピットが検出され、土器・陶磁器・金属製品が出土した。周辺の調査例からも、当該地帯には、奈良時代から平安時代にかけての竪穴建物や掘立柱建物が、濃密に展開していると考えられる。



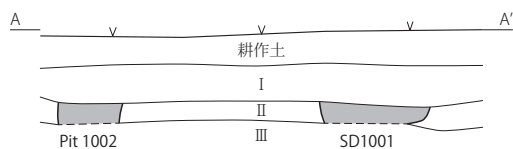
第 84 図 東平遺跡第 160 地区 位置図



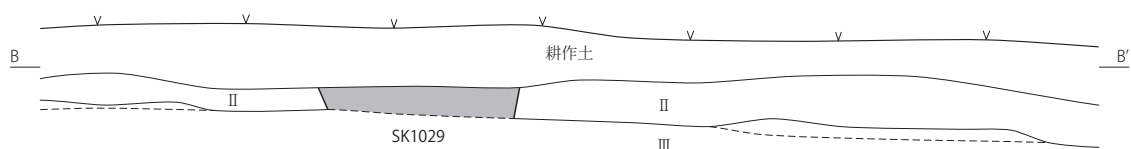
第 85 図 東平遺跡第 160 地区 トレンチ配置図、トレンチ平面図



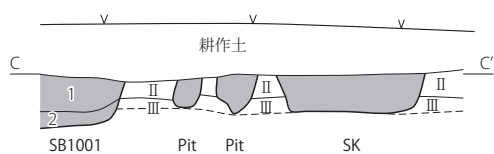
1Tr 東西セクション北壁



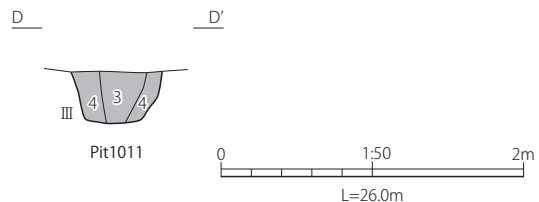
3Tr 東西セクション北壁



2Tr 東西セクション北壁



2Tr Pit1011 東西セクション北壁



- |                   |                                      |            |
|-------------------|--------------------------------------|------------|
| I 黒褐色土 (10YR3/1)  | しまりなし、粘性なし。石 (径 10～20cm 大) 中量。       | 堆積土        |
| II 黒褐色土 (10YR3/1) | しまりややあり、粘性なし。大淵スコリア (径 5～10mm) 中量。   | 旧表土        |
| III 暗褐色 (10YR3/3) | しまりあり、粘性なし。                          | 基盤層        |
| 1 黒褐色土 (10YR3/1)  | しまりややあり、粘性なし。大淵スコリア中量。               | SB1001 覆土  |
| 2 黒褐色土 (10YR3/1)  | しまりややあり、粘性なし。焼土・大淵スコリア少量。            | SB1001 覆土  |
| 3 黒褐色土 (10YR3/1)  | しまりややあり、粘性ややあり。大淵スコリア (径 5～10mm) 中量。 | Pit1011 柱痕 |
| 4 黒褐色土 (10YR3/1)  | しまりややあり、粘性ややあり。大淵スコリア中量。             | Pit1011 覆土 |

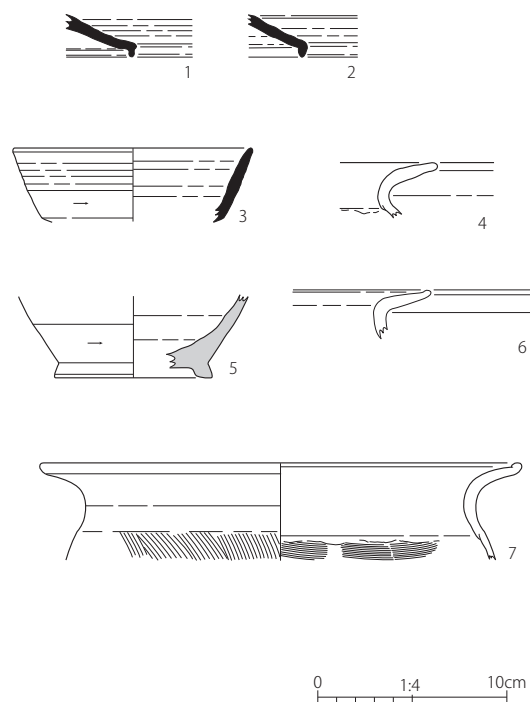
第 86 図 東平遺跡第 160 地区 2Tr 遺構平面図、セクション図

出土した遺物から7点を図示した（第87図）。

1・2は須恵器の坏蓋で2は天井部に回転ケズリが認められる。3の須恵器は箱形の有台坏身とみられる。体部下半を回転ヘラケズリしている。4は遠江系水平口縁甕（甕E）の口縁部である。1から4は2Tr SB1001から出土したもので、2・4はカマドからの出土である。

5は灰釉陶器の壺とみられる。体部外面に施釉が認められ、下半が回転ヘラケズリされる。底部内面にも釉が付着している。6・7は遠江系水平口縁甕（甕E）の口縁部である。7は口縁端部が玉縁状を呈する。5～7は2Tr Pit1011から出土した。

1～4・6・7は富士Ⅱ～Ⅲ（8世紀中葉～9世紀初頭）、5は9～10世紀代のものとみられる。



第87図 東平遺跡第160地区 出土遺物実測図

第9表 東平遺跡第160地区 出土遺物観察表

| 報告<br>番号 | 挿図<br>番号 | 写真<br>図版 | R 番号(PC 点)<br>R 番号(一括) | 出土<br>場所          | 種別<br>細別   | 時代 | 法量 (cm) |              |        | 焼成 | 残存<br>率 | 内面色調<br>外面色調                   | 備考           |
|----------|----------|----------|------------------------|-------------------|------------|----|---------|--------------|--------|----|---------|--------------------------------|--------------|
|          |          |          |                        |                   |            |    | 口径      | 底径           | 器高     |    |         |                                |              |
| 1        | 第87図     | -        | 0002                   | 2Tr<br>SB1001     | 須恵器<br>蓋   |    | [13.2]  | —            | (2.2)  | 良好 | 20%     | 2.5Y5/1 黄灰<br>2.5Y5/1 黄灰       |              |
| 2        | 第87図     | -        | 0008                   | 2Tr<br>SB1001 カマド | 須恵器<br>蓋   |    | —       | —            | (2.25) | 良好 | —       | 2.5Y6/1 黄灰<br>2.5Y6/1 黄灰       |              |
| 3        | 第87図     | PL.15    | 0002                   | 2Tr<br>SB1001     | 須恵器<br>坏   |    | [12.5]  | —            | (3.9)  | 良好 | 20%     | 2.5Y6/2 黄灰<br>2.5Y6/2 黄灰       |              |
| 4        | 第87図     | -        | 0008                   | 2Tr<br>SB1001 カマド | 土師器<br>甕   |    | —       | —            | (2.9)  | 良好 | —       | 10YR7/3 にぶい黄橙<br>10YR8/3 浅黄橙   | 遠江系<br>水平口縁甕 |
| 5        | 第87図     | PL.15    | 0004                   | 2Tr<br>Pit1011    | 灰釉陶器<br>壺? |    | —       | 高台径<br>[8.2] | (4.4)  | 良好 | 30%     | 2.5Y7/1 灰白<br>2.5Y7/2 灰黄       |              |
| 6        | 第87図     | -        | 0004                   | 2Tr<br>Pit1011    | 土師器<br>甕   |    | —       | —            | (2.6)  | 良好 | —       | 10YR6/3 にぶい黄橙<br>7.5YR7/4 にぶい橙 | 遠江系<br>水平口縁甕 |
| 7        | 第87図     | PL.15    | 0004                   | 2Tr<br>Pit1011    | 土師器<br>甕   |    | [25.7]  | —            | (5.2)  | 良好 | 20%     | 5YR6/6 橙<br>5YR6/6 橙           | 遠江系<br>水平口縁甕 |



### 36. 祢宜ノ前遺跡 第8地区 1次調査

所在地 比奈 1619

調査面積 3.203 m<sup>2</sup> (対象面積 496.37 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年10月5日

調査の原因 個人住宅建設

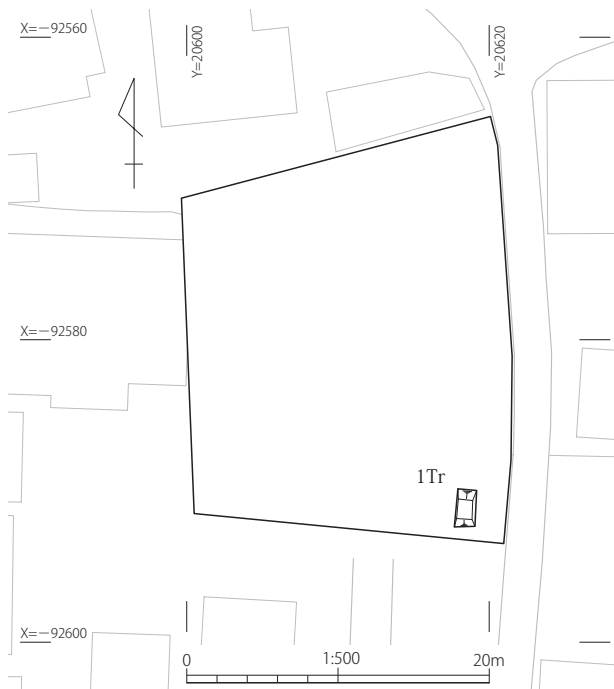
調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ (1Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 地表下0.2 m以下において旧赤淵川河床とみられる砂礫層を検出し、地表下1.2 mの湧水層まで掘削したものの、遺構や遺物は発見されなかった。

過去の調査例から、祢宜ノ前遺跡の集落が溶岩台地上やその末端部に展開することを勘案するならば、赤淵川の河床砂礫層が広がる当該地周辺には遺跡は存在しないものと判断できる。

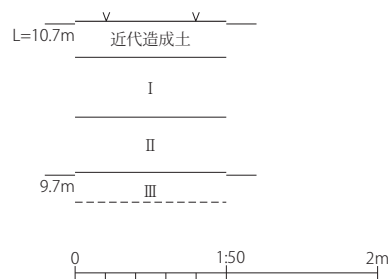


第88図 祢宜ノ前遺跡第8地区 位置図



第89図 祢宜ノ前遺跡第8地区 トレンチ配置図、セクション図

#### 1Tr 南北セクション東壁 柱状図



- |     |                   |  |
|-----|-------------------|--|
| I   | 黒褐色砂礫層 (10YR3/2)  | しまり弱、粘性なし。<br>円礫 (1～20cm) 極多量。<br>赤淵川起源の砂礫層    |
| II  | 暗褐色砂礫層 (10YR3/3)  | しまり弱、粘性なし。<br>円礫 (1～20cm) 多量。<br>赤淵川起源の砂礫層     |
| III | 灰黄褐色砂礫層 (10YR4/2) | しまり弱、粘性なし。<br>円礫 (1～10cm) 中量。湧水層。<br>赤淵川起源の砂礫層 |

### 37. 東平遺跡 第161地区 1次調査

所在地 伝法 2542-3

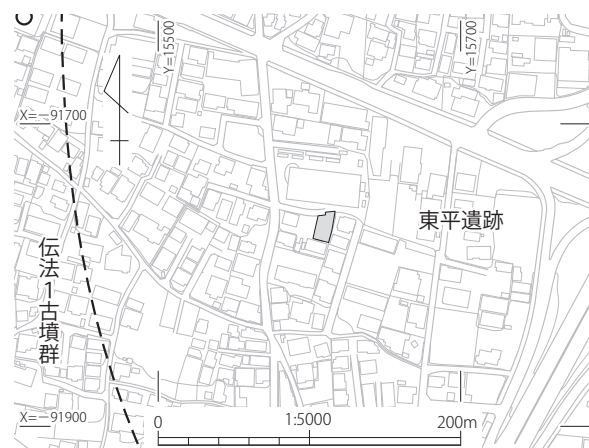
調査面積 15.046 m<sup>2</sup> (対象面積 157.28 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年11月6日

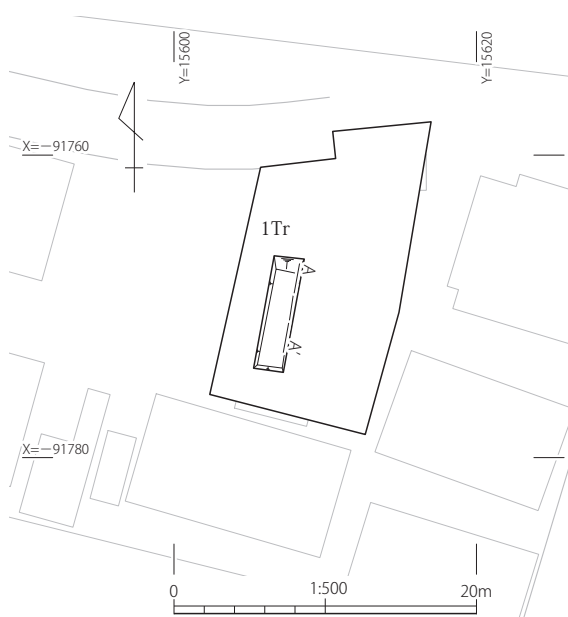
調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ (1Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 遺構・遺物は検出されなかった。そのため、当該地は埋蔵文化財が希薄なエリアと考えられる。

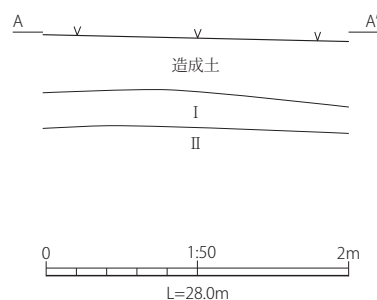


第90図 東平遺跡第161地区 位置図



第91図 東平遺跡第161地区 トレンチ配置図、セクション図

1Tr 南北セクション東壁



- I 黒色土 (7.5YR2/1) しまりややあり、粘性なし。赤色粒子を中量含む。  
旧耕作土
- II 黒褐色土 (7.5YR3/1) しまりあり、粘性なし。  
地山

### 38. 東下天間古墳群 第1地区 1次調査

所在地 天間 1408-4 外

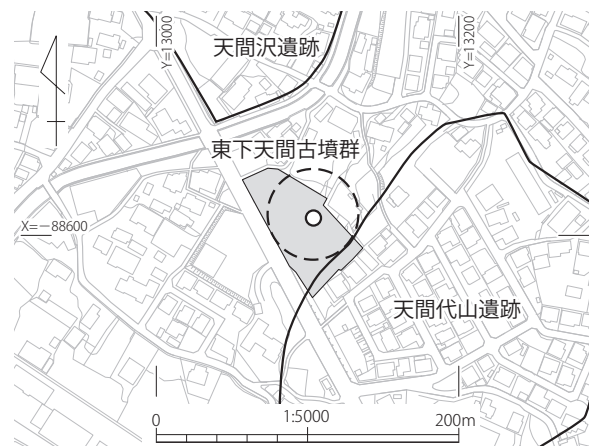
調査面積 74.149 m<sup>2</sup> (対象面積 3,104.29 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年11月7日～11月8日

調査の原因 店舗建設

調査の概要 東下天間古墳群は1基の消滅古墳 (東下天間古墳) によって構成される。『鷹岡町史』(富士市 1984) によれば、昭和15年に古墳が発掘され、直刀・金環・切子玉・管玉が出土したと伝わる。

敷地内に12箇所のトレンチ (1～12Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。



第92図 東下天間古墳群第1地区 位置図

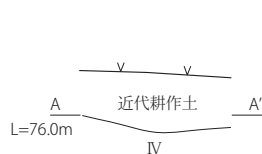
**調査の結果** 斜面低位部の10～12Trでは古代以前の土層が良好に遺存しており、11Trの地表下1.6m（Ⅲ層）において僅かに縄文土器片が発見されたものの、遺物包含層を形成しているとは判断できず、

遺構の存在も確認できなかった。北側から流れ込んだ遺物の可能性が高い。南東側の斜面部分ではいずれも基盤層が浅く検出され、古墳の痕跡はおろか、遺物も全く見られなかった。

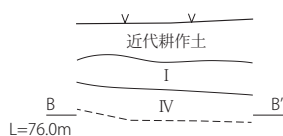


第93図 東下天間古墳群第1地区 トレンチ配置図

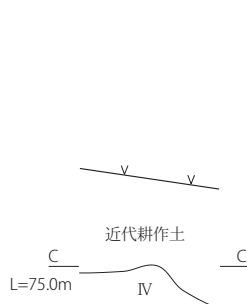
1Tr 南北セクション東壁



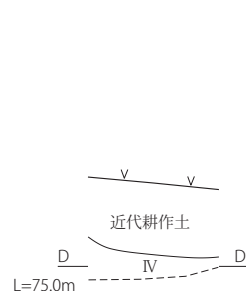
2Tr 南北セクション東壁



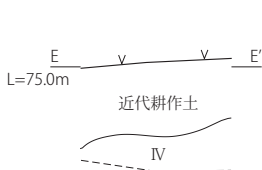
3Tr 東西セクション南壁



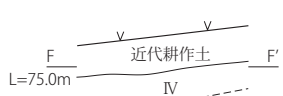
4Tr 東西セクション南壁



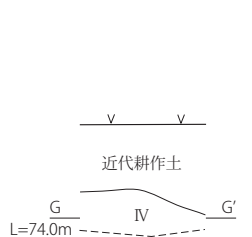
5Tr 東西セクション北壁



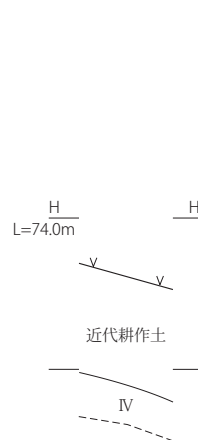
6Tr 東西セクション北壁



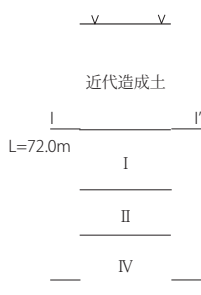
7Tr 南北セクション西壁



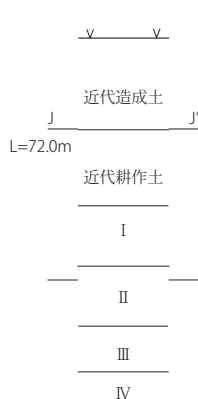
8Tr 東西セクション南壁



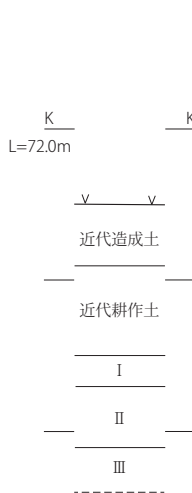
9Tr 南北セクション東壁



10Tr 東西セクション南壁



11Tr 南北セクション西壁



12Tr 東西セクション北壁



0 1:50 2m

- |     |                 |  |
|-----|-----------------|--|
| I   | 黒色土 (10YR1.7/1) | しまりやや強、粘性なし。溶岩礫 (1～5cm) 多量。橙色スコリア粒子少量。 |
| II  | 黒色土 (10YR1.7/1) | しまり強、粘性なし。橙色スコリア粒子極多量。                 |
| III | 黒褐色土 (10YR2/2)  | しまり強、粘性なし。溶岩礫 (1～20cm) 多量。             |
| IV  | 褐色土 (10YR3/4)   | しまり強、粘性なし。溶岩礫 (10～50cm) 多量。            |

縄文土器出土層

第94図 東下天間古墳群第1地区 セクション図

### 39. 天間沢遺跡 第74地区 1次調査

所在地 天間 1942-5

調査面積 5.893 m<sup>2</sup> (対象面積 731.78 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年11月2日

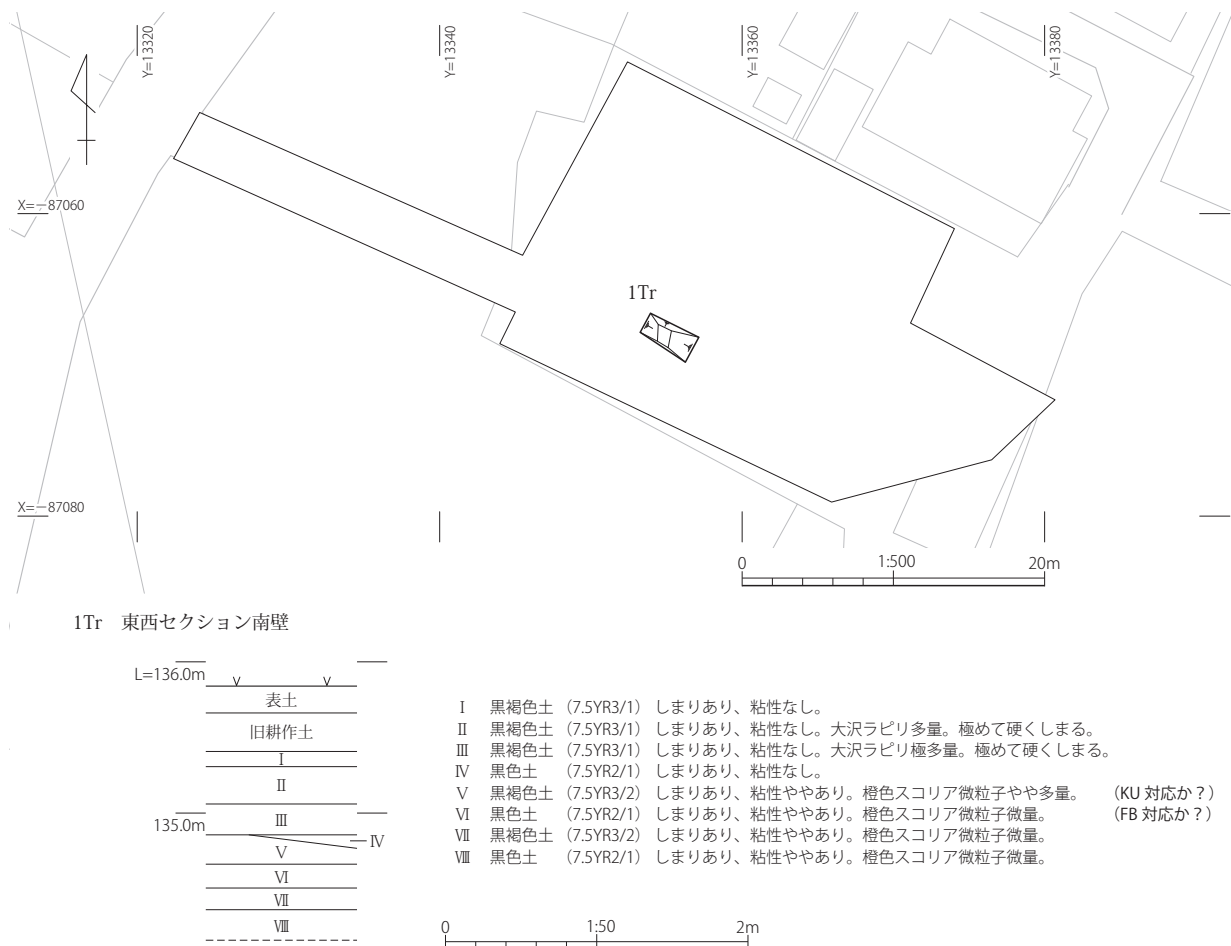
調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ(1Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 縄文時代の遺物包含層に対応する土層は良好に残存していたが、遺構・遺物は確認されなかった。そのため、当該地は埋蔵文化財が希薄なエリアと結論付けられる。



第95図 天間沢遺跡第74地区 位置図



第96図 天間沢遺跡第74地区 トレンチ配置図、セクション図

#### 40. 天間沢遺跡 第75地区 1次調査

所在地 天間 1296-6

調査面積 28,269 m<sup>2</sup> (対象面積 2,259 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年11月29日～11月30日

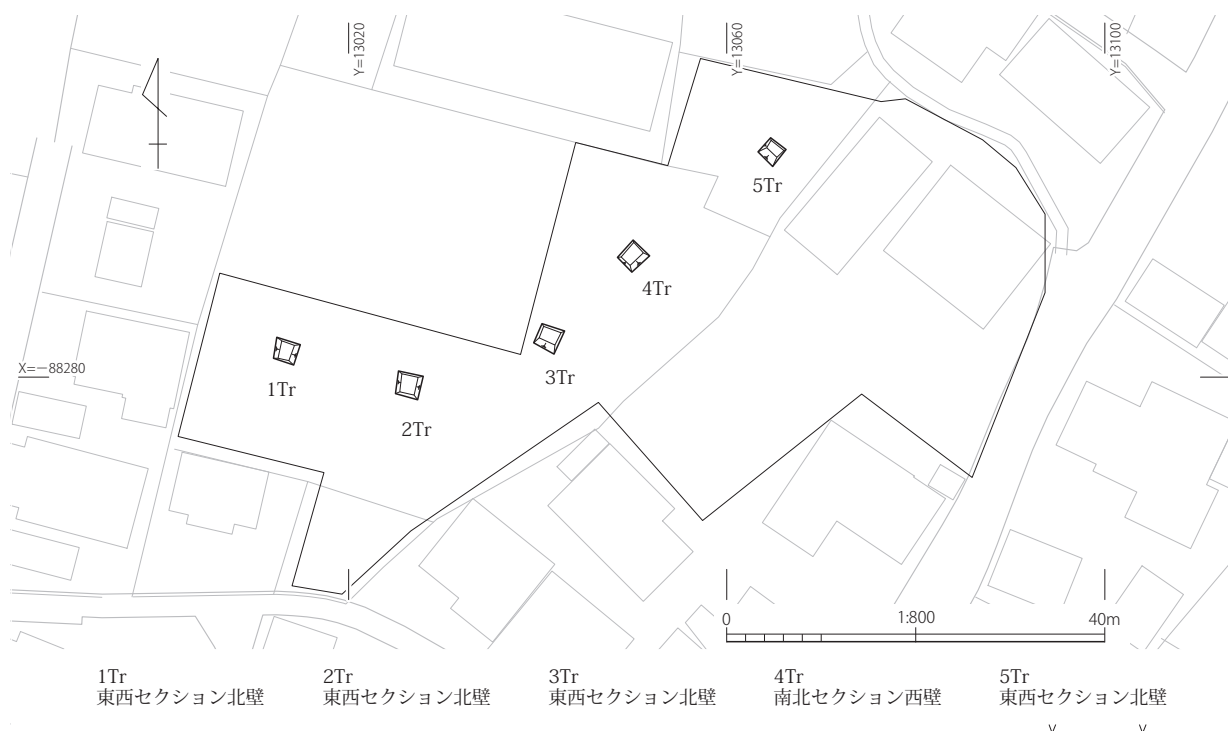
調査の原因 宅地分譲

調査の概要 敷地内に5箇所のトレンチ(1～5Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

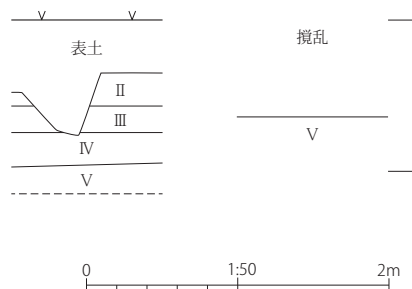
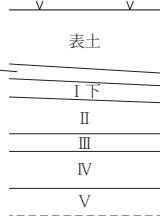
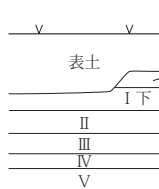
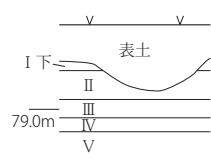
調査の結果 縄文時代の遺物包含層に対応する土層は良好に残存していたが、遺構・遺物は確認されなかった。そのため、当該地は埋蔵文化財が希薄なエリアと結論付けられる。



第97図 天間沢遺跡第75地区 位置図



L=80.0m



古墳時代前期の遺構覆土

I 大沢ラビリ層 黒褐色。緻密なスコリア粒子で極めて硬くしめる。(上・下に分層される。)

縄文時代中・後期の包含層

II 栗色土層 (KU) 黒褐色。橙色スコリア粒をやや多く、白色デフラ (カワゴ平パミス) を少量含む。しまりはやや強い。

縄文時代早・前期の包含層

III 富士黒土層 (FB) 黒色。橙色スコリア微粒子を微量含む。しまりはやや弱く、粘性が出てくる。

IV 漸移層 (Zn) 暗褐色。褐色味の強い土と黒味が強い土が混ざり合い、鮮やかな橙色のスコリア粒を少量含む。しまりはやや弱く、粘性はやや強い。

旧石器時代の包含層

V 休場層 (YL) 明褐色。全体的に赤みが強く、橙色スコリア粒をやや多く含む。しまりはやや弱く、粘性はやや強い。

第98図 天間沢遺跡第75地区 トレンチ配置図、セクション図

#### 41. 三新田遺跡 R 地区 1 次調査

所在地 田中新田 275-15 外

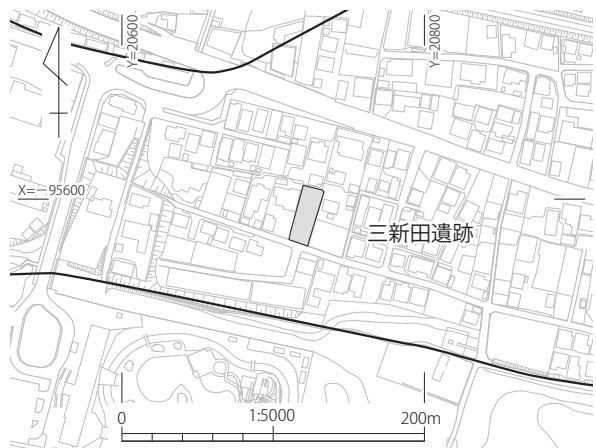
調査面積 17.691 m<sup>2</sup> (対象面積 495 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年11月20日

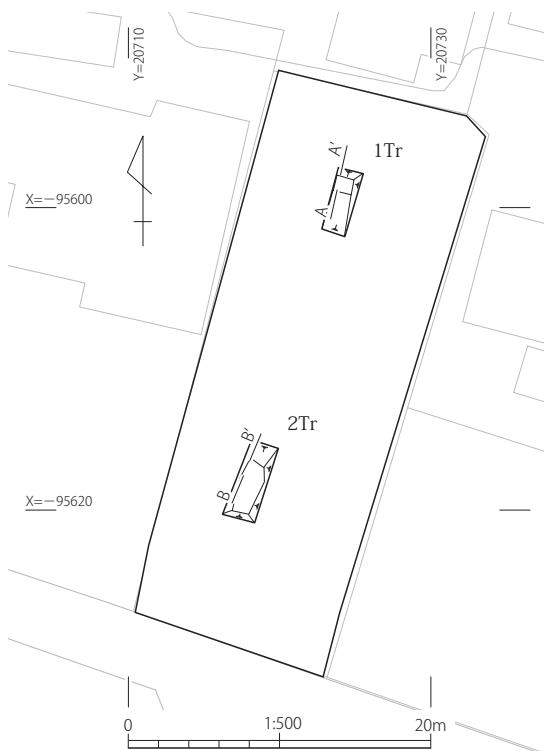
調査の原因 不動産売買

調査の概要 敷地内に2箇所のトレンチ (1～2Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

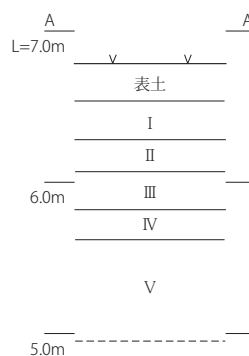
調査の結果 地表下 0.2m～1.0m において古墳時代に堆積した大淵スコリア層を検出し、その上下の層を中心に精査したものの、遺構や遺物は検出されなかった。対象地は遺跡内では田子の浦砂丘 (砂礫洲) の最高所に近く、集落が疎らなエリアに当たると考えられる。



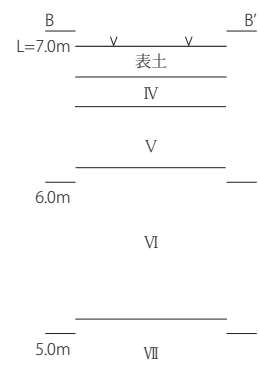
第99図 三新田遺跡 R 地区 位置図



1Tr 南北セクション西壁



2Tr 南北セクション西壁



- |     |           |            |                                  |             |
|-----|-----------|------------|----------------------------------|-------------|
| I   | 暗褐色砂層     | (7.5YR3/4) | しまりやや強、粘性なし。暗赤褐色スコリア (1～3mm) 少量。 | IV層二次堆積土    |
| II  | 灰黄褐色砂層    | (10YR5/2)  | しまり弱、粘性なし。                       |             |
| III | 褐色砂層      | (7.5YR4/3) | しまりやや強、粘性なし。暗赤褐色スコリア (1～5mm) 中量。 |             |
| IV  | 暗赤褐色スコリア層 | (5YR3/4)   | しまり強、粘性なし。暗赤褐色スコリア (5～10mm) 極多量。 | 大淵スコリア一次堆積層 |
| V   | 灰黄褐色砂層    | (10YR4/2)  | しまり弱、粘性なし。                       |             |
| VI  | にぶい黄褐色砂層  | (10YR4/3)  | しまり弱、粘性なし。                       |             |
| VII | 褐色砂層      | (7.5YR4/4) | しまりやや弱、粘性なし。                     |             |

第100図 三新田遺跡 R 地区 トレンチ配置図、セクション図



#### 42. 富士岡1古墳群 第22地区 1次調査

所在地 富士岡 1610-1

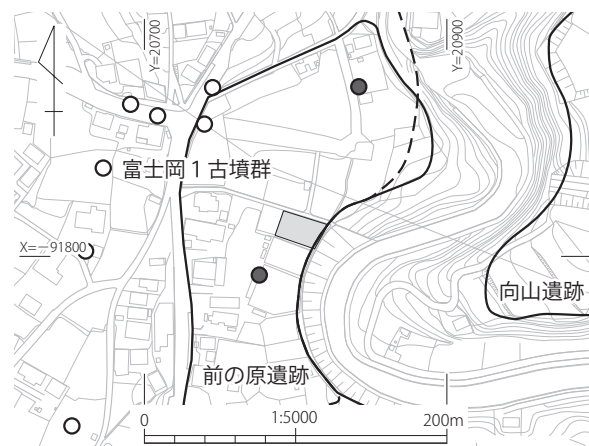
調査面積 10,337 m<sup>2</sup> (対象面積 496.44 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和5年12月25日

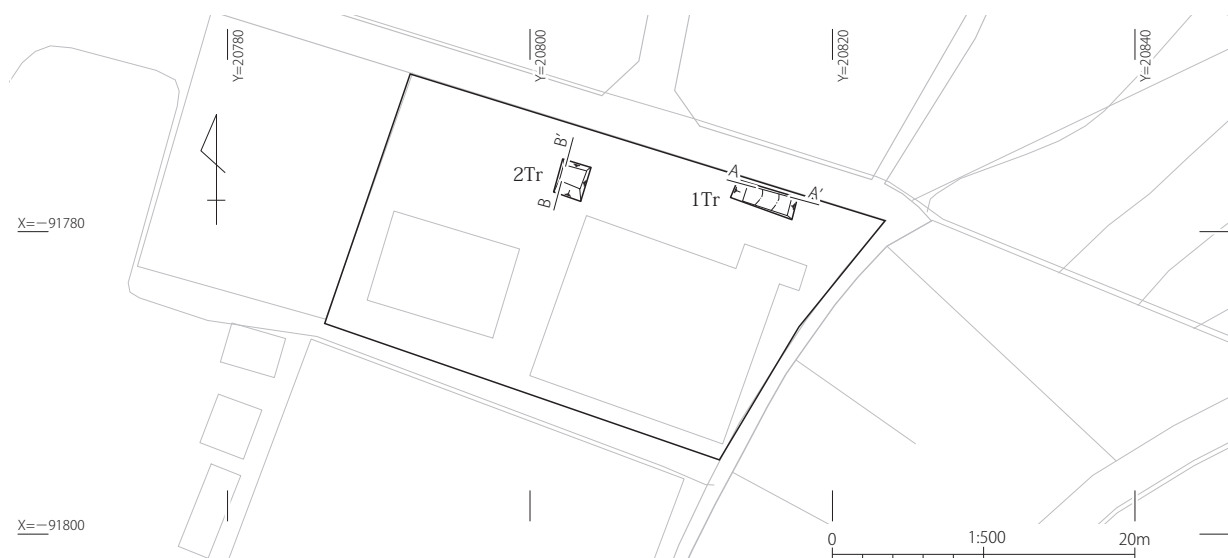
調査の原因 浄化槽設置

調査の概要 敷地内に2箇所のトレンチ (1～2Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 道路部分に近い1Trでは大規模な攪乱がみられた一方で、2Trでは自然堆積層が比較的良好に遺存する状況を確認したもの、遺構や遺物は検出されなかった。

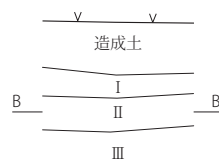
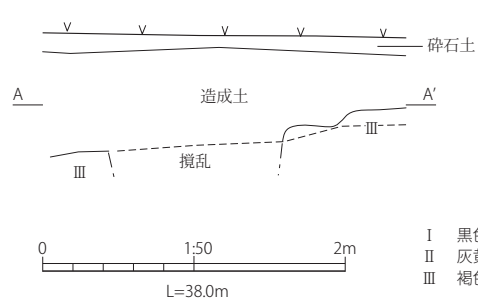


第101図 富士岡1古墳群第22地区 位置図



1Tr 東西セクション北壁

2Tr 南北セクション西壁



- I 黒色土 (10YR2/1) しまりやや強、粘性なし。黒褐色発泡スコリア (5mm) 少量。
- II 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり強、粘性弱。橙色スコリア粒子少量。
- III 褐色土 (10YR4/4) しまり強、粘性弱。橙色スコリア粒子少量。

第102図 富士岡1古墳群第22地区 トレンチ配置図、セクション図

#### 43. 厚原遺跡 第11地区 1次調査

所在地 厚原 741-1、-7

調査面積 16.134 m<sup>2</sup> (対象面積 763.41 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和6年1月11日

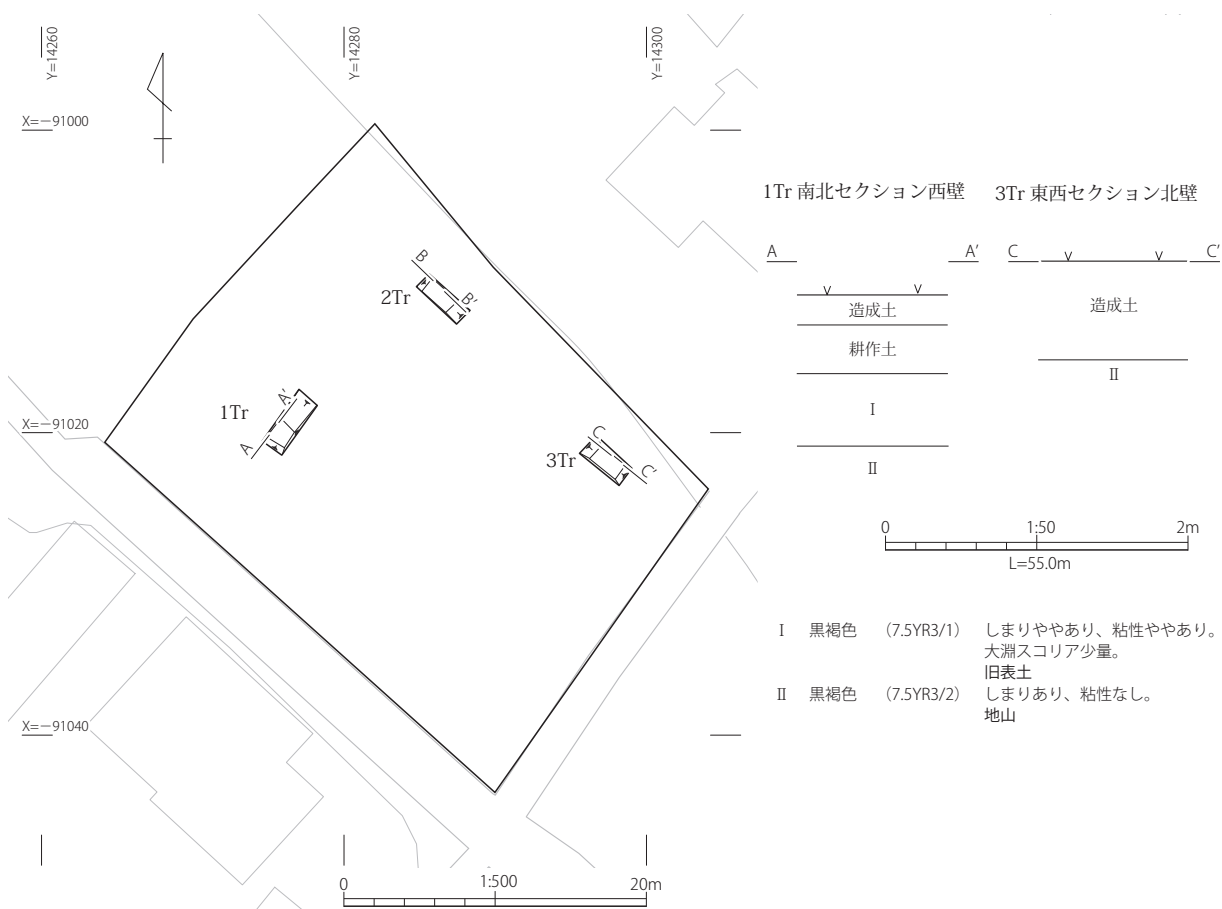
調査の原因 建売住宅建設

調査の概要 敷地内に3箇所のトレンチ (1～3Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 遺構・遺物は検出されなかった。当該地は埋蔵文化財の希薄なエリアと結論付けられる。



第103図 厚原遺跡第11地区 位置図



第104図 厚原遺跡第11地区 トレンチ配置図、セクション図

#### 44. 東平遺跡 第143地区2次調査

所在地 伝法3091-1

調査面積 10.644 m<sup>2</sup> (対象面積 361.38 m<sup>2</sup>)

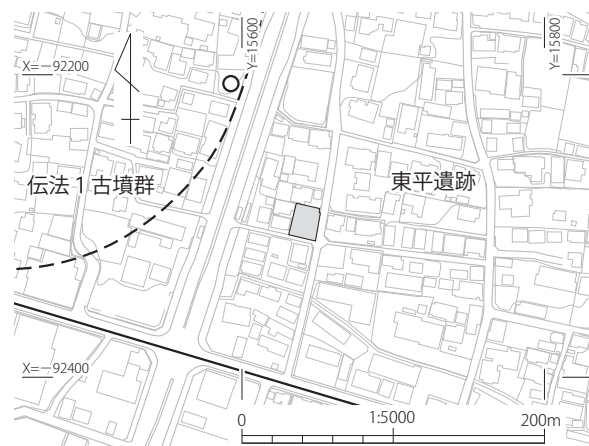
調査期間 令和6年1月11日

調査の原因 佐藤浩史による個人住宅建設

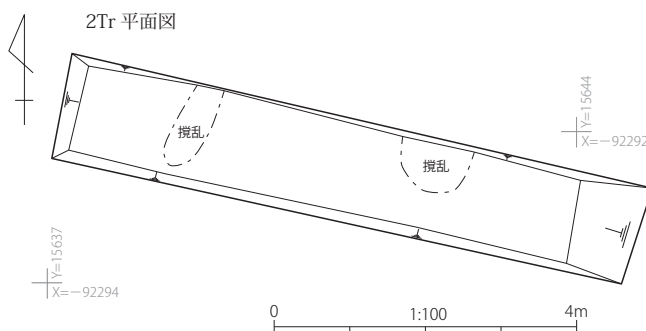
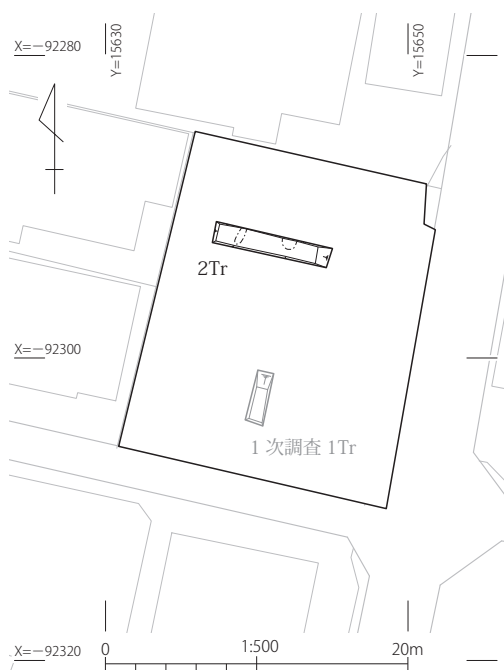
調査の概要 調査地では令和3年10月に1次調査を実施し、旧表土中から奈良時代の土器が出土している。

敷地内北寄りに1箇所のトレンチ(2Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

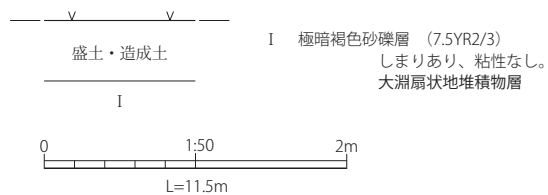
調査の結果 かつて住宅が建っていた敷地北側は土地が削平を受けており、遺構・遺物は残存しないことが明らかとなった。



第105図 東平遺跡第143地区 位置図



2Tr 東西セクション北壁



第106図 東平遺跡第143地区 トレンチ配置図、トレンチ平面図、セクション図

#### 45. 沢上遺跡 第7次調査地点 1次調査

所在地 中之郷 4056 番 13

調査面積 4.203 m<sup>2</sup> (対象面積 266.59 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和6年2月14日

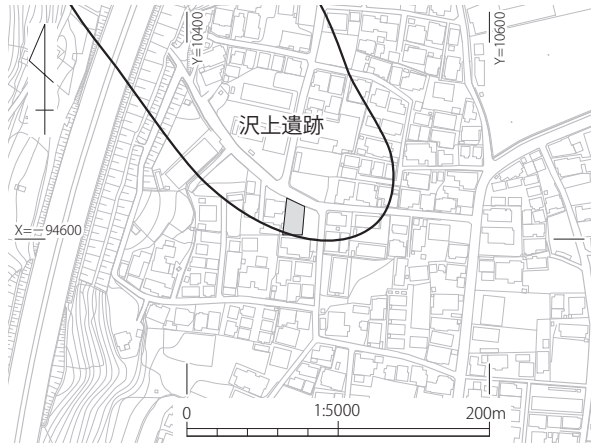
調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ(1Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

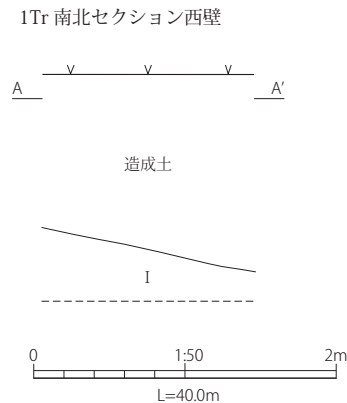
調査の結果 遺構・遺物は検出されなかった。地表下1.1mから近世以降と考えられる河川堆積物層を検出した。周囲よりも低い土地で西側から東側に流れる旧河川上に位置することから、居住域には適していない土地と推察される。当該地に埋蔵文化財は存在しないと結論付けられる。



第108図 沢上遺跡第7次調査地点 トレンチ配置図、セクション図



第107図 沢上遺跡第7次調査地点 位置図



I 黒褐色砂礫層 (7.5YR3/1) しまり弱、粘性なし。礫 (5～15cm) 多量。  
近現代陶磁器片出土。  
河川堆積物

#### 46. 東平遺跡 第162地区 1次調査

所在地 伝法 2502 番 5 ほか

調査面積 4.935 m<sup>2</sup> (対象面積 393.64 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和6年1月18日

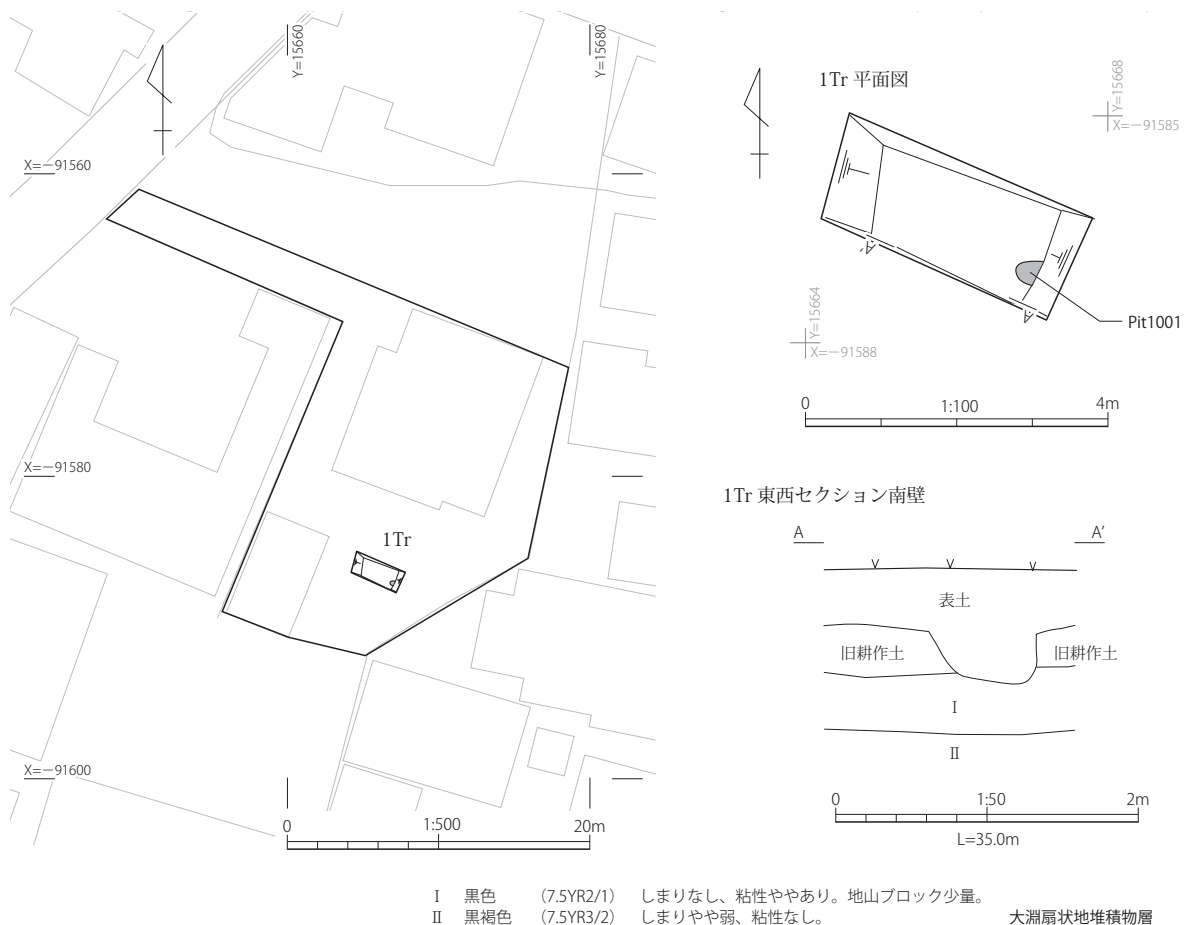
調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ(1Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 地表下1.1mでピット(Pit1001)を検出した。敷地内では奈良時代から平安時代の土器が多く採集できるため、当該期の遺構と考えられる。



第109図 東平遺跡第162地区 位置図



第 110 図 東平遺跡第 162 地区 トレンチ配置図、トレンチ平面図、セクション図

#### 47. 中桁・中ノ坪遺跡 第 24 地区 1 次調査

所在地 厚原 429-9

調査面積 5.469 m<sup>2</sup> (対象面積 717.35 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和 6 年 3 月 13 日

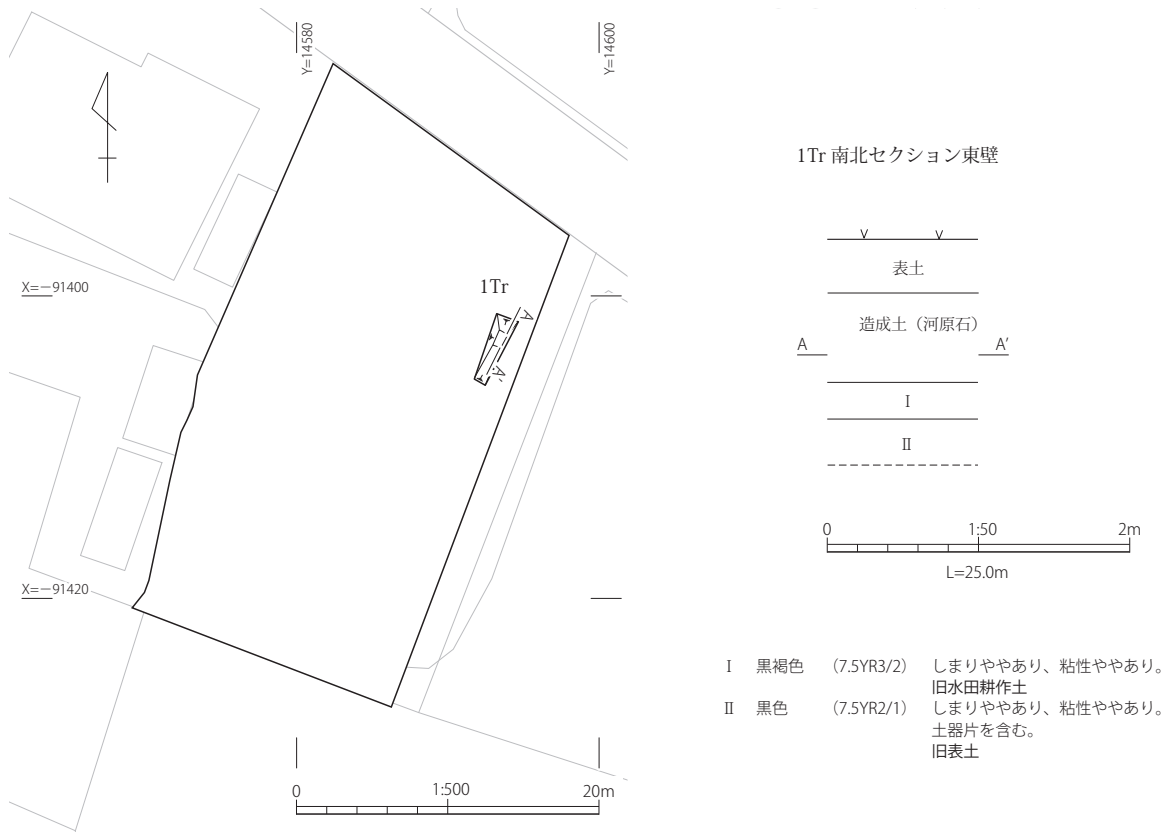
調査の原因 不動産売買

調査の概要 敷地内に 1 箇所のトレンチ (1Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見にとめた。

調査の結果 地表下 1.2m で奈良時代から平安時代の土器を包含する自然堆積層を検出したが、遺構は検出されなかった。現代の盛り土が厚く存在するが、地下には遺跡が比較的良好に残存していると結論付けられる。



第 111 図 中桁・中ノ坪遺跡第 24 地区 位置図



第 112 図 中桁・中ノ坪遺跡第 24 地区 トレンチ配置図、セクション図

#### 48. 東平遺跡 第 163 地区 1 次調査

所在地 伝法 2736 番 1 ほか

調査面積 18.023 m<sup>2</sup> (対象面積 611.64 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和 6 年 3 月 4 日～3 月 6 日

調査の原因 宅地分譲

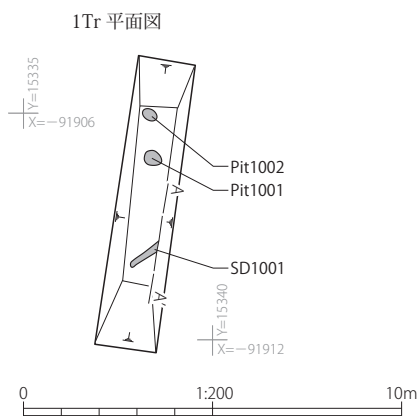
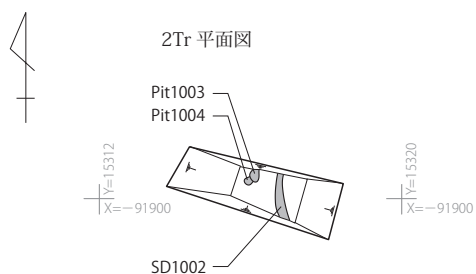
調査の概要 敷地内に 2 箇所のトレンチ (1～2Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 地表下 0.7m からピット・溝を検出し、奈良・平安時代の土器片が出土した。

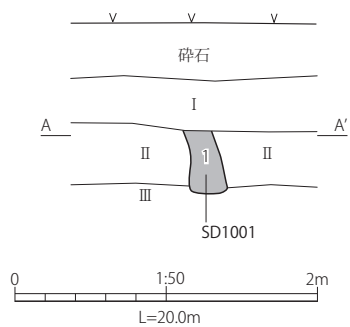
敷地内には奈良時代から平安時代の遺跡が希薄ながら残存すると結論付けられる。



第 113 図 東平遺跡第 163 地区 位置図



1Tr 南北セクション東壁



- |     |                 |                 |           |
|-----|-----------------|-----------------|-----------|
| I   | 黒褐色土 (7.5YR3/1) | しまりややあり、粘性ややあり。 | 旧耕作土      |
| II  | 黒褐色土 (7.5YR3/1) | しまりややあり、粘性ややあり。 | 旧表土       |
| III | 黒褐色土 (7.5YR3/2) | しまりややあり、粘性なし。   | 地山        |
| 1   | 黒褐色土 (7.5YR3/1) | しまりややあり、粘性ややあり。 | SD1001 覆土 |

第114図 東平遺跡第163地区 トレンチ配置図、トレンチ平面図、セクション図



#### 49. 舟久保遺跡 第79地区 1次調査

所在地 今泉六丁目 1598-12 ほか

調査面積 6.255 m<sup>2</sup> (対象面積 323.56 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和6年2月27日

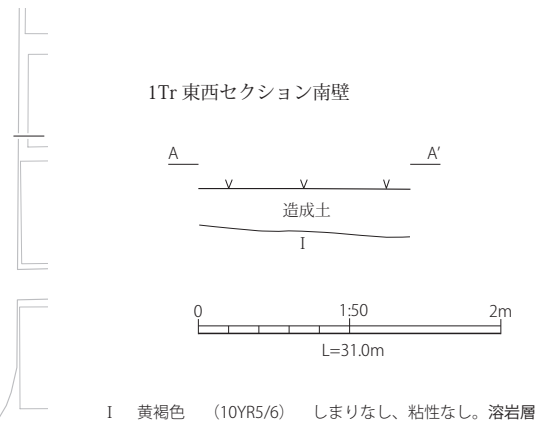
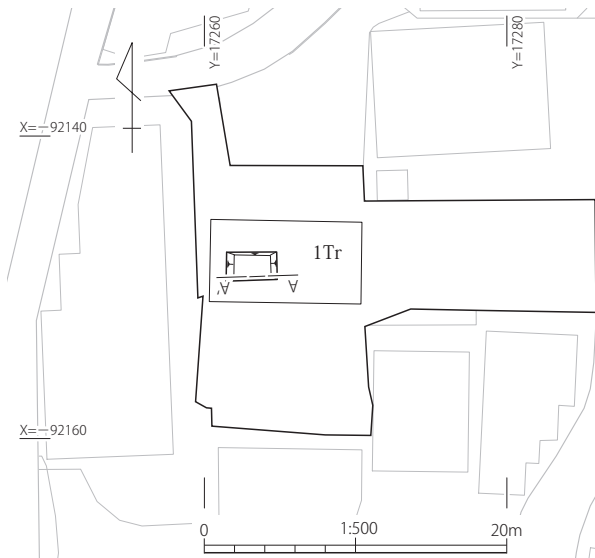
調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ(1Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 遺構・遺物は検出されなかった。地表下0.2～0.3mで基盤層となる溶岩を検出した。土地全体が大規模な削平を受けており、旧表土が残存しないことが明らかとなった。敷地内に埋蔵文化財は残存しないと結論付けられる。



第115図 舟久保遺跡第79地区 位置図



第116図 舟久保遺跡第79地区 トレンチ配置図、セクション図

#### 50. 中島遺跡 第17地区 1次調査

所在地 原田 774-4

調査面積 4.365 m<sup>2</sup> (対象面積 182.62 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和6年3月13日～3月15日

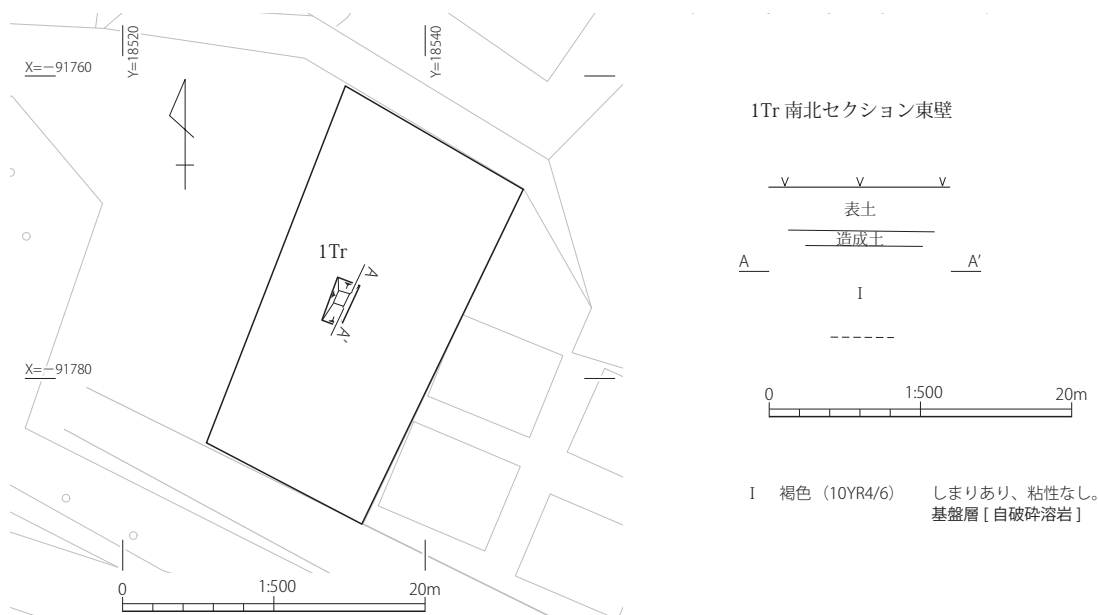
調査の原因 個人住宅建設

調査の概要 敷地内に1箇所のトレンチ(1Tr)を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 敷地全体が大規模に削平を受けており、遺構・遺物を確認することはできなかった。敷地内に埋蔵文化財は残存しないと結論付けられる。



第117図 中島遺跡第17地区 位置図



第 118 図 中島遺跡第 17 地区 トレンチ配置図、セクション図

#### 51. 水神堂遺跡 第 4 地区 1 次調査

所在地 原田 810

調査面積 16,250 m<sup>2</sup> (対象面積 1368 m<sup>2</sup>)

調査期間 令和 6 年 3 月 13 日

調査の原因 宅地分譲

調査の概要 敷地内に 3 箇所のトレンチ (1 ～ 3Tr) を設定し、重機による掘削後、遺構・遺物の発見につとめた。

調査の結果 敷地西方に設定した 1Tr の調査により、松原川にむかって土地が急激に傾斜していることが確認された。谷地形内の堆積層からは縄文時代以降の遺物は全く確認されなかった。

一方、敷地東側の 2Tr・3Tr では近世以降の土地改変により自然堆積層が確認されなかった。

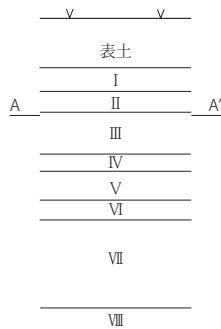
地表面で奈良・平安時代の遺物が採集されることから、かつては当該期の遺跡が展開していた可能性が高いが、現在は全く残存しないと結論付けられる。



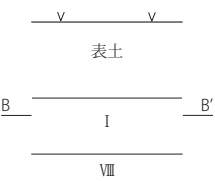
第 119 図 水神堂遺跡第 4 地区 位置図



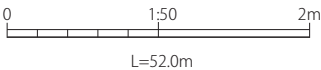
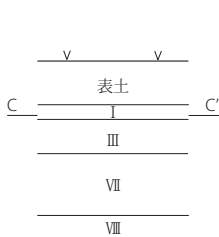
1Tr 南北セクション東壁



2Tr 東西セクション北壁



3Tr 東西セクション北壁



|      |                 |                        |          |
|------|-----------------|------------------------|----------|
| I    | 黒色土 (7.5YR2/1)  | しまりややあり、粘性ややあり。        |          |
| II   | 黒色土 (7.5YR2/1)  | しまりややあり、粘性ややあり。白色粒子多量。 |          |
| III  | 黒色土 (7.5YR2/1)  | しまりややあり、粘性ややあり。        |          |
| IV   | 黒褐色土 (7.5YR3/1) | しまりややあり、粘性ややあり。        | (KU 対応か) |
| V    | 黒色土 (7.5YR2/1)  | しまりややあり、粘性ややあり。赤色粒子中量。 | (FB 対応か) |
| VI   | 黒褐色土 (7.5YR3/1) | しまりややあり、粘性ややあり。赤色粒子中量。 | (Zn 対応か) |
| VII  | 黒褐色土 (7.5YR3/1) | しまりややあり、粘性なし。礫多量。      |          |
| VIII | 黒褐色土 (7.5YR3/2) | しまりややあり、粘性ややあり。        | 自破碎溶岩層   |

第 120 図 水神堂遺跡第 4 地区 トレンチ配置図、セクション図

## 第3節 埋蔵文化財包蔵地の内容変更

埋蔵文化財包蔵地の範囲や遺跡種類等の内容については、確認・試掘調査や現地踏査により得られた情報に基づき、随時、変更や新規登録を行っている。

令和6年1月から令和7年1月の間に行われた埋蔵文化財包蔵地の登録内容変更について、ここで報告する。

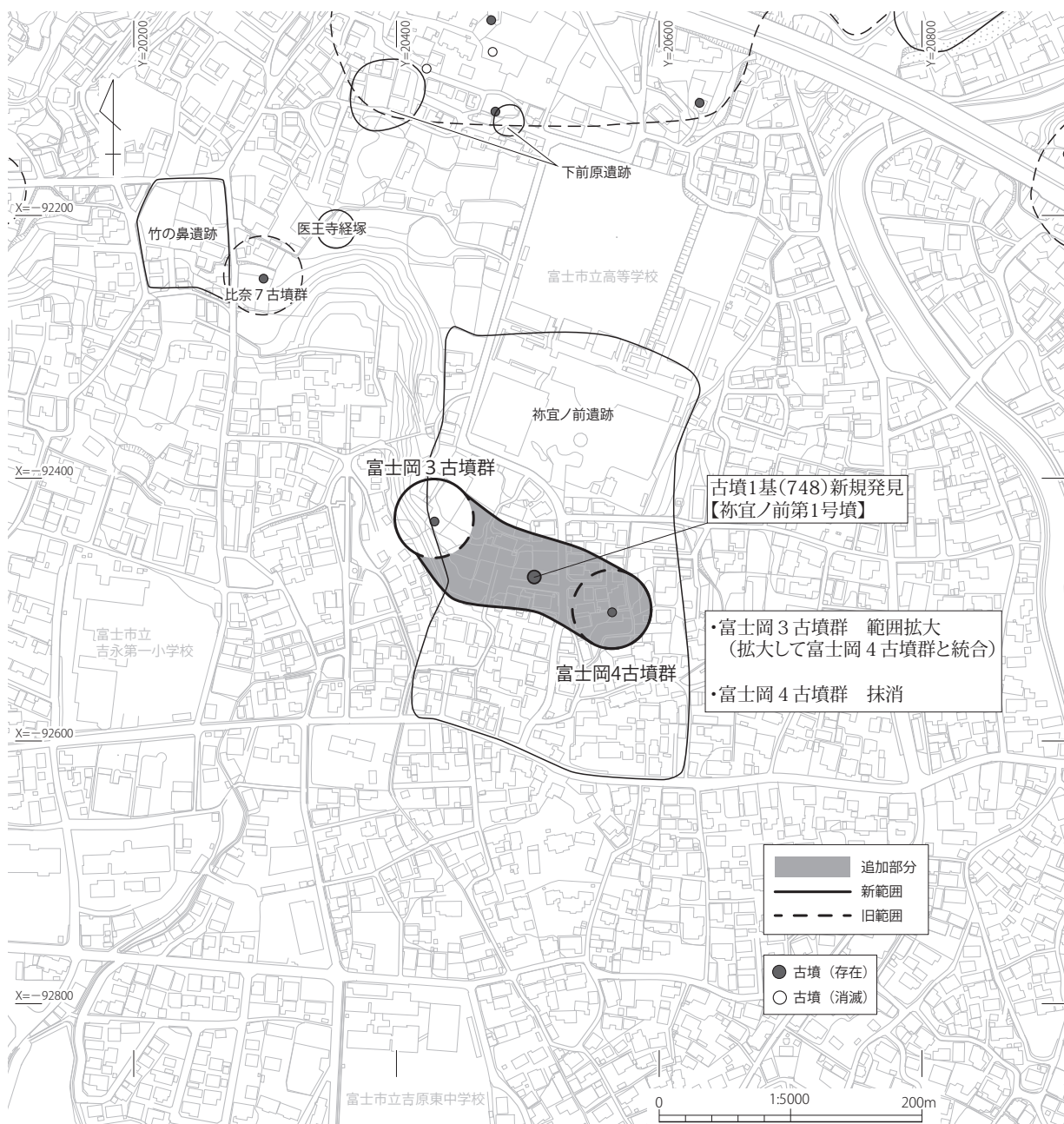
第10表 埋蔵文化財包蔵地 登録内容の変更

| 遺跡番号 | 遺跡名          | 変更内容   | 変更年月日       |
|------|--------------|--|-------------|
| 200  | かみや 神谷古墳群    | 古墳1基（市古墳番号747 須津J-第197号墳）の新規発見（第121図参照）                        | 令和6年6月17日発見 |
| 194  | ふじおか 富士岡3古墳群 | 古墳1基（市古墳番号748 祢宜ノ前第1号墳）の新規発見<br>包蔵地範囲の追加および富士岡4古墳群と統合（第122図参照） | 令和7年1月20日   |
| 195  | ふじおか 富士岡4古墳群 | 富士岡3古墳群との統合により抹消（第122図参照）                                      | 令和7年1月20日   |



第121図 神谷古墳群の内容変更





第122図 富士岡3古墳群・富士岡4古墳群の内容変更

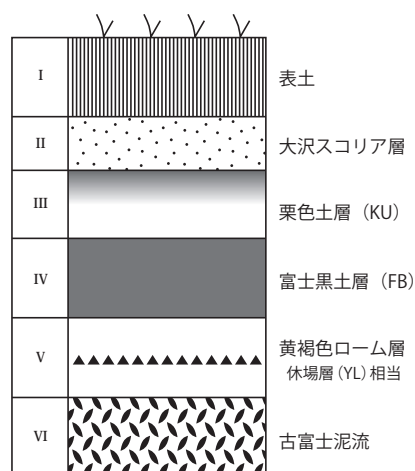
## 第2章 天間沢遺跡の調査

### 第1節 天間沢遺跡の概要

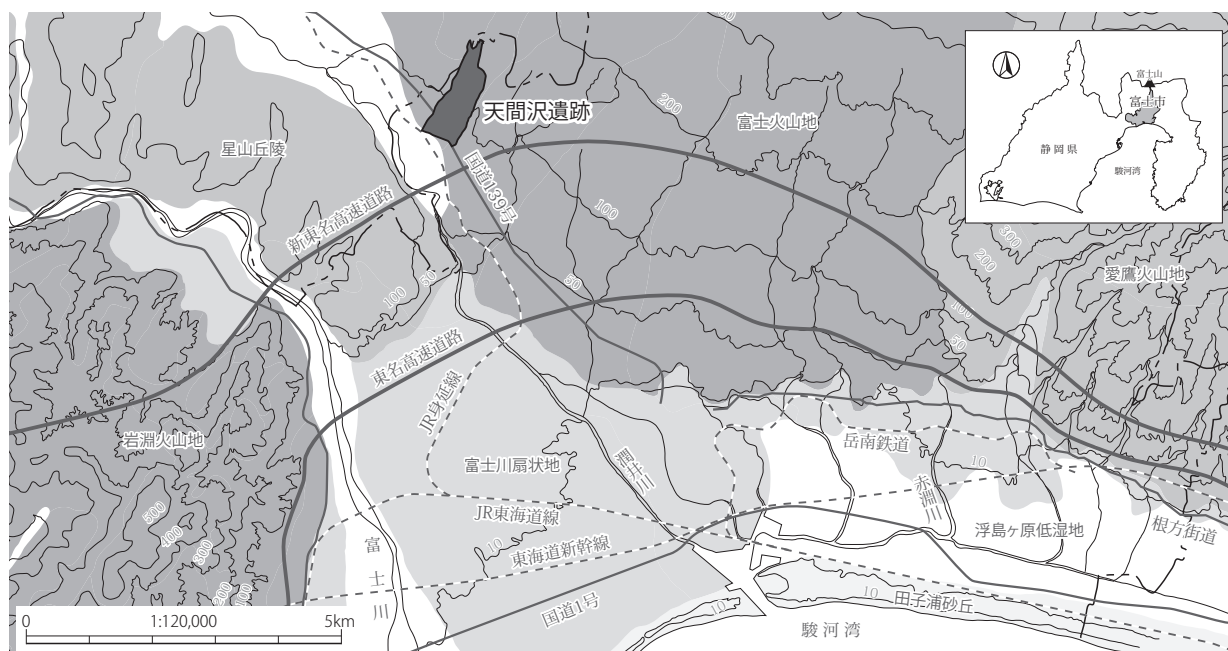
天間沢遺跡は、世界遺産である富士山の南西山麓域に立地し、開析によって形成された尾根上の丘陵部に営まれた遺跡である。富士山は、数十万年前の更新世に活動を開始し、現在も活動を継続中の成層火山であるが、天間沢遺跡の最下層は古富士泥流と呼ばれる溶岩礫およびその碎屑であり、人類の生活跡が確認されるのは、この泥流より上位に堆積した火山灰土からである。この古富士泥流は、放射性炭素 C14 測定で約 3 万～1.5 万 yrBP の所産とされているので、ほぼ立川ローム層および愛鷹上部ローム層と同じ、古富士火山の噴火活動による生成と考えられる。天間沢遺跡では、この泥流層直上に黄褐色ローム層が堆積し、その上に富士黒土層 (FB)、栗色土層 (Ku) と、愛鷹上部ローム標準土層に対応する堆積が確認できる。そのため、この黄褐色ローム層は、中位に上層と下層を分けるスコリアが確認される場合もあるとのことから、愛鷹上部ローム層の休場層 (YL) 相当層と考えられる。なお、確定することはできないが、活発な火山活動と関連づ

けると、この泥流は愛鷹上部ローム第 I スコリア層 (Sci) と同じ成因によるものかもしれない。

この黄褐色ローム層からは遺物は出土していないが、K 地区に後期旧石器時代の遺物であるナイフ形石器が確認できるので、天間沢遺跡の最初の住人は後期旧石器時代人と考えられる。



第123図 天間沢遺跡 標準土層



第124図 天間沢遺跡の位置





第125図 天間沢遺跡 調査履歴図





第126図 天間沢遺跡 遺構分布状況図

完新世になって、P地区とQ地区の富士黒土層からは縄文時代早期後葉の遺物が出土し、天間沢遺跡のほぼ全域で、栗色土層中で縄文時代中期から後期にかけての遺構と遺物が検出される。特に縄文時代中期後葉に最盛期を迎えている。天間沢遺跡は、近隣の縄文時代中期の遺跡として著名な富士宮市の国指定史跡千居遺跡や滝戸遺跡、沼津市の大芝原遺跡などとともに、富士・愛鷹山麓の拠点集落として営まれていたと考えられる。

その後も、栗色土層を切り込む形で、黒色土を覆土とする古墳時代前期の建物などの遺構、遺物が検出され、さらに奈良・平安時代から中世までの遺物が出土していることから、天間沢遺跡は更新世末期から中世まで、人々の生活が営まれていることがわかってきている。

天間沢遺跡が発見されたのは昭和2～3年（1927～28年）のことで、富士宮市域を中心に遺跡踏査・遺物採集を行っていた岳南考古学会の佐野武勇氏が、旧鷹岡村天間の畑を踏査し、多数の縄文土器・

石器を確認したことによる。その後も多くの研究者や学生により遺跡踏査が行われたが、小規模ながら初めての発掘調査（第6地区-1次、旧：第1次調査）が行われたのは、発見から30年以上が経過した昭和35年のことであった。

開発に伴う発掘調査が相次いだのは、昭和45年から昭和47年にかけてのことである。道路建設に伴う第1地区（旧：第2次調査A地区）、市立幼稚園建設に伴う第2地区（旧：第3次調査B地区）、市営団地建設に伴う第3地区（旧：第4次調査C地区）、ボーリング場建設に伴う第23地区-1次（旧：第5次調査 横道下地区）と、3年間という短期間に4次に渡る緊急発掘調査が実施された。近接した地区で実施されたこれらの調査では、縄文時代中期・後期および古墳時代前期の集落が検出され、とりわけ縄文時代中期の遺物出土量が際立っていたことから、天間沢遺跡は当地域における当該期中核的な遺跡と捉えられることとなった。

第11表 天間沢遺跡調査履歴

| 調査年度 | 調査番号 | 地区・次<br>(旧地区名)            | 調査種類 | 調査期間                  | 所在地<br>調査の契機              | 対象(m <sup>2</sup> )<br>調査(m <sup>2</sup> ) | 時代             | 遺構                    | 遺物                     | 報告書       |
|------|------|---------------------------|------|-----------------------|---------------------------|--|----------------|-----------------------|------------------------|-----------|
| S35  |      | 6地区-1次<br>(第1次 F地区の一部)    | 学術調査 | 1960****              | 天間 1048-1<br>学術調査         | 100  | 縄文中期           | 配石遺構                  |                        |           |
| S44  |      | 1地区<br>(第2次 A地区)          | 本調査  | 19700323<br>～19700405 | 天間 1048 外<br>市道高屋天間沢線建設   | 300  | 縄文中期<br>古墳初頭   | 配石遺構<br>建物2           | 縄文土器・石器<br>土師器         | 2         |
| S46  |      | 2地区<br>(第3次 B地区)          | 本調査  | 19710910<br>～19711028 | 天間 1047-1<br>市立天間幼稚園建設    | 2,600                                      | 縄文中期           | 配石遺構・土坑5・建物1          | 縄文土器・石器                | 2         |
| S46  |      | 3地区<br>(第4次 C地区)          | 本調査  | 19711224<br>～19720627 | 天間 1045-1 外<br>市営住宅天間団地建設 | 3,400                                      | 縄文中期<br>古墳初頭   | 建物11・土坑15<br>建物3      | 縄文土器・石器<br>土師器         | 2         |
| S46  |      | 23地区-1次<br>(第5次 横道下地区第1次) | 本調査  | 19711224<br>～19720215 | 天間 995<br>ボーリング場建設        | 500  | 縄文中～後期<br>古墳初頭 | 配石遺構・建物1<br>建物6       | 縄文土器・石器<br>土師器         | 2         |
| S47  |      | 4地区<br>(第6次 D地区)          | 試掘   | 19730325<br>～19730329 | 天間 577-1<br>遺跡範囲確認        | 100  | 縄文中期<br>律令期?   | ピット状遺構                | 縄文土器<br>土師器            | 20        |
| S47  |      | 5地区-1次<br>(第6次 E地区)       | 試掘   | 19721224<br>～19721229 | 天間 988-1<br>遺跡範囲確認        | 50   | 縄文中期<br>古墳初頭   | ピット状遺構<br>溝状遺構        | 縄文土器                   | 20        |
| S53  |      | 6地区-2次<br>(第7次 F地区)       | 試掘   | 19781002<br>～19781202 | 天間 1048-1<br>市立天間幼稚園拡張    | 1,053                                      | 縄文中期           | 土坑30・建物2<br>集石遺構4     | 縄文土器・石器                | 1<br>2    |
| S54  |      | 24地区<br>(第1～V地点)          | 試掘   | 19791006<br>～19791116 | 久沢 外<br>西富士道路建設           |  | 縄文<br>弥生       | なし                    | 縄文土器・石器・有孔磨製<br>石鏃     | 3         |
| S58  |      | 17地区-1次<br>(Q地区)          | 試掘   | 19830418<br>～19830419 | 天間 1106-1<br>天間公民館建設      | 1,142<br>125                               |                | なし                    | なし                     | 本章<br>第2節 |
| S58  |      | 7地区<br>(第8次 G地区)          | 試掘   | 19831024<br>～19831028 | 天間 1045-5<br>遺跡範囲確認       | 50   | 縄文<br>古墳       | 配石遺構1・埋甕1・土坑2<br>ピット2 | 縄文土器                   | 20        |
| S58  |      | 8地区<br>(第8次 H地区)          | 試掘   | 19831107<br>～19831112 | 天間 1130-1<br>遺跡範囲確認       | 50   | 古墳             | 堅穴建物1                 |                        | 20        |
| S58  |      | 9地区<br>(第8次 I地区)          | 試掘   | 19831114<br>～19831117 | 天間 1121<br>遺跡範囲確認         | 50   | 縄文             | なし                    | 縄文土器                   | 20        |
| S58  |      | 10地区<br>(第8次 J地区)         | 試掘   | 19831118<br>～19831122 | 天間 528・529<br>遺跡範囲確認      | 50   | 律令期            | なし                    | 土師器・須恵器                | 20        |
| S59  |      | 11地区<br>(K地区)             | 試掘   | 19841015<br>～19841031 | 天間 1011-1<br>分布確認調査       | 200  | 縄文             | 建物5・土坑                | 縄文土器                   | 20        |
| S61  |      | 12地区<br>(L地区)             | 試掘   | 19860905<br>～19860910 | 天間 1062-3<br>宅地造成         | 750<br>300                                 | 縄文<br>古墳以降     | 土坑5<br>溝状遺構1          | 縄文土器・黒曜石・打製石<br>斧      | 20        |
| S62  |      | 13地区<br>(M地区)             | 試掘   | 19870511<br>～19870515 | 天間 1312-1 外<br>宅地造成       | 2,579<br>150                               | 縄文             | 土坑2                   | 無し(周辺から縄文土器・<br>土師器出土) | 20        |
| S62  |      | 23地区-2次<br>(横道下地区第2次)     | 試掘   | 19870907<br>～19870921 | 天間 999 外<br>宅地造成          | 7,000<br>400                               | 縄文             | 埋甕1・土坑1<br>・配石遺構1     | 縄文土器・石斧                | 本章<br>第7節 |
| H01  |      | 14地区<br>(N地区)             | 試掘   | 19890605<br>～19890622 | 天間 1061-1 外<br>宅地造成       | 968<br>367                                 | 縄文<br>古墳初頭     | 堅穴建物1・ピット1            | 縄文土器・石鏃・石斧<br>土師器      | 20        |

| 調査<br>年度 | 調査<br>番号 | 地区・次<br>(旧地区名)              | 調査<br>種類 | 調査期間                   | 所在地<br>調査の契機                 | 対象(nf)<br>調査(nf)        | 時代 | 遺構                      | 遺物              | 報告書              |
|----------|----------|-----------------------------|----------|------------------------|------------------------------|-------------------------|----|-------------------------|-----------------|------------------|
| H01      |          | 15 地区<br>(O 地区)             | 試掘       | 19890905<br>～ 19890913 | 天間 1896 - 2 外<br>農産物集出荷場住宅建設 | 4,758<br>660 縄文<br>中・近世 |    | 土坑 2                    | 縄文土器片           | 20               |
| H03      |          | 16 地区<br>(P 地区)             | 試掘       | 19911202<br>～ 19911211 | 天間 1120 - 4<br>天間沢遺跡公園整備     | 1,329<br>495 縄文<br>古墳   |    | 堅穴建物                    | 縄文土器・黒曜石<br>土師器 | 20               |
| H03      |          | 17 地区 - 2 次<br>(Q 地区)       | 試掘       | 19911219               | 天間 1115 - 1 外<br>天間公民館駐車場造成  | 648                     |    | なし                      | なし              | 本章<br>第 2 節      |
| H03      |          | 18 地区<br>(R 地区)             | 試掘       | 19920316<br>～ 19920319 | 天間 1943 - 1<br>送電線鉄塔建設       | 144<br>22               |    | なし                      | なし              | 本章<br>第 3 節      |
| H04      |          | 19 地区<br>(S 地区)             | 試掘       | 19920708<br>～ 19920710 | 天間 1001 - 4<br>共同住宅建設        | 905<br>65               |    | なし                      | なし              | 本章<br>第 4 節      |
| H04      |          | 20 地区<br>(T 地区)             | 試掘       | 19911013<br>～ 19921026 | 天間 1127 - 1 外<br>共同住宅建設      | 960<br>312              |    | なし                      | なし              | 本章<br>第 5 節      |
| H04      |          | 21 地区<br>(U 地区)             | 試掘       | 19921020<br>～ 19921027 | 天間 591 - 1<br>倉庫・事務所建設       | 2,915<br>194            |    | なし                      | なし              | 本章<br>第 6 節      |
| H04      |          | 22 地区<br>(V 地区)             | 試掘       | 19930225               | 天間 1785 - 21<br>送電線鉄塔建設      | 144<br>40               |    | なし                      | なし              | 本章<br>第 3 節      |
| H05      |          | 5 地区 - 2 次<br>(E - 2 地区)    | 試掘       | 19930420<br>～ 19930428 | 天間 988 - 8 外<br>共同住宅敷地造成     | 1,274<br>縄文<br>古墳       |    | 土坑・ビット<br>溝状遺構          | 縄文土器            | 20               |
| H05      |          | 5 地区 - 3 次<br>(E - 2 地区)    | 本<br>調査  | 19930524<br>～ 19930705 | 天間 988 - 8 外<br>共同住宅敷地造成     | 1,274<br>縄文<br>古墳       |    | 土坑・炉跡・埋甕<br>ビット状遺構・溝状遺構 | 縄文土器・石器         | 20               |
| H14      |          | 17 地区 - 3 次<br>(Q 地区 - 1 次) | 試掘       | 20020508<br>～ 20020520 | 天間 1117 - 1 外<br>天間公民館増築     | 1,633<br>365 縄文<br>古墳   |    | 埋甕                      | 縄文土器・石器<br>土師器  | 4<br>本章<br>第 2 節 |
| H14      |          | 17 地区 - 4 次<br>(Q 地区 - 2 次) | 本<br>調査  | 20020527<br>～ 20020701 | 天間 1117 - 1 外<br>天間公民館増築     | 800<br>683 縄文<br>古墳     |    | 土坑                      | 縄文土器<br>土師器     | 本章<br>第 2 節      |
| H14      |          | 25 地区<br>(Y 地区)             | 試掘       | 20020823               | 天間 590 - 1 外<br>共同住宅建設       | 635<br>90               |    | なし                      | なし              | 4                |
| H17      |          | 26 地区<br>(Z 地区)             | 試掘       | 20060302               | 天間 937 - 1<br>宅地造成           | 839<br>26               |    | なし                      | なし              | 5                |
| H19      | H19-22   | 27 地区 - 1 次                 | 試掘       | 20080318<br>～ 20080326 | 天間 1238 - 1 外<br>宅地造成        | 3,266<br>87 古墳          |    | 堅穴建物 2・溝状遺構 1           | 土師器             | 6                |
| H20      | H20-09   | 27 地区 - 2 次                 | 試掘       | 20081107               | 天間 1238 - 1 外<br>宅地造成        | 2,665<br>27             |    | なし                      | なし              | 4                |
| H20      | H20-02   | 28 地区                       | 試掘       | 20080521<br>～ 20080522 | 天間 1167 - 1 外<br>集合住宅建設      | 995<br>56               |    | なし                      | なし              | 4                |
| H20      | H20-11   | 29 地区                       | 試掘       | 20081215<br>～ 20081222 | 天間 1189 - 1 外<br>宅地造成        | 4,000<br>209            |    | なし                      | なし              | 4                |
| H21      | H21-01   | 27 地区 - 3 次                 | 試掘       | 20090406               | 天間 1242 外<br>集合住宅建設          | 1,866<br>13             |    | なし                      | なし              | 7                |
| H22      | H22-27   | 30 地区                       | 試掘       | 20110126               | 天間 625 - 10 外<br>不動産売買       | 342<br>8                |    | なし                      | なし              | 8                |
| H23      | H23-02   | 31 地区                       | 試掘       | 20110411               | 天間 1168 - 6 外<br>集合住宅建設      | 635<br>14               |    | なし                      | なし              | 8                |
| H23      | H23-08   | 32 地区                       | 試掘       | 20110603               | 天間 1096 - 1 外<br>集合住宅建設      | 628<br>19 縄文            |    | なし                      | 土器              | 8                |
| H24      | H24-15   | 33 地区                       | 確認       | 20121129               | 天間 1050 - 1 の一部<br>集合住宅新築    | 896<br>12               |    | なし                      | なし              | 9                |
| H24      | H24-16   | 34 地区                       | 確認       | 20121205<br>～ 20121206 | 天間 964 - 1 外 及び官有地<br>宅地造成   | 2,158<br>72 縄文          |    | なし                      | 縄文土器            | 9                |
| H25      | H25-03   | 35 地区                       | 確認       | 20130418               | 天間 1174 - 3 外<br>宅地造成        | 1,985<br>38             |    | なし                      | なし              | 9                |
| H25      | H25-17   | 36 地区                       | 確認       | 20130909<br>～ 20130911 | 天間 1263 外<br>宅地造成            | 2,178<br>82             |    | なし                      | なし              | 9                |
| H25      | H25-20   | 37 地区                       | 確認       | 20131001<br>～ 20131004 | 天間 1010 - 5<br>個人住宅建設        | 398<br>46 縄文            |    | 堅穴建物・ビット                | 縄文土器、石器         | 9                |
| H25      | H25-23   | 38 地区                       | 確認       | 20131029               | 天間 1317 - 1 外<br>共同住宅建設      | 965<br>9                |    | なし                      | なし              | 9                |
| H25      | H25-31   | 39 地区                       | 確認       | 20140117<br>～ 20140110 | 天間 1010 - 6<br>個人住宅建設        | 353<br>53 縄文            |    | 土坑・ビット                  | 縄文土器、石器         | 9                |
| H26      | H26-12   | 40 地区 - 1 次                 | 確認       | 20140722<br>～ 20140728 | 天間 1001-1 外<br>長屋住宅新築        | 3,517<br>99 縄文          |    | 堅穴建物・ビット                | 縄文土器            | 10               |
| H26      | H26-15   | 40 地区 - 2 次                 | 確認       | 20140818<br>～ 20140821 | 天間 1001-1 外<br>長屋住宅新築        | 3,517<br>65 縄文          |    | ビット                     | 縄文土器            | 10               |
| H26      | H26-39   | 41 地区                       | 確認       | 20150126               | 天間 615-1 外<br>不動産売買          | 507<br>9                |    | なし                      | なし              | 11               |
| H27      | H27-03   | 42 地区                       | 確認       | 20150417               | 天間 600 番 1 外<br>店舗建設         | 1,510<br>23             |    | なし                      | なし              | 11               |
| H27      | H27-101  | 40 地区 - 3 次                 | 本<br>調査  | 20150511<br>～ 20150717 | 天間 1001 番 1 外<br>長屋新築        | 3,517<br>892 縄文         |    | 堅穴建物・溝<br>・土坑・ビット       | 縄文土器・石器         | 10               |
| H28      | H28-25   | 43 地区                       | 確認       | 20161114               | 天間 590 番 1 外<br>個人住宅及び集合住宅建設 | 996<br>7                |    | なし                      | なし              | 12               |
| H28      | H28-27   | 44 地区                       | 確認       | 20161121               | 天間 1159 番 1 外<br>集合住宅建設      | 454<br>12               |    | なし                      | なし              | 12               |
| H29      | H29-05   | 45 地区 - 1 次                 | 確認       | 20170509<br>～ 20170510 | 天間 1000-1<br>宅地分譲            | 2,437<br>47 縄文          |    | 堅穴建物・土坑・ビット             | 縄文土器・石器         | 13               |
| H29      | H29-102  | 45 地区 - 2 次                 | 本<br>調査  | 20170619<br>～ 20170810 | 天間 1000-1<br>宅地分譲            | 272 縄文                  |    | 堅穴建物・埋甕<br>・土坑・ビット      | 縄文土器・石器         | 13               |
| H29      | H29-09   | 46 地区                       | 確認       | 20170628<br>～ 20170629 | 天間 1137-1<br>農地改良            | 1,415<br>25             |    | なし                      | なし              | 14               |
| H29      | H29-12   | 47 地区                       | 確認       | 20170703               | 天間 1098-12<br>不動産売買          | 165<br>6 縄文             |    | ビット                     | 縄文土器・黒曜石        | 14               |
| H29      | H29-15   | 48 地区                       | 確認       | 20170720<br>～ 20170721 | 天間 1011-1 外<br>宅地造成          | 1,455<br>30 縄文          |    | ビット                     | 縄文土器            | 14               |
| H29      | H29-16   | 49 地区                       | 確認       | 20170817<br>～ 20170818 | 天間 988-15<br>宅地造成            | 489<br>23 縄文            |    | ビット・溝・不明遺構              | 縄文土器            | 14               |
| H30      | H30-24   | 50 地区 - 1 次                 | 確認       | 20180724               | 天間 1889-14<br>個人住宅新築         | 276,000<br>4,429        |    | なし                      | なし              | 15               |



| 調査<br>年度 | 調査<br>番号 | 地区・次<br>(旧地区名) | 調査<br>種類 | 調査期間                   | 所在地<br>調査の契機             | 対象(m <sup>2</sup> )<br>調査(m <sup>2</sup> ) | 時代       | 遺構                          | 遺物       | 報告書       |
|----------|----------|----------------|----------|------------------------|--------------------------|--|----------|-----------------------------|----------|-----------|
| H30      | H30-25   | 51 地区 - 1 次    | 確認       | 20180725               | 天間 1884-1-1<br>建売住宅新築    | 485.120<br>13.530                          |          | なし                          | なし       | 15        |
| H30      | H30-35   | 52 地区 - 1 次    | 確認       | 20180830               | 天間 1130-2<br>個人住宅新築      | 263.000<br>4.845                           |          | なし                          | なし       | 15        |
| H30      | H30-39   | 53 地区 - 1 次    | 確認       | 20180906               | 天間 569 番 1 ほか<br>店舗建設    | 4,801.740<br>56.246                        |          | なし                          | なし       | 15        |
| H30      | H30-60   | 54 地区 - 1 次    | 確認       | 20190108               | 天間 1079 ほか<br>不動産売買      | 872.410<br>5.143                           |          | なし                          | なし       | 15        |
| H31      | H31-31   | 40 地区 - 4 次    | 確認       | 20190826               | 天間 1001-6<br>個人住宅新築      | 321.000<br>12.693                          |          | なし                          | なし       | 16        |
| H31      | H31-48   | 52 地区 - 2 次    | 確認       | 20191105               | 天間 1130-2<br>個人住宅新築      | 263.000<br>5.687                           |          | なし                          | なし       | 16        |
| H31      | H31-03   | 55 地区 - 1 次    | 確認       | 20190417<br>～ 20190418 | 天間 1075-1 外<br>宅地分譲造成    | 1,804.000<br>91.819                        |          | なし                          | なし       | 16        |
| H31      | H31-11   | 56 地区 - 1 次    | 確認       | 20190520               | 天間 1010-1<br>宅地分譲        | 280.000<br>10.552                          |          | なし                          | なし       | 16        |
| H31      | H31-34   | 57 地区 - 1 次    | 確認       | 20190909<br>～ 20190912 | 天間 529-1 ほか<br>宅地分譲      | 4,200.000<br>173.008                       | 縄文<br>奈良 | 土坑・ビット<br>堅穴建物・溝・土坑<br>・ビット | 土器・石器    | 16        |
| H31      | H31-39   | 58 地区 - 1 次    | 確認       | 20190919               | 天間 1137-1<br>個人農地改良      | 350.000<br>26.279                          | 縄文       | なし                          | 土器       | 16        |
| H31      | H31-52   | 59 地区 - 1 次    | 確認       | 20191212               | 天間 584-13<br>不動産売買       | 227.090<br>4.078                           |          | なし                          | なし       | 16        |
| H31      | H31-54   | 60 地区 - 1 次    | 確認       | 20191216<br>～ 20191217 | 天間 1069-2<br>個人住宅新築      | 198.340<br>4.781                           |          | なし                          | なし       | 16        |
| R02      | R02-09   | 17 地区 - 5 次    | 確認       | 20200422<br>～ 20200423 | 天間 1115-1<br>耐震性貯水槽築造    | 100.000<br>10.531                          |          | なし                          | なし       | 17        |
| R02      | R02-25   | 61 地区 - 1 次    | 確認       | 20200722               | 天間 529-1<br>公会堂建設        | 345.000<br>15.035                          |          | なし                          | なし       | 17        |
| R02      | R02-31   | 62 地区 - 1 次    | 確認       | 20200805               | 天間 528<br>不動産売買          | 593.000<br>17.113                          |          | なし                          | なし       | 17        |
| R02      | R02-33   | 63 地区 - 1 次    | 確認       | 20200827               | 天間 1157-3<br>不動産売買       | 562.150<br>5.541                           |          | なし                          | なし       | 17        |
| R02      | R02-49   | 64 地区 - 1 次    | 確認       | 20201014<br>～ 20201016 | 天間 1320-5<br>個人住宅建設      | 702.000<br>16.998                          |          | なし                          | なし       | 17        |
| R03      | R03-32   | 65 地区 - 1 次    | 確認       | 20211014               | 天間 1812-8<br>店舗建設        | 297.830<br>3.144                           |          | なし                          | なし       | 18        |
| R03      | R03-15   | 66 地区 - 1 次    | 確認       | 20210820               | 天間地先<br>下水道建設            | 56.280<br>8.000                            |          | なし                          | なし       | 18        |
| R03      | R03-33   | 67 地区 - 1 次    | 確認       | 20211115               | 天間 1208-1<br>個人住宅建設      | 205.410<br>6.314                           |          | なし                          | なし       | 18        |
| R03      | R03-39   | 68 地区 - 1 次    | 確認       | 20211124<br>～ 20211125 | 天間 1124-1<br>不動産売買       | 1,286.14<br>25.875                         |          | なし                          | なし       | 18        |
| R03      | R03-52   | 69 地区 - 1 次    | 確認       | 20220203               | 天間 1072-7 ほか<br>土地売買     | 230.000<br>8.719                           |          | なし                          | なし       | 18        |
| R04      | R04-17   | 45 地区 - 3 次    | 確認       | 20220616               | 天間 1000 番 1<br>個人住宅建設    | 204.790<br>3.372                           |          | なし                          | なし       | 19        |
| R04      | R04-101  | 48 地区 - 2 次    | 本発掘      | 20220801               | 天間 1011-7<br>個人住宅合併浄化槽設置 | 4.643                                      | 縄文       | なし                          | 土器・石器    | 19        |
| R04      | R04-01   | 70 地区 - 1 次    | 確認       | 20220405               | 天間 522-18 外<br>不動産売買     | 69.020<br>6.330                            |          | なし                          | なし       | 19        |
| R04      | R04-40   | 71 地区 - 1 次    | 確認       | 20221121               | 天間 550 番 3<br>個人住宅建設     | 195.820<br>22.030                          |          | なし                          | なし       | 19        |
| R05      | R05-08   | 72 地区 - 1 次    | 確認       | 20230419               | 天間 1327-14<br>個人住宅建設     | 163.720<br>4.971                           | 平安       | なし                          | 土器（平安時代） | 本書<br>1 章 |
| R05      | R05-29   | 73 地区 - 1 次    | 確認       | 20230828               | 天間 1022-1<br>個人住宅建設      | 473.570<br>14.221                          |          | なし                          | なし       | 本書<br>1 章 |
| R05      | R05-46   | 74 地区 - 1 次    | 確認       | 20231102               | 天間 1942-5<br>個人住宅建設      | 731.780<br>5.893                           |          | なし                          | なし       | 本書<br>1 章 |
| R05      | R05-48   | 75 地区 - 1 次    | 確認       | 20231129<br>～ 20231130 | 天間 1296-6<br>宅地分譲        | 2,259.000<br>28.269                        |          | なし                          | なし       | 本書<br>1 章 |

報告書 1 『天間沢遺跡第7次（F地区）発掘調査概報』（1979）  
2 『天間沢遺跡Ⅰ 遺構編』（1984）・『天間沢遺跡Ⅱ 遺物・考察編』（1985）  
3 『西富士道路（富士地区）・岳南広域都市計画道路田子浦臨港線埋蔵文化財発掘調査報告書』『天間地区』（1981）  
4 『平成14・20年度 富士市内遺跡発掘調査報告書』（2010）  
5 『平成17・18年度 富士市内遺跡発掘調査報告書』富教委（2008）  
6 『平成15・19年度富士市内遺跡発掘調査報告書』（2009）  
7 『平成21年度 富士市内遺跡発掘調査報告書』（2011）  
8 『富士市内遺跡発掘調査報告書—平成22・23年度—』富士市埋蔵文化財調査報告 第54集（2013）  
9 『富士市内遺跡発掘調査報告書—平成24・25年度—』富士市埋蔵文化財調査報告 第57集（2015）  
10 『天間沢遺跡』富士市埋蔵文化財調査報告 第58集（2016）  
11 『富士市内遺跡発掘調査報告書—平成26・27年度—』富士市埋蔵文化財調査報告 第60集（2017）  
12 『富士市内遺跡発掘調査報告書—平成28年度—』富士市埋蔵文化財調査報告 第62集（2017）  
13 『天間沢遺跡 第45地区』富士市埋蔵文化財調査報告 第65集（2019）  
14 『富士市内遺跡発掘調査報告書—平成29年度—』富士市埋蔵文化財調査報告 第66集（2019）  
15 『富士市内遺跡発掘調査報告書—平成30年度—』富士市埋蔵文化財調査報告 第67集（2019）  
16 『富士市内遺跡発掘調査報告書—令和元年度—』富士市埋蔵文化財調査報告 第70集（2021）  
17 『富士市内遺跡発掘調査報告書—令和2年度—』富士市埋蔵文化財調査報告 第73集（2022）  
18 『富士市内遺跡発掘調査報告書—令和3年度—』富士市埋蔵文化財調査報告 第76集（2023）  
19 『富士市内遺跡発掘調査報告書—令和4年度—』富士市埋蔵文化財調査報告 第79集（2024）  
20 『天間沢遺跡 D・E・G・H・I・J・K・L・M・N・O・P地区』富士市埋蔵文化財調査報告 第80集（2024）

## 第2節 Q地区（第17地区）の調査

### 1次調査に至る経緯

昭和57年、富士市教育委員会は、富士市天間1106-1外（1,142.5 m<sup>2</sup>）において、天間公民館の建設を計画した。

当該地が周知の埋蔵文化財包蔵地「天間沢遺跡」の範囲内に位置することから、昭和57年11月24日、富士市教育委員会文化振興課は、文化財の所在の有無の確認のための分布調査を実施した。

その結果、当該地は傾斜地であり、さらに1～1.5mの盛土がされているため、遺構等が存在する可能性は低いものの、周辺からは遺物が採集されるため、事前に確認調査を実施する必要があると、静岡県教育委員会へ報告した（昭和57年11月26日付け、富教文第59号）。

### 1次調査の経過

確認調査は、富士市教育委員会文化振興課職員により、昭和58年4月18日から4月19日にかけて実施された。

調査地は中央を北から南へ流れる小川により東西に分けられている。東側は西側より1mほど低く、一部を削平して平坦地になっている。西側は道路面に合わせて盛土がされ、駐車場として利用されている。

東側に十字形のトレンチを1箇所、西側に南北方向のトレンチを1箇所設定し、重機により掘削した。

東側トレンチでは、厚さ0.5mほどの表土層の直下に、平坦に削られた黄褐色ローム層が検出された。西側トレンチでは、盛土の下に厚さ0.5mほどの旧表土が検出されたものの、その下には遺物包含層はすでになく、古富士泥流の礫層となっていた。

調査地においては遺物包含層が消滅しており、遺跡の分布はないものと判断された。

### 2次調査

平成3年度には、敷地南側での天間公民館駐車場造成に伴い、工事立会いを実施した（これを2次調査と位置づける）が、遺構・遺物は確認されなかった。



第127図 天間沢遺跡 Q地区 位置図

### 3次調査（旧：Q地区-1次）に至る経緯

富士市役所生涯学習課（当時）では、富士市天間1117-1外（1,633 m<sup>2</sup>）において天間公民館の増築工事を計画した。

平成13年10月10日、富士市長から文化財保護法第57条の3第1項（当時）の規定に基づく「埋蔵文化財発掘の通知書」が提出され（文書番号64号）、これを受けて富士市教育委員会文化スポーツ課（当時）による確認調査を実施することとなった。

### 3次調査の経過

調査は平成14年5月8日から5月20日にかけて実施した。

調査地の南側に南北方向のトレンチを2本（1～2Tr）、中央から北側に東西方向のトレンチを4本（3～6Tr）、北西側に南北方向のトレンチを1本（7Tr）設定し、重機による掘削後、人力により精査を行い、遺構・遺物の検出につとめた。

その結果、多数の土坑・ピットを検出した。なかでも、調査地北西に設定した7Trでは、縄文時代の集石遺構（7Tr SS1）とそれに伴う土器集中や、古墳時代の土器を埋納した土坑（7Tr SK4）などが検出され、調査地中央の4・5Trでは自然礫の集積が認められた。なお、この調査時にPitと土坑の名称が、大きさに差異なく併用されているため、現地調査名のまま遺構名とした。

#### 4 次調査（旧：Q 地区 -2 次）に至る経緯

確認調査（3 次調査）の結果を受けて、富士市教育委員会文化スポーツ課と富士市社会教育課との間で協議を行い、調査地の北半部分を対象に本発掘調査を実施することとなった。

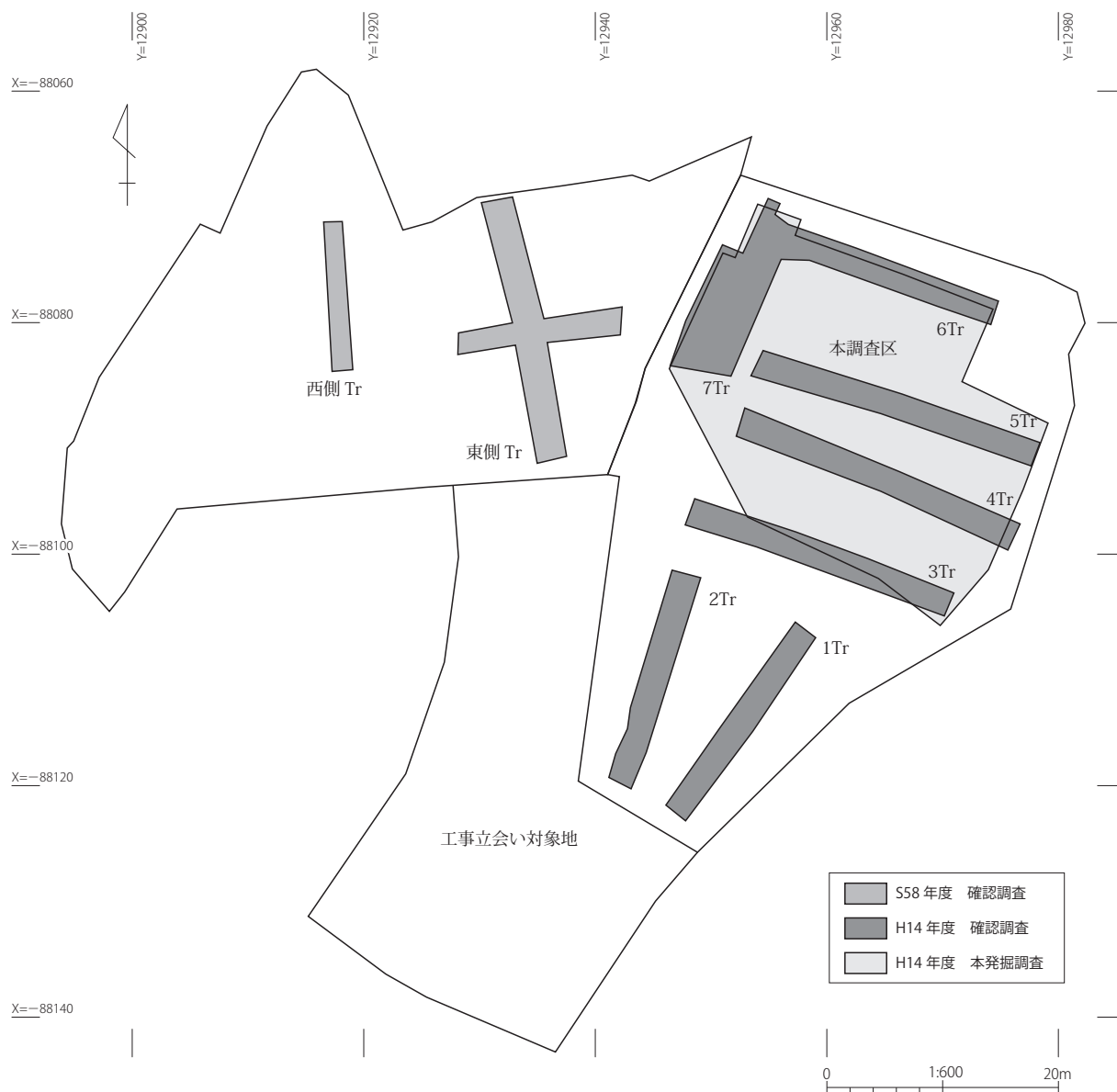
#### 4 次調査の経過

本発掘調査（4 次調査）は平成 14 年 5 月 27 日から 6 月 28 日にかけて実施した。

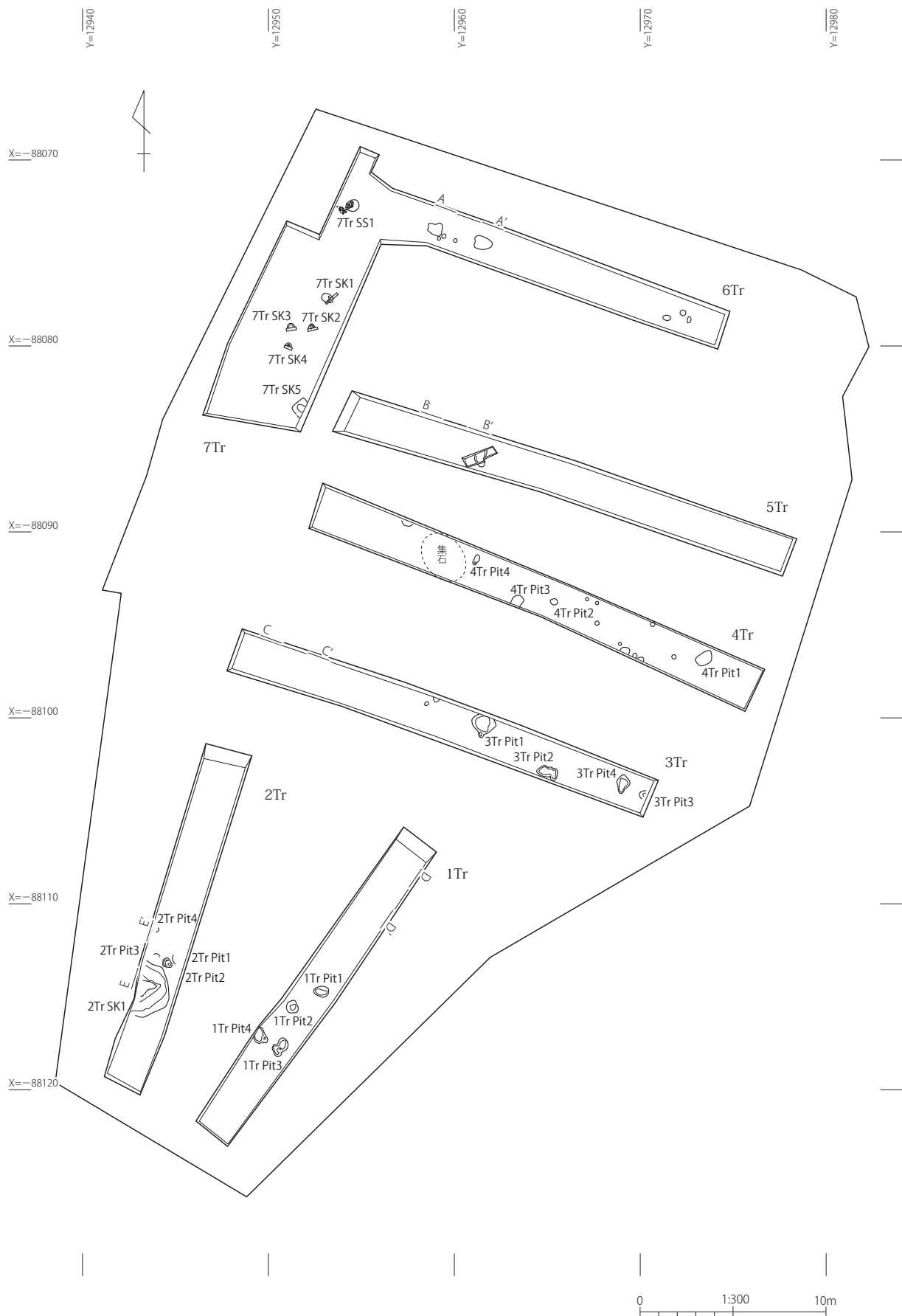
対象地の北半分に本調査区（683 m<sup>2</sup>）を設定し、重機掘削により遺構検出面まで掘り下げた後、人力で精査を行い、遺構・遺物の検出につとめた。

その結果、ピット 89 基（Pit1 ～ 91、ただし 82・88 は欠番）を検出し、土層観察や、写真・図面による記録保存を行った。

調査の結果について、「発掘調査結果概要」を静岡県教育委員会と富士市長（生涯学習課）に提出した（平成 15 年 3 月 17 日付け、富教文第 393 号）。

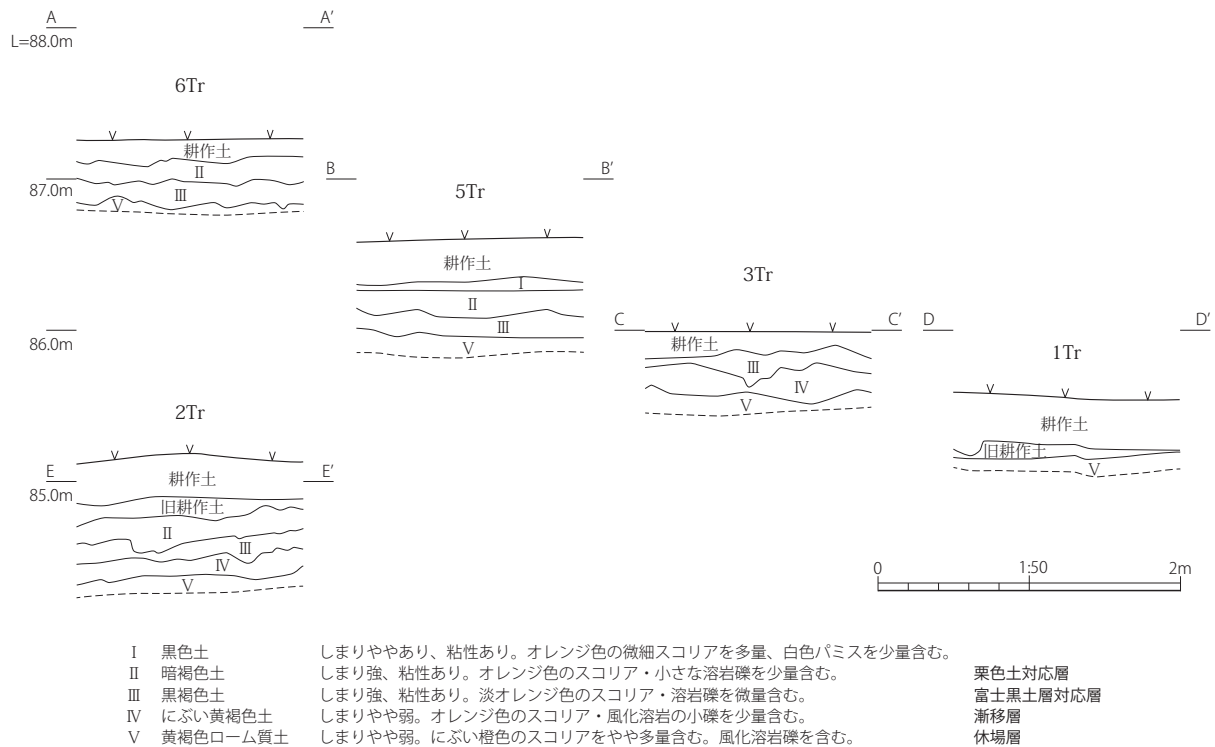


第 128 図 天間沢遺跡 Q 地区 トレンチおよび本調査区配置図



第129図 天間沢遺跡Q地区 トレンチ全体図





第 130 図 天間沢遺跡 Q 地区 トレンチセクション図

## 調査の体制

3・4 次調査（平成 14 年度）は以下の体制で実施した。

調査主体 富士市教育委員会 教育長 平岡 彦三  
教育次長 鈴木 英之  
文化スポーツ課 課長 石井 邦敏  
統括主幹 殿岡 孝則  
主幹 渡井 義彦  
指導主事 渡邊 豊  
主査 志村 博  
上席主事 前田 勝己  
臨時職員 吉田 博子

## 調査の成果

3 次調査では、1Tr でピット 4 基 (1Tr Pit1 ~ 4)、2Tr でピット 4 基 (2Tr Pit1 ~ 4) と土坑 1 基、3Tr でピット 4 基 (3Tr Pit1 ~ 4)、4Tr でピット 4 基 (4Tr Pit1 ~ 4)、7Tr で土坑 5 基 (7Tr SK1 ~ 5) と集石遺構 1 基 (7Tr SS1) を検出した。集石遺構には 63・69 の縄文時代中期末の加曽利 E4 式土器が伴っている。ピット・土坑の規模等は第 12 表に示す。ただし、2Tr SK1 は、幅 1.0 ~ 1.3 m の溝が半径 1.5 m ほどの半円形を成したような形状で、深さは 55cm を測る。4・5Tr では、自然礫の集積が認められた。

4 次調査では、ピット 89 基 (Pit1 ~ 91、ただし 82・88 は欠番) を検出・完掘した。特に Pit63 からは、八ッ崎 I 式 (1) の完形深鉢が潰れるように出土し、土器表面に煤の付着が顕著であることから、Pit63 は縄文時代草創期～早期の時期に特徴的に使用される「炉穴」であった可能性が高い。ピット・土坑の規模等は第 12 表に示す。

調査区中央南寄りでは 3 次調査 4・5Tr で検出されたものと同様に自然礫の集積が認められた。しか

し、これらは谷地形の場所に集中していることが確認され、また周辺で認められる集石・配石土坑等とは石の大きさ等が異なることから、谷地形に自然堆積したものと判断した。

土器は、縄文時代早期後葉のハッ崎Ⅰ式を主体とするが、茅山式並行と考えられる、やや赤みがかった胎土で少量の繊維を含んだ沈線文や縄文を施文した土器を伴っている。また、少量の縄文時代中期、古墳時代の土器、平安時代の灰釉陶器等が出土している。

縄文時代早期後葉の土器は、ほぼハッ崎Ⅰ式のみという状況で、隣接するP地区では、その量が減少するという傾向から、Q地区を中心とする狭い範囲がハッ崎Ⅰ式期の天間沢遺跡といえるかもしれない。

なお、土坑4(SK4)からは、完形の古墳時代の小型土師器碗(75)が出土しており、土師器と思われる壺胴部(76)も出土していることを考慮すると、ピットと土坑に関しては、縄文時代と古墳時代、平安時代の遺構が混在している可能性が高い。

石器は、黒曜石製の無茎凹基(79)と無茎平基(80)の石鏃、81の黒曜石製ノッチ、82・83の黒曜石と84の富士川ホルンフェルスの石核、85と86の磨石が出土している。また、古墳時代以降のものと考えられる、87の線条痕が顕著な大型の砥石も出土している。81のノッチに関しては、石鏃等の小型石器の素材となる剥片を作出するための、石核残核を再利用していると考えられ、打点凹部のカーブを利用し刃部を形成している。

出土した遺物で、特に注目されるのは、ハッ崎Ⅰ式の完形深鉢形土器である。口縁部から平底の底部までほぼ完全に揃っている類例は知られていない。また、土器焼成後と考えられるが、底部側面に7つの貫通孔が片側に偏って穿てられている。また、胴部には土器を覆う籠目痕が観察される。この土器は土坑(Pit63)から全個体が潰れたように出土している。このような状況から、本来、Pit63は上部炉体が失われた炉穴と思われる。土器も全体が煤に覆われた様子から、炉穴で燻された状況が想像され、縄文時代早期に多用された炉穴の使用法が類推できる一例となるだろう。図版には、この土器を三次元ソ

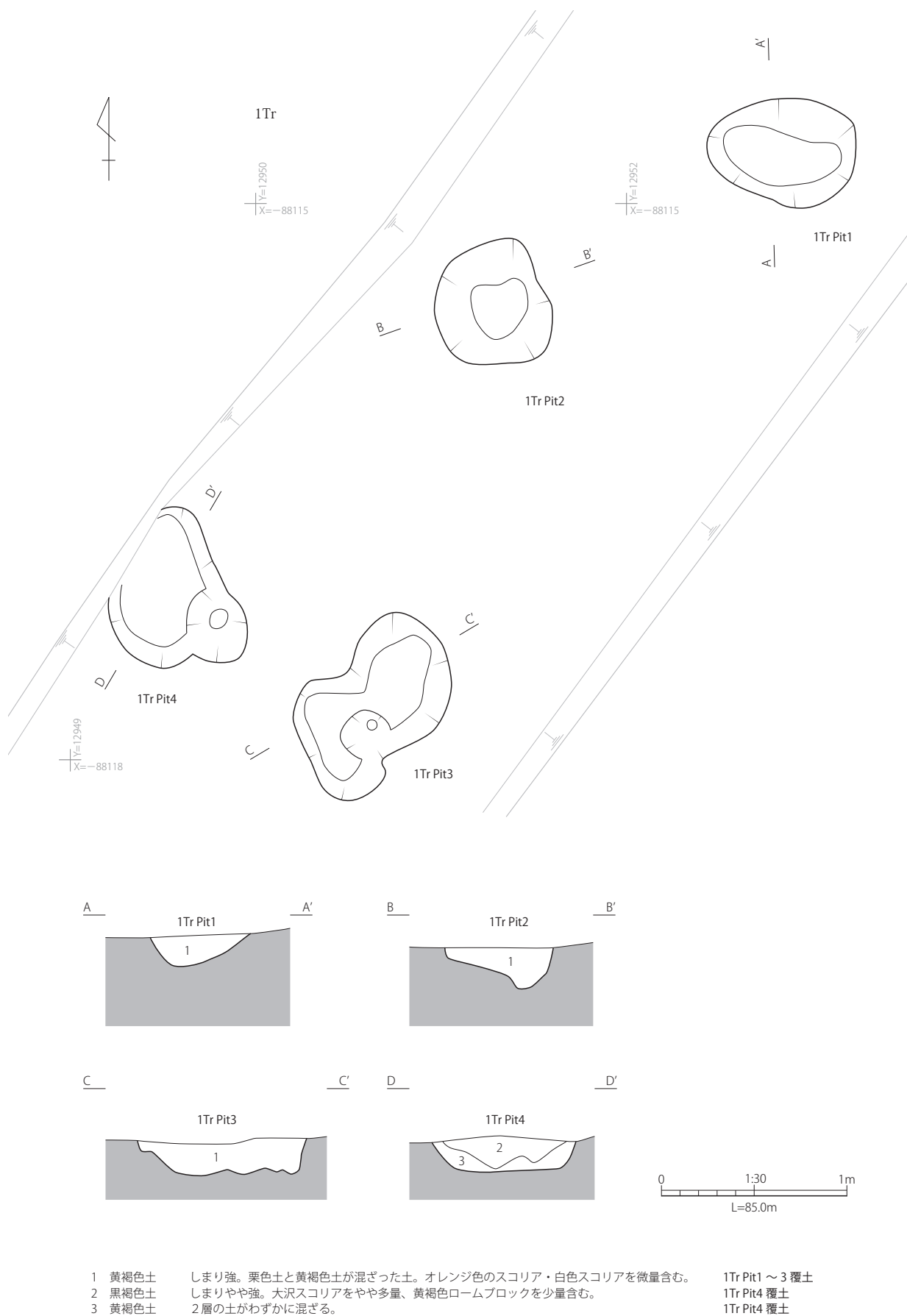
フトウェア Scaniverse、VisualSFM、CloudCompare、MeshLab で3D化したモデルをもとにして展開した画像、さらに Lit Sphere Radiance Scalling 処理を行って細部を明確化した画像を掲載した。

ハッ崎Ⅰ式は、増子康真氏が1983年に設定した縄文時代早期後葉の土器型式で、東海地方を中心に関東から関西まで分布している。時期的には関東の茅山下層式後半期と並行し、東海東部の早期後葉においては、清水柳E式(ミヲ坂式)からはじまり、在地系野島式(木戸上式)から元野式に引き続き、次の粕畑式に繋がる連綿と続く在地型式の一部をなす。器形のわかる個体は、滋賀県米原市の磯山城遺跡、三島市天台B遺跡、長泉町富士石遺跡、神奈川県横須賀市吉井貝塚が知られるのみであり、現在まであまり資料数の多くないハッ崎Ⅰ式が、Q地区では、ほぼ純粋な形で纏まっていることが重要であろう。

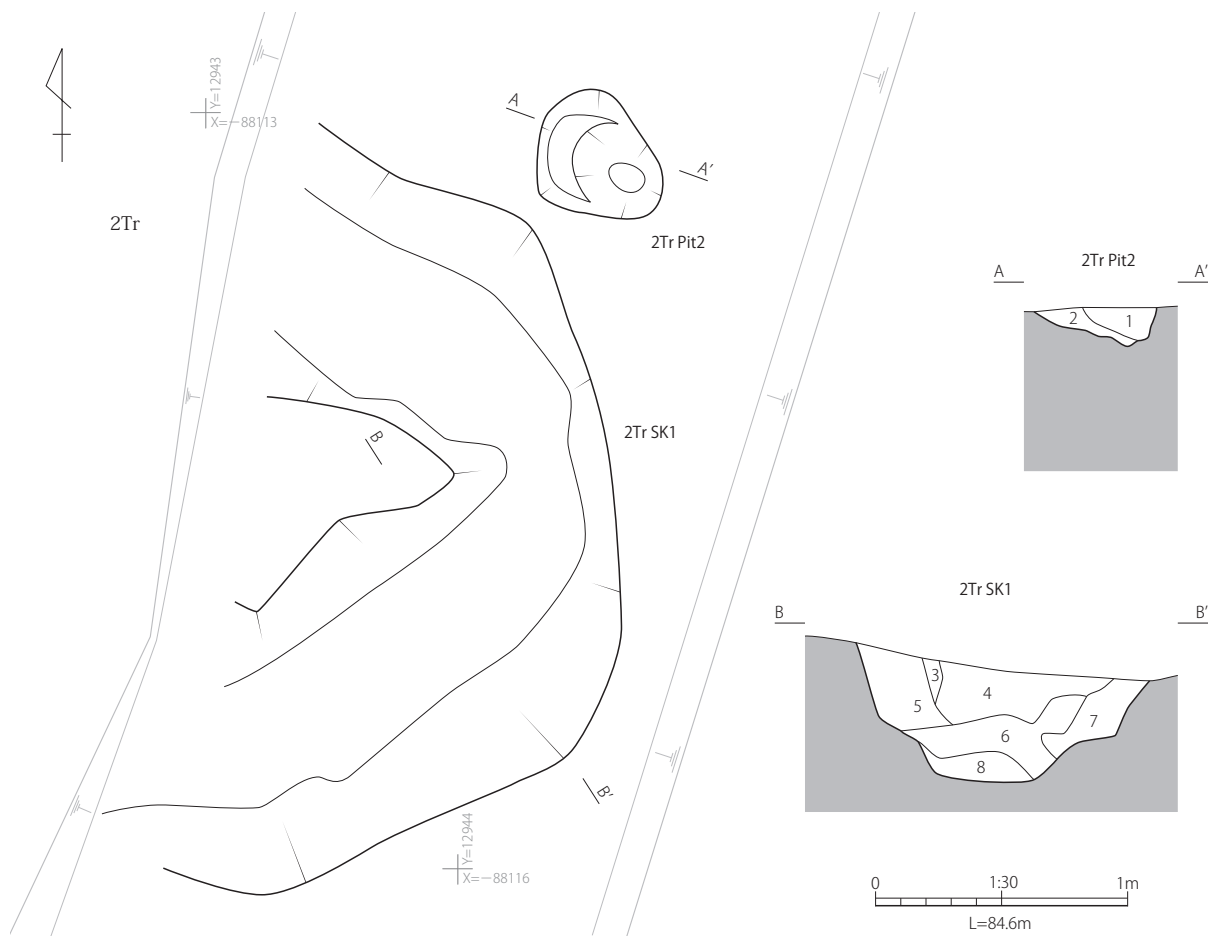
上記以外の遺物として、灰釉陶器(77)と中世の瀬戸美濃系の碗口縁部(78)、江戸末の銭貨「文久永宝」(88)が出土している。

#### 参考文献

- 増子康真 1983 「ハッ崎Ⅰ式土器をめぐって」『古代人』41 名古屋考古学会
- 中井 均 1986 『磯山城遺跡』米原市教育委員会
- 池谷初恵 1998 「(1) 土器」『中村分遺跡 天台B遺跡 台崎C遺跡 試掘調査』三島市教育委員会
- 毒島正明 2005 「ミヲ坂式」「木戸上式」の再提唱について『土曜考古』第29号 土曜考古学研究会
- 笹原千賀子 2009 「ふたつの野島-長泉町梅ノ木沢遺跡の第Ⅱ群土器-」『研究紀要』第15号 静岡県埋蔵文化財調査研究所
- 小崎 晋 2010 「東海地方における早期後葉～前期初頭の貝塚と土器」『縄文海進の考古学』六一書房
- 壬生亮輔・勝又直人 2012 「第3章 縄文時代の遺構と遺物」『富士石遺跡Ⅲ』静岡県埋蔵文化財センター
- Romain Vergne, Romain Pacanowski, Pascal Barla, Xavier Granier, Patrick Reuter 2012 「Enhancing surface features with the Radiance Scaling Meshlab Plugin」『Archaeology in the Digital Era Volume II』e-Papers from the 40th Conference on Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology Southampton, 26-30 March 2012 pp.417-421.
- 野内秀明 2010 「43a 吉井貝塚・吉井城山」『新横須賀市史』横須賀市

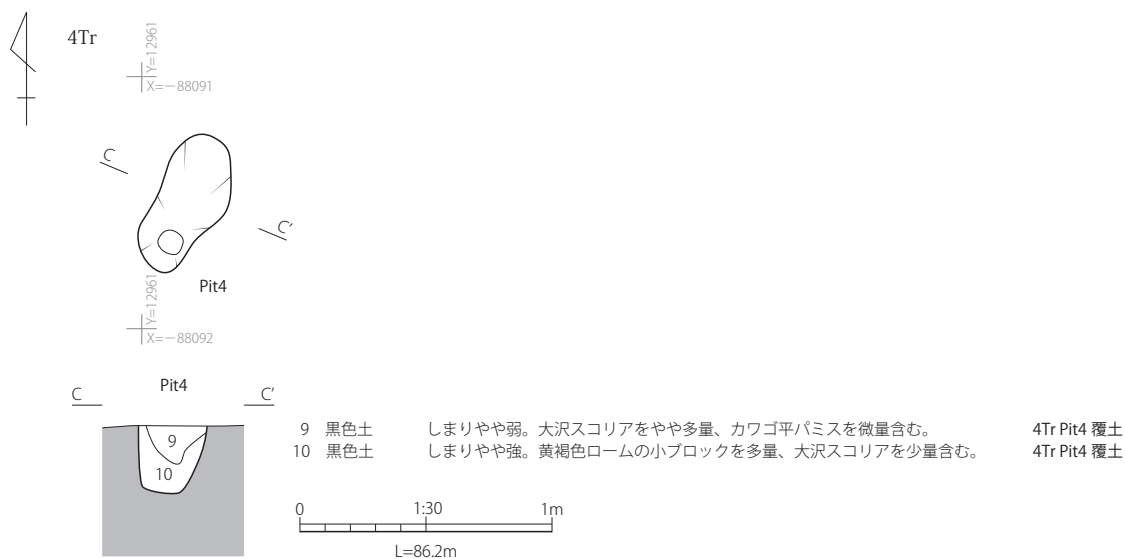


第131図 天間沢遺跡Q地区 1Tr遺構平面図、セクション図

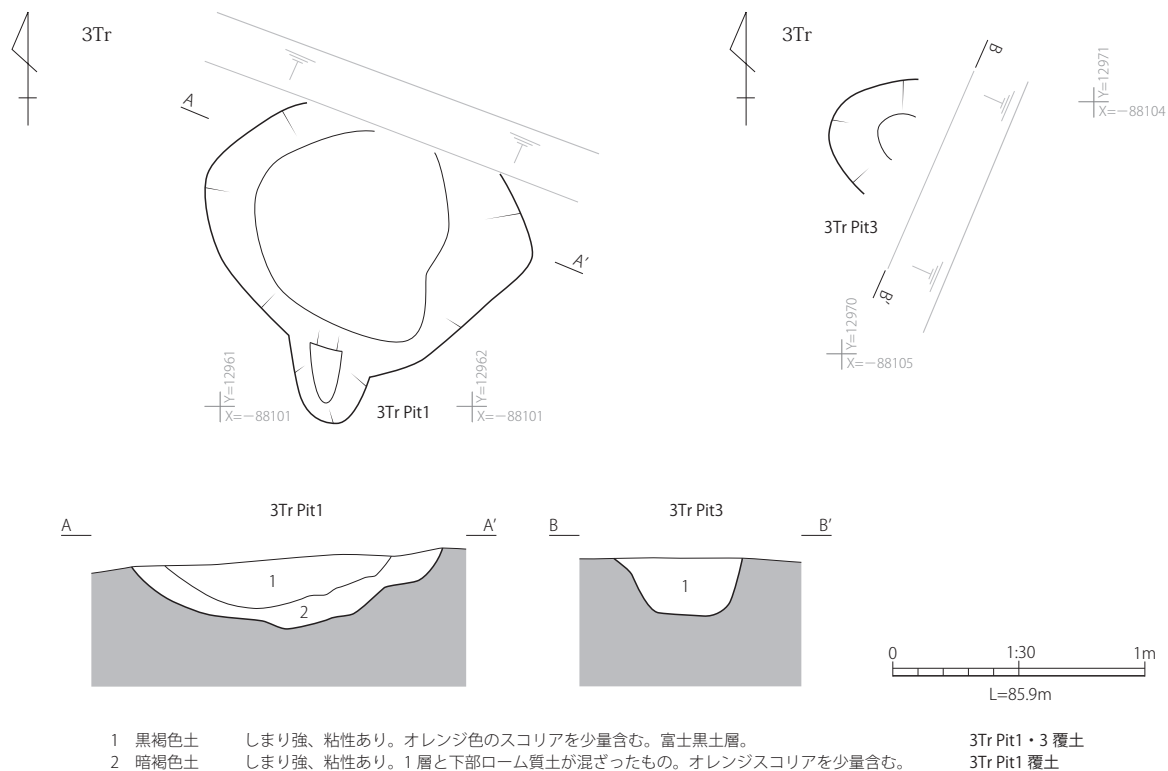


- |            |  |             |
|------------|--|-------------|
| 1 黒褐色土     | しまりやや弱、粘性ややあり。大沢スコリアをやや多量、黄褐色ロームを少量含む。           | 2Tr Pit2 覆土 |
| 2 暗褐色土     | しまり弱、粘性ややあり。黄褐色ローム土が主体で黒褐色土が少量混ざる。               | 2Tr Pit2 覆土 |
| 3 黄褐色土混黒色土 | しまりあり、粘性やや弱。オレンジ色の微細スコリアを微量含む。                   | 2Tr SK1 覆土  |
| 4 黒色土      | しまり強、粘性あり。オレンジ色の微細スコリアを少量、5mm以下の溶岩粒を微量含む。富士黒対応層。 | 2Tr SK1 覆土  |
| 5 黄褐色土混黒色土 | しまりあり、粘性弱。1cm以下の溶岩粒を少量含む。                        | 2Tr SK1 覆土  |
| 6 黄褐色土混黒色土 | しまりやや弱、粘性あり。オレンジ色の微細スコリア・5cm以下の溶岩粒を微量含む。         | 2Tr SK1 覆土  |
| 7 黒色土混黄褐色土 | しまりやや弱、粘性弱。溶岩粒はあまり見られない。                         | 2Tr SK1 覆土  |
| 8 黒色土混黄褐色土 | しまりややあり、粘性やや弱。オレンジ色の微細スコリア・1cm以下の溶岩粒を微量含む。       | 2Tr SK1 覆土  |

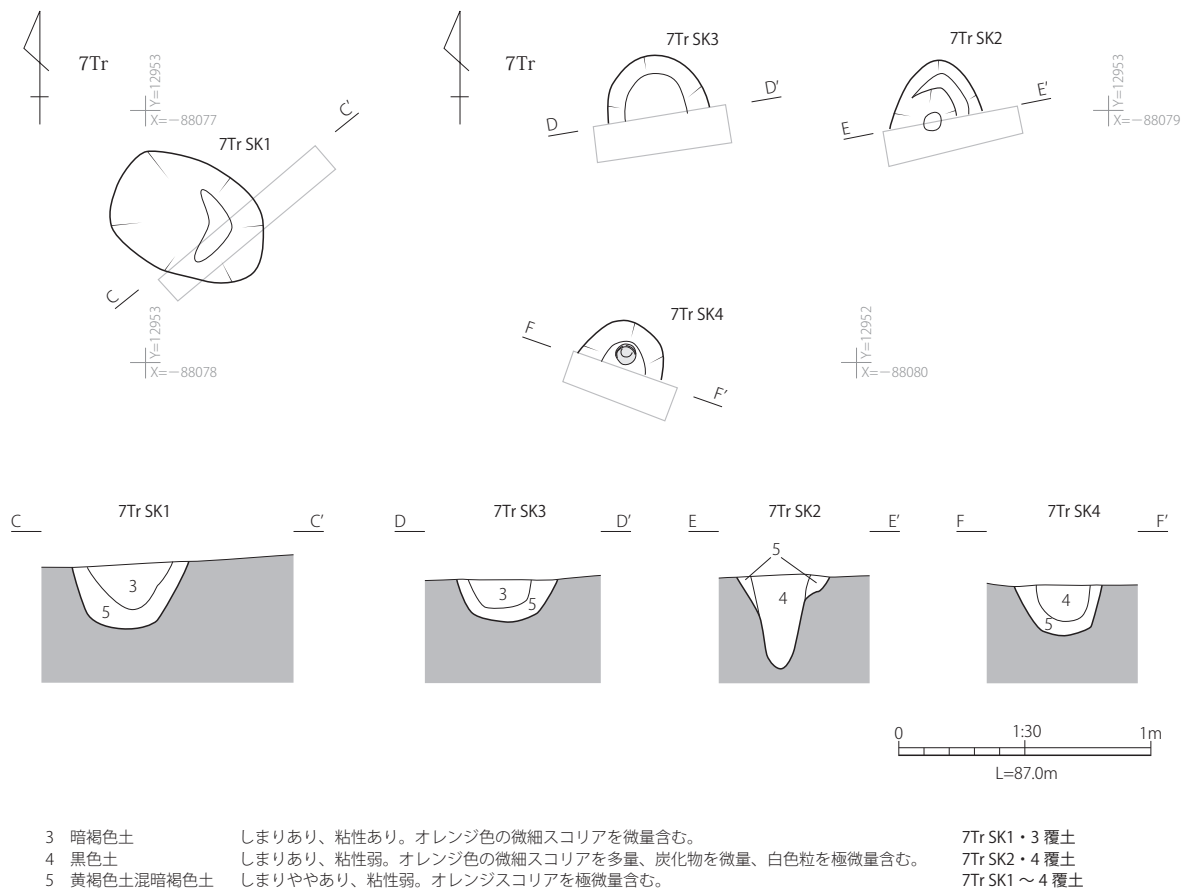
第132図 天間沢遺跡Q地区 2Tr 遺構平面図、セクション図



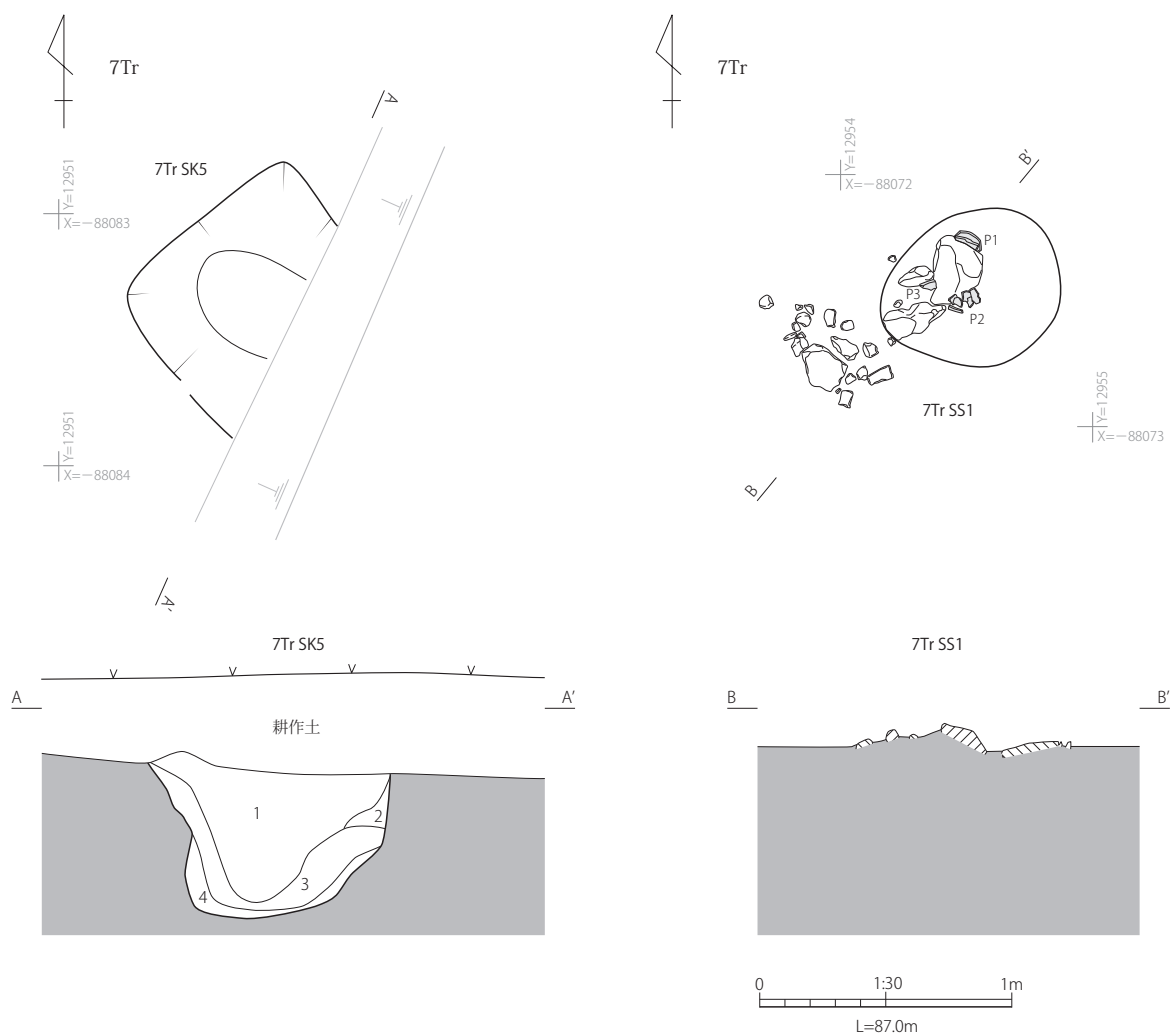
第133図 天間沢遺跡Q地区 4Tr 遺構平面図、セクション図



第 134 図 天間沢遺跡 Q 地区 3Tr 遺構平面図、セクション図

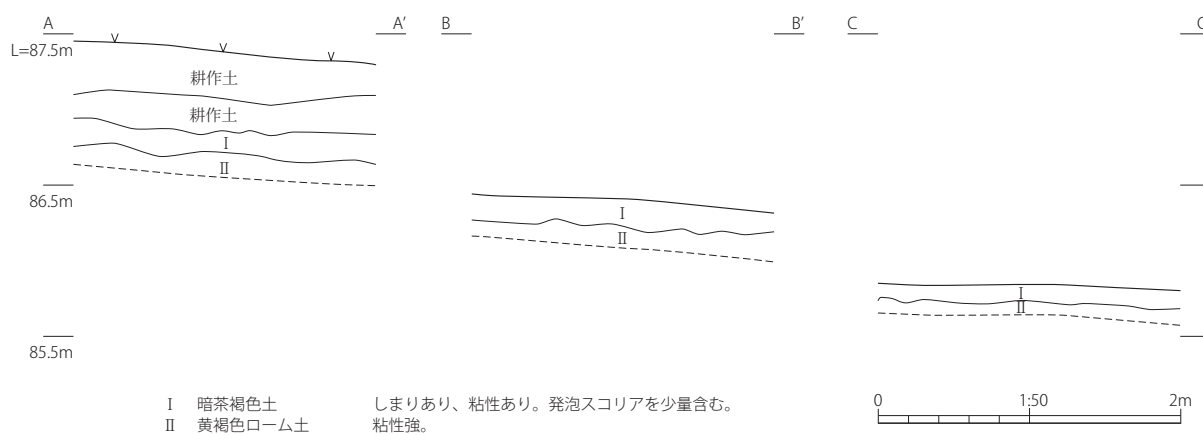


第 135 図 天間沢遺跡 Q 地区 7Tr 遺構平面図、セクション図 ①



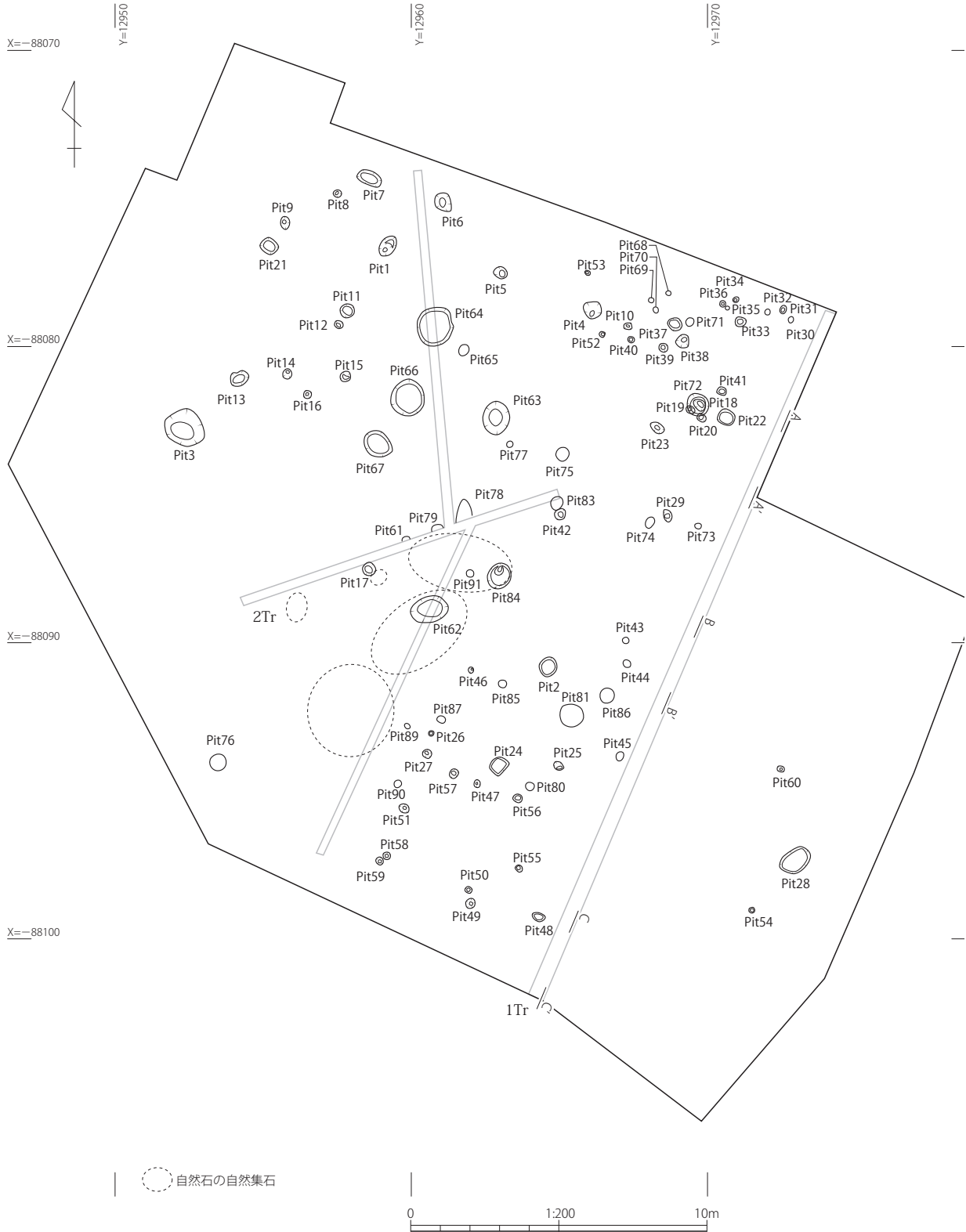
- |            |   |            |
|------------|---|------------|
| 1 黒色土      | しまり強、粘性ややあり。オレンジ色の微細スコリアを少量、白色粒・5mm以下の溶岩粒を微量含む。 | 7Tr SK5 覆土 |
| 2 黄褐色土混黒色土 | しまり強、粘性ややあり。オレンジ色のスコリアを極微量、1cm以下の溶岩粒を微量含む。      | 7Tr SK5 覆土 |
| 3 黄褐色土混黒色土 | しまりあり、粘性ややあり。オレンジ色の微細スコリアを少量、5mm以下の溶岩粒を微量含む。    | 7Tr SK5 覆土 |
| 4 黄褐色土混黒色土 | しまり強やや弱、粘性弱。1cm以下の溶岩粒を少量含む。                     | 7Tr SK5 覆土 |

第136図 天間沢遺跡Q地区 7Tr遺構平面図、セクション図 ②



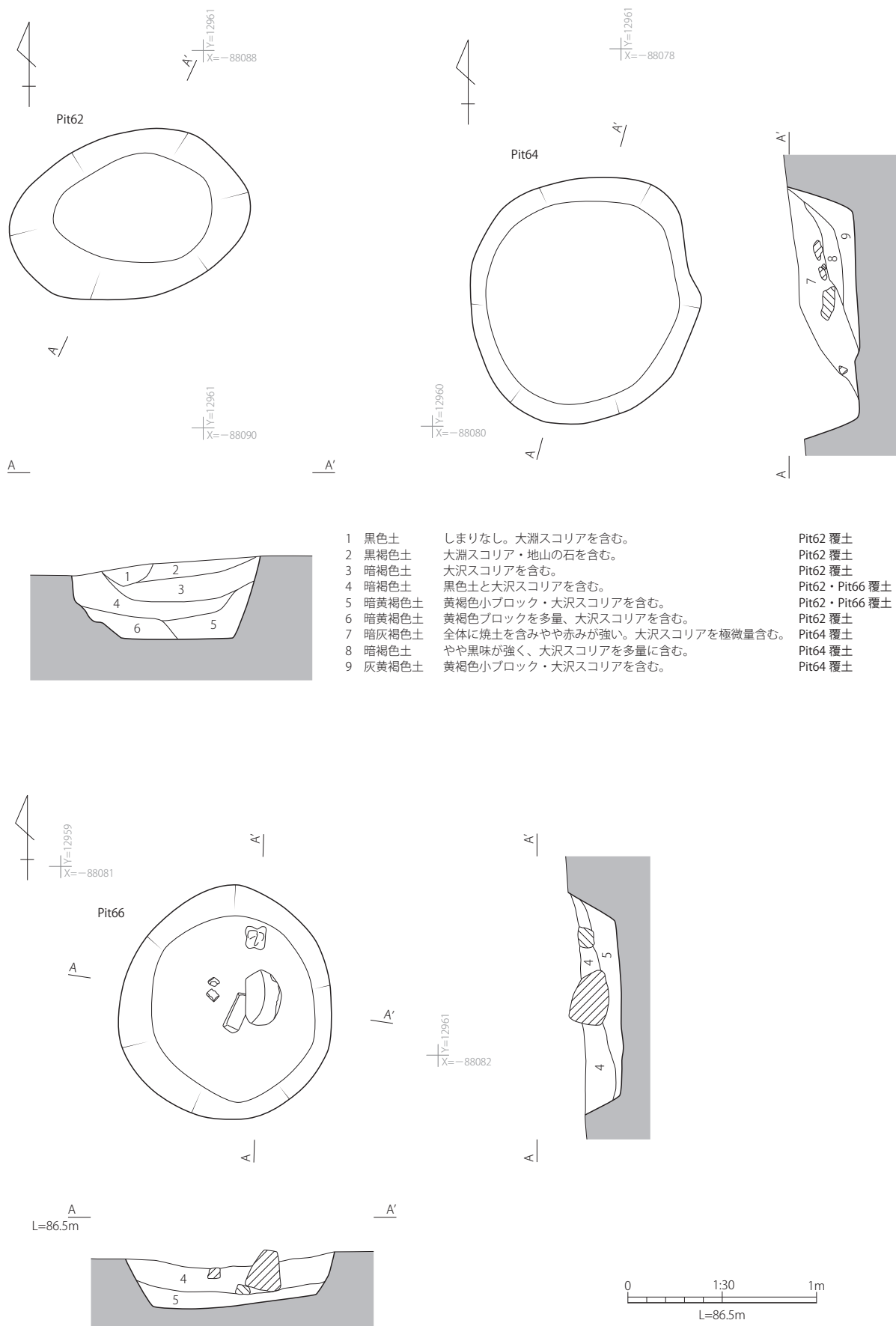
- |            |                         |
|------------|-------------------------|
| I 暗茶褐色土    | しまりあり、粘性あり。発泡スコリアを少量含む。 |
| II 黄褐色ローム土 | 粘性強。                    |

第137図 天間沢遺跡Q地区 本調査区セクション図

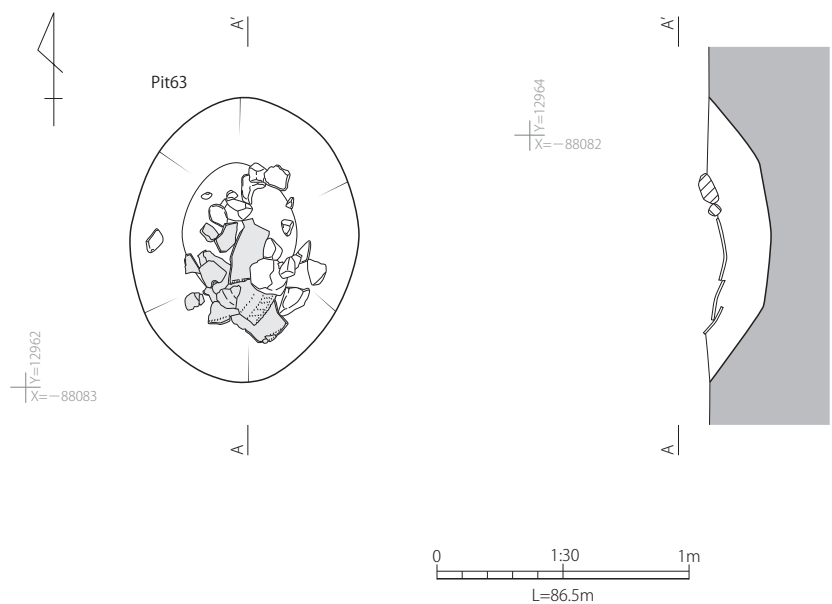


第 138 図 天間沢遺跡 Q 地区 本調査区全体図





第139図 天間沢遺跡Q地区 本調査区 遺構平面図、セクション図 ①

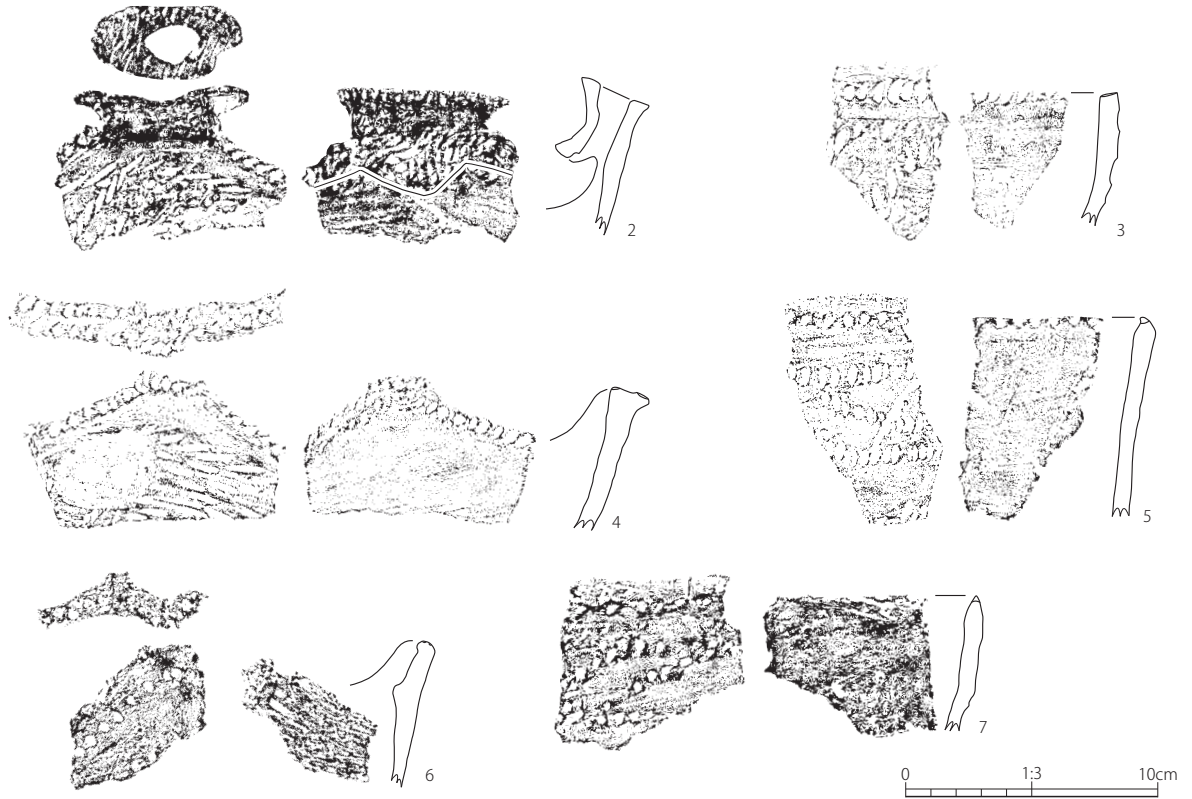
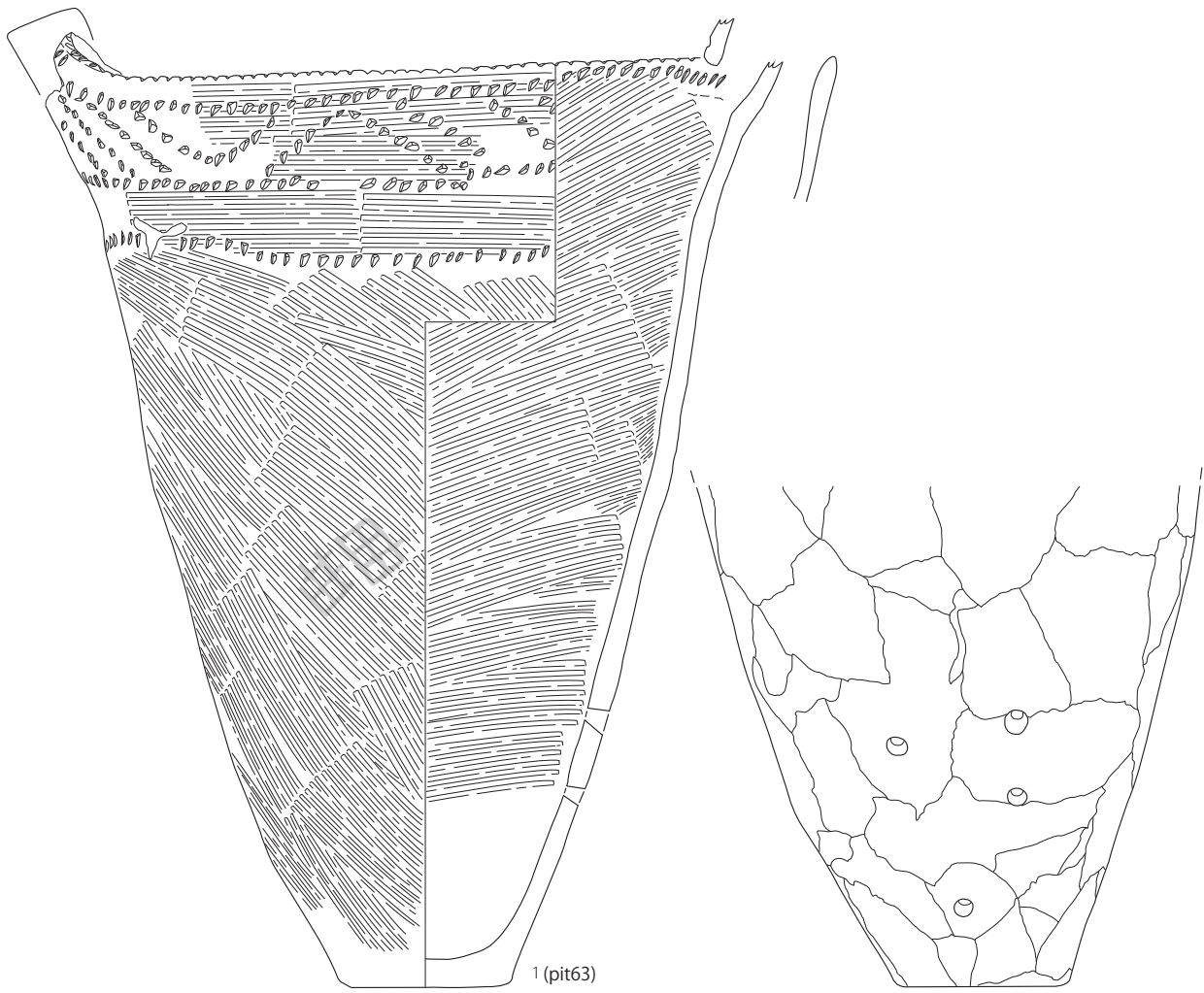


第 140 図 天間沢遺跡 Q 地区 本調査区 遺構平面図、セクション図 ②

第 12 表 天間沢遺跡 Q 地区 遺構一覧表

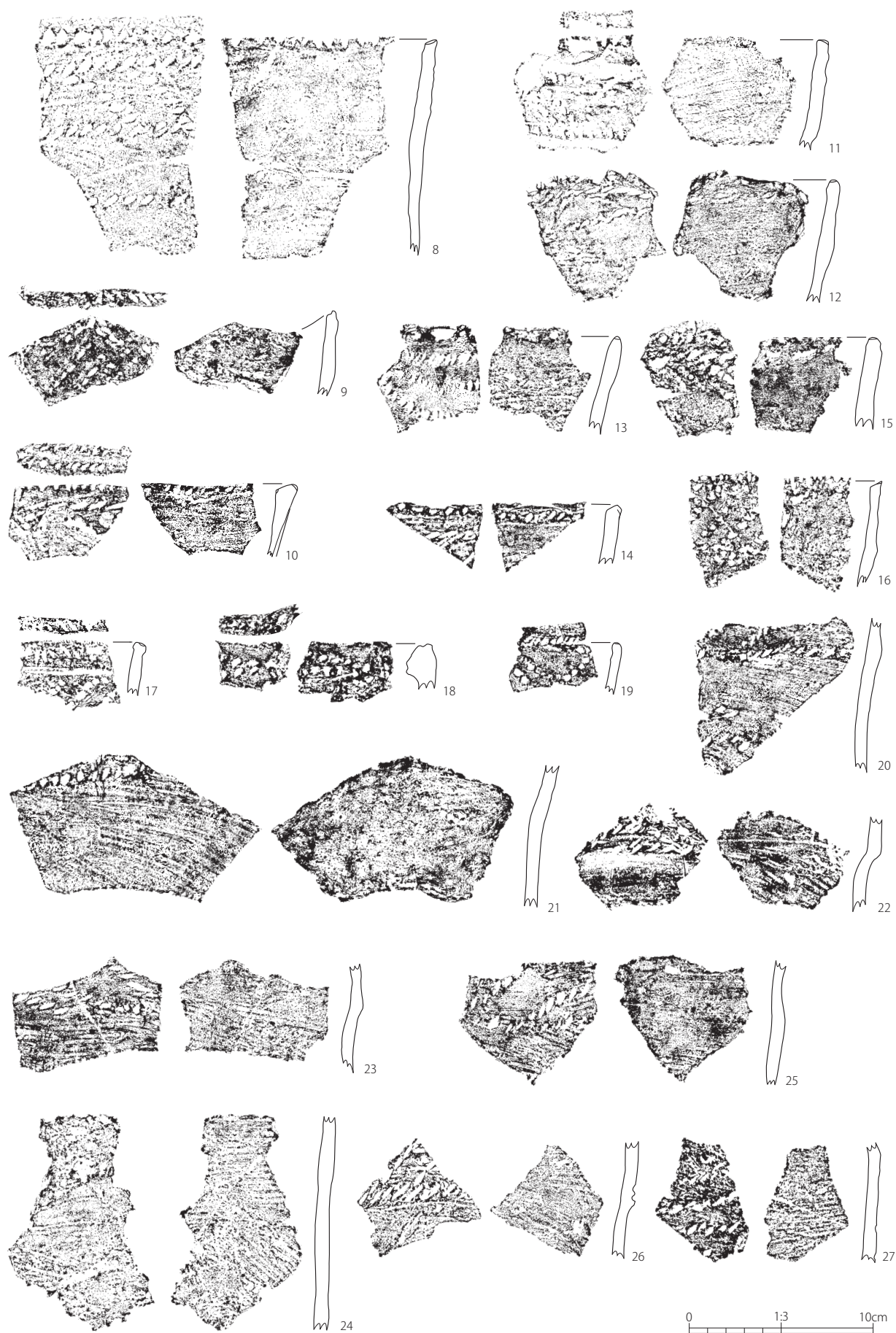
| 調査区  | 遺構番号     | 長軸 (cm) | 短軸 (cm) | 深さ (cm) | 平面形   | 断面形  | 覆土     |
|------|----------|---------|---------|---------|-------|------|--------|
| 1Tr  | 1Tr Pit1 | 80      | 59      | 18      | 不整形   | 丸底   |        |
| 1Tr  | 1Tr Pit2 | 68      | 59      | 22      | 不整形   | 丸底   |        |
| 1Tr  | 1Tr Pit3 | 95      | 62      | 20      | 不整形   | 平底   |        |
| 1Tr  | 1Tr Pit4 | 87      | (77)    | 19      | 不整形   | 平底   |        |
| 2Tr  | 2Tr Pit1 | -       | -       | -       | -     | -    |        |
| 2Tr  | 2Tr Pit2 | 55      | 49      | 15      | 不整形   | 丸底   |        |
| 2Tr  | 2Tr Pit3 | -       | -       | -       | -     | -    |        |
| 2Tr  | 2Tr Pit4 | -       | -       | -       | -     | -    |        |
| 3Tr  | 3Tr Pit1 | 132     | (118)   | 30      | 不整形   | 浅い丸底 |        |
| 3Tr  | 3Tr Pit2 | 112     | 58      | 16      | 不整形   | 丸底   |        |
| 3Tr  | 3Tr Pit3 | 50      | (29)    | 22      | (円形)  | 平底   |        |
| 3Tr  | 3Tr Pit4 | 103     | 71      | 15      | 不整形   | -    |        |
| 4Tr  | 4Tr Pit1 | 90      | 62      | 16      | 楕円形   | 平底   | 富士黒    |
| 4Tr  | 4Tr Pit2 | 42      | 34      | 12      | 円形    | 平底   | 富士黒    |
| 4Tr  | 4Tr Pit3 | (55)    | 57      | 12      | (楕円形) | 平底   | スコリア含む |
| 4Tr  | 4Tr Pit4 | 58      | 28      | 27      | 楕円形   | 平底   | スコリア含む |
| 7Tr  | 7Tr SK1  | 64      | 45      | 27      | 楕円形   | 丸底   |        |
| 7Tr  | 7Tr SK2  | 37      | (24)    | 37      | (楕円形) | 丸底   |        |
| 7Tr  | 7Tr SK3  | 40      | (24)    | 17      | (円形)  | 丸底   |        |
| 7Tr  | 7Tr SK4  | 35      | (19)    | 20      | (円形)  | 丸底   |        |
| 7Tr  | 7Tr SK5  | 90      | (63)    | 58      | (方形)  | 丸底   |        |
| 7Tr  | 7Tr SS1  | 74      | 61      | -       | 楕円形   | -    |        |
| 本調査区 | Pit1     | 76      | 50      | 33      | 楕円形   | -    | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit2     | 65      | 59      | 26      | 円形    | -    | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit3     | 142     | 119     | 48      | 楕円形   | -    | 黒色土    |
| 本調査区 | Pit4     | 63      | 63      | 35      | 楕円形   | -    | 黒色土    |
| 本調査区 | Pit5     | 48      | 37      | 19      | 円形    | -    |        |
| 本調査区 | Pit6     | 72      | 59      | 15      | 楕円形   | -    |        |
| 本調査区 | Pit7     | 84      | 49      | 19      | 楕円形   | -    |        |
| 本調査区 | Pit8     | 29      | 24      | 34      | 円形    | -    |        |
| 本調査区 | Pit9     | 44      | 31      | 20      | 楕円形   | -    |        |
| 本調査区 | Pit10    | 28      | 21      | 21      | 楕円形   | -    |        |
| 本調査区 | Pit11    | 47      | 45      | 13      | 円形    | -    |        |
| 本調査区 | Pit12    | 30      | 26      | 39      | 円形    | -    | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit13    | 63      | 48      | 52      | 楕円形   | -    |        |
| 本調査区 | Pit14    | 34      | 29      | 43      | 円形    | -    |        |
| 本調査区 | Pit15    | 38      | 33      | 22      | 円形    | -    |        |
| 本調査区 | Pit16    | 28      | 27      | 19      | 円形    | -    |        |
| 本調査区 | Pit17    | 46      | 41      | 11      | 円形    | -    | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit18    | 46      | 35      | 47      | 楕円形   | -    | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit19    | 31      | 25      | 35      | 円形    | -    | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit20    | 32      | 24      | 38      | 円形    | -    | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit21    | 56      | 50      | 24      | 隅丸方形  | -    |        |

| 調査区  | 遺構番号  | 長軸 (cm) | 短軸 (cm) | 深さ (cm) | 平面形   | 断面形 | 覆土     |
|------|-------|---------|---------|---------|-------|-----|--------|
| 本調査区 | Pit22 | 58      | 53      | 23      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit23 | 54      | 33      | 28      | 楕円形   | -   |        |
| 本調査区 | Pit24 | 60      | 52      | 16      | 隅丸方形  | -   | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit25 | 35      | 27      | 15      | 不整形   | -   |        |
| 本調査区 | Pit26 | 18      | 18      | 20      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit27 | 30      | 28      | 19      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit28 | 109     | 75      | 30      | 楕円形   | -   |        |
| 本調査区 | Pit29 | 44      | 27      | 31      | 楕円形   | -   |        |
| 本調査区 | Pit30 | 20      | 18      | 16      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit31 | 30      | 22      | 19      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit32 | 19      | 18      | 19      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit33 | 38      | 33      | 20      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit34 | 20      | 19      | 32      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit35 | 15      | 14      | 29      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit36 | 21      | 21      | 38      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit37 | 50      | 45      | 51      | 楕円形   | -   | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit38 | 46      | 45      | 47      | 楕円形   | -   |        |
| 本調査区 | Pit39 | 32      | 29      | 51      | 円形    | -   | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit40 | 23      | 22      | 32      | 円形    | -   | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit41 | 32      | 26      | 22      | 楕円形   | -   |        |
| 本調査区 | Pit42 | 40      | 37      | 29      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit43 | 22      | 21      | 19      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit44 | 28      | 24      | 10      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit45 | 31      | 23      | 43      | 円形    | -   | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit46 | 21      | 18      | 26      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit47 | 25      | 21      | 34      | 円形    | -   | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit48 | 44      | 29      | 8       | 楕円形   | -   |        |
| 本調査区 | Pit49 | 36      | 32      | 54      | 円形    | -   | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit50 | 24      | 21      | 31      | 円形    | -   | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit51 | 35      | 29      | 40      | 円形    | -   | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit52 | 19      | 17      | 27      | 円形    | -   | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit53 | 21      | 16      | 25      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit54 | 20      | 20      | 11      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit55 | 25      | 21      | 27      | 楕円形   | -   |        |
| 本調査区 | Pit56 | 34      | 29      | 23      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit57 | 32      | 28      | 19      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit58 | 26      | 23      | 31      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit59 | 27      | 25      | 28      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit60 | 26      | 20      | 18      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit61 | 27      | (13)    | -       | (円形)  | -   |        |
| 本調査区 | Pit62 | 126     | 88      | 42      | 楕円形   | 平底  | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit63 | 113     | 90      | 20      | 楕円形   | 丸底  |        |
| 本調査区 | Pit64 | 137     | 120     | 34      | 楕円形   | 平底  | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit65 | 40      | 32      | -       | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit66 | 123     | 113     | 25      | 円形    | 平底  | スコリア含む |
| 本調査区 | Pit67 | 105     | 83      | -       | 楕円形   | -   |        |
| 本調査区 | Pit68 | 16      | 16      | -       | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit69 | 16      | 16      | -       | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit70 | 20      | 17      | -       | 楕円形   | -   |        |
| 本調査区 | Pit71 | 28      | 24      | -       | 楕円形   | -   |        |
| 本調査区 | Pit72 | 79      | 74      | -       | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit73 | 21      | 19      | -       | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit74 | 39      | 27      | -       | 楕円形   | -   |        |
| 本調査区 | Pit75 | 47      | 43      | -       | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit76 | 57      | 57      | 53      | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit77 | 21      | 21      | -       | (円形)  | -   |        |
| 本調査区 | Pit78 | (65)    | 60      | -       | (楕円形) | -   |        |
| 本調査区 | Pit79 | 42      | (19)    | -       | (円形)  | -   |        |
| 本調査区 | Pit80 | 28      | 28      | -       | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit81 | 79      | 75      | -       | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit83 | 46      | 39      | -       | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit84 | 89      | 76      | -       | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit85 | 25      | 25      | -       | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit86 | 53      | 48      | -       | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit87 | 30      | 21      | -       | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit89 | 19      | 16      | -       | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit90 | 27      | 22      | -       | 円形    | -   |        |
| 本調査区 | Pit91 | 25      | 24      | -       | 円形    | -   |        |

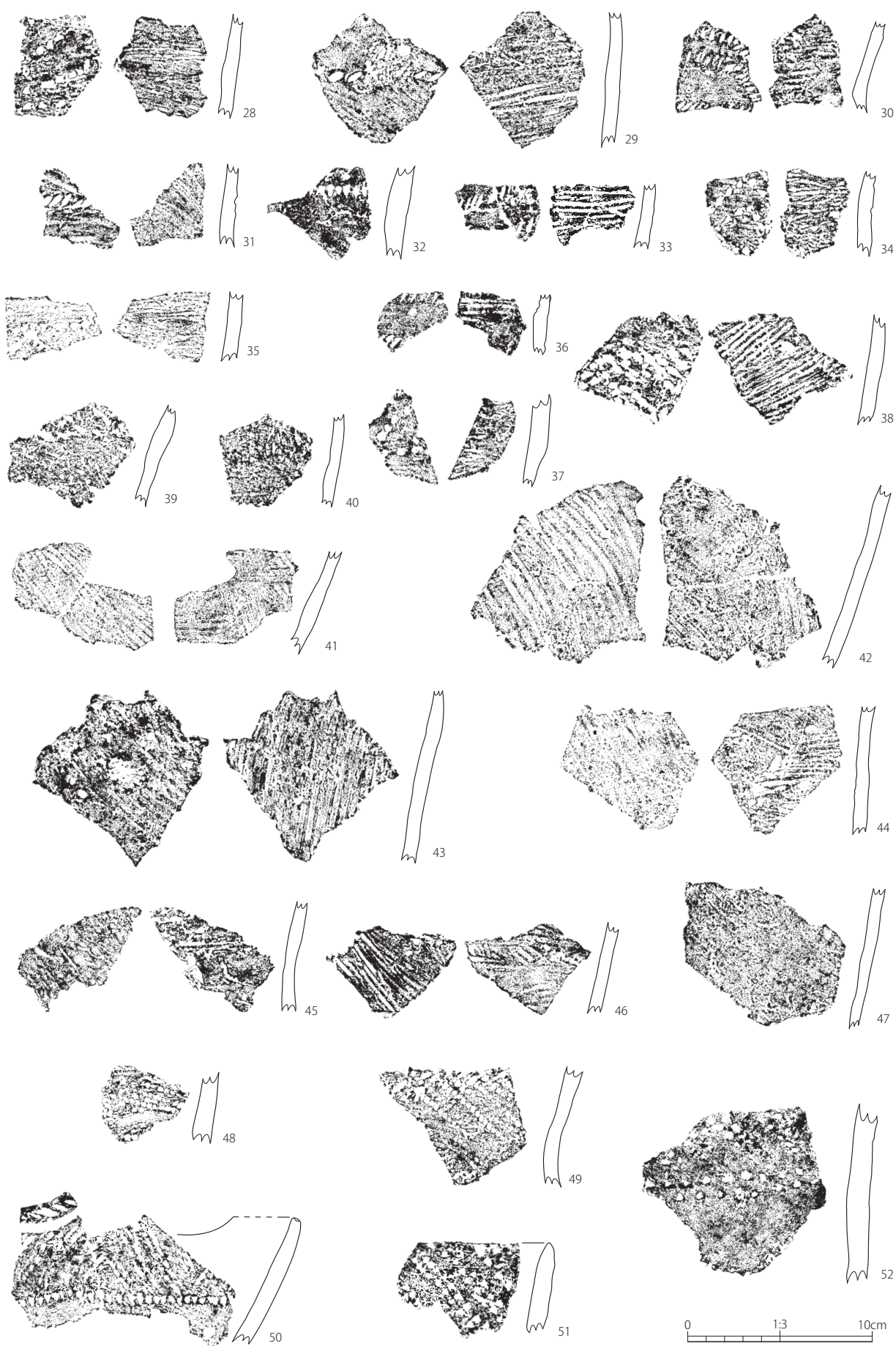


第 141 図 天間沢遺跡 Q 地区 出土遺物実測図 ①





第142図 天間沢遺跡Q地区 出土遺物実測図 ②



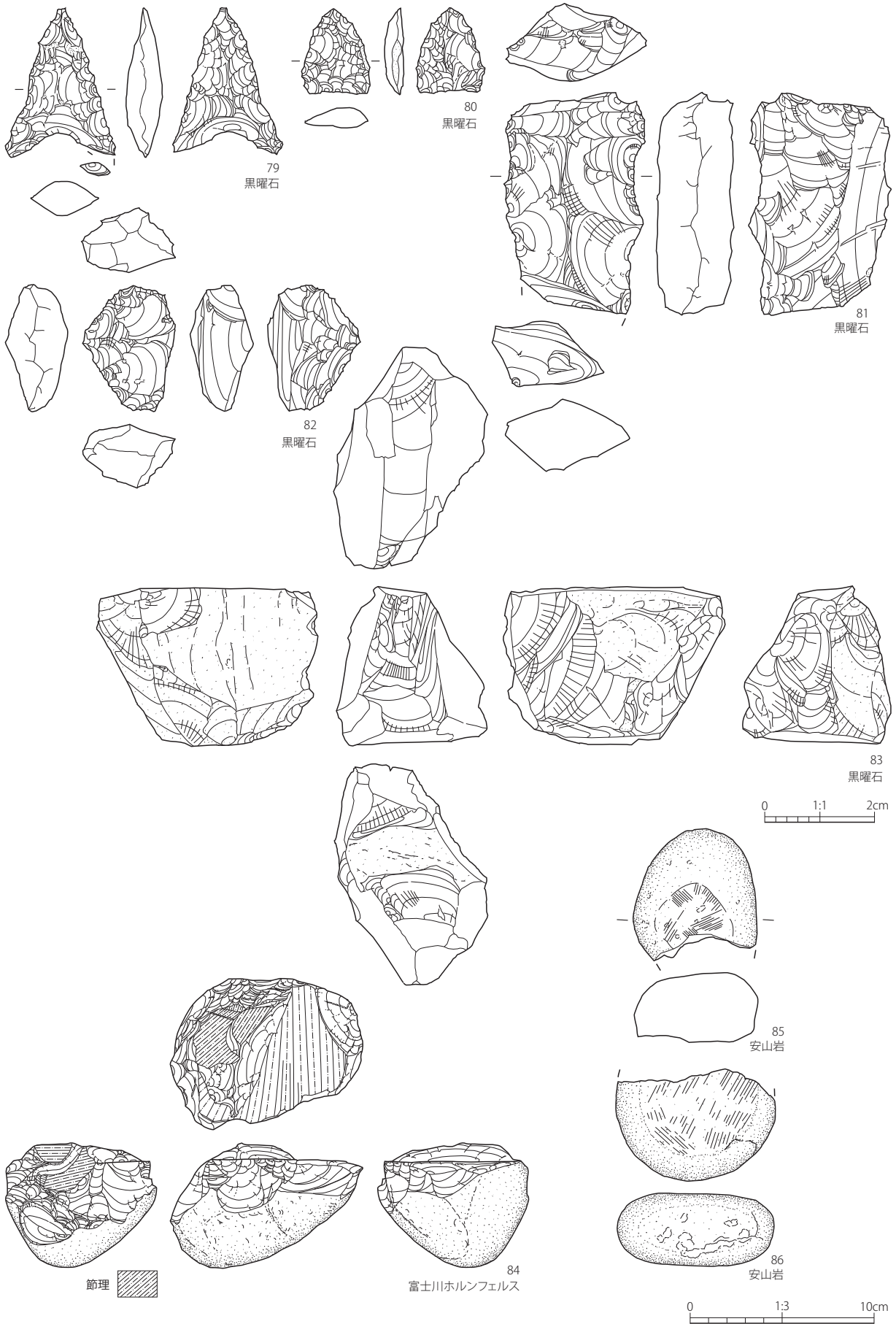
第143図 天間沢遺跡Q地区 出土遺物実測図 ③



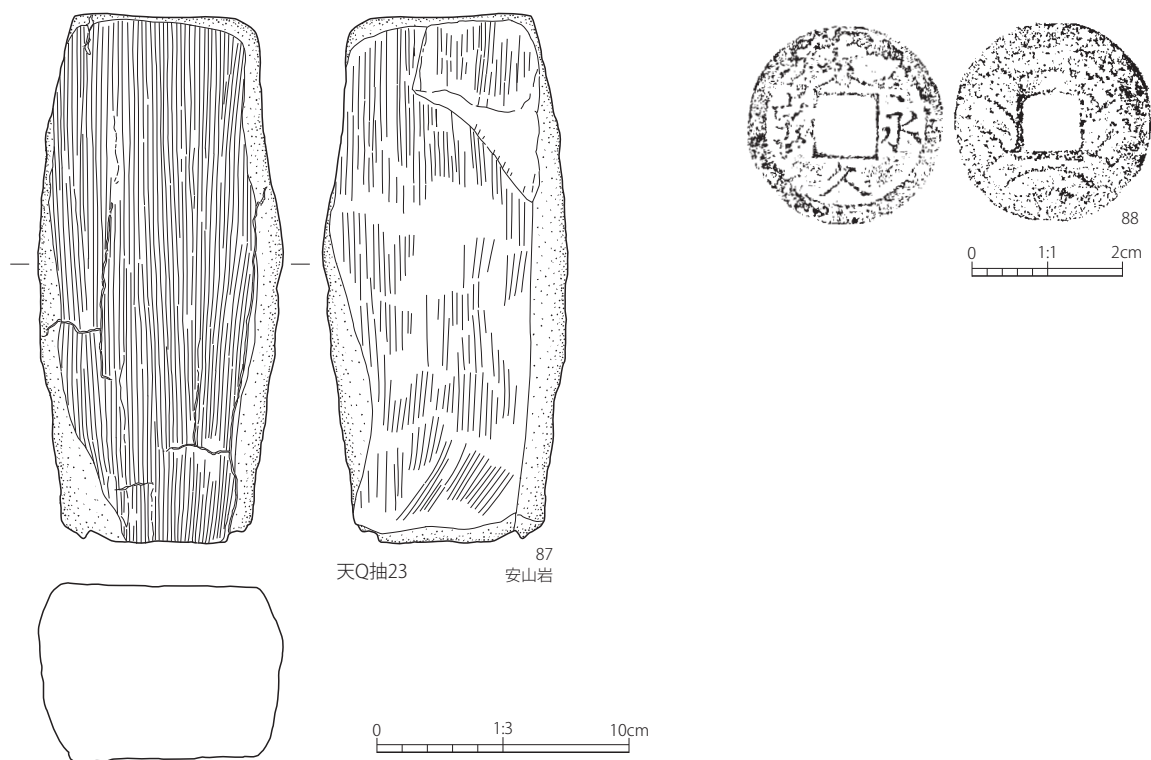


第144図 天間沢遺跡Q地区 出土遺物実測図 ④





第145図 天間沢遺跡Q地区 出土遺物実測図 ⑤



第 146 図 天間沢遺跡 Q 地区 出土遺物実測図 ⑥

第 13 表 天間沢遺跡 Q 地区 出土土器観察表

| 挿図<br>図版         | 番号 | 出土場所    | 色調内側          | 色調外側          | 分類      | 型式    | 観察   | 現地<br>番号 |
|------------------|----|---------|---------------|---------------|---------|-------|--|----------|
| 第 141 図<br>PL.24 | 1  | Pit63   | 10YR4/1 褐灰    | 10YR5/3 にぶい黄褐 | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 二単位の注口状把手を持つ平底の深鉢。口縁部は二段の段を形成し、段の境には連続刺突文を施文する。文様は、口唇とその表裏両面に連続刺突文を施し、一段目の文様帯は刺突による三角文と、その辺に合わせた斜行文で構成する。二段目は貝殻腹縁による横平行の条痕を施し、器体下半は斜め条痕を全体に施文する。器体には部分的に籠状の包み容器の痕跡と思われる、黒色の斜め格子の模様が観察される。また、底部近くに補修孔のような貫通孔が7つも空けられている。Pit63 出土。残存高 39.6cm、底径 7cm。 |          |
| 第 141 図<br>PL.25 | 2  | B2Gr    | 10YR6/3 にぶい黄  | 7.5YR4/3 褐    | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 注口状の把手部分。口唇の表角と裏角に斜め爪形の刻みを施し、口唇上面平坦部を上げる形で、幅広い漏斗状の把手を形づくる。把手上面は楕円形の笠状になり、爪形文が密接施文される。波状口縁に沿うように斜め爪形の連続刺突を施文し、その下に斜め平行の連続爪形文を配置する。把手の裏面の注口部は、口唇の裏角部分をそのまま三角形に突出させる形で張り出す成形をしている。  | R57      |
| 第 141 図<br>PL.25 | 3  | 集石中     | 10YR3/1 黒褐    | 2.5Y2/1 黒     | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 器面全体に横位の擦痕がみられ、口唇に平行する二本の連続爪形文とその間に斜行する連続爪形文を施文し文様帯を形成する。やや内側に傾斜する、角のある口唇上面に連続爪形文を施している。   | R42      |
| 第 141 図<br>PL.25 | 4  | 排土      | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙 | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 波状口縁の突起部を含む口縁部。口唇の表角と裏角に斜め爪形の刻みを施し、波状口縁に沿うように斜め爪形の連続刺突を施文する。その下に斜行する連続爪形文を施文する。突起部は厚みを増して、上面は楕円形の平坦面となる。   | R38      |
| 第 141 図<br>PL.25 | 5  | SK4・7Tr | 2.5YR5/6 明赤褐  | 10YR3/1 黒褐    | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 鋭角な口唇に刻みを施し、口縁に平行して連続した爪形文を二列に配置して文様帯とし、内部に斜行の連続爪形文を施文する。  | R24      |
| 第 141 図<br>-     | 6  |         | 10YR8/4 浅黄橙   | 10YR4/2 灰黄褐   | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 波状口縁の酒杯状把手部分。口唇に沿って連続刺突文を施し、口唇上面には管状工具による円形の連続刺突文を施文する。  | R45      |

| 挿図<br>図版         | 番号 | 出土場所    | 色調内側           | 色調外側          | 分類      | 型式    | 観察   | 現地<br>番号    |
|------------------|----|---------|----------------|---------------|---------|-------|--|-------------|
| 第 141 図<br>PL.25 | 7  | 4Tr     | 7.5YR7/6 橙     | 7.5YR3/2 黒褐   | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 口唇に刻みを入れ、口唇近くと口縁部の段に平行して連続に爪形の斜め刺突文を施し、その間を斜行する刺突文を施文する。裏面に薄く貝殻条痕文を施文する。胎土には多くの繊維を混入する。                                    | R7          |
| 第 142 図<br>PL.25 | 8  | 6Tr     | 10YR7/4 にぶい黄橙  | 10YR6/4 にぶい黄橙 | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 口唇に刻みを入れ、口唇と口縁部の段の下に平行して連続に爪形の斜め刺突文を施し、その間を斜行する刺突文を施文する。段より下位は、ゆるやかにくびれるが、その下部に水平の連続刺突文を施文する。裏面は植物質の繊維による横位の擦痕で、全体を整形している。 | R29・<br>R44 |
| 第 142 図<br>PL.25 | 9  | C2Gr    | 5YR5/6 明赤褐     | 7.5YR3/1 黒褐   | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 波状口縁の突起部。口唇上面に斜め刻みを施し、茎状の工具による平行押引き文で重なった V 字状に施文する。胎土には多量の繊維を含有する。  | R59         |
| 第 142 図<br>-     | 10 | 5Tr     | 10YR7/4 にぶい黄橙  | 10YR6/3 にぶい黄橙 | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 口唇の表角と裏角に斜め爪形の刻みを施し、波状口縁に沿うように斜め爪形の連続刺突を施文する。  | R36         |
| 第 142 図<br>-     | 11 | 5Tr     | 7.5YR6/4 にぶい橙  | 7.5YR5/3 にぶい褐 | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 口唇に刻みを入れ、口縁部の段に、断面四角の工具による連続刺突を施して文様帯とし、その中に重なった V 字に連続刺突文を施文する。裏面には貝殻条痕文を施す。  | R36         |
| 第 142 図<br>-     | 12 | Pit61   | 7.5YR6/4 にぶい橙  | 7.5YR6/4 にぶい橙 | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 鋭角な口唇部に茎状の工具で刻みを入れ、口唇に接して連続斜め刺突文を施文、その下に平行する連続斜め刺突文を施文して、その間を、連続斜め刺突文で重ねた V 字状に施文する。胎土には多量の繊維を含有する。                        | R52         |
| 第 142 図<br>-     | 13 |         | 7.5YR4/3 褐     | 5YR4/3 にぶい赤褐  | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 口唇上面に刻みを入れ、口縁部平行する連続爪形文の下に、並行する連続爪形文を凹字状に施文する。胎土に繊維を多量に含有する。   | R38         |
| 第 142 図<br>-     | 14 | 表採      | 7.5YR8/6 浅黄橙   | 10YR7/3 にぶい黄橙 | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 鋭角な口唇の表角と裏角に斜め爪形の刻みを施し、口唇に沿って連続の斜め爪形文を施文する。  | R66         |
| 第 142 図<br>-     | 15 | 5Tr 東   | 2.5YR6/6 橙     | 10YR3/2 黒褐    | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 口唇に刻みを入れ、口唇に沿って表裏に斜め刺突文を施文、表側に斜行する斜め刺突文を施文する。胎土に多量の繊維を含む。  | R36         |
| 第 142 図<br>PL.25 | 16 | C2Gr    | 7.5YR5/4 にぶい褐  | 7.5YR5/3 にぶい褐 | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 鋭角な口唇に刻みを施し、さらに口唇平坦面にも刺突文を施文する。口唇に接して連続刺突文を施文、平行して段部分にも刺突文を施して文様帯とし、内部に斜行の刺突文を施文する。  | R64         |
| 第 142 図<br>PL.25 | 17 | 5Tr 東   | 10YR6/3 にぶい黄橙  | 10YR6/3 にぶい黄橙 | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 口唇に浅い刻みを施し、口唇に沿って浅い沈線を引いて、その下に連続刺突文を斜行して施文する。  | R36         |
| 第 142 図<br>-     | 18 | 5Tr     | 10YR4/1 褐灰     | 10YR3/2 黒褐    | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 口縁部把手部分。口唇内側に注口状に環をつくって、口唇ともに上に斜め刺突文を施す。口縁の表裏にも平行して連続刺突文を施文する。   | R9          |
| 第 142 図<br>-     | 19 | C2Gr    | 10YR6/4 にぶい黄橙  | 7.5YR4/2 灰褐   | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 口唇上面に斜め爪形文の刻みを入れ、口縁部に並行する刺突文を凹字状に施文する。   | R64         |
| 第 142 図<br>PL.26 | 20 | C2Gr    | 10YR3/4 暗褐     | 7.5YR4/4 褐    | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 薄い貝殻条痕文を地文とし、段部分に連続した斜め爪形文を施文する。   | R64         |
| 第 142 図<br>PL.26 | 21 | Pit63   | 2.5YR6/8 橙     | 7.5YR6/4 にぶい橙 | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 貝殻条痕を地文に、口縁部近くで、水平に斜め連続刺突を施す。胎土に多量の繊維を含む。  | R81         |
| 第 142 図<br>PL.26 | 22 | C1Gr    | 10YR6/4 にぶい黄橙  | 7.5YR5/3 にぶい褐 | I 群 A 類 | ハッ崎 I | はっきりとした段をつくり、口縁部文様帯を形成、段に斜め爪形文を施し、その上に連続爪形文で並行する山形の文様を描く。  | R58         |
| 第 142 図<br>PL.26 | 23 |         | 10YR6/4 にぶい黄橙  | 5YR4/4 にぶい赤褐  | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 段をもつ口縁部の文様帯部分。段に連続斜め爪形文を施文し、その上に斜行する爪形文を施文する。表裏に貝殻条痕文を施し地文としている。   | R40         |
| 第 142 図<br>-     | 24 | 5Tr 東   | 10YR6/4 にぶい黄橙  | 5YR4/3 にぶい赤褐  | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 平行する連続刺突文と斜行する連続刺突文を施文する。裏面の口縁部に近いと思われる部分に横位の貝殻条痕文が施文される。  | R36         |
| 第 142 図<br>PL.26 | 25 |         | 10YR6/4 にぶい黄橙  | 7.5YR4/2 灰褐   | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 段をもつ口縁部の文様帯部分。段に連続斜め爪形文を施文し、その上に斜行する爪形文を施文する。表裏に貝殻条痕文を施し地文としている。   | R40         |
| 第 142 図<br>-     | 26 | SK1・2Tr | 5YR6/6 橙       | 7.5YR6/4 にぶい橙 | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 段をもつ口縁部の文様帯部分。段に連続斜め爪形文を施文し、その上に斜行する爪形文を施文する。  | R19         |
| 第 142 図<br>PL.26 | 27 |         | 10YR7/4 にぶい黄橙  | 7.5YR7/4 にぶい橙 | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 連続した斜め爪形文を多重に平行して施文する。裏面は、植物繊維の擦痕で横ナデしている。   | R45         |
| 第 143 図<br>-     | 28 | Pit61   | 5YR6/6 橙       | 5YR5/4 にぶい赤褐  | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 平行する連続刺突文と斜行する連続刺突文を施文する。裏面に薄く貝殻条痕文を施文する。  | R52         |
| 第 143 図<br>-     | 29 | 7Tr     | 10YR7/4 にぶい黄橙  | 10YR4/2 灰黄褐   | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 連続した斜め爪形文を横位に施文、裏面に貝殻条痕文を施す。胎土に多くの繊維を含む。   | R12         |
| 第 143 図<br>PL.26 | 30 | 5Tr     | 2.5YR4/4 にぶい赤褐 | 7.5YR5/3 にぶい褐 | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 二つの段を持つ深鉢のくびれ部。段に連続爪形文を施文し、その間を平行、斜めに連続爪形文で文様帯を構成する。   | R4          |
| 第 143 図<br>-     | 31 | B3Gr    | 10YR7/4 にぶい黄橙  | 10YR6/3 にぶい黄橙 | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 貝殻条痕文を施文後、斜め連続刺突文を施文する。裏面に薄い貝殻条痕文を施す。  | R54         |
| 第 143 図<br>PL.26 | 32 | C1Gr    | 5YR5/4 にぶい赤褐   | 7.5YR4/2 灰褐   | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 斜め縦の連続刺突文を横位に施文している。器壁は厚く、胎土は少量に繊維を含む。   | R58         |
| 第 143 図<br>-     | 33 | C2Gr    | 5YR5/4 にぶい赤褐   | 7.5YR6/6 橙    | I 群 A 類 | ハッ崎 I | 平行する連続爪形文を施文。裏面には貝殻条痕文を施文する。   | R59         |

| 挿図<br>図版       | 番号 | 出土場所    | 色調内側          | 色調外側          | 分類       | 型式    | 観察  | 現地<br>番号 |
|----------------|----|---------|---------------|---------------|----------|-------|---|----------|
| 第143図<br>-     | 34 | Pit64   | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR5/3 にぶい褐 | I群A類     | ハッ崎I  | 重ねたV字状に連続刺突文を施文し、裏面に貝殻条痕文を薄く施文する。   | R68      |
| 第143図<br>-     | 35 | Pit64   | 10YR5/2 灰黄褐   | 7.5YR6/6 橙    | I群A類     | ハッ崎I  | 連続刺突文を横位に施文。裏面は貝殻条痕文を施文する。  | R68      |
| 第143図<br>-     | 36 |         | 7.5YR3/3 暗褐   | 5YR6/6 橙      | I群A類     | ハッ崎I  | 平行する連続斜め爪形文を施文し、裏面には貝殻条痕文を施す。   | R40      |
| 第143図<br>-     | 37 | Pit63   | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR4/3 褐    | I群A類     | ハッ崎I  | 深鉢の段部分。段に連続刺突文を施し、その上部に斜行する連続刺突文を施文する。  | R81      |
| 第143図<br>-     | 38 | B2Gr    | 7.5YR7/6 橙    | 2.5YR6/6 橙    | I群A類     | ハッ崎I  | 連続刺突文を横位に施文し、その下に並行する連続刺突文を凹字状に施文する。裏面には貝殻条痕文を施文する。胎土に多量の繊維を含む。   | R64      |
| 第143図<br>-     | 39 |         | 2.5YR6/6 橙    | 5YR5/4 にぶい赤褐  | I群A類     | ハッ崎I  | 深鉢の段部分。段に連続刺突文を施す。胎土に多量の繊維を含む。  | R45      |
| 第143図<br>-     | 40 | 3Tr     | 7.5YR7/6 橙    | 7.5YR6/4 にぶい橙 | I群A類     | ハッ崎I  | 薄い爪形の連続刺突文を水平に施文。   | R20      |
| 第143図<br>-     | 41 | C2Gr    | 2.5YR5/6 明赤褐  | 7.5YR4/2 灰褐   | I群A類     | ハッ崎I  | 表裏に貝殻条痕文を施文する。  | R59      |
| 第143図<br>-     | 42 | 4Tr     | 7.5YR4/2 灰褐   | 10YR3/2 黒褐    | I群A類     | ハッ崎I  | 粗い太めの条痕を器面全体に施文。裏面は植物質の工具で斜めにナデた擦痕で整形している。胎土には多くの繊維を混入している。   | R7       |
| 第143図<br>-     | 43 |         | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR4/2 灰褐   | I群A類     | ハッ崎I  | 裏面に貝殻条痕文を施文する。  | R38      |
| 第143図<br>-     | 44 | C2Gr    | 10YR7/4 にぶい黄橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙 | I群A類     | ハッ崎I  | 裏面に貝殻条痕文を施文。  | R69      |
| 第143図<br>-     | 45 |         | 10YR7/4 にぶい黄橙 | 10YR4/1 褐灰    | I群A類     | ハッ崎I  | 裏面に薄く貝殻条痕文を施文する。  | R45      |
| 第143図<br>-     | 46 | C1Gr    | 2.5YR6/6 橙    | 7.5YR4/3 褐    | I群A類     | ハッ崎I  | 表面に貝殻条痕文を施文する。  | R58      |
| 第143図<br>-     | 47 | 2Tr     | 5YR6/6 橙      | 5YR6/6 橙      | I群A類     | ハッ崎I  | 胎土に繊維を多く含む。   | R3       |
| 第143図<br>-     | 48 |         | 5YR7/6 橙      | 5YR4/1 褐灰     | I群A類     | ハッ崎I? | LR?の縄の側面圧痕を横位に施文し、その上位には凹線によって弧状線が引かれる。胎土には多量の繊維を含む。  | R45      |
| 第143図<br>PL.26 | 49 | Pit64   | 5YR6/6 橙      | 7.5YR3/1 黒褐   | I群A類     | ハッ崎I? | 口縁部下部に段を設け、口縁に平行、および段に連続斜め爪形文を施文して文様帯とし、その内部にRLの縄文あるいは側面押圧を施文する。胎土に多量の繊維を含有する。                          | R68      |
| 第143図<br>PL.26 | 50 |         | 5YR4/4 にぶい赤褐  | 5YR3/3 暗赤褐    | I群B類     | 早期末   | 斜めに丸棒状工具を刺突し、連続して水平に施文、その上部を文様帯とし、同じ工具による斜めの平行押引き線により、重層した三角形文を構成する。器壁は厚めで、少量の繊維を含有する。茅山式並行か。           | R38      |
| 第143図<br>PL.26 | 51 | SK1・7Tr | 10YR5/3 にぶい黄橙 | 10YR5/3 にぶい黄褐 | I群B類     | 早期末   | 丸棒状工具による斜めの平行押引き線により、重層した三角形文を構成する。器壁は厚めで、少量の繊維を含有する。   | R29      |
| 第143図<br>PL.26 | 52 | 5Tr 東   | 2.5YR5/6 明赤褐  | 5YR5/4 にぶい赤褐  | I群B類     | 早期末   | 頸部に平行して丸棒状の工具による連続した斜め刺突文を平行して施文、その上に同じ工具で平行押引き文を斜行して施文する。器壁が厚く、あまり繊維を含まない。茅山式並行か。                      | R36      |
| 第144図<br>-     | 53 | C2Gr    | 2.5YR5/6 明赤褐  | 5YR4/3 にぶい赤褐  | I群B類     | 早期末   | 器壁が厚い深鉢の屈曲部の上位に、丸棒状工具による連続刺突文を水平に施す。茅山式並行か。   | R59      |
| 第144図<br>-     | 54 | 6Tr     | 5YR6/6 橙      | 5YR5/4 にぶい赤褐  | I群B類     | 早期末   | 丸棒状工具による、押引きの連続刺突文を平行に施文する。茅山式並行か。  | R10      |
| 第144図<br>PL.26 | 55 |         | 7.5YR5/4 にぶい褐 | 7.5YR3/2 黒褐   | I群B類     | 早期末   | 二本の隆帯を突起部とする波状口縁部分。隆帯の側部および隆帯間は、二本の茎状工具による押引文によって圧着されている。口縁部の下には斜め縦の連続刺突文を横位に施文している。胎土には繊維を含有する。茅山式並行か。 | R38      |
| 第144図<br>-     | 56 | 排土      | 7.5YR5/4 にぶい褐 | 5YR4/3 にぶい赤褐  | I群B類     | 早期末   | 口唇に浅い刻みと口唇に沿って斜め刺突を施し、貝殻腹縁?の押引文を縦、斜めに施文する。胎土は少量の繊維と雲母を含む砂粒を多く混入する。茅山式並行か。                               | R40      |
| 第144図<br>-     | 57 | 5Tr     | 7.5YR4/4 褐    | 7.5YR5/4 にぶい褐 | I群B類     | 早期末   | 沈線状になるように、短く薄いへら状工具で水平に連続刺突で施文している。胎土に少量の繊維を含む。茅山式並行か。  | R4       |
| 第144図<br>-     | 58 | 中央部集石中  | 7.5YR6/6 橙    | 7.5YR4/6 褐    | I群A類     | ハッ崎I  | 胎土に多量の繊維を含有する深鉢底部。  | R42      |
| 第144図<br>-     | 59 | B2Gr    | 10YR6/4 にぶい黄橙 | 7.5YR7/6 橙    | I群A類     | ハッ崎I  | 平底の底部。繊維を多く含む。  | R62      |
| 第144図<br>-     | 60 | 5Tr     | 2.5YR6/6 橙    | 5YR6/6 橙      | I群A類     | ハッ崎I  | 平底の底部。繊維を多量に含有する。   | R4       |
| 第144図<br>PL.26 | 61 |         | 7.5YR4/2 灰褐   | 7.5YR5/4 にぶい褐 | III群B-2類 | 加曽利E4 | 無文口縁鉢（罎付土器の形態）罎部分から隆帯の懸垂文を垂下し、広い区画は無文、狭い区画には浅い沈線で囲み、その内部をLRの縄文を横位で埋める。                                  | R48      |



| 挿図<br>図版         | 番号 | 出土場所        | 色調内側           | 色調外側          | 分類          | 型式     | 観察   | 現地<br>番号 |
|------------------|----|-------------|----------------|---------------|-------------|--------|--|----------|
| 第 144 図<br>PL.26 | 62 | SK・7Tr      | 2.5YR5/4 にぶい赤褐 | 2.5YR6/6 橙    | III 群 B-2 類 | 加曽利 E4 | 内湾する口縁をもつ深鉢の口縁部。平行沈線による区画内を、LR の縄文で、口縁部に沿っては横位に、その下は縦位に施文して充填する。 | R5       |
| 第 144 図<br>-     | 63 | SS (P2)・7Tr | 10YR6/3 にぶい黄   | 5YR6/6 橙      | III 群 B-2 類 | 加曽利 E4 | 沈線による懸垂文とそれによる区画内を縦位の RL の縄文で埋める。                                | R49      |
| 第 144 図<br>-     | 64 | 5Tr 東       | 10YR7/3 にぶい黄橙  | 5YR6/8 橙      | III 群 B-2 類 | 加曽利 E  | 沈線による懸垂文とそれによる区画内を単節 L の縄文を縦位で埋める。                               | R36      |
| 第 144 図<br>-     | 65 | 5Tr 東       | 10YR6/3 にぶい黄橙  | 5YR6/8 橙      | III 群 B-2 類 | 加曽利 E  | 平行沈線による懸垂文とそれによる区画内を LR の縄文を縦位で埋める。                              | R36      |
| 第 144 図<br>-     | 66 | SK・7Tr      | 7.5YR7/6 橙     | 5YR6/6 橙      | III 群 B-2 類 | 加曽利 E  | 沈線による懸垂文の区画内を LR の縄文を縦位で埋める。                                     | R5       |
| 第 144 図<br>-     | 67 | 5Tr 東       | 2.5YR5/6 明赤褐   | 5YR6/6 橙      | III 群 B-2 類 | 加曽利 E  | 平行沈線による懸垂文とそれによる区画内を LR の縄文を縦位で埋める。                              | R36      |
| 第 144 図<br>-     | 68 | SK・Tr7      | 2.5YR5/6 明赤褐   | 5YR6/6 橙      | III 群 B-2 類 | 加曽利 E  | 沈線による懸垂文の区画内を、LR の縄文で縦位で埋める。                                     | R5       |
| 第 144 図<br>-     | 69 | SS (P2)・7Tr | 7.5YR5/3 にぶい褐  | 5YR6/6 橙      | III 群 B-2 類 | 加曽利 E  | 単節 L の縄文を縦位に帯状に施文。   | R49      |
| 第 144 図<br>-     | 70 | SK・7Tr      | 5YR4/2 灰褐      | 5YR5/6 明赤褐    | III 群       | 中期?    | 単節 L の縄文を縦位に帯状に施文する。   | R5       |
| 第 144 図<br>-     | 71 | 4Tr         | 7.5YR7/4 にぶい橙  | 5YR5/4 にぶい赤褐  | III 群       | 中期?    | 平行沈線で区切られた中を LR の縄文で充填する。  | R32      |
| 第 144 図<br>-     | 72 | SK・Tr7      | 7.5YR4/2 灰褐    | 2.5YR5/6 明赤褐  | III 群       | 中期?    | r の擦糸文を器体全体に施文している。53 と同一個体。                                     | R5       |
| 第 144 図<br>-     | 73 | SK・5Tr 東    | 2.5YR5/6 明赤褐   | 2.5YR5/6 明赤褐  | III 群       | 中期?    | r の擦糸文を斜めに器体全体に施文している。84 と同一個体。                                  | R5       |
| 第 144 図<br>-     | 74 | 5Tr 東       | 5YR4/6 赤褐      | 5YR4/6 赤褐     | IV 群 A-2 類  | 堀之内 2  | LR の帯縄文を横位に施文。   | R36      |
| 第 144 図<br>PL.27 | 75 | SK4         | 7.5YR6/3 にぶい褐  | 7.5YR6/3 にぶい褐 | 土師器         | 古墳前期?  | 小型碗。SK4 出土。  | R24      |
| 第 144 図<br>PL.27 | 76 | 7Tr         | 7.5YR5/3 にぶい褐  | 10YR4/1 褐灰    | 土師器         | 古墳前期?  | 壺底部。   | R12      |
| 第 144 図<br>-     | 77 | 5Tr         | 2.5Y8/2 灰白     | 2.5Y8/2 灰白    | 灰釉陶器        | 平安     | 薄い高台の痕跡がある碗・皿底部。   | R9       |
| 第 144 図<br>-     | 78 | 5Tr         | 5YR6/3 オリーブ黄   | 5YR6/3 オリーブ黄  | 陶器          | 中世     | 緑色の灰釉が施釉されている。15 世紀代、古瀬戸後期の直縁大皿の口縁部。                             | R9       |

第 14 表 天間沢遺跡 Q 地区 出土石器観察表

| 挿図<br>図版         | 番号 | 出土場所        | 器種名   | 材質         | 長さ<br>(cm) | 幅<br>(cm) | 厚さ<br>(cm) | 重さ<br>(g) | 観察   | 現地<br>番号 |
|------------------|----|-------------|-------|------------|------------|-----------|------------|-----------|--|----------|
| 第 145 図<br>PL.27 | 79 | 集石横         | 石鏃    | 黒曜石        | 2.65       | 1.98      | 0.59       | 1.8       | 右脚欠損の凹基無茎鏃。中央集石の横で出土。                      | R46      |
| 第 145 図<br>PL.27 | 80 | SK4・7Tr 拡張区 | 石鏃    | 黒曜石        | 1.54       | 1.18      | 0.37       | 0.6       | 小型の平基無茎鏃。                                  | R24      |
| 第 145 図<br>PL.27 | 81 | 調査地北東       | ノッチ   | 黒曜石        | 3.99       | 2.53      | 1.17       | 12.57     | 石核から転用してノッチとしている。排土中出土。                    | R38      |
| 第 145 図<br>PL.27 | 82 |             | 楔形石器  | 黒曜石        | 2.33       | 1.6       | 1.17       | 2.82      | ほぼ残核としての形態をしている。                           | R73      |
| 第 145 図<br>PL.27 | 83 | Pit23       | 石核    | 黒曜石        | 3.99       | 2.76      | 2.76       | 29.26     | ほとんど原石の形態を留めている。Pit23 出土。                  | R47      |
| 第 145 図<br>PL.27 | 84 | Pit64       | 石核    | 富士川ホルンフェルス | 10.45      | 8.22      | 6.72       | 571.55    | 節理面を打面とした石核。ほとんど素材となる剥片は作出されていない。Pit64 出土。 | R71      |
| 第 145 図<br>-     | 85 | 1Tr         | 磨石    | 安山岩        | (7.18)     | 6.68      | (3.71)     | 188.37    | 部分的に平坦面ができている磨石。                           | R12      |
| 第 145 図<br>PL.27 | 86 |             | 磨・敲石  | 安山岩        | (6.1)      | 8.75      | 3.85       | 273.57    | 被熱を受け、亀裂と赤化がみられる。                          | R7       |
| 第 146 図<br>PL.27 | 87 | Pit66       | 砥石状磨石 | 安山岩        | 20.11      | 9.71      | 9.01       | 2860      | 表裏平坦部に長軸平行に条線状の擦痕が顕著にのこされている。Pit66 出土。     | R82      |

第 15 表 天間沢遺跡 Q 地区 出土金属製品観察表

| 挿図<br>図版         | 番号 | 出土場所 | 分類 | 型式             | 観察       | 現地<br>番号 |
|------------------|----|------|----|----------------|----------|----------|
| 第 146 図<br>PL.27 | 88 | 江戸末  | 銭貨 | 「文久永宝」(草文略宝細郭) | 松平春嶺筆の草文 |          |

### 第3節 R地区・V地区（第18地区・第22地区）の調査

#### 調査に至る経緯

平成3年、東京電力株式会社（以下、事業者）は、富士市天間において送電線鉄塔建設工事を計画し、平成3年5月28日、富士市教育委員会に「埋蔵文化財分布確認指導依頼書」を提出した。当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地「天間沢遺跡」に位置するため、富士市教育委員会文化振興課は、鉄塔が建設される4箇所（鉄塔 No.1～3・42）について分布確認調査を実施した。その結果、2箇所（鉄塔 No.1～2）については事前の確認調査が必要であるとの判断に至った。

#### R地区の調査

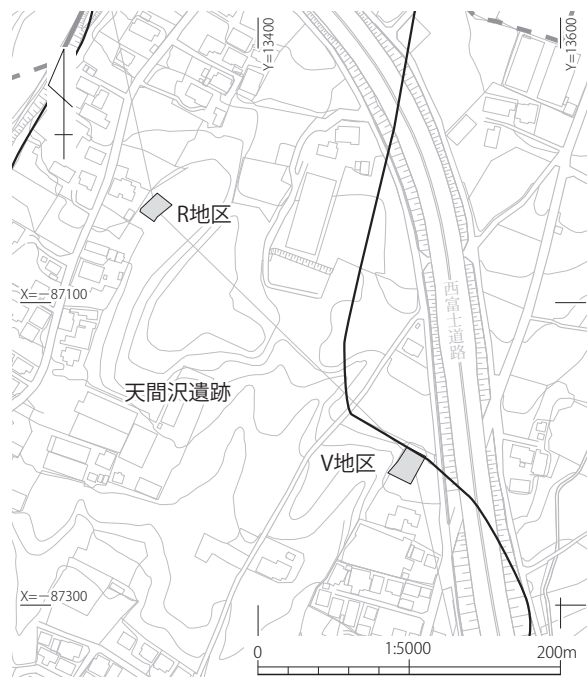
平成4年1月20日、鉄塔 No.1・3・42の建設箇所について、事業者から文化財保護法第57条の2第1項（当時）の規定に基づく「埋蔵文化財発掘の届出について」が提出された。富士市教育委員会は届出を静岡県教育委員会に進達し、静岡県教育委員会から事業者に対して、鉄塔 No.1の範囲（富士市天間 1943-1）について、富士市教育委員会と協議して発掘調査を実施するように通知があった（平成4年2月6日付け、教文第3-139号）。

平成4年3月10日、富士市教育委員会は文化財保護法第98条の2第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘調査の通知について」を静岡県教育委員会に提出し（富教文第212号）、文化振興課職員による確認調査を実施することとなった。

調査は平成4年3月16日から3月19日にかけて行った。調査地に1箇所のトレンチ(1Tr)を設定し、人力により掘削・精査を行い、遺構・遺物の検出に努めた。

その結果、遺構・遺物は確認されなかった。

調査の結果について、「発掘調査終了報告書」を静岡県教育委員会に提出した（平成4年4月4日付け、富教文第2号）。



第147図 天間沢遺跡 R地区・V地区 位置図

#### V地区の調査

平成4年6月1日、鉄塔 No.2の建設箇所（富士市天間 1785-21）について、事業者から文化財保護法第57条の2第1項（当時）の規定に基づく「埋蔵文化財発掘の届出について」が提出された。富士市教育委員会は届出を静岡県教育委員会に進達し、静岡県教育委員会から事業者に対して、富士市教育委員会と協議して発掘調査を実施するように通知があった（平成4年6月12日付け、教文第3-43号）。平成5年2月26日、富士市教育委員会は文化財保護法第98条の2第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘調査の通知について」を静岡県教育委員会に提出し（富教文第331号）、文化振興課職員による確認調査を実施することとなった。

調査は平成5年2月25日から2月26日にかけて行った。調査地に2箇所のトレンチ(1～2Tr)を設定し、重機による掘削後、人力により精査を行い、遺構・遺物の検出に努めた。

その結果、遺構・遺物は確認されなかった。

## 調査の体制

R 地区（平成3年度）の調査は以下の体制で実施した。

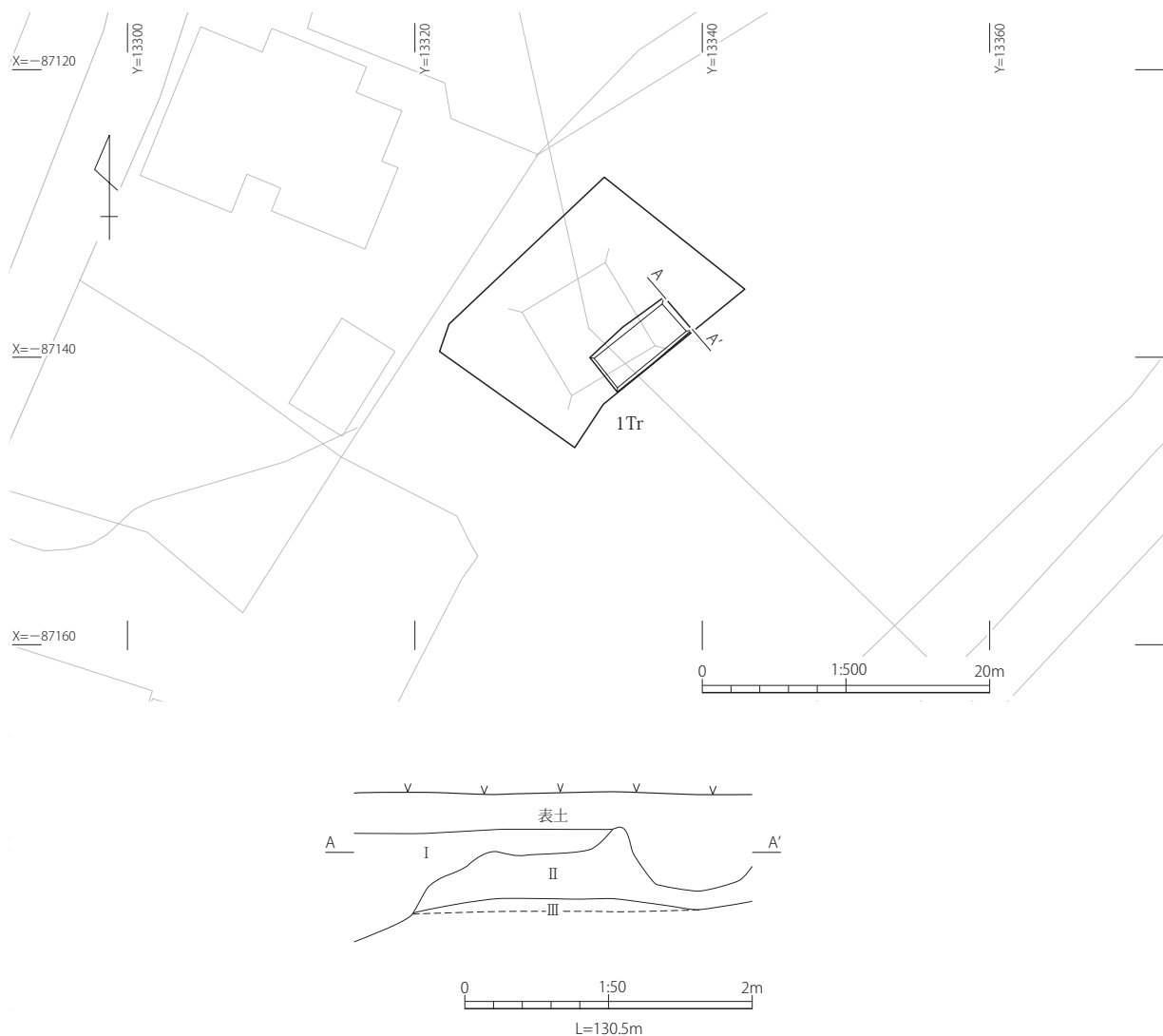
### 調査主体者

|          |      |          |
|----------|------|----------|
| 富士市教育委員会 | 教育長  | 山本 厚     |
|          | 教育次長 | 伊藤 輝英    |
| 文化振興課    | 課長   | 小長谷 秀夫   |
|          | 課長補佐 | 小出 禮節    |
| 調査担当     | 文化財係 | 係長 佐野 誠一 |
|          | 指導主事 | 中尾 欣司    |
|          | 主事   | 前田 勝己    |

V 地区（平成4年度）の調査は以下の体制で実施した。

### 調査主体者

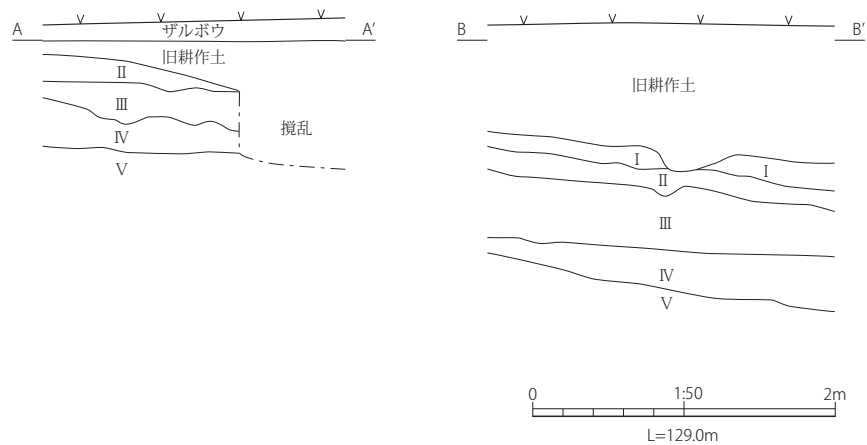
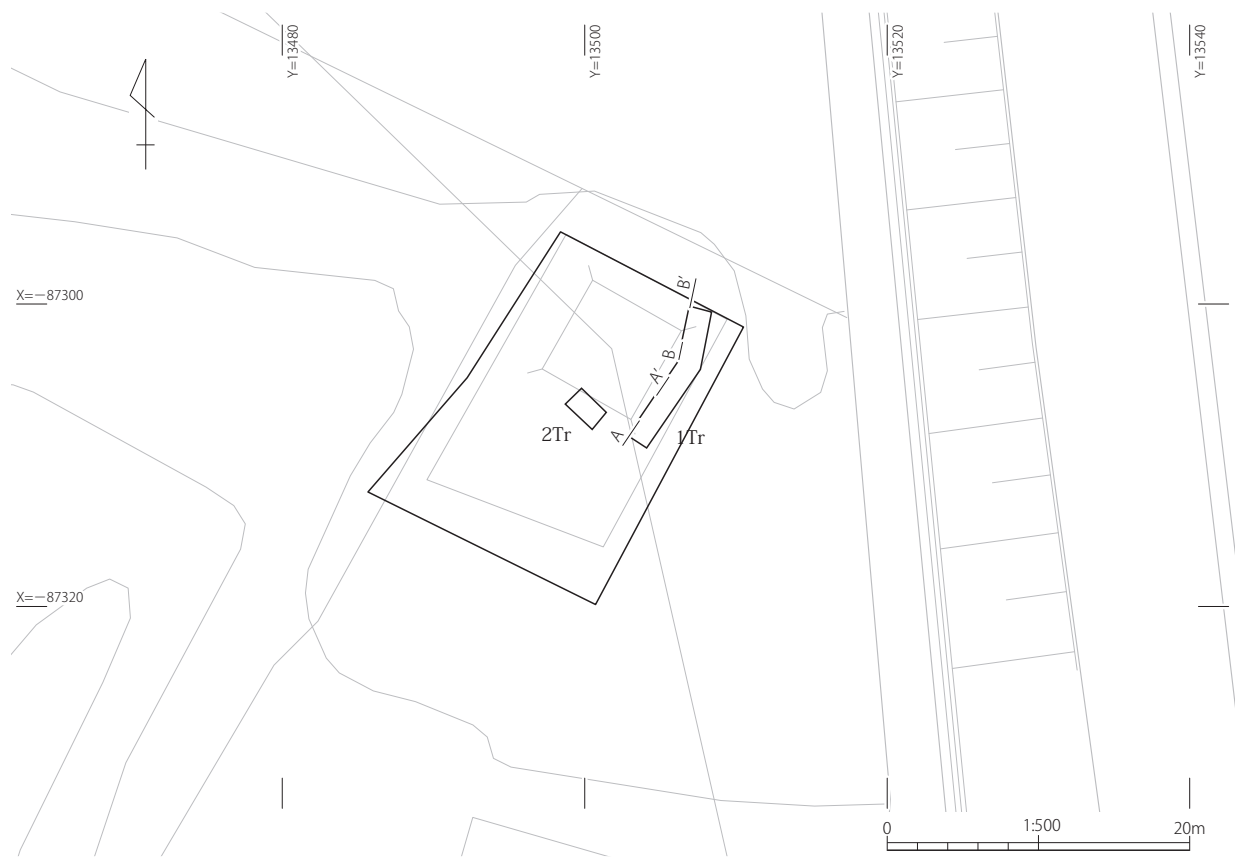
|          |      |          |
|----------|------|----------|
| 富士市教育委員会 | 教育長  | 山本 厚     |
|          | 教育次長 | 小山 哲雄    |
| 文化振興課    | 課長   | 小長谷 秀夫   |
|          | 課長補佐 | 若林 富彦    |
| 調査担当     | 文化財係 | 係長 佐野 誠一 |
|          | 主事   | 前田 勝己    |
|          | 主事   | 影山 英之    |



- I 黒褐色土 しまり弱。大沢スコリアを少量含むが、攪乱の可能性はある。  
 II 暗褐色土 しまり強、粘性やや強。軟質の橙色スコリアを上部にやや多く含む。礫が少量混入する。 栗色土か？  
 III 褐色土 礫を多く含む風化溶岩層。橙色のやや大粒のスコリアが非常に多い。 地山

第148図 天間沢遺跡 R 地区 トレンチ配置図、セクション図





- |     |      |  |
|-----|------|--|
| I   | 暗褐色土 | しまり極強。橙色とにぶい橙色の軟質のスコリア（1～2mm）で形成される。                                     |
| II  | 黒色土  | しまり強。暗褐色の発泡スコリア（大淵SC？）を少量、微細なオレンジスコリアを少量含む。                              |
| III | 暗褐色土 | しまり極強。鮮やかな橙色の発泡スコリアを少量、上部にやや多く含む。白色粒子（カワゴ平バミス）を少量含む。<br>この層から溶岩礫がやや多くなる。 |
| IV  | 黒褐色土 | しまり強。橙色スコリアは微細になり少なくなる。溶岩礫は大きく多くなる。                                      |
| V   | 褐色土  | 角礫が非常に多く、下部にいくに従い溶岩化する。  |

栗色土か？  
富士黒か？  
地山

第149図 天間沢遺跡V地区 トレンチ配置図、セクション図

# 第4節 S地区（第19地区）の調査

## 調査に至る経緯

事業者（個人）は、富士市天間 1001-4（905 m<sup>2</sup>）において、共同住宅新築工事を計画した。当該地が周知の埋蔵文化財包蔵地「天間沢遺跡」の範囲内に位置するため、平成4年6月22日、事業者から文化財保護法第57条の2第1項（当時）の規定に基づく「埋蔵文化財発掘の届出について」が提出された。富士市教育委員会はこれを静岡県教育委員会に進達し（平成4年6月25日付け、富教文第86号）、静岡県教育委員会から事業者に対して、富士市教育委員会と協議して発掘調査を実施するように通知があった（平成4年7月8日付け、教文第3-51号）。

平成4年7月7日、事業者（土地所有者）から発掘調査承諾書が提出された。これを受けて富士市教育委員会は、文化財保護法第98条の2第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘調査の通知について」を静岡県教育委員会に提出し（平成4年7月14日付け、富教文第103号）、文化振興課職員による発掘調査を実施することとなった。

## 調査の経過

調査は平成4年7月8日から7月10日にかけて実施された。

敷地の南寄りに、東西方向に1本のトレンチ（ITr）を設定し、重機および人力による掘削を行い、休場層対応層まで掘り下げたものの、暗茶褐色土（富士黒土層相当）上面にて確認された、樹痕等自然要因と思われる非人為的なピット状の落ち込み以外、遺構は検出されなかったが、遺物は、縄文時代中期中葉～後葉の土器とそれに伴うと考えられる石器類が出土した。

調査の結果について、「発掘調査終了報告書」を静岡県教育委員会に提出した（平成4年12月28日付け、富教文第262号）。



第150図 天間沢遺跡 S地区 位置図

## 調査の体制

調査は以下の体制で実施した。

### 調査主体

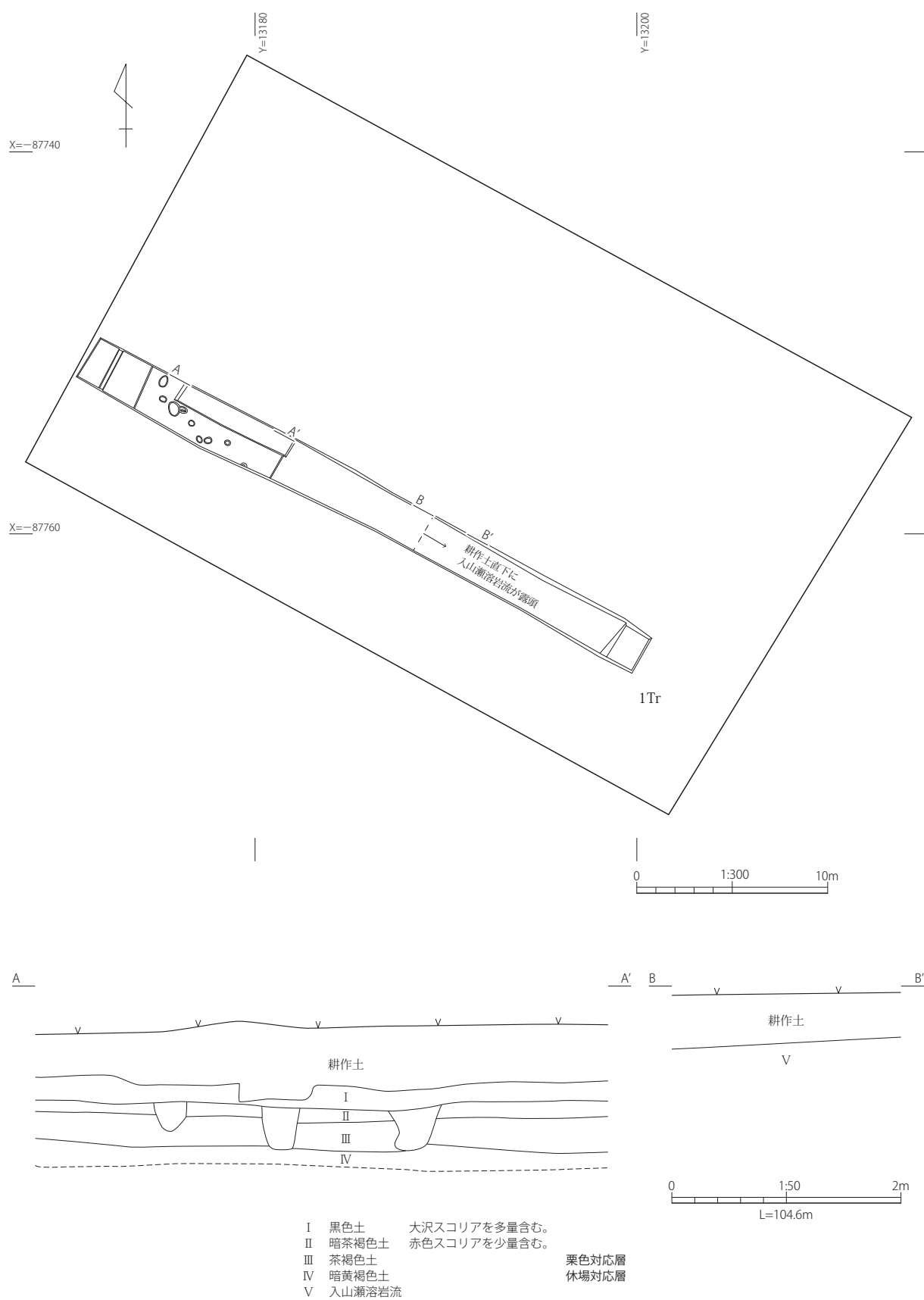
|          |      |        |
|----------|------|--------|
| 富士市教育委員会 | 教育長  | 山本 厚   |
|          | 教育次長 | 小山 哲雄  |
| 文化振興課    | 課長   | 小長谷 秀夫 |
|          | 課長補佐 | 若林 富彦  |
| 文化財係     | 係長   | 佐野 誠一  |

### 調査担当

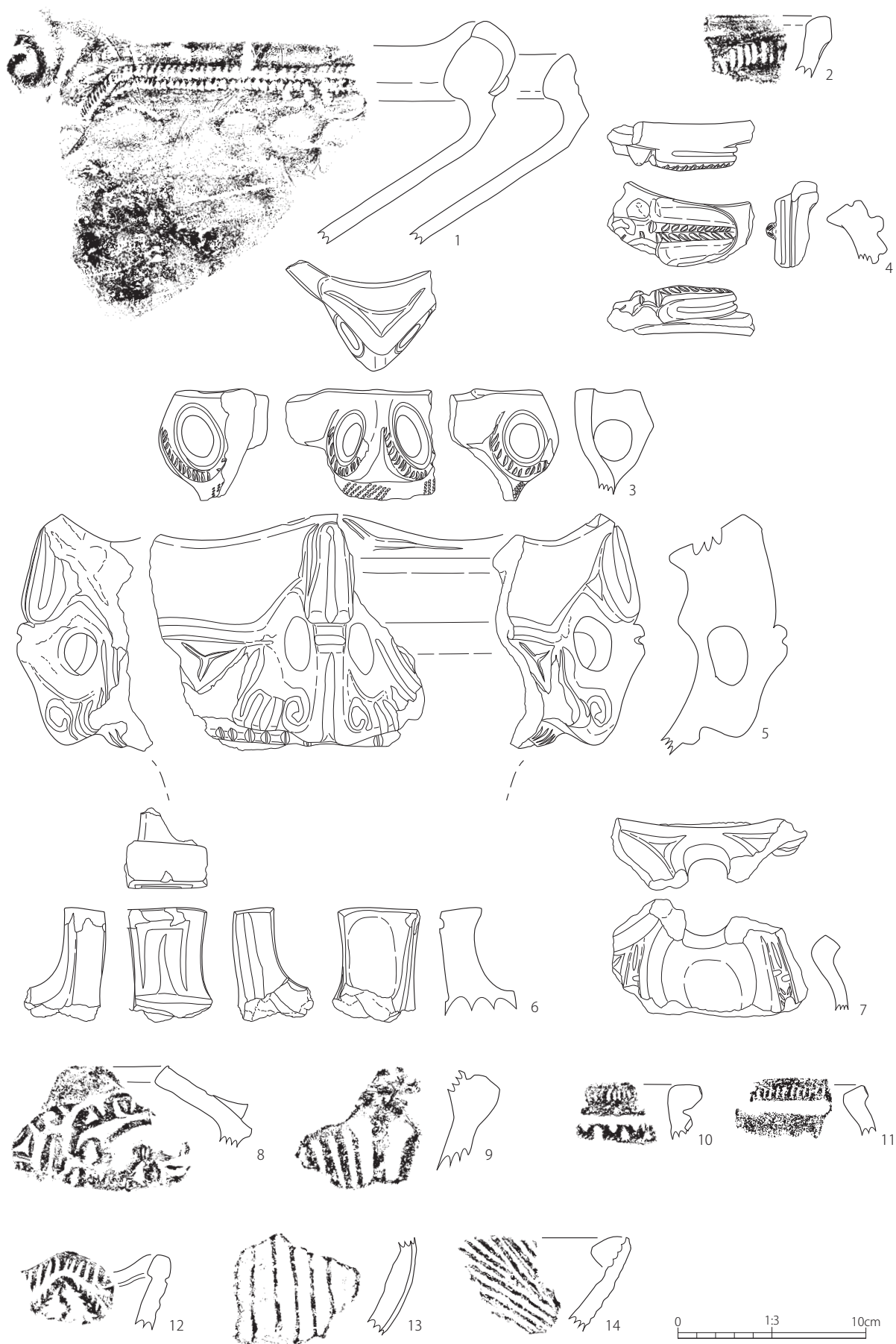
|    |       |
|----|-------|
| 主事 | 久松 義昭 |
| 主事 | 影山 英之 |

## 調査の成果

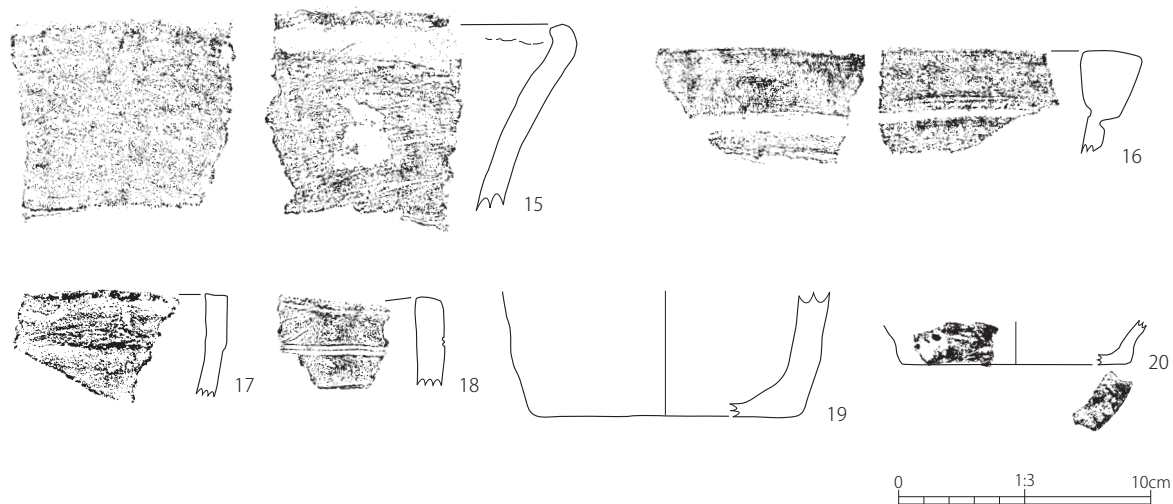
遺構は検出されなかったが、遺物は、縄文中期中葉を主体に後葉までの土器が出土している。特に4の蛇頭装飾が付された口縁部が注目される。他に3・5・7の環状把手等、立体的な把手部分の出土が多い。石器については黒曜石製の楔形石器、富士川ホルンフェルス製の打製石斧頭部、打欠による礫石錘2点、凹石が出土している。



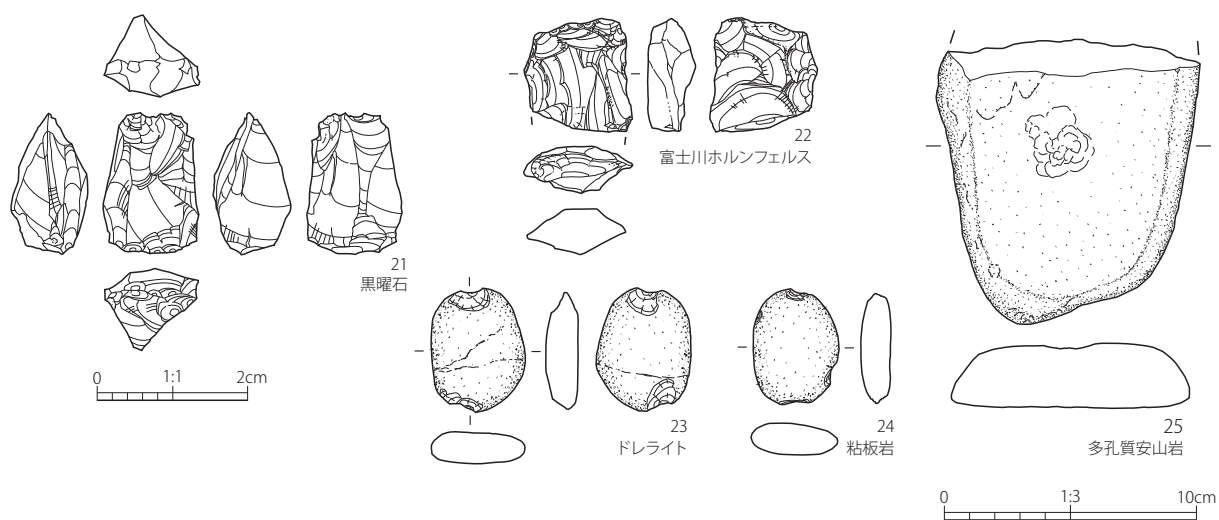
第151図 天間沢遺跡S地区 トレンチ配置図、セクション図



第152図 天間沢遺跡S地区 出土遺物実測図 ①



第153図 天間沢遺跡 S地区 出土遺物実測図 ②



第154図 天間沢遺跡 S地区 出土遺物実測図 ③

第 16 表 天間沢遺跡 S 地区 出土土器観察表

| 挿図<br>図版         | 番号 | 出土場所 | 色調内側          | 色調外側          | 分類          | 型式      | 観察   | 現地<br>番号 |
|------------------|----|------|---------------|---------------|-------------|---------|--|----------|
| 第 152 図<br>PL.29 | 1  |      | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙 | III 群 A-1 類 | 藤内 1    | 大型浅鉢の口縁部。渦巻文の把手と、口縁に沿って平行する二本の押引き爪形文を施文する。くの字に張り出す肩部を連続して凹むように削り、立体の波状突起をつくり出している。         | R5       |
| 第 152 図<br>-     | 2  |      | 5YR4/2 灰褐     | 7.5YR3/1 黒褐   | III 群 A-1 類 | 藤内      | 口縁に平行して連続爪形文を施文する。   | R1       |
| 第 152 図<br>PL.29 | 3  |      | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 10YR8/4 浅黄橙   | III 群 A-1 類 | 井戸尻 1・2 | 環状把手のある口縁部。把手部分は三角形に突出し、その上面に三叉文を描く。環状透しに沿って沈線で区画し隆帯状になった部分に刻みを施す。把手の下には RL の縄文が縦に施文されている。 | R3       |
| 第 152 図<br>PL.29 | 4  |      | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 5YR6/3 にぶい橙   | III 群 A-1 類 | 井戸尻 1・2 | 波状口縁に沿う形で蛇頭文を配置する。蛇頭には矢羽状の刻みを施した隆帯が貼付されている。  | R1       |
| 第 152 図<br>PL.29 | 5  |      | 7.5YR6/3 にぶい褐 | 5YR6/4 にぶい橙   | III 群 A-1 類 | 井戸尻 1・2 | 環状把手部分が山形になる波状口縁部。口唇近くは無文とし、頸部は文様帯状の区画になり渦巻文や三叉文によって複雑な文様が描画される。頸部直下には太い刻みのある隆帯が一周する。      | R5       |
| 第 152 図<br>PL.29 | 6  |      | 5YR5/3 にぶい赤褐  | 5YR6/6 橙      | III 群 A-1 類 | 井戸尻 1・2 | 角柱状の把手部分。沈線を縁辺に沿って直線を四角形状にに施文し、内部に垂直線を引く。  | R5       |
| 第 152 図<br>PL.29 | 7  |      | 5YR6/6 橙      | 2.5YR5/6 明赤褐  | III 群 A-1 類 | 井戸尻     | 口縁と平行する環状把手部分。環部に接合する三叉部分に矢羽状の刻みを入れた隆帯を貼付している。赤色顔料塗布か。                                     | R4       |
| 第 152 図<br>PL.29 | 8  |      | 5YR6/6 橙      | 5YR6/6 橙      | III 群 A-1 類 | 井戸尻 1・2 | 粘土貼付けと沈線、削りにより、渦巻文、三叉文などの文様を描画している。  | R1       |
| 第 152 図<br>-     | 9  |      | 5YR6/6 橙      | 10YR8/4 浅黄橙   | III 群 A-1 類 | 井戸尻 3   | 口縁近くの把手部分。区画内を縦集合沈線で充填する。  | R5       |
| 第 152 図<br>-     | 10 |      | 5YR5/4 にぶい赤褐  | 10YR6/3 にぶい黄橙 | III 群 A-1 類 | 井戸尻？    | 口縁に隆帯を貼付し幅広平坦な口唇とし、その隆帯に刻みを施す。口唇下に平行して、上下交互の刺突による波状隆帯を施文する。                                | R5       |
| 第 152 図<br>-     | 11 |      | 7.5YR7/8 黄橙   | 7.5YR6/8 橙    | III 群 A-1 類 | 井戸尻？    | 口縁に隆帯を貼付し幅広平坦な口唇とし、その隆帯に刻みを施す。   | R1       |
| 第 152 図<br>PL.29 | 12 |      | 7.5YR4/2 灰褐   | 7.5YR6/4 にぶい橙 | III 群 A-1 類 | 井戸尻？    | 波状口縁の口唇表に沿って、刻みのある平らな隆帯を貼付し、その下に矢羽状の刻みをいれた隆帯で文様を描く。  | R2       |
| 第 152 図<br>-     | 13 |      | 5YR6/4 にぶい橙   | 2.5YR6/6 橙    | III 群 A-2 類 | 曾利 I    | 内向する口縁をもつキャリパー形深鉢の口縁部。断面三角形の浮線文をやや斜め縦位に平行施文する。   | R5       |
| 第 152 図<br>-     | 14 |      | 5YR6/3 にぶい橙   | 5YR6/4 にぶい橙   | III 群 A-2 類 | 曾利      | 籠目文土器口縁部。半隆帯の条線を斜めに密接施文する。   | R4       |
| 第 153 図<br>-     | 15 |      | 5YR6/8 橙      | 7.5YR6/4 にぶい橙 | III 群       | 中期      | 大型深鉢の無文口縁部。  | R4       |
| 第 153 図<br>-     | 16 |      | 5YR6/4 にぶい橙   | 5YR5/4 にぶい赤褐  | III 群       | 中期      | 肥厚し幅広の平坦面にした口唇をもつ口縁部。口縁に平行する太い半隆帯を施文する。  | R5       |
| 第 153 図<br>-     | 17 |      | 2.5YR6/6 橙    | 2.5YR6/6 橙    | III 群       | 中期？     | 無文の角のある口唇をもつ口縁部。表面に擦痕状の調整をする。  | R2       |
| 第 153 図<br>-     | 18 |      | 5YR6/6 橙      | 7.5YR3/1 黒褐   | III 群       | 中期？     | 口縁に沿って半裁竹管による平行沈線を水平に施文。   | R4       |
| 第 153 図<br>-     | 19 |      | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 7.5YR7/6 橙    | III 群       | 中期      | 深鉢底部。  | R5       |
| 第 153 図<br>-     | 20 |      | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | III 群       | 中期？     | 非常に薄く肌色の胎土の底部。西日本系か。   | R1       |

第 17 表 天間沢遺跡 S 地区 出土石器観察表

| 挿図<br>図版         | 番号 | 出土場所 | 器種名  | 材質             | 長さ<br>(cm) | 幅<br>(cm) | 厚さ<br>(cm) | 重さ<br>(g) | 観察                  | 現地<br>番号 |
|------------------|----|------|------|----------------|------------|-----------|------------|-----------|---------------------|----------|
| 第 154 図<br>PL.29 | 21 |      | 楔形石器 | 黒曜石            | 1.83       | 1.27      | 0.96       | 1.86      | 両極石核の残核の可能性あり。      | R3       |
| 第 154 図<br>PL.29 | 22 |      | 打製石斧 | 富士川ホルン<br>フェルス | (4.48)     | 4.13      | 1.88       | 38.16     | 頭部の一部。              | R1       |
| 第 154 図<br>PL.29 | 23 |      | 石錘   | ドレライト          | 4.93       | 3.74      | 1.31       | 34.84     | 礫の両端が打欠かれている礫石錘。    | R2       |
| 第 154 図<br>PL.29 | 24 |      | 石錘   | 粘板岩            | 4.61       | 3.42      | 1.18       | 27.04     | 上下左右に打ち欠きを施している礫石錘。 | R5       |
| 第 154 図<br>-     | 25 |      | 凹石   | 多孔質安山岩         | (11.18)    | 10.45     | 2.58       | 423.2     | 裏面の平坦面も磨痕が全面に観察される。 | R1       |



## 第5節 T地区（第20地区）の調査

### 調査に至る経緯

平成4年、事業者（個人）は、富士市天間 1127-1 の内、1128 の内において共同住宅建設工事を計画した。当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地「天間沢遺跡」に位置するため、富士市教育委員会文化振興課は、事前の確認調査が必要であると判断した。

平成4年9月7日、事業者から文化財保護法第57条の2第1項（当時）の規定に基づく「埋蔵文化財発掘の届出について」が提出された。富士市教育委員会は届出を静岡県教育委員会に進達し、静岡県教育委員会から事業者に対して、富士市教育委員会と協議して発掘調査を実施するように通知があった（平成4年10月1日付け、教文第3-87号）。

その後、事業者から「埋蔵文化財試掘確認調査指導依頼書」および「発掘調査承諾書」が提出された。10月8日、富士市教育委員会は文化財保護法第98条の2第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘調査の通知について」を静岡県教育委員会に提出し、文化振興課職員による確認調査を実施することとなった。

### 調査の経過と結果

調査は平成4年10月13日から10月17日にかけて実施した。

敷地内に、東西方向に4本（1～4Tr）、南北方向に1本（5Tr）のトレンチを設定し、重機および人力による掘削を行い、休場層対応層まで掘り下げた。

1Tr・3Tr・5Trでは大沢スコリア層以下が部分的に残存しており、一部トレンチを拡張して精査したが、遺構・遺物ともに検出されなかった。2Tr・4Trでは上部の土は耕作により削られており、遺構・遺物ともに検出されなかった。

調査の結果について、「発掘調査終了報告書」を静岡県教育委員会に提出した（平成4年12月28日付け、富教文第264号）。



第155図 天間沢遺跡 T地区 位置図

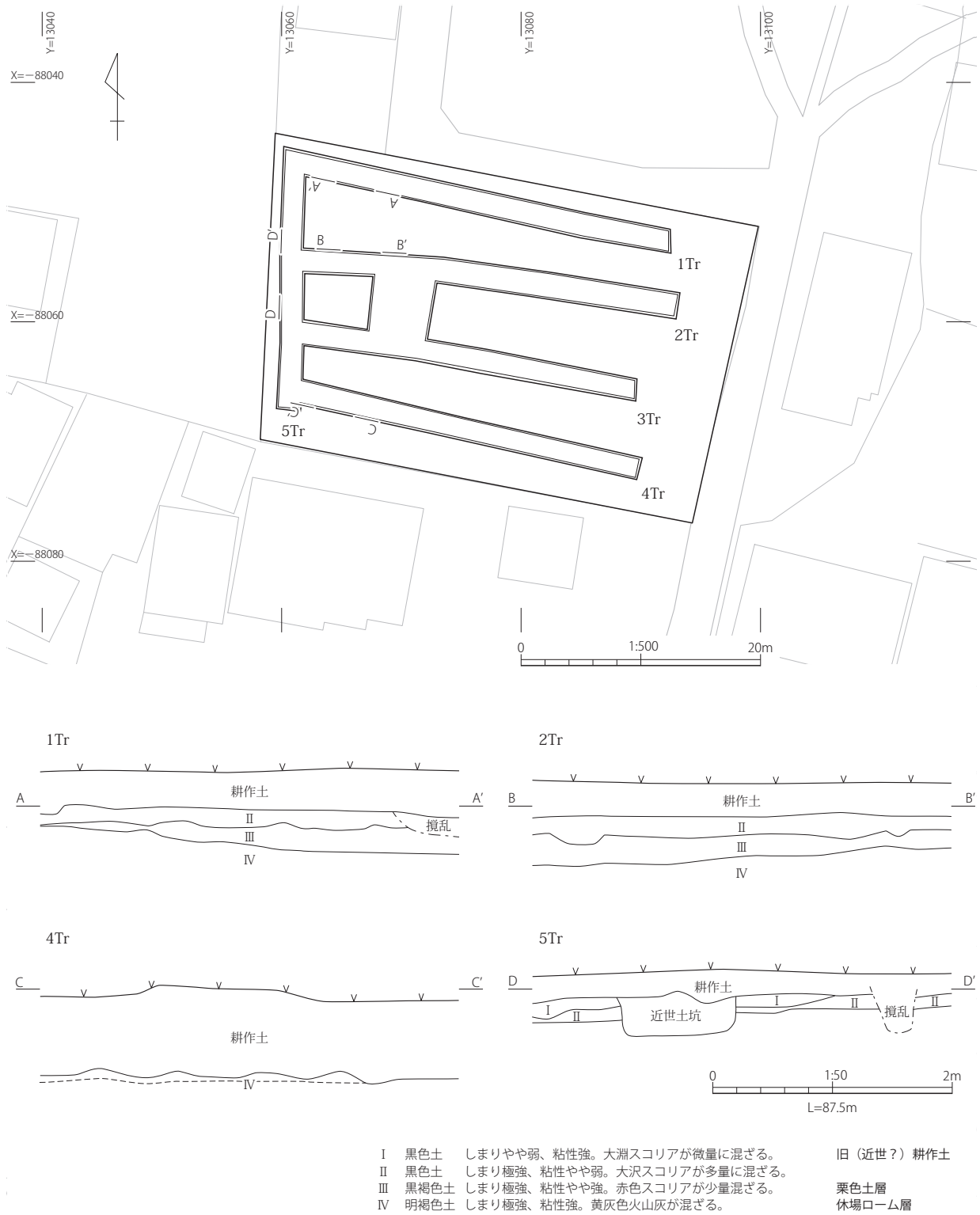
### 調査の体制

調査は以下の体制で実施した。

#### 調査主体者

|      |      |          |      |        |
|------|------|----------|------|--------|
| 調査担当 | 文化財係 | 富士市教育委員会 | 教育長  | 山本 厚   |
|      |      |          | 教育次長 | 小山 哲雄  |
|      |      | 文化振興課    | 課長   | 小長谷 秀夫 |
|      |      |          | 課長補佐 | 若林 富彦  |
|      |      |          | 係長   | 佐野 誠一  |
|      |      |          | 主事   | 久松 義昭  |





第 156 図 天間沢遺跡 T 地区 トレンチ配置図、セクション図

## 第6節 U地区（第21地区）の調査

### 調査に至る経緯

平成4年、富士コカ・コーラボトリング株式会社（以下、事業者）は、富士市天間 591-1 において倉庫・事務所建て替え工事を計画した。当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地「天間沢遺跡」に位置するため、富士市教育委員会文化振興課は、事前の確認調査が必要であると判断した。

平成4年5月25日、事業者から文化財保護法第57条の2第1項（当時）の規定に基づく「埋蔵文化財発掘の届出について」が提出された。富士市教育委員会は届出を静岡県教育委員会に進達し、静岡県教育委員会から事業者に対して、富士市教育委員会と協議して発掘調査を実施するように通知があった（平成4年6月9日付け、教文第3-34号）。

平成4年9月30日、事業者から「埋蔵文化財試掘確認調査指導依頼書」および「発掘調査承諾書」が提出された。10月15日、富士市教育委員会は文化財保護法第98条の2第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘調査の通知について」を静岡県教育委員会に提出し（富教文第190号）、文化振興課職員による確認調査を実施することとなった。

### 調査の経過と結果

調査は平成4年10月20日から10月27日にかけて実施した。

敷地内に、9箇所のトレンチを設定し（1～9Tr）、アスファルトカット後、重機および人力による掘削を行い、遺構・遺物の検出に努めた。

その結果、既存倉庫建設時の造成工事等により、大部分の旧表土が削平されていることが判明した。4Trにおいてわずかに旧表土以下が残存する部分のみとめられたものの、遺構・遺物ともに検出されなかった。

調査の結果について、「発掘調査終了報告書」を静岡県教育委員会ならびに事業者宛に提出した（平成4年11月9日付け、富教文第214号・215号）。



第157図 天間沢遺跡 U地区 位置図

### 調査の体制

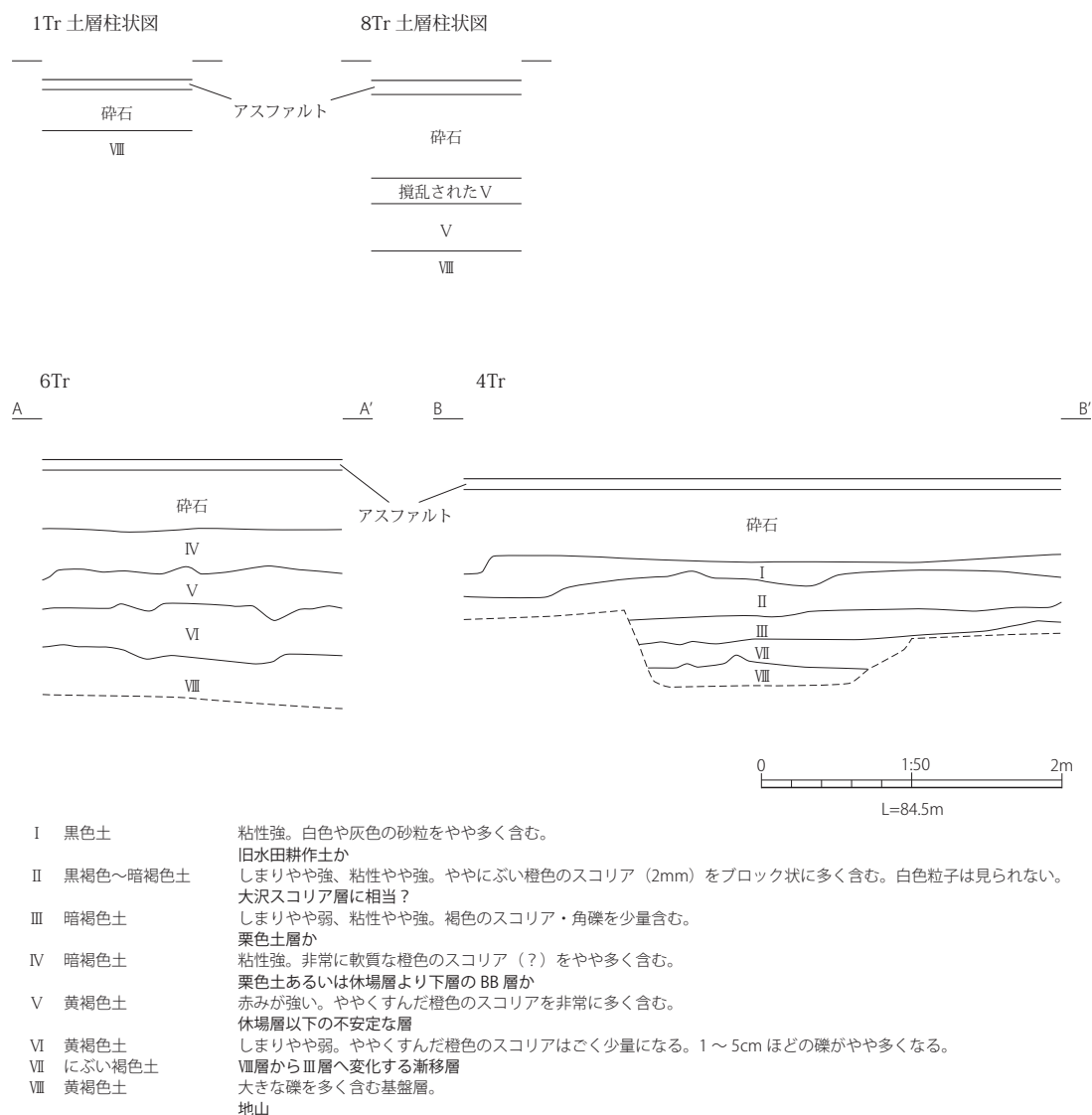
U地区の調査は以下の体制で実施した。

#### 調査主体

|          |      |        |
|----------|------|--------|
| 富士市教育委員会 | 教育長  | 山本 厚   |
|          | 教育次長 | 小山 哲雄  |
| 文化振興課    | 課長   | 小長谷 秀夫 |
|          | 課長補佐 | 若林 富彦  |
| 文化財係     | 係長   | 佐野 誠一  |
| 調査担当     | 指導主事 | 中尾 欣司  |
|          | 主事   | 前田 勝己  |



第 158 図 天間沢遺跡 U 地区 トレンチ配置図



第 159 図 天間沢遺跡 U 地区 セクション図

## 第7節 横道下地区（第23地区）の調査

### 調査に至る経緯

昭和62年、事業者（法人）は富士市天間999番地外（約12,000㎡）において宅地造成工事を計画し、7月20日、富士市教育委員会に「埋蔵文化財分布確認調査指導依頼書」を提出した。

当該地は旧ボーリング場敷地であり、ボーリング場建物建設に伴って、昭和46年度に確認調査および本発掘調査が実施され、古墳時代中期の配石遺構と竪穴建物1軒、古墳時代初頭の竪穴建物6軒を検出している（横道下地区）。

こうした状況を踏まえ、富士市教育委員会は7月27日、文化体育課職員による表面分布調査を行い、8月5日、事前の発掘調査が必要であるとの意見を事業者へ通知した（富教文体第92号）。

昭和62年8月26日、事業者から文化財保護法第57条の2第1項（当時）の規定に基づく「埋蔵文化財発掘の届出について」が提出された。富士市教育委員会は届出を静岡県教育委員会に進達し、静岡県教育委員会から事業者に対して、富士市教育委員会と協議して発掘調査を実施するように通知があった（昭和62年9月17日付け、教文第4-19号）。

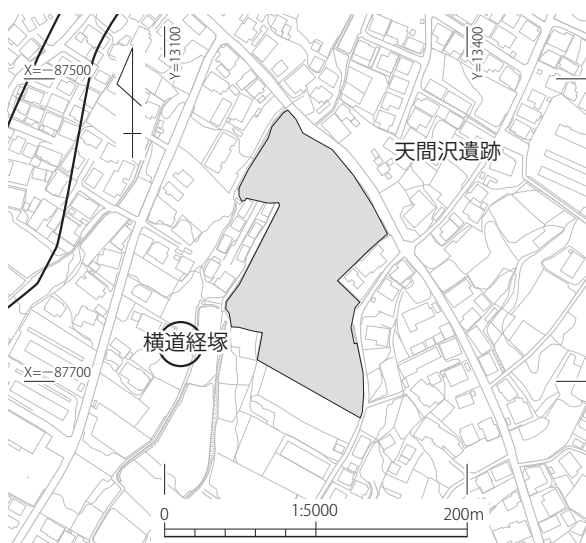
9月1日、富士市教育委員会は文化財保護法第98条の2第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘調査の通知について」を静岡県教育委員会に提出し（富教文体第104号）、富士市教育委員会文化体育課職員による確認調査を実施することとなった。

昭和46年度の調査を横道下地区1次調査とし、今回の調査を横道下地区2次調査と位置づける。

### 調査の経過

調査は、昭和62年9月7日から9月21日にかけて実施した。1次調査の調査範囲外を対象とし、ボーリング場建物の南（b地区）、ボーリング場駐車場北側（c地区）、竹林（d地区）にトレンチを設定し、重機による掘削後、人力により精査して遺構・遺物の検出につとめた。

b地区は丘陵の緩斜面にあたり、北東部には溶岩の露頭が認められ、南西に向けて緩やかに傾斜して



第160図 天間沢遺跡横道下地区 位置図

いる。トレンチ中央付近で土坑1基（第3号土坑：SK3）が、トレンチ西側で配石遺構と土坑1基（第4号土坑：SK4）が検出された。

c地区では、トレンチ東側で古墳時代の建物に伴うとみられる焼土が検出されたが、それ以外に遺構・遺物は検出されなかった。駐車場造成時に北側を削平し、その土砂を用いて西側の急斜面を埋めていることが確認され、遺構の存在は想定されない。

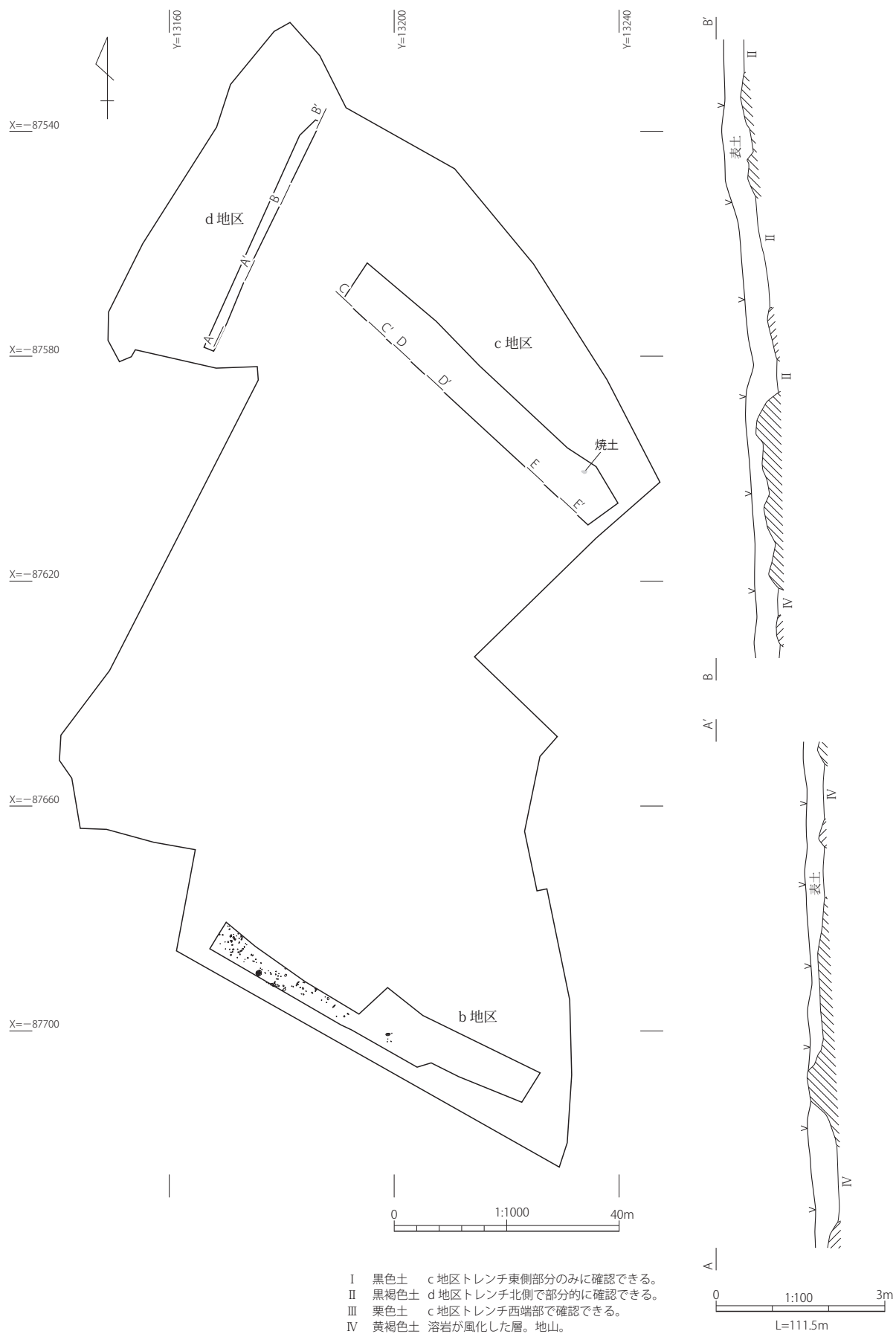
d地区は小川に挟まれた南北に延びる小丘陵で、馬の背部分に溶岩の露頭がみられる。少量の縄文土器が出土したが、遺構は確認されなかった。

調査の結果について、「発掘調査終了報告書」を静岡県教育委員会に提出した（昭和63年3月31日付け、富教文体第218号）。

### 調査の体制

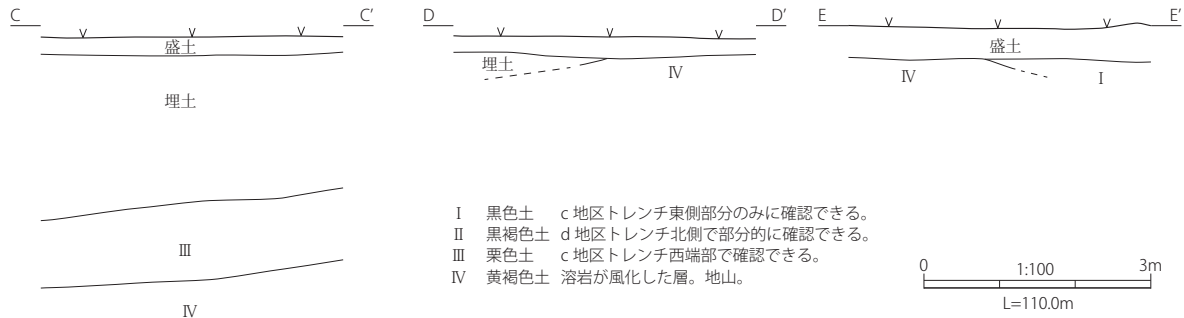
調査は以下の体制で実施した。

|      |          |      |       |
|------|----------|------|-------|
| 調査主体 | 富士市教育委員会 | 教育長  | 小川 清  |
| 事務局  |          | 教育次長 | 伊達 喬一 |
|      | 文化体育課    | 課長   | 深澤 清一 |
|      |          | 課長補佐 | 渡邊 誠  |
|      | 文化振興係    | 係長   | 杉本 篤  |
|      |          | 主事   | 平林 将信 |
|      |          | 主事   | 渡井 義彦 |



第161図 天間沢遺跡横道下地区 全体図、セクション図





第 162 図 天間沢遺跡横道下地区 セクション図

## 調査の成果

b 地区の北側では、1 次調査において縄文時代中期～後期の配石遺構が検出されている。b 地区トレンチの西側ではこれに連続するものとみられる配石遺構が検出され、土器のまとまりも認められた。

さらに、土器を伴う土坑が 2 基検出された (SK3～4)。

SK3 はトレンチの中央付近で検出され、平面形は長径 79cm、短径 43cm の細長い楕円形を呈する。検出面からの深さは 30cm ほどを測り、底面の中央に径 24cm、深さ 27cm ほどのピットが掘られている。上段部分の覆土中から、底部のない縄文土器深鉢が正位で出土した。埋甕土坑とみられる。

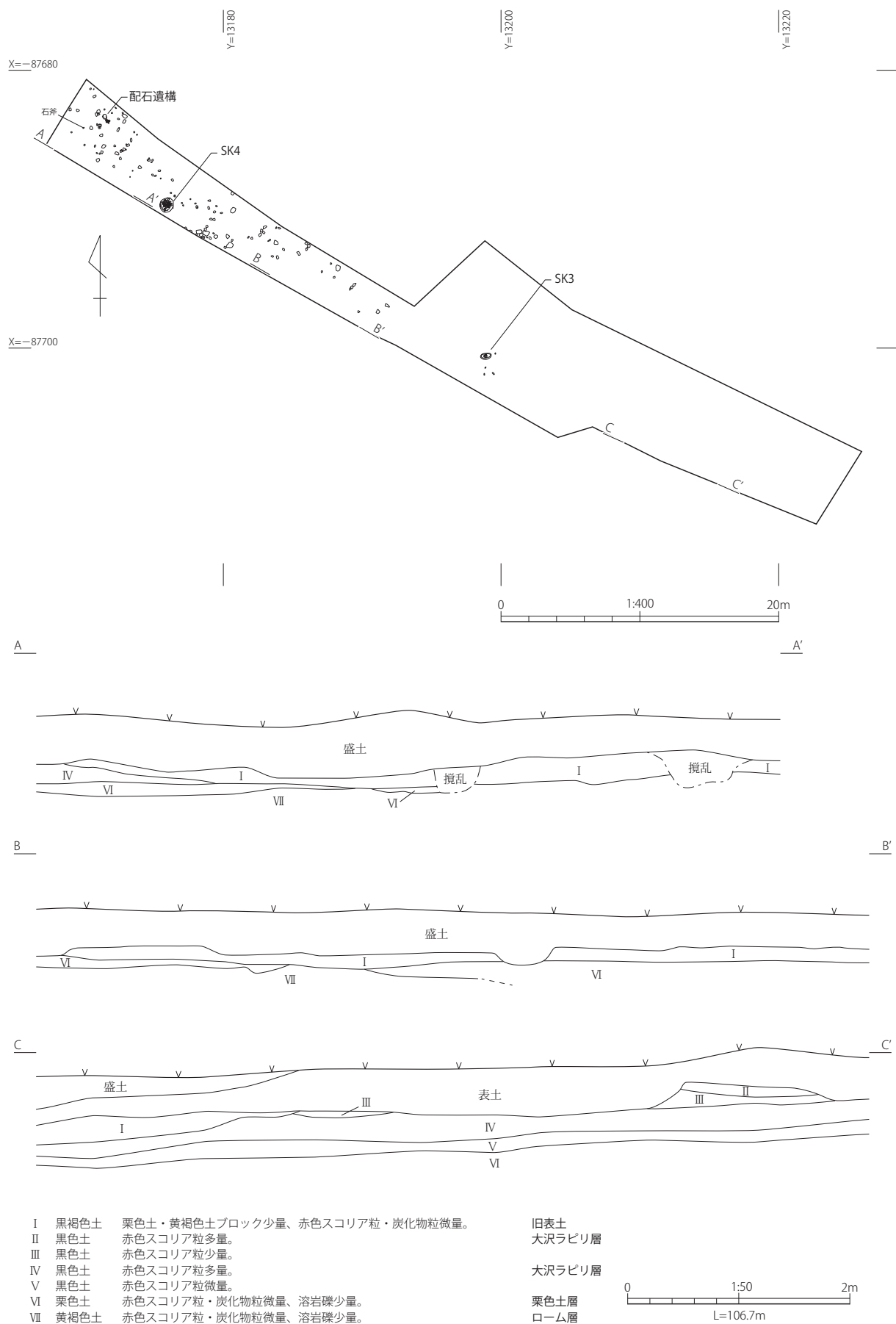
SK4 はトレンチの西寄りで検出され、平面形は長径 110cm、短径 97cm の円形を呈する。検出面からの深さ 13cm ほどの浅い平底で、径 50cm ほどの範囲に焼土が認められ、覆土中から器形が復元可能な大型の破片が重なり合う形で 4 個体以上の土器が出土している。この土器群は、関西系の縄文時代中期末の北白川 C 式と関東系中期末の加曽利 E4 式、そして後期初頭に位置づけられる称名寺 1 式から構成され、縄文時代中期から後期への移行期のセット関係を示す貴重な資料となる。

この北白川 C 式 (18) の文様構成は滋賀県尾上湖底遺跡の完形深鉢形土器 (永峰 1981) に酷似し、胎土も白色系を呈すことから、関西地域と直接関係する可能性が高い。北白川 C 式は、泉拓良氏により設定された関西地方を中心に分布する縄文時代中期終わりの土器型式で、関東地方の加曽利 E 式の影響下で成立すると考えられている。天間沢遺跡の SK4 一括出土の状況は、まさに関東地方と関西地方

の接触を示すものであろう。また、伴出した後期初頭の称名寺 1 式 (71～79) の文様構成は O 字形で、西日本の中津式系であることから、あわせて両地域の文化的紐帯を表すものかもしれない。

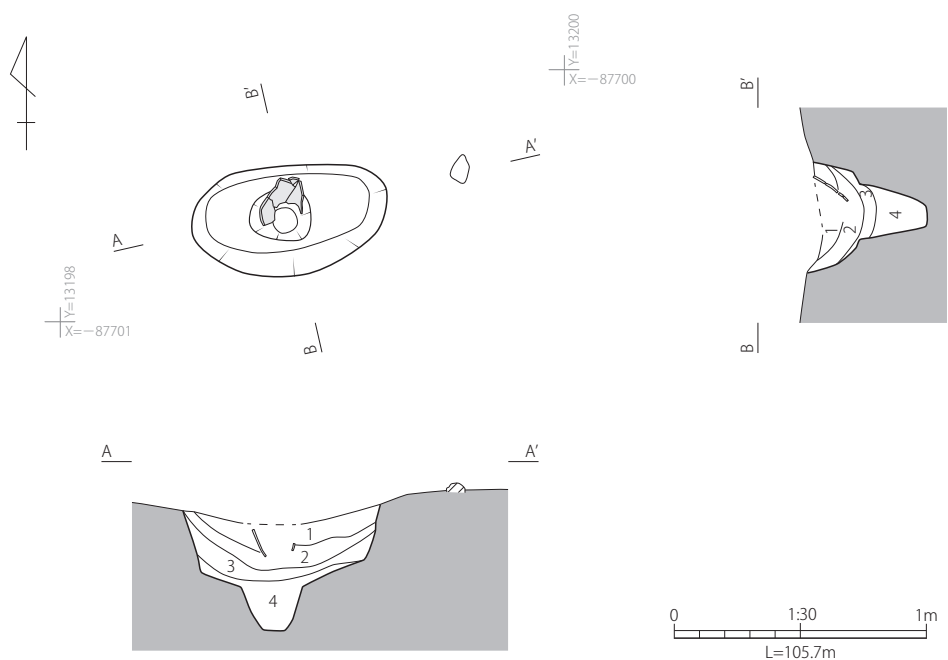
## 参考文献

- 永峰光一 1981『縄文土器大成②中期』P124 No.351  
 富井 眞 1998 「北白川追分町遺跡出土の縄文土器 -- 北白川 C 式の成立を考える --」『京都大学構内遺跡調査研究年報』1998, 1994: 95-115  
 縄文時代文化研究会 編 1999 『縄文時代文化研究の 100 年 - 21 世紀における縄文時代文化研究の深化に向けて - 縄文時代 第 10 号』縄文時代文化研究会  
 小林達雄 編 2008 『総覧 縄文土器』アム・プロモーション



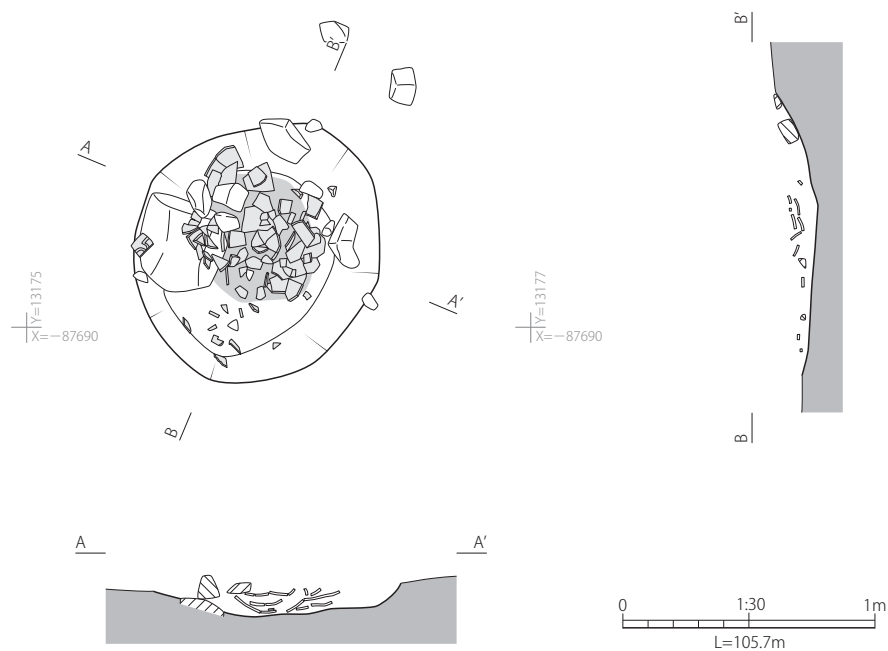
第163図 天間沢遺跡横道下地区 b地区全体図、セクション図

b地区 SK3

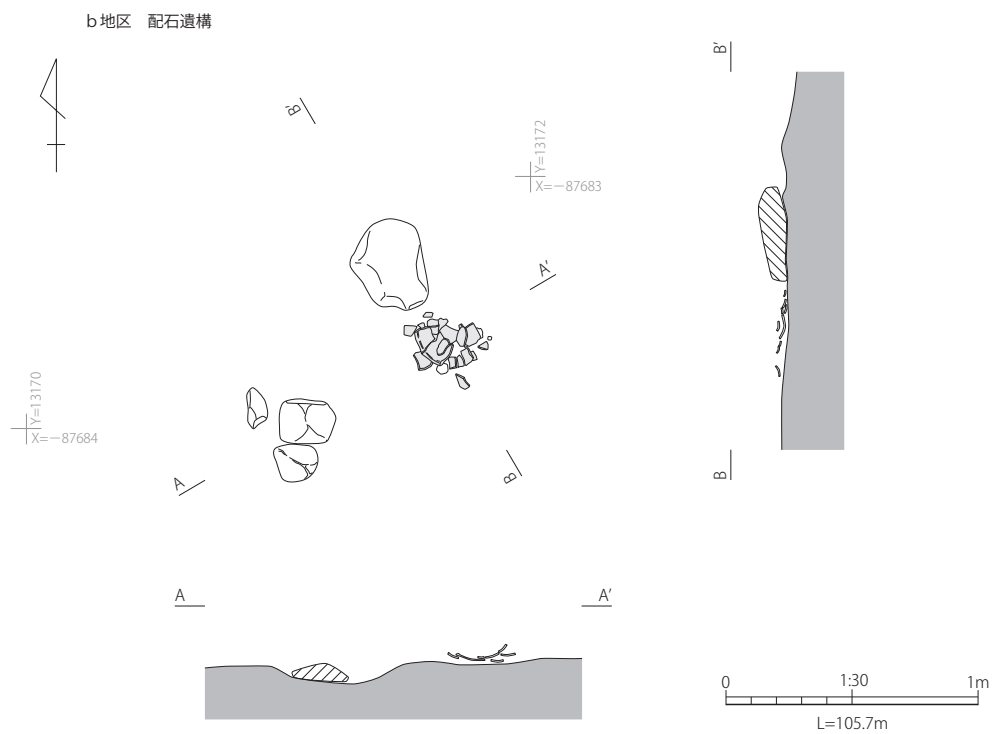


- |        |                               |        |
|--------|-------------------------------|--------|
| 1 褐色土  | 赤色スコリア粒・炭化物粒微量。               | SK3 覆土 |
| 2 褐色土  | 赤色スコリア粒・炭化物粒・発泡スコリア微量、溶岩小礫微量。 | SK3 覆土 |
| 3 暗褐色土 | 赤色スコリア粒・炭化物粒・発泡スコリア微量。        | SK3 覆土 |
| 4 暗褐色土 |                               | SK3 覆土 |

b地区 SK4



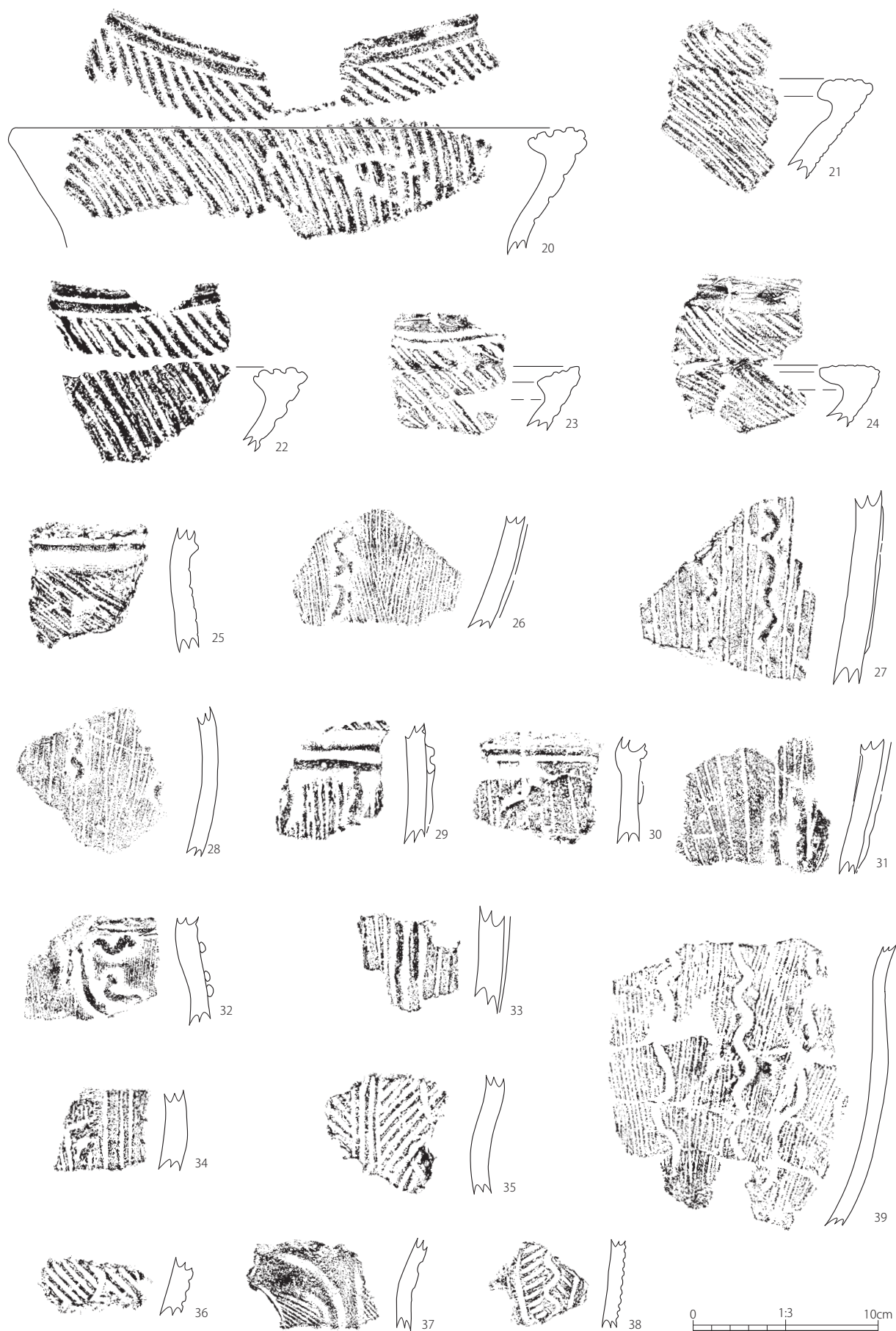
第164図 天間沢遺跡横道下地区 b地区遺構平面図、セクション図 ①



第 165 図 天間沢遺跡横道下地区 b地区遺構平面図、セクション図 ②

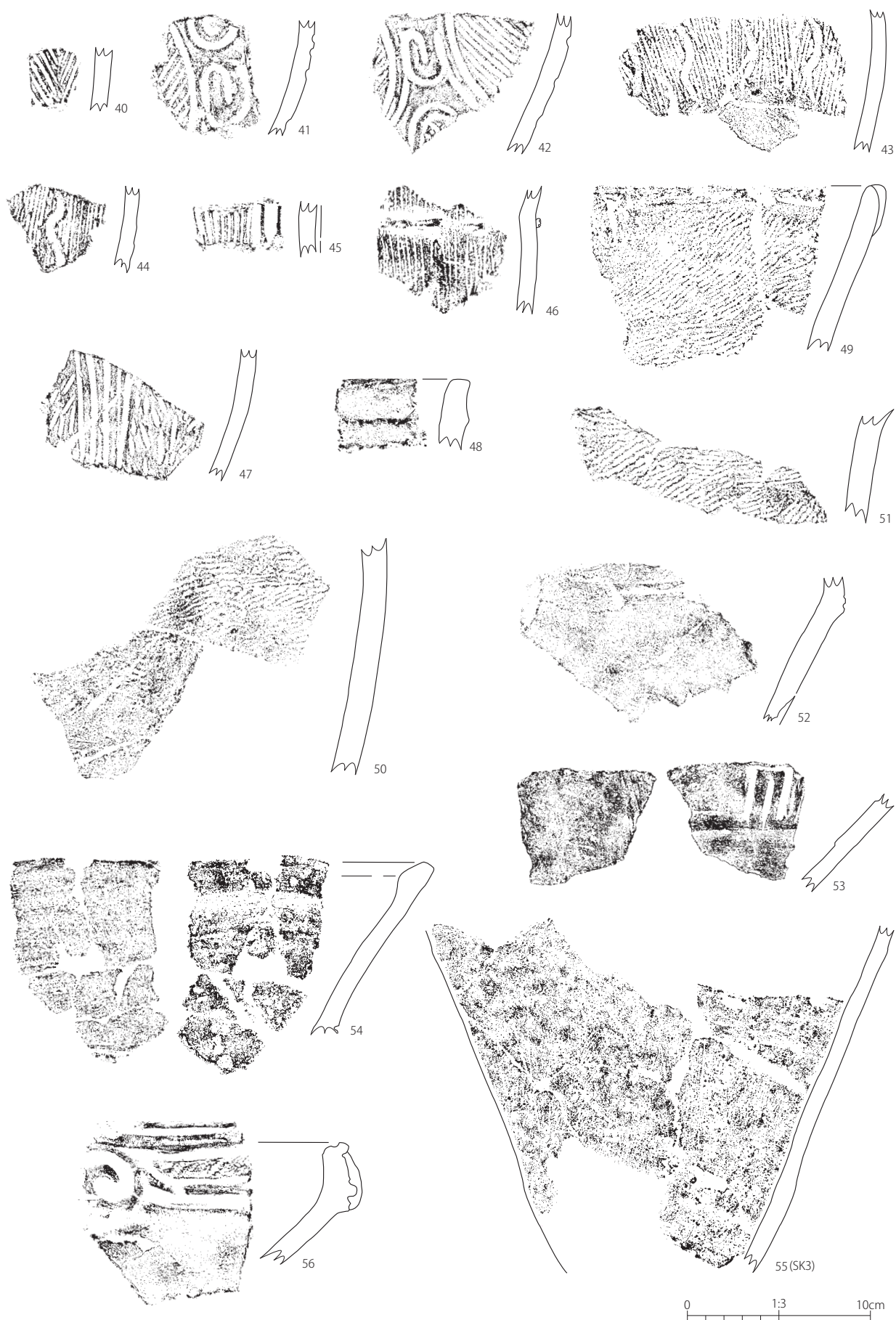


第166図 天間沢遺跡横道下地区 出土遺物実測図 ①

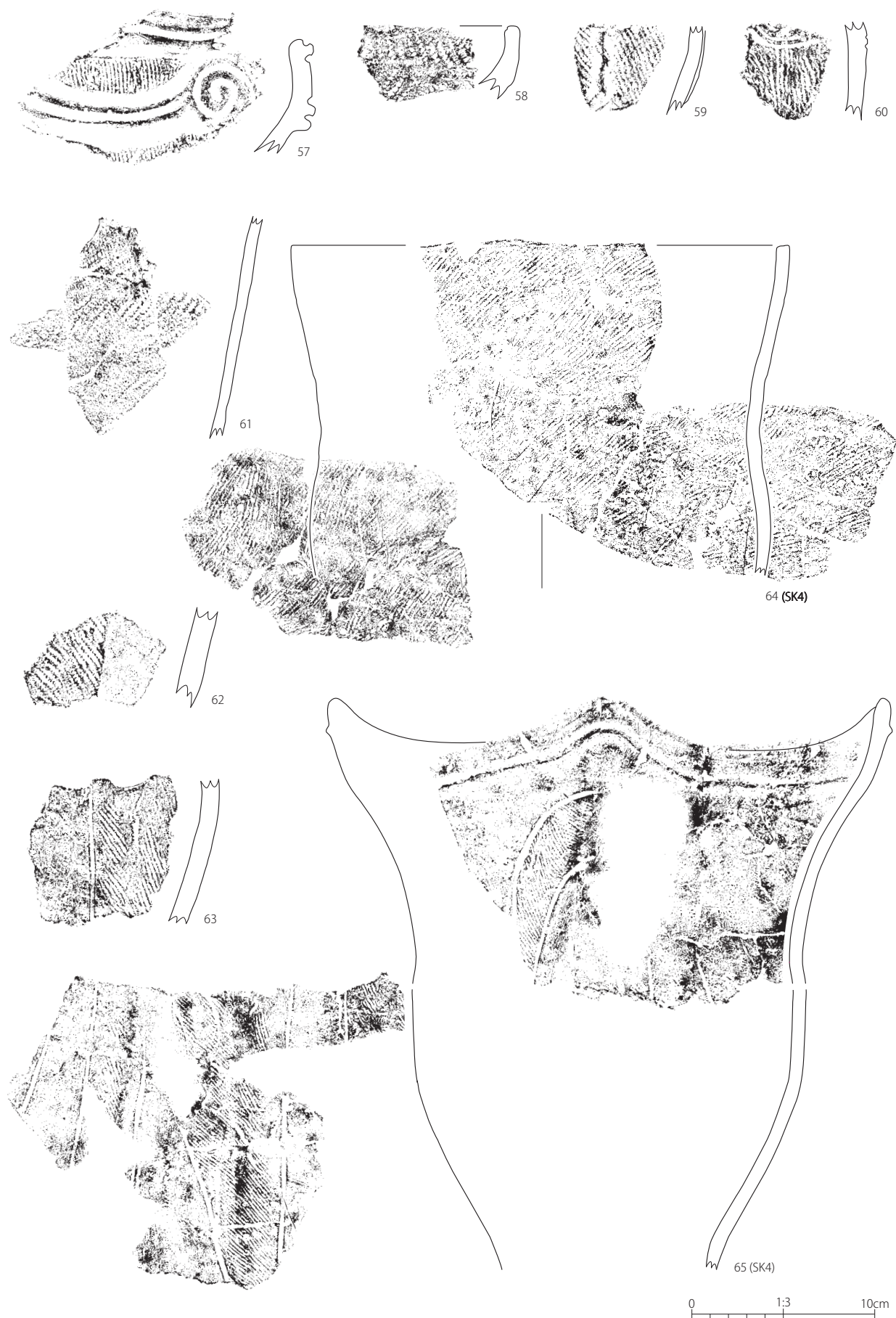


第 167 図 天間沢遺跡横道下地区 出土遺物実測図 ②



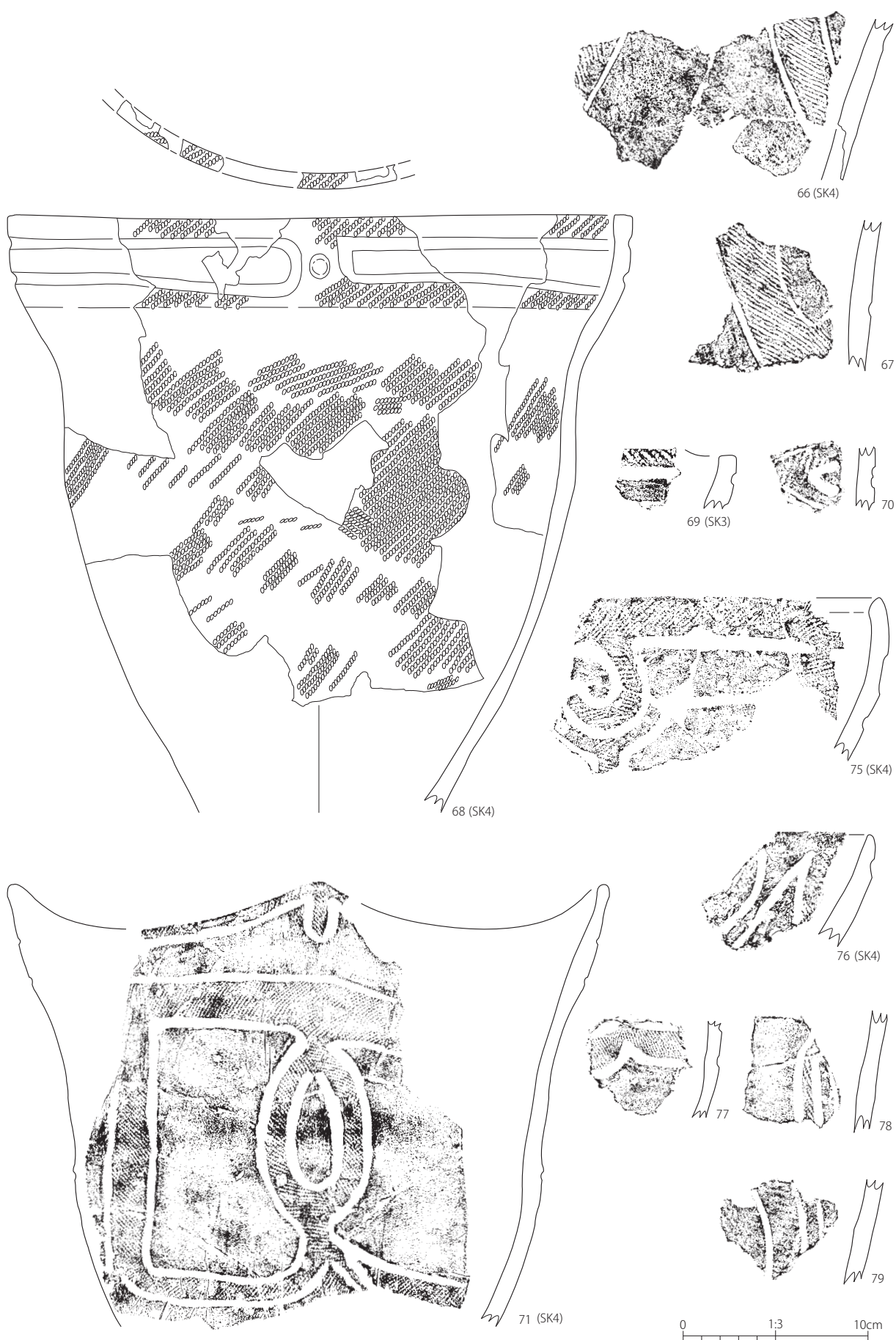


第168図 天間沢遺跡横道下地区 出土遺物実測図 ③

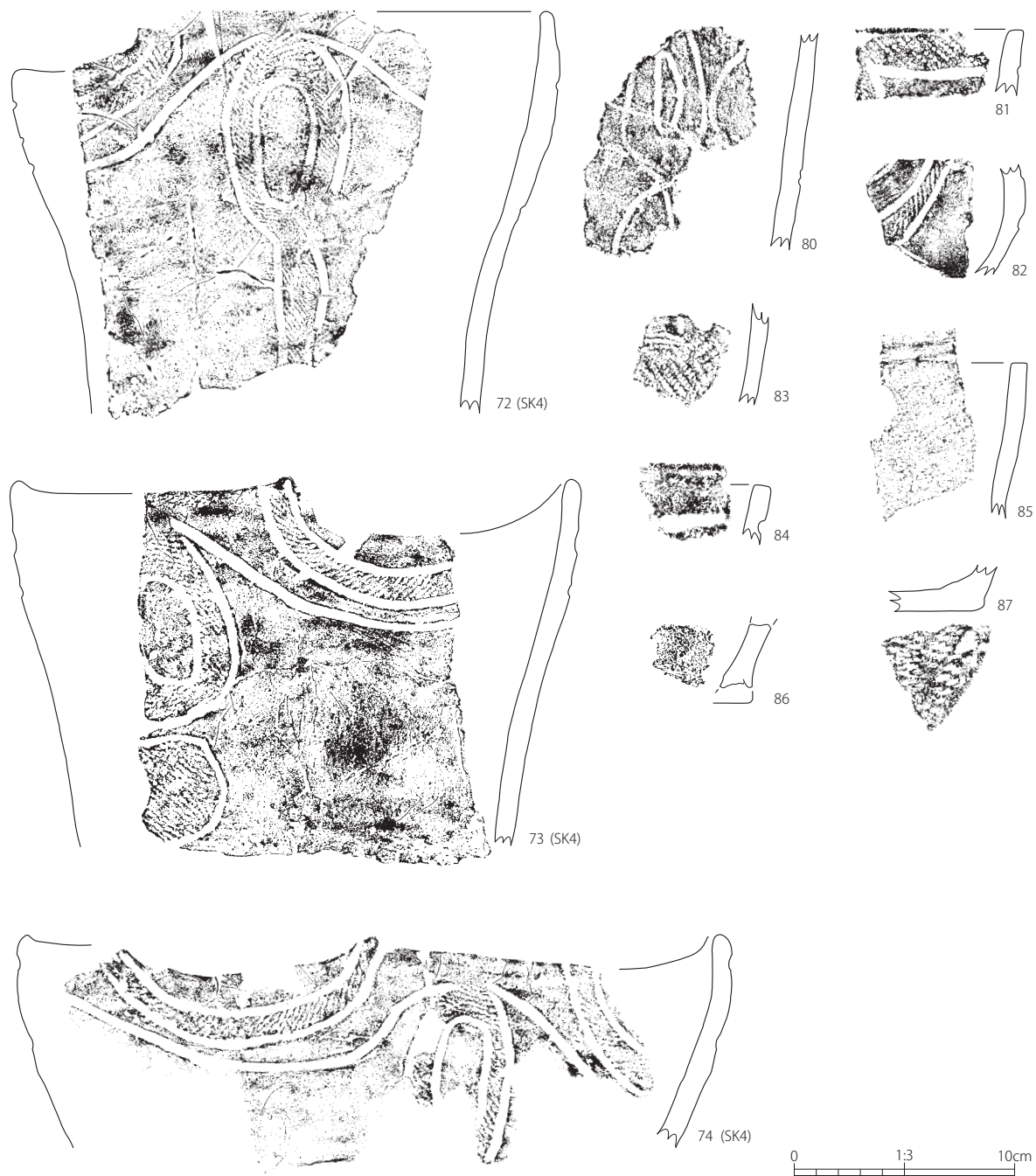


第169図 天間沢遺跡横道下地区 出土遺物実測図 ④

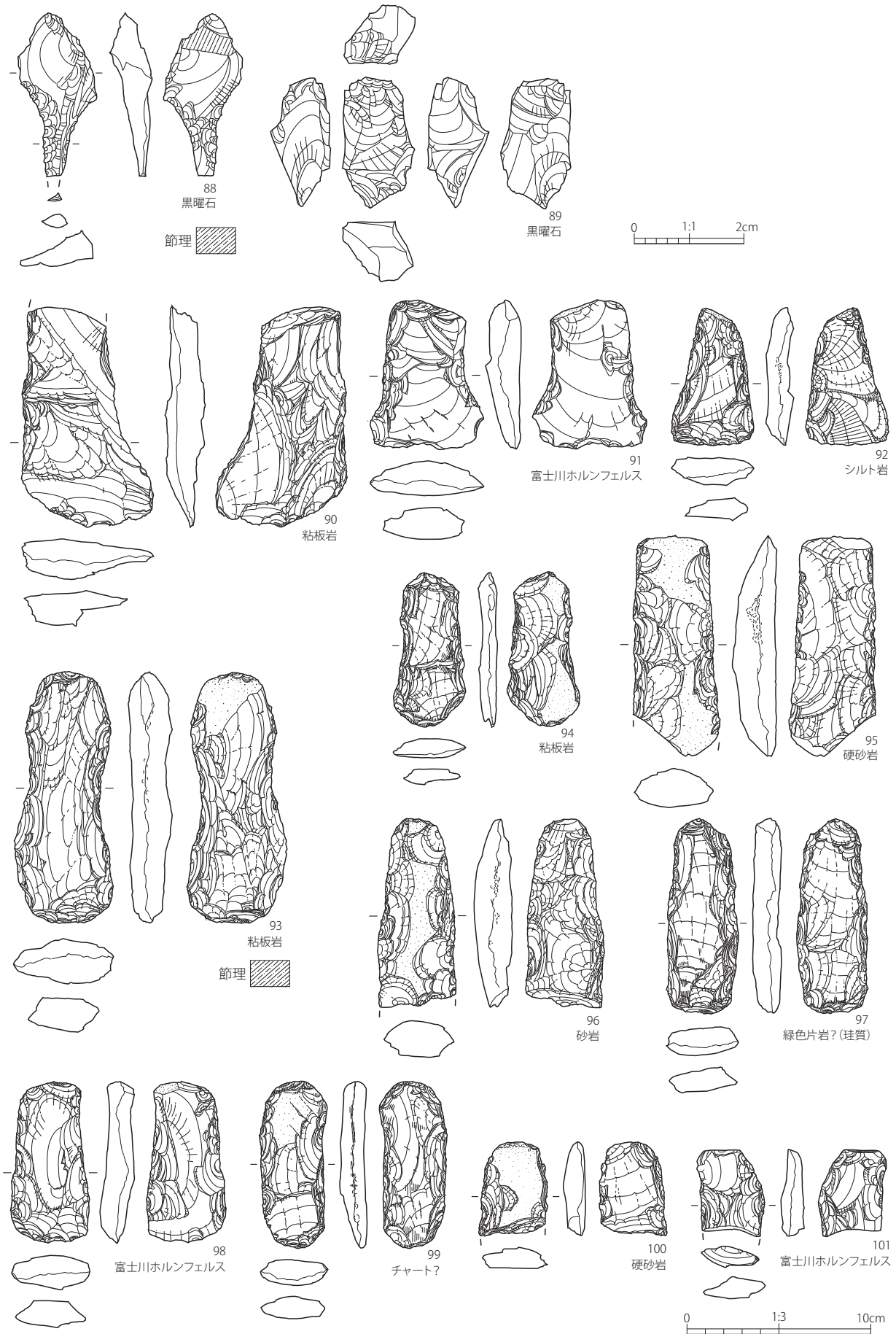




第170図 天間沢遺跡横道下地区 出土遺物実測図 ⑤

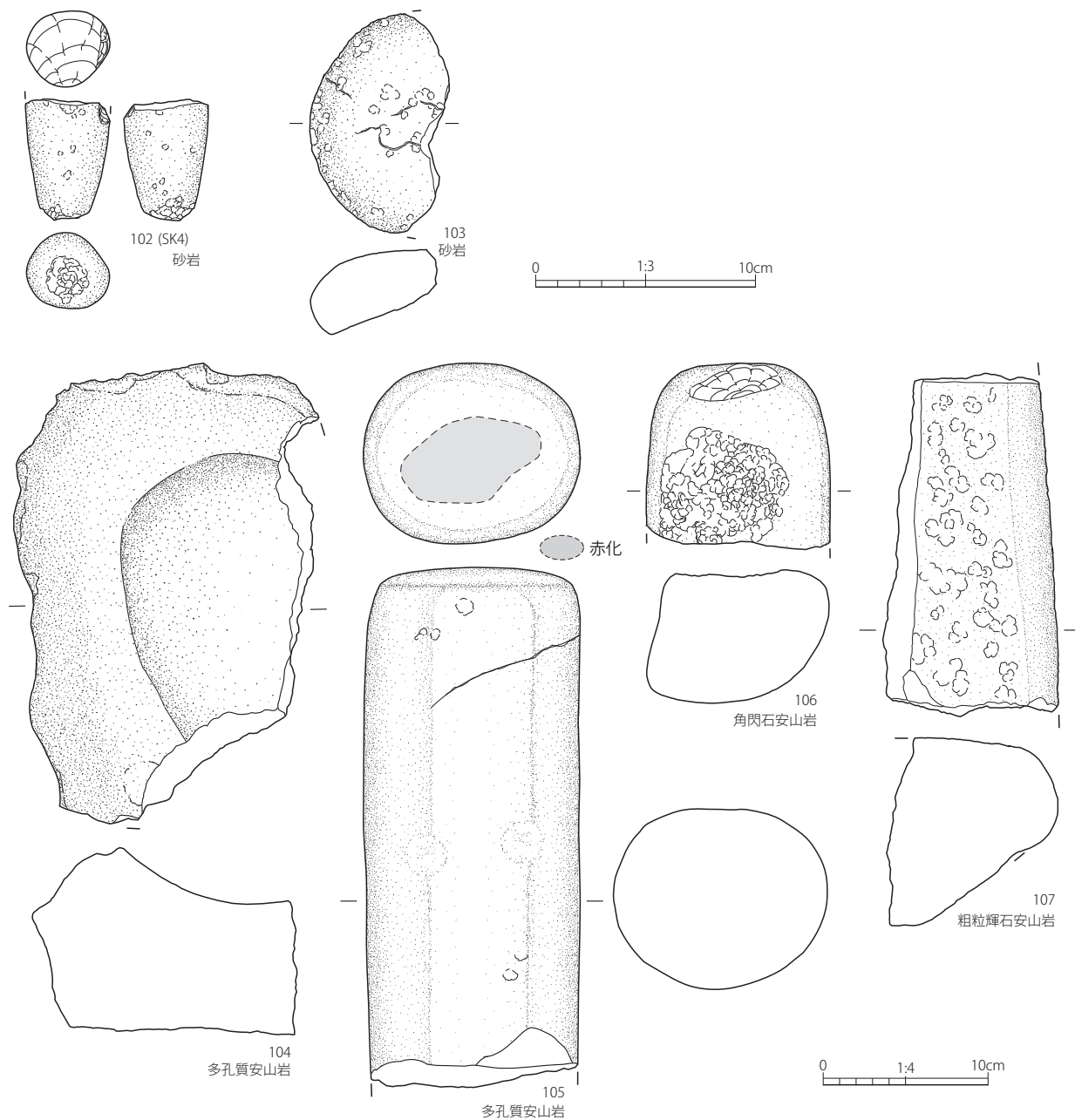


第 171 図 天間沢遺跡横道下地区 出土遺物実測図 ⑥



第 172 図 天間沢遺跡横道下地区 出土遺物実測図 ⑦





第 173 図 天間沢遺跡横道下地区 出土遺物実測図 ⑧



第18表 天間沢遺跡横道下地区（第23地区） 出土土器観察表

| 挿図<br>図版       | 番号 | 出土場所              | 色調内側          | 色調外側           | 分類         | 型式       | 観察  | 現地<br>番号 |
|----------------|----|-------------------|---------------|----------------|------------|----------|---|----------|
| 第166図<br>-     | 1  | b地区トレンチ東          | 5YR5/3 にぶい赤褐  | 2.5YR5/4 にぶい赤褐 | III群 A-1 類 | 藤内 I     | 断面三角形の隆帯の両側を押引き爪形文で押さえて区画とし、その下部にRLの縄文を施文後、沈線による波状文を施す。                               | R18      |
| 第166図<br>PL.33 | 2  | b地区トレンチ東          | 7.5YR5/4 にぶい褐 | 7.5YR5/4 にぶい褐  | III群 A-2 類 | 曾利 I     | 刻みのある懸垂文の間に渦巻文を配する。   | R16      |
| 第166図<br>PL.33 | 3  | b地区トレンチ西          | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR5/4 にぶい褐  | III群 A-2 類 | 曾利 I     | キャリパー形深鉢の頭部。半隆帯の縦线条線を地文とし、その上から刻みのある浮線文を頭部に平行して貼付し、そこから同じ浮線を懸垂させる。その交点には蛇頭状の浮点を突起させる。 | R15      |
| 第166図<br>PL.33 | 4  | b地区トレンチ           | 7.5YR6/3 にぶい褐 | 7.5YR5/3 にぶい褐  | III群 A-2 類 | 曾利 I     | 二本の平行する隆帯の中を密接した波状浮線文を貼付した頭部から、下に縦位の条線を施文する。  | R13      |
| 第166図<br>PL.33 | 5  | b地区トレンチ西          | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR6/6 橙     | III群 A-2 類 | 曾利 I ?   | 大きく内湾する口縁部に沿って沈線を引き、そこから縦に太い集合沈線を施文する。  | R32      |
| 第166図<br>PL.33 | 6  | b地区トレンチ西（配石遺構に伴う） | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙  | III群 A-2 類 | 曾利 II    | 口縁部渦巻つなぎ弧文をもつキャリパー形深鉢上半部。区画内を太い条線や斜め刺突、押引刺突で埋める。                                      | R29      |
| 第166図<br>PL.33 | 7  | b地区トレンチ西          | 10YR8/4 浅黄橙   | 7.5YR8/6 浅黄橙   | III群 A-2 類 | 曾利 II    | 口唇部渦巻つなぎ弧文をもつキャリパー形深鉢口縁部。区画内を太い条線と刺突文で埋める。  | R5       |
| 第166図<br>PL.33 | 8  | b地区トレンチ西          | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 5YR7/6 橙       | III群 A-2 類 | 曾利 II    | 大型の深鉢の底部。地文に太い条線を縦に施文。垂下しJ字状になる隆帯の一部が残っている。   | R24      |
| 第166図<br>-     | 9  | b地区トレンチ西          | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 10YR8/4 浅黄橙    | III群 A-2 類 | 曾利 II    | 籠目文土器のくびれ部。粘土紐貼付け隆帯の上部に半隆帯の斜行条線を施す。   | R32      |
| 第166図<br>PL.33 | 10 | b地区トレンチ西          | 10YR6/4 にぶい黄橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙  | III群 A-2 類 | 曾利 II ?  | 籠目文土器のくびれ部。平行する粘土紐の間を波状の粘土紐貼付けた単位の隆帯を何重にも重ねて施文。                                       | R28      |
| 第166図<br>PL.33 | 11 | b地区トレンチ           | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 7.5YR7/6 橙     | III群 A-2 類 | 曾利 II    | 平行する半隆帯の集合沈線文を器面全体に施文する。その内の一部二条に連続の爪形刻みを施し、そこから土紐の蛇行懸垂文を垂下する。                        | R13      |
| 第166図<br>-     | 12 | b地区トレンチ東          | 10YR4/2 灰黄褐   | 10YR5/2 灰黄褐    | III群 A-2 類 | 曾利 II    | 籠目文土器のくびれ部。半隆帯の斜行条線を地文とし、粘土紐貼付けの波状隆帯を施文。  | R22      |
| 第166図<br>PL.33 | 13 | b地区トレンチ西          | 10YR7/4 にぶい黄橙 | 7.5YR6/6 橙     | III群 A-2 類 | 曾利 III   | 口縁部文様帯に条線を充填する楕円文と円文を配置する。  | R32      |
| 第166図<br>PL.33 | 14 | b地区トレンチ西          | 5YR6/6 橙      | 7.5YR6/6 橙     | III群 A-2 類 | 曾利 III   | 波状口縁部に粘土帯を貼り付けて肥厚して文様帯とし、変形した楕円文を施文。口唇上面に横J字の沈線を施す。体部には二本の浅い沈線による懸垂文を引き、区画内を条線で充填する。  | R32      |
| 第166図<br>PL.33 | 15 | b地区トレンチ西          | 7.5YR3/3 暗褐   | 5YR5/4 にぶい赤褐   | III群 A-2 類 | 曾利 III ? | 隆帯による楕円文の内部を荒い縦の条線によって埋める。器壁が薄く、西日本系（北白川C式?）かもしれない。                                   | R32      |
| 第166図<br>PL.33 | 16 | b地区トレンチ西          | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙  | III群 A-2 類 | 曾利 III   | 大型の籠目文土器の口縁部。裏面に大きく内向した口唇から表面に、斜行条線を裏面口唇に平行する沈線まで周り込むように施文する。                         | R7       |
| 第166図<br>PL.33 | 17 | b地区トレンチ西          | 5YR6/6 橙      | 5YR5/4 にぶい赤褐   | III群 A-2 類 | 曾利 III   | 大型の籠目文土器の口縁部。裏面に大きく内向した口唇から表面に、斜行条線を裏面口唇に平行する半隆帯まで周り込むように施文する。                        | R32      |
| 第166図<br>-     | 18 | b地区トレンチ西          | 5YR6/6 橙      | 5YR6/6 橙       | III群 A-2 類 | 曾利 III   | 籠目文土器の口縁部。裏面に大きく内向した口唇から表面に、斜行条線を裏面口唇に平行する半隆帯まで周り込むように施文する。                           | R32      |
| 第166図<br>-     | 19 | b地区トレンチ西          | 5YR6/6 橙      | 5YR6/6 橙       | III群 A-2 類 | 曾利 III   | 籠目文土器の口縁部。裏面に大きく内向した口唇から表面に、斜行条線を周り込むように施文する。   | R32      |
| 第167図<br>PL.34 | 20 | b地区トレンチ東          | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙  | III群 A-2 類 | 曾利 III   | 籠目文土器の口縁部と胴部。裏面に大きく内向した口唇から表面に、斜行条線を裏面口唇に平行する半隆帯まで周り込むように施文する。斜行条線を地文に粘土紐の懸垂文を施文。     | R16      |
| 第167図<br>-     | 21 | b地区トレンチ西          | 5YR7/6 橙      | 5YR7/6 橙       | III群 A-2 類 | 曾利 III   | 籠目文土器の口縁部。裏面に大きく内向した口唇から表面に、斜行条線を裏面口唇に周り込むように施文する。                                    | R5       |
| 第167図<br>PL.34 | 22 | b地区トレンチ東          | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙  | III群 A-2 類 | 曾利       | 籠目文土器の口縁部。裏面に大きく内向した口唇から表面に、斜行条線を裏面口唇に平行する二本の半隆帯まで周り込むように施文する。                        |          |
| 第167図<br>-     | 23 | b地区トレンチ西          | 7.5YR6/3 にぶい褐 | 7.5YR7/4 にぶい橙  | III群 A-2 類 | 曾利       | 籠目文土器の口縁部。裏面に大きく内向した口唇から表面に、斜行条線を裏面口唇に平行する半隆帯まで周り込むように施文する。                           | R7       |
| 第167図<br>-     | 24 | b地区トレンチ西          | 5YR6/6 橙      | 5YR6/6 橙       | III群 A-2 類 | 曾利       | 籠目文土器の口縁部。裏面に大きく内向した口唇から表面に、斜行条線を裏面口唇の無文帯まで周り込むように施文する。                               | R7       |
| 第167図<br>-     | 25 | b地区トレンチ西          | 10YR7/4 にぶい黄橙 | 10YR7/4 にぶい黄橙  | III群 A-2 類 | 曾利 III   | 籠目文土器のくびれ部。隆帯の下部に斜行条線を施す。   | R32      |
| 第167図<br>-     | 26 | b地区トレンチ西          | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 5YR6/6 橙       | III群 A-2 類 | 曾利 III   | 籠目文土器の胴部。縦の条線を地文とし、粘土紐による蛇行懸垂文を貼付する。  | R32      |
| 第167図<br>PL.34 | 27 | b地区トレンチ東          | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 5YR6/6 橙       | III群 A-2 類 | 曾利 III   | 大型の籠目文土器の胴部。太い条線を地文に、二本の粘土紐による懸垂文を施す。   | R18      |
| 第167図<br>-     | 28 | b地区トレンチ西          | 7.5YR4/2 灰褐   | 7.5YR4/3 褐     | III群 A-2 類 | 曾利 III   | 籠目文土器の胴部。太い条線を地文に、粘土紐による懸垂文を施す。   | R20      |

| 挿図<br>図版       | 番号 | 出土場所      | 色調内側          | 色調外側           | 分類         | 型式      | 観察   | 現地<br>番号 |
|----------------|----|-----------|---------------|----------------|------------|---------|--|----------|
| 第167図<br>PL.34 | 29 | b地区トレンチ西  | 5YR6/6 橙      | 7.5YR6/6 橙     | III群 A-2 類 | 曾利 III  | 籠目文土器の頸部。縦位の条線を地文とし、平行する二本の粘土紐貼付けの浮線文から粘土紐の蛇行懸垂文を施文する。   | R5       |
| 第167図<br>-     | 30 | b地区トレンチ西  | 7.5YR5/3 にぶい褐 | 7.5YR5/4 にぶい褐  | III群 A-2 類 | 曾利 III  | 籠目文土器の頸部。縦位の条線を地文とし、頸部に平行する太い隆帯上に半裁竹管による平行沈線を施し、そこから粘土紐の蛇行懸垂文を垂下する。                                  | R5       |
| 第167図<br>-     | 31 | b地区トレンチ西  | 7.5YR5/3 にぶい褐 | 2.5YR5/6 明赤褐   | III群 A-2 類 | 曾利 III  | 籠目文土器の胴部。太い条線を地文に、粘土紐による二本の懸垂文を施す。   | R20      |
| 第167図<br>PL.34 | 32 | b地区トレンチ西  | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR7/6 橙     | III群 A-2 類 | 曾利 III  | うすい縦位条線を地文とし、頸部隆帯から粘土紐の浮線を垂下し渦巻文を描く。   | R17      |
| 第167図<br>-     | 33 | b地区トレンチ東  | 10YR6/3 にぶい黄橙 | 7.5YR8/6 浅黄橙   | III群 A-2 類 | 曾利      | 太い縦位の条線を地文に二本の平行隆帯の懸垂文を施文する。   | R16      |
| 第167図<br>-     | 34 | b地区トレンチ東  | 10YR5/2 灰黄褐   | 7.5YR6/4 にぶい橙  | III群 A-2 類 | 曾利      | 太い縦位条線を地文に粘土紐の蛇行懸垂文？を垂下する。   | R16      |
| 第167図<br>PL.34 | 35 | b地区トレンチ西  | 5YR5/3 にぶい赤褐  | 7.5YR5/4 にぶい褐  | III群 A-2 類 | 曾利 IV   | 三本の集合沈線による懸垂文に区切られた内部を、綾杉状の条線で充填し、その真ん中に蛇行懸垂文を施文する。  | R32      |
| 第167図<br>-     | 36 | b地区トレンチ西  | 7.5YR5/3 にぶい褐 | 7.5YR5/4 にぶい褐  | III群 A-2 類 | 曾利 IV   | 半隆帯状の斜行条線に蛇行懸垂文を施文。  | R32      |
| 第167図<br>-     | 37 | b地区トレンチ西  | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR7/6 橙     | III群 A-2 類 | 曾利 IV   | 深鉢くびれ部分。沈線による渦巻文の内部を条線で埋める。  | R32      |
| 第167図<br>PL.34 | 38 | b地区トレンチ西  | 7.5YR4/2 灰褐   | 2.5YR6/6 橙     | III群 A-2 類 | 曾利 IV   | 平行沈線の懸垂文に区画された中を蛇行懸垂線を引き、それを軸に集合沈線で羽状条線を施文する。  | R20      |
| 第167図<br>-     | 39 | b地区トレンチ西  | 7.5YR4/2 灰褐   | 5YR6/6 橙       | III群 A-2 類 | 曾利 IV   | 縦の条線を地文とし、浅い沈線による蛇行懸垂文を施文する。43・44 と同一個体か？  | R20      |
| 第168図<br>-     | 40 | b地区トレンチ西  | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 5YR6/6 橙       | III群 A-2 類 | 曾利 IV   | 綾杉状の条線文。   | R17      |
| 第168図<br>-     | 41 | b地区トレンチ西  | 10YR5/2 灰黄褐   | 7.5YR6/4 にぶい橙  | III群 A-2 類 | 曾利 IV ? | 鉢形土器の胴部？。沈線で区切られた文様帯に、沈線による連続した渦巻文を施し、地文として斜めの集合沈線で空間を埋める。90 と同一個体。                                  | R32      |
| 第168図<br>PL.34 | 42 | b地区トレンチ西  | 5YR4/1 褐灰     | 5YR5/6 明赤褐     | III群 A-2 類 | 曾利 IV ? | 鉢形土器の胴部？。沈線で区切られた文様帯に、沈線による連続した渦巻文を施し、地文として斜めの集合沈線で空間を埋める。60 と同一個体。                                  | R5       |
| 第168図<br>-     | 43 |           | 7.5YR5/3 にぶい褐 | 5YR6/6 橙       | III群 A-2 類 | 曾利      | 縦の条線を地文とし、浅い沈線による蛇行懸垂文を施文する。39・43 と同一個体か？  |          |
| 第168図<br>-     | 44 |           | 7.5YR5/2 灰褐   | 5YR6/6 橙       | III群 A-2 類 | 曾利      | 縦の条線を地文とし、浅い沈線による蛇行懸垂文を施文する。39・42 と同一個体か？  |          |
| 第168図<br>-     | 45 | b地区トレンチ東  | 5YR4/3 にぶい赤褐  | 5YR4/3 にぶい赤褐   | III群 A-2 類 | 曾利      | 二本単位の細い懸垂文の間を平行する条線で充填する。  | R22      |
| 第168図<br>-     | 46 | b地区トレンチ西  | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙  | III群 A-2 類 | 曾利      | 籠目文土器のくびれ部。縦の条線を地文に、頸部に平行して二・一と交互に押引の刺突を施す粘土紐貼付け隆帯を施文する。   | R28      |
| 第168図<br>PL.34 | 47 | b地区トレンチ西  | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 7.5YR6/4 にぶい橙  | III群 A-2 類 | 曾利 V ?  | 四本の集合沈線による懸垂文の区画内に、崩れた八の字文？で充填する。  | R32      |
| 第168図<br>-     | 48 | b地区トレンチ西  | 7.5YR7/6 橙    | 7.5YR6/6 橙     | III群 A-2 類 | 曾利 ?    | 口縁に沿って断面三角形の薄い隆帯を施文。   | R32      |
| 第168図<br>PL.34 | 49 | b地区トレンチ中央 | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 5YR5/4 にぶい赤褐   | III群 A-2 類 | 曾利 ?    | 単節 L の縄文を横位を主体に器面全体に施文し地文とし、口唇表に沿って粘土紐を乗せて隆帯とし、口縁上に粘土紐で逆 Q 状の突起を付ける。地文が縄文だが、曾利式の施文に類似する。83・84 と同一個体。 | R14      |
| 第168図<br>-     | 50 | b地区トレンチ中央 | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 5YR6/6 橙       | III群 A-2 類 | 曾利 ?    | 単節 L の縄文をランダムに器面全体に施文。84・85 と同一個体。   | R14      |
| 第168図<br>-     | 51 | b地区トレンチ中央 | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 5YR5/4 にぶい赤褐   | III群 A-2 類 | 曾利 ?    | 単節 L の縄文をランダムに器面全体に施文。83・85 と同一個体。   | R14      |
| 第168図<br>-     | 52 | b地区トレンチ西  | 2.5YR6/6 橙    | 5YR5/6 明赤褐     | III群 A-2 類 | 曾利 ?    | 頸部の屈曲部に太く低い隆帯を貼付けて、その上に半裁竹管による 2 本の半隆帯を引く。大型の浅鉢？。  | R5       |
| 第168図<br>PL.34 | 53 | b地区トレンチ西  | 10YR7/4 にぶい黄橙 | 2.5YR6/6 橙     | III群 A-2 類 | 曾利 ?    | 浅鉢の内面に、肥厚して段になった部分に太い集合沈線を縦に施文。  | R32      |
| 第168図<br>-     | 54 | b地区トレンチ西  | 5YR5/3 にぶい赤褐  | 2.5YR5/6 明赤褐   | III群 A-2 類 | 曾利 ?    | 大きくひろく無文口縁部。頸部に平行する沈線を施文する。  | R5       |
| 第168図<br>-     | 55 | SK3       | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 5YR6/6 橙       | III群       | 中期 ?    | 無文の深鉢土器胴部。   | R19      |
| 第168図<br>PL.34 | 56 | b地区トレンチ   | 2.5YR5/6 明赤褐  | 2.5YR4/4 にぶい赤褐 | III群 B-2 類 | 加曾利 E2  | 口縁部文様帯に隆帯による渦巻文と区画が施文される。区画内は LR の縄文が充填される。  | R2       |
| 第169図<br>PL.34 | 57 | b地区トレンチ   | 5YR5/4 にぶい赤褐  | 2.5YR5/6 明赤褐   | III群 B-2 類 | 加曾利 E3  | 隆帯による口唇部渦巻つなぎ弧文をもつキャリパー形深鉢口縁部。区画内を L の捺糸をやや斜め縦で充填する。   | R13      |
| 第169図<br>-     | 58 | b地区トレンチ西  | 7.5YR6/6 橙    | 5YR6/6 橙       | III群 B-2 類 | 加曾利 E ? | 口縁に平行して RL の縄文を施文し、口縁から頸部に同じ原体で縦に施文する。   | R32      |
| 第169図<br>PL.34 | 59 | b地区トレンチ西  | N31 暗灰        | 7.5YR7/6 橙     | III群 B-2 類 | 加曾利 E   | 横位の RL の縄文を地文に粘土紐による蛇行懸垂文を貼付する。  | R32      |
| 第169図<br>-     | 60 | b地区トレンチ西  | 5YR5/4 にぶい赤褐  | 2.5YR5/4 にぶい赤褐 | III群 B-2 類 | 加曾利 E   | 縦位の R の捺糸を地文とし、半裁竹管による沈線を施文する。   | R28      |

| 挿図<br>図版       | 番号 | 出土場所          | 色調内側          | 色調外側          | 分類          | 型式      | 観察  | 現地<br>番号                            |
|----------------|----|---------------|---------------|---------------|-------------|---------|---|-------------------------------------|
| 第169図<br>-     | 61 | SK4           | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR8/4 浅黄橙   | III 群       | 中期?     | 薄い深鉢の胴部にやや空間をあけて LR の縄文を横位帯状施文する。   | R34                                 |
| 第169図<br>-     | 62 | b 地区トレンチ西     | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 2.5YR6/6 橙    | III 群 B-2 類 | 加曽利 E ? | LR の縄文を縦位に施文後、縦に幅広く削るように無文帯を形成する。   | R7                                  |
| 第169図<br>-     | 63 | SK4           | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 5YR6/6 橙      | III 群 B-2 類 | 加曽利 E4  | 細い沈線の垂下線に沿う単節 L の縄文を縦位に施文する。65 と同一個体の可能性がある。  |                                     |
| 第169図<br>PL.35 | 64 | SK4           | 5YR6/6 橙      | 5YR6/6 橙      | III 群 B-2 類 | 加曽利 E ? | キャリパー形深鉢の全面に、単節 L の縄文を横位に施文。  | R37・<br>R38・<br>R43・<br>R45         |
| 第169図<br>PL.35 | 65 | SK4           | 5YR6/6 橙      | 7.5YR7/6 橙    | III 群 B-2 類 | 加曽利 E4  | 波状口縁に沿って断面三角の薄い隆帯を施文し、口縁突起部の直下に単節 L の磨消縄文帯を上半部の逆 U 字形と合わせる形で配置しているようだが、縄文が施文されていない部分も多い。66・67 と同一個体か。   | R51・<br>R48                         |
| 第170図<br>-     | 66 | SK4           | 5YR6/6 橙      | 5YR7/6 橙      | III 群 B-2 類 | 加曽利 E4  | 単節 L の縄文で幅広の磨消縄文を施文。65・67 と同一個体か。   | R37・<br>R41                         |
| 第170図<br>-     | 67 | SK4           | 10YR5/2 灰黄褐   | 7.5YR7/6 橙    | IV 群 A-1 類  | 加曽利 E4  | 単節 L の縄文で幅広の磨消縄文を施文。65・66 と同一個体か。   |                                     |
| 第170図<br>PL.36 | 68 | SK4・b 地区トレンチ西 | 7.5YR7/6 橙    | 7.5YR7/6 橙    | III 群 D-2 類 | 北白川 C   | 比較的大きな砂粒を多く含む胎土で、灰青色を呈す。ゆるやかなキャリパー形の深鉢で、やや立ちぎみの口縁部文様帯には隅丸長方形の区画を浅い沈線で構成し、その内部は無文だが、それを囲んで口唇部まで LR の縄文を施す。頸上部に無文帯をつくり、胴部から底部まで横位 LR の縄文を全体に施文する。11 と 12 と 54・75 と同一個体。 | R47・<br>R49・<br>R50・<br>R32・<br>R34 |
| 第170図<br>-     | 69 | SK3           | 5YR6/6 橙      | 7.5YR5/3 にぶい褐 | III 群 D-2 類 | 北白川 C   | 砂粒を多く含む胎土。口縁に沿って沈線を引き、口唇との間を RL の縄文で埋める。  | R19                                 |
| 第170図<br>-     | 70 | b 地区トレンチ東     | 10YR6/1 褐灰    | 10YR8/4 浅黄橙   | III 群 D-2 類 | 北白川 C   | 砂粒を多く含む白肌色の胎土で、沈線に区画された中を LR の縄文で充填する。  | R22                                 |
| 第170図<br>PL.37 | 71 | SK4           | 5YR6/8 橙      | 5YR6/8 橙      | IV 群 A-1 類  | 称名寺 1   | 波状口縁をもつキャリパー形深鉢の上半部。口唇に沿って沈線を引き、細かい LR の縄文で充填し、突起部の部分の下では舌状に下垂する。胴部には中津タイプの O 字文を描き、O 字文から下は人の字状に縄文帯が開いて垂下帯と結合し、O 字文全体を四角で囲む文様構成となる。                                  | R36・<br>R37・<br>R44                 |
| 第171図<br>PL.36 | 72 | SK4           | 5YR6/6 橙      | 2.5YR5/6 明赤褐  | IV 群 A-1 類  | 称名寺 1   | 突起をもつ波状口縁で、中津タイプの O 字文をキャリパー器形の上に描画。区画の沈線を引く前に、文様に合わせて LR の縄文を施文している。1・8 と同一個体。   | R42                                 |
| 第171図<br>PL.36 | 73 | SK4           | 5YR6/6 橙      | 2.5YR5/8 明赤褐  | IV 群 A-1 類  | 称名寺 1   | 突起をもつ波状口縁で、中津タイプの O 字文をキャリパー器形の上に描画。区画の沈線を引く前に、文様に合わせて LR の縄文を施文している。1・6 と同一個体。   | R46                                 |
| 第171図<br>PL.37 | 74 | SK4           | 5YR6/8 橙      | 2.5YR6/8 橙    | IV 群 A-1 類  | 称名寺 1   | 突起をもつ波状口縁で、中津タイプの O 字文をキャリパー器形の上に描画。区画の沈線を引く前に、文様に合わせて LR の縄文を施文している。6・8 と同一個体。   | R35                                 |
| 第170図<br>PL.37 | 75 | SK4・b 地区トレンチ西 | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 5YR7/6 橙      | IV 群 A-1 類  | 称名寺 1   | 口唇部に沿って LR の縄文を施文し、沈線を引く前に文様に合わせる形で同じ縄文を施文、磨消縄文になるように渦巻文や帯状に沈線を施す。  | R8・<br>R37                          |
| 第170図<br>-     | 76 | SK4           | 7.5YR6/6 橙    | 7.5YR6/4 にぶい橙 | IV 群 A-1 類  | 称名寺 1 ? | 長石風の白い粒子を多く含む胎土で、湾曲して膨らむ口縁部を文様帯する。円を斜めに連結する沈線で区画し、円の内部を RL ? の縄文で充填する。  | R33                                 |
| 第170図<br>-     | 77 | b 地区トレンチ西     | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 5YR6/6 橙      | IV 群 A-1 類  | 称名寺 1   | 太い沈線の間を細かい R の縄文で充填する。  | R32                                 |
| 第170図<br>-     | 78 | b 地区トレンチ西     | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 2.5YR5/6 明赤褐  | IV 群 A-1 類  | 称名寺 1 ? | LR の磨消縄文による縦位の O 字あるいは J 字状の文様を描く。  | R7                                  |
| 第170図<br>-     | 79 | b 地区トレンチ西     | 7.5YR6/4 にぶい橙 | 5YR6/6 橙      | IV 群 A-1 類  | 称名寺 1 ? | LR の磨消縄文を連弧状に配置する。  | R7                                  |
| 第171図<br>PL.37 | 80 | b 地区トレンチ西     | 7.5YR5/3 にぶい褐 | 7.5YR6/6 橙    | IV 群 A-1 類  | 称名寺 2 ? | ラフな平行沈線で中津タイプの O 字文を施文するが、その内部は無文としている。   | R15                                 |
| 第171図<br>-     | 81 | 表採            | 10YR7/3 にぶい黄橙 | 10YR7/3 にぶい黄橙 | IV 群 A-2 類  | 堀之内 2   | 朝顔形深鉢? の口縁部。RL の帯縄文の連結した三角形文を描く。  | R9                                  |
| 第171図<br>-     | 82 | b 地区トレンチ西     | 7.5YR4/4 褐    | 5YR6/6 橙      | IV 群 A-2 類  | 堀之内 2   | 弧状の LR の磨消縄文を施文。  | R17                                 |
| 第171図<br>-     | 83 | b 地区トレンチ東     | 7.5YR4/2 灰褐   | 10YR5/2 灰黄褐   | IV 群 A-2 類  | 堀之内?    | RL の縄文を横位に施文した後、縦位に施文してラフな疑似羽状縄文としている。  | R18                                 |
| 第171図<br>-     | 84 | b 地区トレンチ西     | 10YR5/2 灰黄褐   | 7.5YR7/6 橙    | IV 群        | 後期?     | 口縁に沿って平行する沈線と口唇上面に浅い沈線を施文する。  | R32                                 |
| 第171図<br>-     | 85 | b 地区トレンチ      | 5YR6/8 橙      | 5YR6/6 橙      | 縄文          | 不明      | 角ばった口唇をもつ口縁部。   | R2                                  |
| 第171図<br>-     | 86 |               | 7.5YR7/4 にぶい橙 | 10YR8/4 浅黄橙   | 中期?         |         | 底部。   |                                     |
| 第171図<br>PL.37 | 87 | b 地区トレンチ西     | 7.5YR7/6 橙    | 5YR6/6 橙      | IV 群 A-2 類  | 堀之内 2 ? | 網代痕のある底部。堀之内 2 式の 8 の字形浮点文と同じ工具の刺突痕がある。   | R5                                  |

第19表 天間沢遺跡横道下地区（第23地区） 出土石器観察表

| 挿図<br>図版       | 番号  |               | 器種名    | 材質             | 長さ<br>(cm) | 幅<br>(cm) | 厚さ<br>(cm) | 重さ<br>(g) | 観察   | 現地<br>番号 |
|----------------|-----|---------------|--------|----------------|------------|-----------|------------|-----------|--|----------|
| 第172図<br>PL.37 | 88  | b地区トレンチ<br>西  | 錐（ドリル） | 黒曜石            | (2.89)     | 1.33      | 0.58       | 1.31      | 先端欠損の揉錐器。  | R11      |
| 第172図<br>PL.37 | 89  | b地区トレンチ<br>西  | 楔形石器   | 黒曜石            | 2.3        | 1.4       | 1.05       | 2.5       | 両極石核の残核と思われる。  | R6       |
| 第172図<br>PL.38 | 90  | b地区トレンチ<br>西  | 打製石斧   | 粘板岩            | (11.98)    | 7.18      | 2.12       | 156.97    | 頭部欠損のバチ形打製石斧。左右非対称なので短冊形の未製品の可能性がある。ボーリング場南トレンチ西端、黒色土出土。 | R27      |
| 第172図<br>PL.38 | 91  | b地区トレンチ<br>西  | 打製石斧   | 富士川ホルン<br>フェルス | 7.95       | 6.17      | 1.85       | 101       | バチ形の小型打製石斧。  | R54      |
| 第172図<br>PL.38 | 92  | b地区トレンチ<br>西  | 打製石斧   | シルト岩           | 7.41       | 4.37      | 1.39       | 45.78     | 風化度の少ないやや粗粒の良質な富士川ホルンフェルス？。小型で精製のなので利器的な石器かもしれない。        | R55      |
| 第172図<br>PL.38 | 93  | b地区トレンチ<br>西  | 打製石斧   | 粘板岩            | 13.6       | 5.07      | 2.27       | 204.41    | ややバチ形の短冊型の打製石斧。南トレンチ西側出土。                                | R11      |
| 第172図<br>PL.38 | 94  | b地区トレンチ<br>西  | 打製石斧   | 粘板岩            | 8.34       | 3.85      | 0.94       | 38.59     | ややバチ形の小型短冊型の打製石斧。  | R54      |
| 第172図<br>PL.38 | 95  | b地区トレンチ<br>西  | 打製石斧   | 硬砂岩            | (11.98)    | 4.69      | 2.41       | 156.48    | 短冊形の打製石斧。刃部と頭部に新しい欠損。                                    | R55      |
| 第172図<br>PL.38 | 96  | b地区トレンチ<br>西  | 打製石斧   | 砂岩             | (10.22)    | 4.19      | 2.04       | 107.67    | 刃部欠損の短冊形打製石斧。  | R11      |
| 第172図<br>PL.39 | 97  | b地区トレンチ<br>西  | 打製石斧   | 緑色片岩？          | 10.52      | 3.72      | 1.52       | 83.54     | 珪質な石材の短冊形打製石斧。南トレンチ西側出土。                                 | R54      |
| 第172図<br>PL.39 | 98  | b地区トレンチ       | 打製石斧   | 富士川ホルン<br>フェルス | 8.71       | 4.22      | 1.47       | 72.65     | 短冊形の小型打製石斧。利器的な石器かもしれない。                                 | R21      |
| 第172図<br>PL.39 | 99  | b地区トレンチ<br>中央 | 打製石斧   | チャート？          | 9          | 35.3      | 1.35       | 63.85     | 短冊形の小型打製石斧。全体に使用あるいは着柄による磨痕が観察される。                       | R52      |
| 第172図<br>PL.39 | 100 | b地区トレンチ<br>西  | 打製石斧   | 硬砂岩            | (5.05)     | (3.69)    | 1.09       | 29.19     | 短冊形の小型打製石斧の頭部。南トレンチ出土。                                   | R54      |
| 第172図<br>PL.39 | 101 | b地区トレンチ<br>中央 | 打製石斧   | 富士川ホルン<br>フェルス | (4.66)     | 3.46      | 1.29       | 25.34     | 短冊形の小型打製石斧の頭部。南トレンチ中央出土。                                 | R52      |
| 第173図<br>PL.39 | 102 | SK4           | 敲石     | 砂岩             | (5.52)     | 3.84      | 3.4        | 97.11     | 軟質な砂岩製なので、石製だがソフトハンマー的な用途か。                              | R53      |
| 第173図<br>-     | 103 | b地区トレンチ<br>西  | 敲・磨石   | 砂岩             | (10.01)    | (6.32)    | (3.81)     | 209.41    | 軟質な砂岩製。  | R54      |
| 第173図<br>PL.39 | 104 | 表採            | 石皿     | 多孔質安山岩         | (28.4)     | (18.5)    | 11.1       | 8380      | 凹面をはっきりと造り出した石皿。約1/4残存。                                  | R57      |
| 第173図<br>PL.39 | 105 | b地区トレンチ       | 石棒     | 多孔質安山岩         | (31.52)    | 13.2      | 10.9       | 8600      | 縄文時代中期と思われる大型石棒。基部が先端部か不明。                               | R56      |
| 第173図<br>PL.39 | 106 | b地区トレンチ<br>西  | 台石     | 角閃石安山岩         | (11.38)    | 11.1      | 8.1        | 1700      | 大きく窪む敲打痕をもつ。焼石に転用したのか赤化が観察される。                           | R55      |
| 第173図<br>PL.39 | 107 | b地区トレンチ<br>西  | 石棒？    | 粗粒輝石安山岩        | (20.93)    | (10.6)    | (11.5)     | 3400      | 被熱による大きな剥落で、石棒の側面部が一部残るのみ。                               | R12      |

## 第8節 表面採集資料等の報告

市に寄贈された天間沢遺跡の採集品と、以前の調査で未報告であった資料をここで報告する。

1 は、1971～72（昭和46～47）年に調査されたC地区14号建物跡から出土した深鉢の装飾環状把手部分である。円環透しが表面に1、裏面に2つの3孔ある。縄文時代中期中葉の藤内2式に比定した。2 は、1978（昭和53）年に調査されたF地区で出土した井戸尻式の深鉢底部である。先端部を円文とした扁平な隆帯の懸垂文を施し、LRの縄の絡条体を縦位に回転施文したものを地文としている。『天間沢遺跡Ⅱ』1985で報告されているが、再実測した。

3 は荒い成形による黒曜石製凹基無茎鏃で、あるいは未製品かもしれない。4 は鋸歯縁加工の黒曜石製長脚鏃。5 は黒曜石剥片製のノッチ。6 は黒曜石製の多方向からの剥片剥離が観察される残核である。7 は緑色を呈する凝灰岩質砂岩製の大型乳棒状石斧で、頭部着柄部の欠損を打撃剥離により再生している。8 は磨・敲石、9～11 は棒状の敲石である。

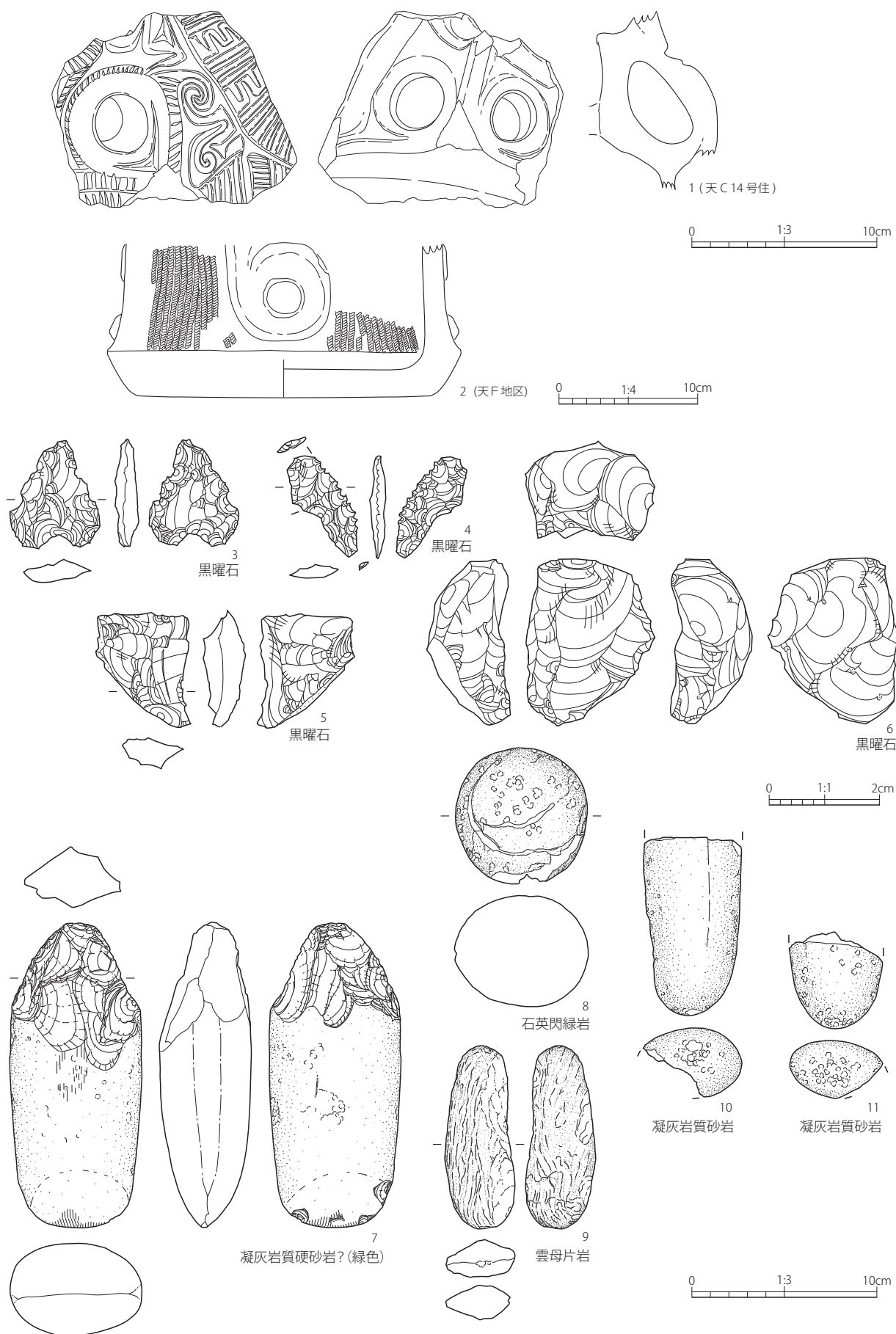
第20表 天間沢遺跡表面採集資料等 土器観察表

| 挿図<br>図版       | 番号 | 出土場所          | 色調内側          | 色調外側       | 分類       | 型式  | 観察   | 現地<br>番号 |
|----------------|----|---------------|---------------|------------|----------|-----|--|----------|
| 第174図<br>PL.40 | 1  | C地区<br>14号建物跡 | 2.5YR6/6 橙    | 2.5YR6/6 橙 | Ⅲ群 A-1 類 | 藤内2 | 深鉢の装飾環状把手部分。円環透しが表面に1、裏面に2つの3孔ある。                        | R5       |
| 第174図<br>PL.40 | 2  | F地区           | 2.5YR5/4 にぶい橙 | 5YR5/6 明赤褐 | Ⅲ群 A-1 類 | 井戸尻 | 深鉢底部。先端部を円文とした扁平な隆帯の懸垂文を施し、LRの縄の絡条体を縦位に回転施文したものを地文としている。 | R1       |

第21表 天間沢遺跡表面採集資料等 石器観察表

| 挿図<br>図版       | 番号 | 出土場所 | 器種名  | 材質     | 長さ<br>(cm) | 幅<br>(cm) | 厚さ<br>(cm) | 重さ<br>(g) | 観察  | 現地<br>番号 |
|----------------|----|------|------|--------|------------|-----------|------------|-----------|---|----------|
| 第174図<br>PL.40 | 3  |      | 石鏃   | 黒曜石    | 1.91       | 1.57      | 0.39       | 0.92      | 未製品に近い粗い成形の凹基無茎鏃。菅原淳・菅原千恵・勝亦孝泰氏採集。                            | R3       |
| 第174図<br>PL.40 | 4  |      | 石鏃   | 黒曜石    | (1.82)     | (1.28)    | 0.28       | 0.35      | 先端部、左脚部欠損の長脚鏃。鋸歯縁加工。菅原淳・菅原千恵・勝亦孝泰氏採集。                         | R3       |
| 第174図<br>PL.40 | 5  |      | ノッチ  | 黒曜石    | 2.01       | 1.64      | 0.69       | 1.87      | 楔形石器からの転用？。菅原淳・菅原千恵・富田英孝氏採集。                                  | R4       |
| 第174図<br>PL.40 | 6  |      | 石核   | 黒曜石    | 2.92       | 2.25      | 1.46       | 9.22      | 打面を形成し、縦長および等比剥片を作出している。菅原氏ほか採集。                              | R9       |
| 第174図<br>PL.40 | 7  |      | 磨製石斧 | 凝灰岩質砂岩 | 16.6       | 7.14      | 5          | 844.94    | 緑色の硬質な石材を素材とした大型蛤刃のような乳棒状石斧。頭部欠損後、打撃による再生を行っている。鷹岡 天間沢の墨描きアリ。 | R14      |
| 第174図<br>PL.40 | 8  |      | 敲石   | 石英閃緑岩  | 7.33       | 7.01      | 5.97       | 433.5     | 球状で、比熱を受け亀裂多く、茶褐色に変色。昭和40年に奈木氏採集。                             | R1       |
| 第174図<br>PL.40 | 9  |      | 敲石   | 雲母片岩   | 9.92       | 3.74      | 2.12       | 84.54     | 棒状。菅原淳・菅原千恵・勝亦孝泰氏採集。  | R2       |
| 第174図<br>PL.40 | 10 |      | 敲石   | 凝灰岩質砂岩 | (9.17)     | (5.21)    | (4.73)     | 180.76    | 棒状。菅原淳・菅原千恵・勝亦孝泰氏採集。  | R2       |
| 第174図<br>-     | 11 |      | 敲石   | 凝灰岩質砂岩 | (5.31)     | (5.08)    | (3.1)      | 90.14     | 棒状敲石の先端部。菅原淳・菅原千恵・勝亦孝泰氏採集。                                    | R2       |





第174図 天間沢遺跡表面採集資料等 実測図





## 第3章 資料報告

### 静岡県富士市破魔射場遺跡出土の黒曜岩製尖頭器

村井 咲月

#### 本稿の目的

石器研究の基礎は、石器の剝離痕を観察し、石器製作の工程を推察することにある。昨今は、石器製作以前の段階にあたる、石器石材の原産地や採取地の推定、石器石材の流通や集団間の取引に着目されることが多い。また石器製作のあと、石器の使用により新たに発生する割れや、使用痕が論じられることもある。

これら石器製作の前後の段階を包括する概念で、原石の採取に始まり、加工・製作され、使用され、廃棄に至るまでの過程は、石器のライフヒストリーとよばれることがある。たいていの資料は、その全貌を詳らかに語らない。しかし、いくつかの資料には、二次加工のほか、素材剥片の剝離、使用などの段階で形成された痕跡が、残存していることがある。それらは実資料の観察から把握でき、石器を取り巻く人類の所作をより深く理解する鍵となる。静岡県富士市の破魔射場遺跡出土の尖頭器は、その一例となる。

本稿では、破魔射場遺跡で出土した尖頭器を、肉眼および金属顕微鏡を用いて、徹底的に観察する。石器製作のみならず、素材剥片の剝離やその運搬、使用・破損の段階で残された痕跡を見だし、石器

の変形を段階的に記述する。また、この過程のなかでみられる、被熱を表す痕跡についても言及する。

#### 研究の対象

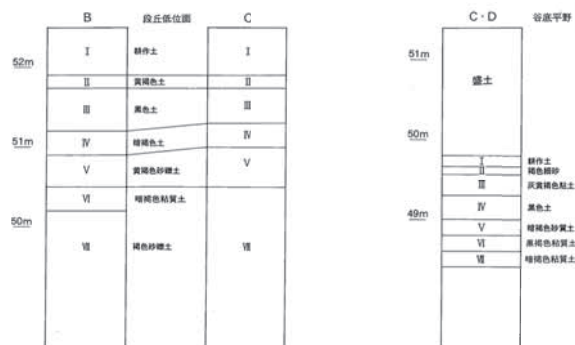
北に富士山、南に駿河湾を有する静岡県富士市は、歴史時代には東西交通の要となった東海道や、南北交通を担った甲斐路がわたるなど、通史的にヒトやものの移動と切り離せない場所であった。市内西部には、日本三大急流の一つに数えられ、甲斐と駿河を繋ぐ重要な水路となった富士川が流れ、駿河湾に注いでいる。

富士川の下流域には、河川の侵食・開析作用を受けて、河岸段丘が形成されている。河岸段丘上では、先史時代から多くの遺跡が営まれてきた。たとえば、縄文時代早期の子母口式、野島式、茅山式などの土器を層位的に検出した駿河山王遺跡（稲垣 1975）、縄文時代前期の木島式土器の標識遺跡となった木島遺跡（加藤ほか 1936、池谷ほか 1980）が見つかっている。

駿河山王遺跡と木島遺跡の間にある、高さ約 50m の西岸下流域の河岸段丘上には、横穴式石室、および小石室をもつ古墳が複数確認された谷津原古墳群（石川 2001）や、平安時代の集落と明治時代の建物



第1図 破魔射場遺跡の位置（諸星 2001a）



第2図 破魔射場遺跡の基本土層図（井鍋 2001）

跡を検出した北久保遺跡（諸星 2001b）が立地する。破魔射場遺跡は、これらの遺跡と同じ段丘上に位置している。

破魔射場遺跡は、東名高速道路上り線の改良工事にともない、平成9年に発掘調査された遺跡である（諸星 2001a）（図版1上段左）。谷津原古墳群、北久保遺跡とともに、富士川サービスエリア関連遺跡として報告された（第1図）。

破魔射場遺跡では、縄文時代中期から後期の住居跡や炉跡、配石遺構、弥生時代や平安時代の遺構が見つかっている。縄文土器は、縄文時代中期後半の曾利式と後期前半の堀之内式を主体とし、前期から晩期にかけて幅広い型式が出土している。土器にもなって石器も出土している。石鏃や打製石斧、石錘、磨石、石皿を中心に、碎片を含めて3000点以上の発見があった（福島 2001）。

本稿において着目するのは、黒曜岩製の尖頭器である（図版1上段右）。当初は、本遺跡で出土した唯一の「石槍」（福島 2001：146）として報告されたが、後年「石鈎に類似する資料」（成瀬 2021：175）とも紹介されている。本資料が出土したB区は、最下層のⅦ層で縄文時代後期前半の遺構が検出されている（井鍋 2001）。しかし、本資料は遺構から出土していないため、詳細な帰属時期は不明である<sup>1)</sup>（第2図）。現在は、富士山かぐや姫ミュージアムに所蔵されている。

### 研究の方法

破魔射場遺跡で出土した黒曜岩製尖頭器に対して、熟覧と、金属顕微鏡を通した石器表面の観察を実施した。顕微鏡を通すことで、肉眼では認識でき

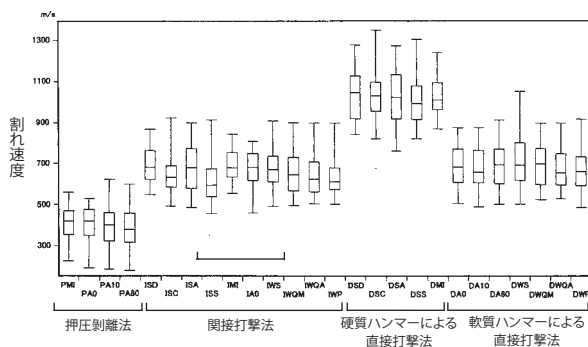
ない、石器表面に形成された微小な痕跡をとらえることが可能である。本稿で特に着目したのは、ガルウィングと被熱痕跡である。

岩石に加撃することで発生する破壊前線が、岩石内部の夾雑物や不均質な部分をとらえると、一對の翼のような模様が作り出される（ツイルク 2020）。石器の剥離面に観察されるこのV字形を、ガルウィングとよぶ。ガルウィングの二等分線は、破壊前線が発生した方向と対応するため、剥離方向の推定に役立つ。またガルウィングは、夾雑物や不純物の少ない、黒曜岩のような岩石上で観察しやすい。石器石材として多用されるフリントやチャートなどでは、いくら良質であっても不明瞭に現れるとされる。

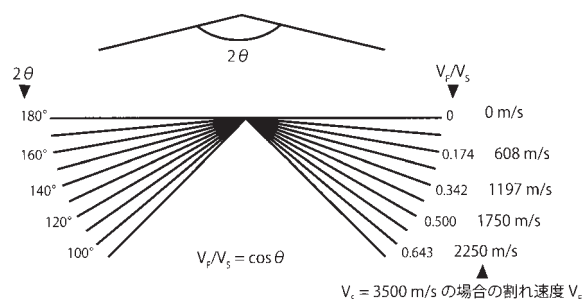
石器の破壊力学的研究のなかで、ガルウィングは剥離方法を同定する根拠になるとして着目されてきた。日本では山田ら（1989）が、ガルウィングの存在とその形成過程を紹介している。高倉ら（2004）は、ガルウィングの開き角から計算して表される割れ速度と剥離方法間に強い相関があることを示した。そして導き出される割れ速度から、剥離方法の同定が可能であることを、実験によって確かめた（第3図）。

彼らによると、剥離方法はグループⅠ：押圧剥離法（金属、角による）、グループⅡ：間接打撃法（石、金属、角、木による）や直接打撃法（角、木などの軟質ハンマーによる）、グループⅢ：直接打撃法（石、金属などの硬質ハンマーによる）に分類できて、それぞれの割れ速度は350～500m/秒前後、600～800m/秒前後、900～1100m/秒前後にまとまるとされる（高倉ほか 2004）。

ツイルク（2020）は、ガルウィングの角度と割れ



第3図 割れ速度と剥離方法の関係（高倉ほか 2004 を改変）



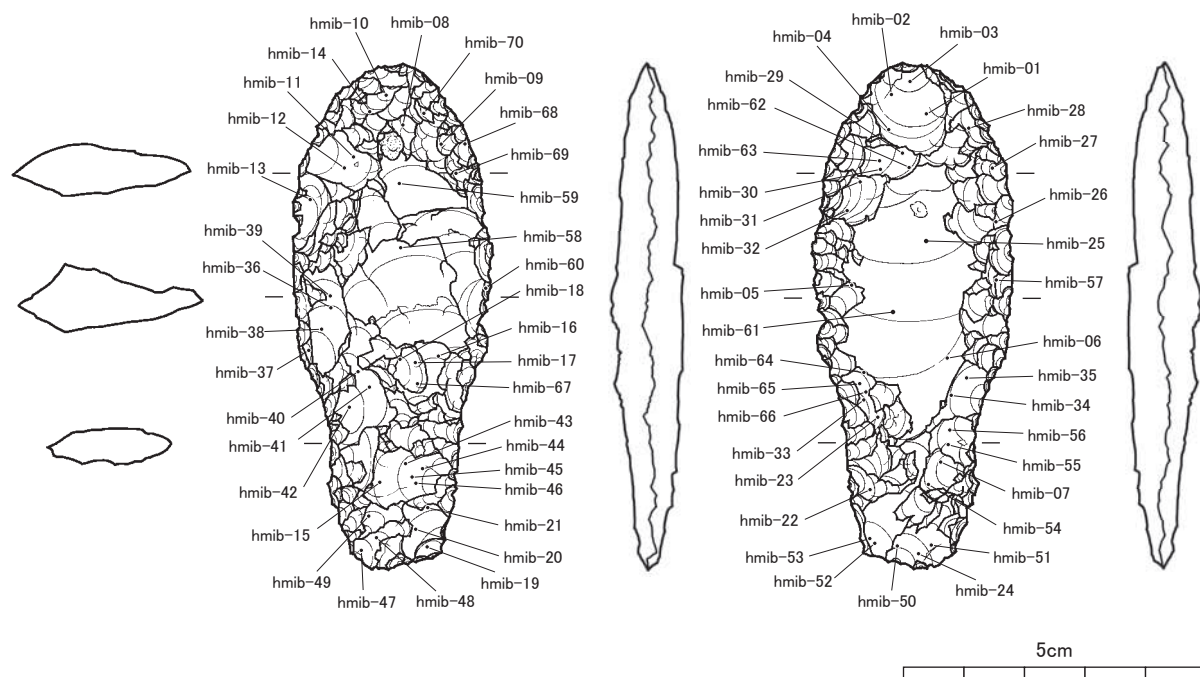
第4図 ガルウィングの開き角と割れ速度の関係（ツイルク 2020）

速度の対応を模式図で表した（第4図）。実際に石割りのスピードを測定していなくとも、石器表面に現れたガルウィングの開き角から、割れ速度を概算できることが示されている。彼らの成果から、割れ速度が大きいほど、石器表面に表されるガルウィングの開き角は小さく、対して割れ速度が小さいほどガルウィングの開き角は大きくなることが判明している。

岩石が熱を受けると、石器表面の変質や、傷が生じることがある。これを被熱痕跡とよぶ。中沢(2000)は、黒曜岩の表面に観察される被熱痕跡の特徴と生成過程を、実験と実資料の対比から明らかにした。北海道千歳市メボシ川2遺跡から出土した石器群から黒曜岩製資料を抽出し、観察したところ、黒曜岩の表面に現れる被熱痕跡として、ヒビ（クラック）、発泡、平坦もしくは凹凸のある折れ面が形成されるとした。さらにクラックは1a:曲線状、1b:ウロコ状、1c:蜘蛛の巣状の3種類に分けられた。これらクラックは、埋没後の自然作用で生じた移動や、使用により形成される線上痕とは、形態状で区別できるとされる。また、黒曜岩製資料のすべてではなく、一部に認められる痕跡であるため、一律した変化がある風化作用の所産ではないと結論づけた。

中沢の実施した実験では、黒曜岩におけるクラックの形成には、550℃で9時間以上の加熱を要するという結果が得られた。このことから、黒曜岩製石器に呈されるクラックは、石器が被熱した際にしか表れない特徴的なひび割れであると明示された。中沢(2000)は被熱痕跡の観察に実体顕微鏡を用いていた。しかし金属顕微鏡でも、同様の倍率での観察が可能と考えられる。

本稿では、落斜照明付金属顕微鏡 OLYMPUS BX-FM（南山大学上峯研究室所有）によって、100～200倍の倍率で石器を観察した。観察に際し、アルコールなどを用いて石器表面を拭いた。金属顕微鏡での撮影は、WRAYMER WRAYCAM-NOA2000（山田しょう氏より借用）を使用し、ノートPCにインストールされた WRAYMER 顕微鏡用カメラ制御ソフトウェア Micro Studio（ver.1.9.25633.20240519）上で実施した。対物レンズがガルウィングや被熱痕跡に正対するように石器を据え、石器の表裏70箇所を、写真撮影により記録した（第5図、図版1下段、図版2）。写真撮影の際には、ガルウィングと被熱痕跡がもっとも明瞭に観察できるよう、各箇所において光度や照射角を微調整した。



第5図 破魔射場遺跡出土尖頭器の金属顕微鏡による観察箇所



### 尖頭器の製作工程と使用・破損

熟覧により、尖頭器の製作工程と使用、および破損について明らかにする。資料は全長 8.3cm、幅 3.2cm、厚さ 1.2cm で、全体が入念に加工され、一定の器厚と左右対称形を得た、黒曜岩製の両面調整の尖頭器である。片面にはポジティブな剥離面があり、縦長剥片を素材として製作されたことがわかる。素材剥片の剥離面には無数の傷がついており、表面が粗くなっている。3cm ほどの舌部を有し、返刺は作り出されているものの、顕著ではない。舌部にみられる、剥離と剥離の境界である稜線の部分には、若干の擦られた痕跡があり、摩耗しているようにみえた。また、尖頭器整形のための剥離はすべて、石器の縁辺から中心に向かって施されるが、舌部にはいくつかの、内側から縁辺に向かう剥離がみられる。尖頭器の先端には、周囲の二次加工の剥離痕に比べて大きな、もっとも新しい剥離が残されている。そのため先端部は尖らず、丸みを帯びているようにみえる。

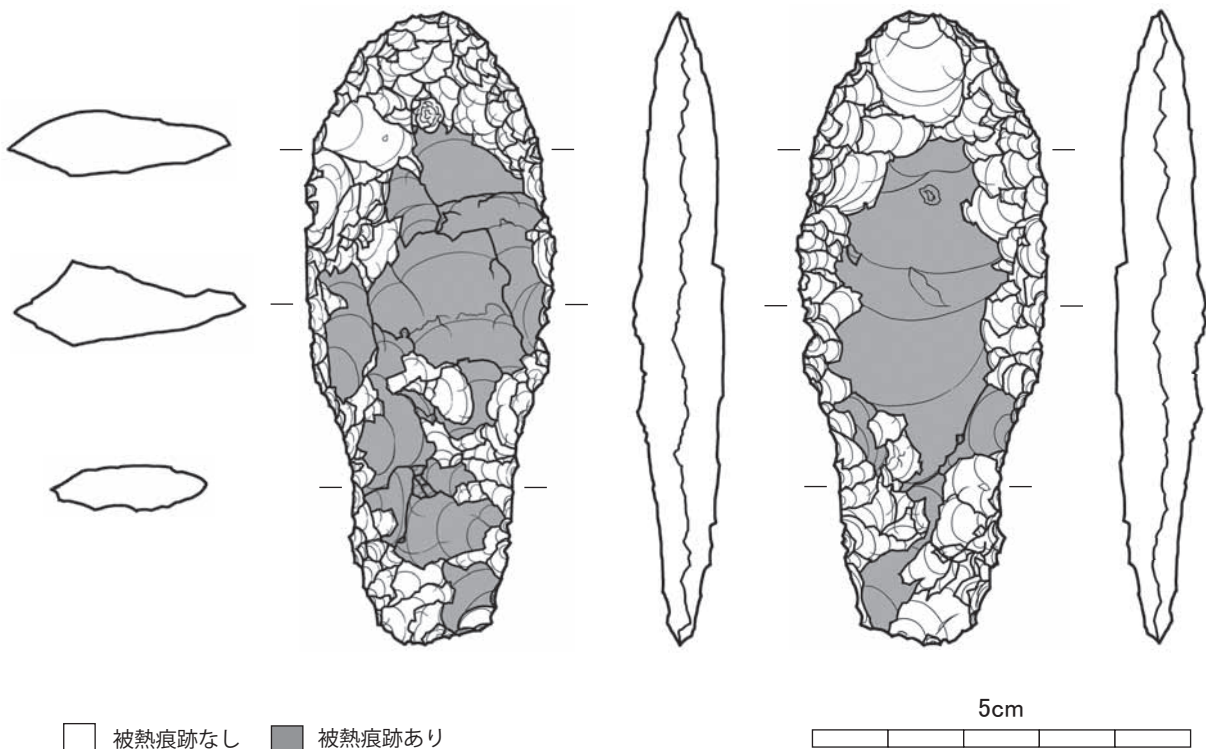
これらのことから、本資料における剥離の過程が、以下のとおり復原される。まず素材剥片のポジティ

ブな剥離面に残される傷からは、素材剥片の段階において、長期間ストレスを受ける環境下にあったことがわかった。素材剥片の形状のまま、遠距離にわたって運搬されていたことが考えられる。

素材剥片が作出された遺跡、また素材剥片に二次加工が施された遺跡については、現時点では明らかにする術がない。本資料は、石器石材原産地と破魔射場遺跡を結ぶ石器時代の人類の移動ルートのどこかで素材剥片となり、長距離にわたって運ばれ、両面に加工されたことがわかる。

舌部の稜線の摩耗や、内側から縁辺に向かう剥離痕は、この部位に石器以外のものが長期間、もしくは強く接していたことを示す。本資料には、柄が装着されていたと考えられ、石槍もしくは石銛として、使用されたことをうかがわせる。

先端に残される大きな剥離痕は、周囲の二次加工に後続している点から、使用時に形成されたものと予想される。対象に突き刺す動作による衝撃の反動で剥離された結果、先端部を欠失したと考えられる。これは、いわゆる衝撃剥離痕（御堂島 1991）だとみなせる。



第6図 破魔射場遺跡出土尖頭器の被熱痕跡が確認された剥離痕

## 尖頭器表面のガルウィングと被熱痕跡

熟覧によって、石器製作工程と使用および破損の有り様を推察した。それに留まらず、肉眼ではとらえられない痕跡と、その形成理由を考察に加えることで、石器のライフヒストリーをより深く理解することができる。本石器における剥離の方法や被熱の有無を調べるため、金属顕微鏡を用いて、100～200倍の倍率で石器表面を観察した（第5図、図版1下段、図版2）。

まずは素材剥片の段階における運搬痕跡を呈する面について、200倍の倍率で観察したところ、クレーター状の小穴群が確認された（図版1下段：hmib-06、図版2：hmib-61）。これらは、素材剥片が運搬される際に被った、無数の傷である。小穴群が石器表面を覆い尽くしていたため、素材剥片の剥離方法や、その段階における被熱の有無は解読できなかった。

次に、素材剥片の二次加工の部分を観察した。二次加工は、尖頭器の内部にまで剥離痕の末端に到達させるものと、長さ数mmで外形の整形に注力されたものに分けられる。このうち前者の、石器中央部に到達する剥離痕では、ガルウィングと蜘蛛の巣状のクラックが同時に確認できた（図版1下段：hmib-23、図版2：hmib-41）。このときのガルウィングの開き角は、90°前後と小さく、割れ速度が比較的速かったことがわかる。高倉ら（2004）がグループⅢに分類するような、硬質ハンマーによる直接打撃法によって、粗く加工されたと考えられる。

後者の、尖頭器の外形整形に傾注する小さな剥離痕上には、いかなる被熱痕跡もみられず、ガルウィングのみが確認できた（図版1下段：hmib-19、図版2：hmib-26、63など）。これらのガルウィングの開き角は145°から170°と幅があるが、180°近くに達するものもある。このことから、比較的小さい割れ速度を発生させる剥離方法が実施されたことがわかる。高倉ら（2004）の分類におけるグループⅠの押圧剥離法、もしくはグループⅡの、角、木など軟質ハンマーによる直接打撃法か間接打撃法、いずれかの実施が示唆される。

破魔射場遺跡の尖頭器において、素材剥片に対する二次加工は、2段階に分けることが可能である（第

6図）。すなわち石器中央部にまで到達し、クラックがみられる剥離痕と、長さ数mmで、整形に注力された、クラックがみられない剥離痕である。クラックがみられる剥離痕が先行することから、二次加工の途中で熱を被っていることが明らかである。また両者はガルウィングの開き角に差異があり、それぞれで異なる剥離方法が実施されたことが予想される。

着柄時に生成されたと判断した剥離痕、および尖頭器先端にある、使用による衝撃の反動で形成されたと判断した剥離痕上では、角度120°前後のガルウィングがとらえられた（図版1下段：hmib-01、02、03、17、図版2：hmib-60など）。二次加工にみられる90°前後、もしくは180°近くに達するガルウィングとは区別される。また、被熱を示す痕跡が認められなかった。これらの剥離痕が、二次加工の段階にあった被熱イベント以降に形成されたことが確認された。舌部に観察される特徴的な剥離痕と、先端部の大きな剥離痕は、二次加工以降の、着柄や使用の所産だと考えられる。

肉眼による石器熟覧では、素材剥片、二次加工、着柄、使用および破損の、4段階が認識できた。また金属顕微鏡を用いた観察により、クラックの有無から、石器製作工程の途中で被熱イベントがあることがわかった。また石器の二次加工の剥離痕と、舌部や先端の特徴的な剥離痕は、ガルウィングの開き角に差異がみられ、割れ速度が異なることがわかった。その結果、破魔射場遺跡の尖頭器の変形は、素材剥片、被熱を受けるまでの粗い二次加工、被熱後の二次加工、着柄、使用および破損の、5段階で認識可能であることが明らかになった。

## 結論

本稿では、肉眼による石器熟覧と金属顕微鏡によるガルウィングと被熱痕跡の観察から、破魔射場遺跡出土の尖頭器の変形の過程の解明を試みた。その結果、本資料の製作から使用、廃棄までの道程を明瞭に認識できた。

まず、残存する素材剥離面の傷からは、素材剥片の状態で運搬されていたことが明らかになった。二次加工は、石器の中央部にまで至る粗めの剥離と、



細かな剥離の2段階に分けられた。二次加工の途中で被熱イベントがあったことが、金属顕微鏡による蜘蛛の巣状クラックの観察で判明した。緻密な二次加工に後続する剥離痕からは、尖頭器が着柄され、使用され、対象物に命中し衝撃を被ったことが示された。そして最後に破魔射場遺跡にて廃棄された事実がある。

肉眼と金属顕微鏡を用いた丹念な資料観察にもとづき、石器が変形していく過程に、詳細に迫ることができた。資料の観察というシンプルな方法が、今後も考古資料の理解に大いに有効であることを示せた。

#### 謝辞

資料実見に際しては、富士山かぐや姫ミュージアムにお世話になった。富士市埋蔵文化財調査室には、本稿の発表の場を提供していただいた。厚く御礼申し上げる。

本稿の作成にあたっては、指導教員である上峯篤史准教授にご助言賜った。また金属顕微鏡は、南山大学上峯研究室所有のものをお借りした。

#### 註

- 1) 破魔射場遺跡が立地する谷津原丘陵の頂上部、および南側傾斜地に広がる谷津原古墳群のSF-03土坑からは、黒曜岩原石が6点出土している(石川2001)。覆土から縄文時代中期後半の土器片が出土しており、当該期の土坑と考えられている。富士川下流域において、縄文時代中期に黒曜岩の流通があったことが明らかであり、本資料も当該時期に関わる可能性もある。

#### 引用文献

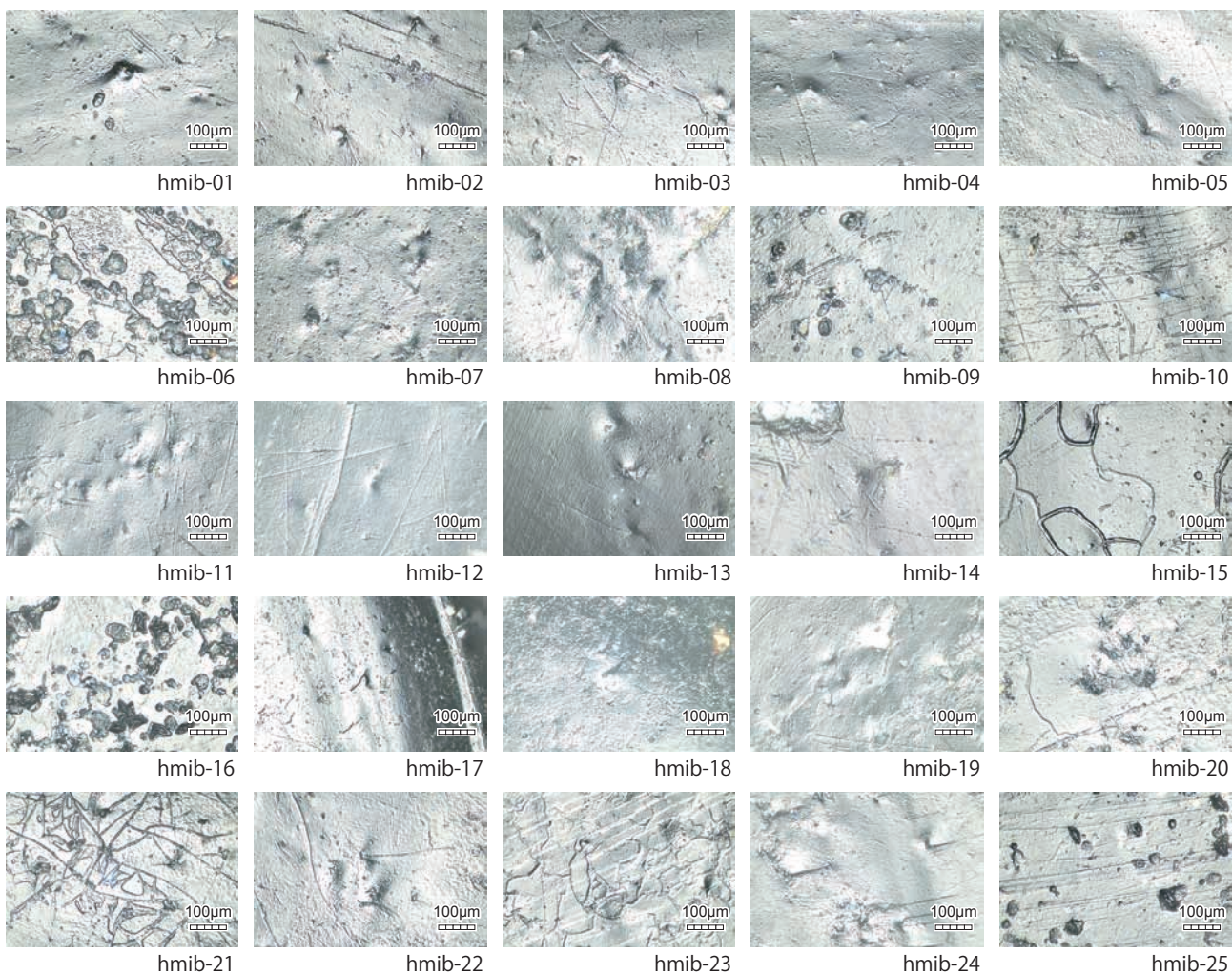
- 石川武男 2001「第V章 谷津原古墳群の調査」『富士川SA関連遺跡(遺構編)』静岡県埋蔵文化財調査研究所編、p.130-161。
- 池谷昌彦・佐野五十三 1980「第IV章2節 土器」『木島』富士川町教育委員会、pp.52-82。
- 稲垣甲子男 1975「第7章第1節 考察 縄文時代の文化」『駿河山王』富士川町教育委員会、pp.102-114。
- 井鍋誉之 2001「第III章3節 基本層序」『富士川SA関連遺跡(遺構編)』静岡県埋蔵文化財調査研究所編、p.11-13。
- 加藤明秀・芹沢長介 1936「静岡県に於ける細線紋指痕薄手土器と其伴出石器」『考古學』7-9、pp.416-428。
- 高倉 純・出穂雅実 2004「フラクチャー・ウィングによる剥離方法の同定研究」『第四紀研究』43-1、日本第四紀学会、pp.37-48。
- ツィルク・アレ 2020『石の目を読む』上峯篤史訳編著、京都大学学術出版会。
- 中沢祐一 2000「黒曜石石器群に認められる被熱痕跡の生成実験と量的評価」『第四紀研究』39-6、日本第四紀学会、pp.535-546。
- 成瀬陽介 2021「静岡県破魔射場遺跡出土の石銛類似資料」『東海石器研究』11、東海石器研究会、pp.175-178。
- 福島志野 2001「第II章第1節3石器」『富士川SA関連遺跡(遺物編)』静岡県埋蔵文化財調査研究所編、pp.143-200。
- 御堂島正 1991「石鏃と有舌尖頭器の衝撃剥離」『古代』92、pp.79-97。
- 諸星雅一 2001a「第I章 調査に至る経緯」『富士川SA関連遺跡(遺構編)』静岡県埋蔵文化財調査研究所編、p.1。
- 諸星雅一 2001b「第VI章 北久保遺跡の調査」『富士川SA関連遺跡(遺構編)』静岡県埋蔵文化財調査研究所編、pp.162-189。
- 山田しょう・志村宗昭 1989「石器の破壊力学(2)」『旧石器考古学』39、旧石器文化談話会、pp.15-30。



破魔射場遺跡の遠景写真（△の交点）



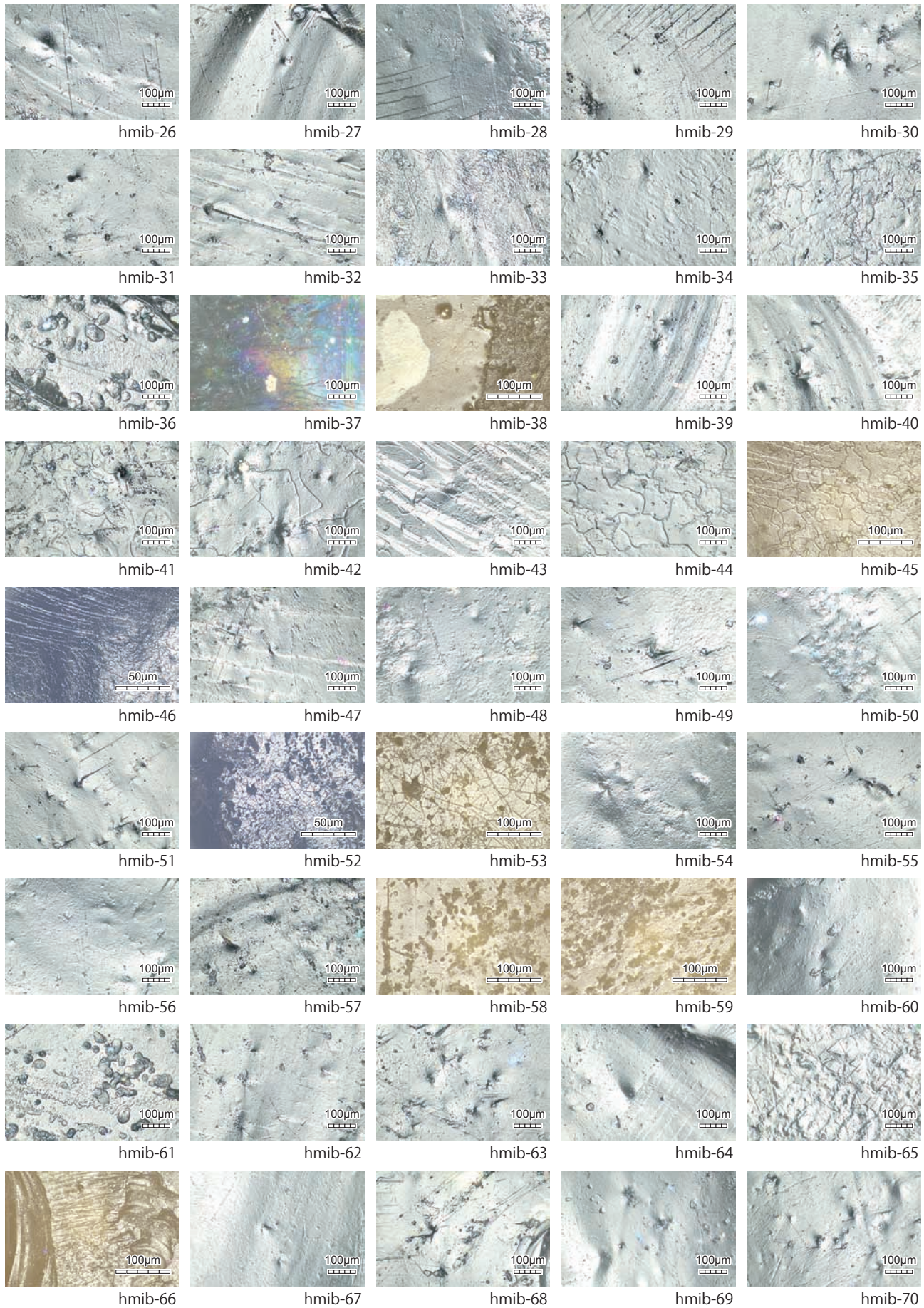
破魔射場遺跡出土の尖頭器（富士山かぐや姫ミュージアム所蔵、筆者撮影）



破魔射場遺跡出土尖頭器の観察箇所（hmib-01 から hmib-25、色調未調整）



## 図版 2



破魔射場遺跡出土尖頭器の観察箇所 (hmib-26 から hmib-70、色調未調整)

# 写真図版

---

PLATE





1. 中野沖田遺跡 第4地区 1次調査



1. 2Tr 土層堆積 (南から)



2. 5Tr 土層堆積 (南から)

3. 東平遺跡第156地区 1次調査



1. 1Tr 完掘 (南東から)



2. 1Tr 土層堆積 (南西から)

2. 滝下遺跡 Q地区 1次調査



1. 1Tr 完掘 (南東から)

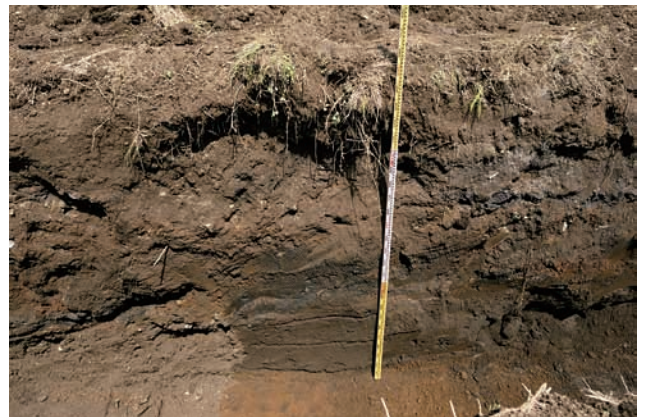


2. 1Tr 土層堆積 (南から)

4. 中原遺跡 第33地区 1次調査



1. 2Tr 完掘 (南西から)



2. 6Tr 土層堆積 (南西から)



## PL.2 第1章 令和5年度確認調査

### 5. 三新田遺跡 Q地区 1次調査



1. 1Tr 完掘 (東から)



2. 1Tr 土層堆積 (北西から)

### 7. 天間沢遺跡 第72地区 1次調査



1. 1Tr 完掘 (北西から)



2. 1Tr 土層堆積 (西から)

### 6. 舟久保遺跡 第77地区 1次調査



1. 1Tr 完掘 (南西から)



2. 1Tr 土層堆積 (西から)

### 8. 亀窪遺跡 第1地区 1次調査



1. 1Tr 完掘 (南東から)



2. 1Tr 土層堆積 (南から)



9. 善得寺廃寺跡 第9地区1次調査



1. 1Tr 完掘 (南東から)



2. 1Tr 土層堆積 (南から)

10. 川窪遺跡 第7地区2次調査・3次調査



1. 3Tr 完掘 (北東から)



3. 4Tr 完掘 (南東から)

12. 東平遺跡 第158地区1次調査



1. 1Tr 完掘 (北東から)



2. 1Tr 土層堆積 (北から)



2. 3Tr 土層堆積 (北東から)



4. 4Tr 土層堆積 (南から)



PL.4 第1章 令和5年度確認調査

11. 児森遺跡 第4地区 1次調査



1. 1Tr 完掘 (南西から)



2. 1Tr SK1001 土層堆積 (南から)



3. 2Tr SD1001・SX1001 検出、遺物出土状況 (南西から)



4. 2Tr SD1001 土層堆積 (南東から)

13. 富士岡1古墳群 第20地区 1次調査



1. 1Tr SZ1001 検出 (北から)



2. 1Tr SZ1001 検出 (北西から)



3. 1Tr 土層堆積 (北西から)



4. 1Tr 土層堆積 (北東から)



14. 比奈1古墳群 第12地区 1次調査・2次調査



1. 3Tr 完掘 (南東から)



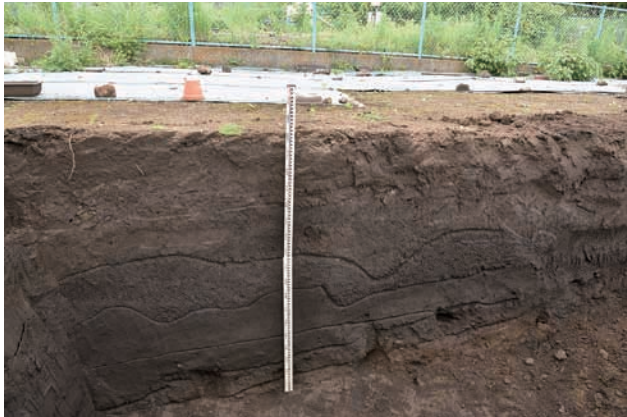
2. 3Tr 土層堆積 (南西から)



3. 4Tr 土層堆積 (南西から)



4. 9Tr 完掘 (西から)



5. 9Tr 土層堆積 (南西から)



6. 12Tr 完掘 (南東から)

15. 沖田遺跡 第170次調査地点 1次調査



1. 1Tr 重機掘削の様子 (北東から)



2. 1Tr 完掘 (南東から)



PL.6 第1章 令和5年度確認調査

16. 川坂遺跡 第14地区1次調査



1. 1Tr 完掘 (北西から)



2. 1Tr 土層堆積 (北から)

18. 国久保遺跡 第13地区1次調査



1. 1Tr 土層堆積 (北から)



出土遺物

17. 東平遺跡 第121地区2次調査



1. 1Tr 重機掘削の様子 (南東から)



2. 1Tr 土層堆積 (西から)

19. 国久保遺跡 第14地区1次調査



1. 1Tr 完掘 (北西から)



2. 1Tr 土層堆積 (北から)



20. 神谷古墳群 第13地区 1次調査・2次調査



1. 調査地遠景（南から）



2. 調査地全景（南直上から）



PL.8 第1章 令和5年度確認調査

20. 神谷古墳群 第13地区 1次調査・2次調査



1. SZJ-12 検出（北東から）



2. 3・4Tr SZJ12 奥壁周辺検出（南西から）



3. 6Tr SZJ12 側壁裏込め検出（南東から）



4. 8Tr 千人塚古墳周溝検出（南西から）



5. 8Tr 千人塚古墳周溝土層堆積（南東から）



6. 10Tr 完掘（南から）



20. 神谷古墳群 第13地区 1次調査・2次調査



出土遺物

21. 沢東A遺跡 第31次調査地点 1次調査



1. 1Tr 完掘 (南東から)



2. 2Tr 土層堆積 (南から)

22. 厚原横道下遺跡 第7地区 1次調査



1. 1Tr 完掘 (北西から)



2. 1Tr 土層堆積 (東から)



PL.10 第1章 令和5年度確認調査

23. 柏原遺跡 第22地区1次調査



1. 1Tr 土層堆積 (南から)



2. 2Tr 土層堆積 (南から)

25. 宇東川遺跡 第34地区1次調査



1. 1Tr 遺構検出 (南東から)



3. 4Tr SK1001 土層堆積 (北から)

24. 天間沢遺跡 第73地区1次調査



1. 1Tr 完掘 (北東から)



2. 1Tr 土層堆積 (南から)



2. 1Tr SB1001 土層堆積 (南から)



出土遺物



26. 外原遺跡 第1地区1次調査



1. 1Tr 完掘 (南東から)



2. 1Tr 土層堆積 (東から)

28. 東平遺跡 第159地区1次調査



1. 1Tr 完掘 (南西から)



2. 1Tr 土層堆積 (北から)

27. 富士岡1古墳群 第21地区1次調査



1. トレンチ完掘全景 (北東から)



2. 1Tr 土層堆積 (南西から)

29. 舟久保遺跡 第78地区1次調査



1. 1Tr 完掘 (南東から)



2. 1Tr 土層堆積 (南から)



PL.12 第1章 令和5年度確認調査

30. 善得寺城跡・東泉院跡 第10地区1次調査・2次調査



1. 1Tr 完掘（南西から）



2. 1Tr 土層堆積（南から）



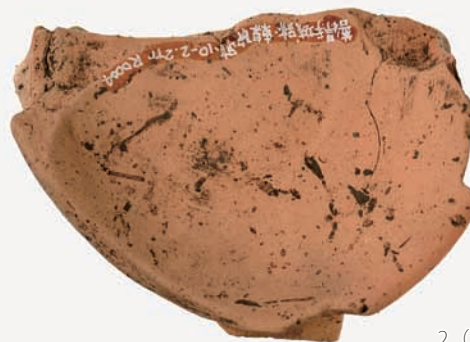
3. 2Tr 完掘（北東から）



4. 2Tr 遺物出土状況（北西から）



2



2（底面）



3（内面）



3（外面）

出土遺物



31. 沖田遺跡 第171次調査地点1次調査



1. 1Tr 完掘 (北西から)



2. 1Tr 土層堆積 (西から)

32. 国久保遺跡 第6地区2次調査



1. 2Tr 完掘 (南東から)

34. 花守遺跡 第10地区1次調査



1. 1Tr 土層堆積 (西から)



2. 3Tr 土層堆積 (南から)



2. 2Tr 土層堆積 (南から)



1 (底面)

出土遺物



PL.14 第1章 令和5年度確認調査

33. 中野遺跡 第2地区 1次調査



1. 1Tr 完掘 (北東から)



2. 2Tr 土層堆積 (南から)



3. 2Tr 遺物 (1) 出土状況 (北西から)



4. 2Tr FP1001・1002 検出 (南から)



出土遺物

36. 祢宜ノ前遺跡 第8地区 1次調査



1. 1Tr 完掘 (南西から)



2. 1Tr 土層堆積 (西から)



35. 東平遺跡 第160地区1次調査



1. 1Tr 遺構検出（南東から）



5. 3Tr 遺構検出（南東から）



2. 2Tr SB1001・Pit1011 検出（南東から）



3. 2Tr SB1001 検出（南東から）



4. 2Tr Pit1011 検出（南東から）



3

5

7

出土遺物



PL.16 第1章 令和5年度確認調査

37. 東平遺跡 第161地区1次調査



1. 1Tr 完掘 (北西から)



2. 1Tr 土層堆積 (西から)

38. 東下天間古墳群 第1地区1次調査



1. 2Tr 土層堆積 (北西から)



3. 11Tr 土層堆積 (南東から)

39. 天間沢遺跡 第74地区1次調査



1. 1Tr 完掘 (北東から)



2. 1Tr 土層堆積 (北から)



2. 9Tr 土層堆積 (北西から)



4. 12Tr 土層堆積 (南西から)



40. 天間沢遺跡 第75地区1次調査



1. 1Tr 完掘 (南西から)



2. 2Tr 土層堆積 (南から)

42. 富士岡1古墳群 第22地区1次調査

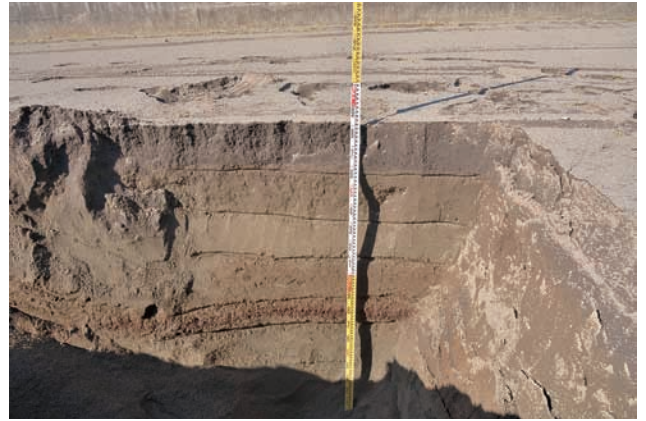


1. 1Tr 完掘 (南西から)

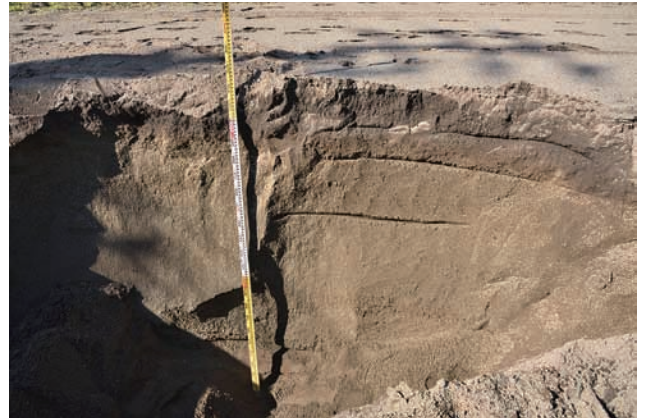


2. 2Tr 土層堆積 (東から)

41. 三新田遺跡 R地区1次調査



1. 1Tr 土層堆積 (東から)



2. 2Tr 土層堆積 (東から)

43. 厚原遺跡 第11地区1次調査



1. 1Tr 完掘 (北東から)



2. 1Tr 土層堆積 (東から)



PL.18 第1章 令和5年度確認調査

44. 東平遺跡 第143地区 2次調査



1. 2Tr 完掘 (北東から)



2. 2Tr 土層堆積 (南東から)

46. 東平遺跡 第162地区 1次調査



1. 1Tr 完掘 (北西から)



2. 1Tr 土層堆積 (北から)

45. 沢上遺跡 第7次調査地点 1次調査



1. 1Tr 完掘 (北西から)



2. 1Tr 土層堆積 (西から)

47. 中桁・中ノ坪遺跡 第24地区 1次調査



1. 1Tr 完掘 (北西から)



2. 1Tr 土層堆積 (西から)



48. 東平遺跡 第163地区1次調査



1. 1Tr 完掘 (北西から)



2. 2Tr 土層堆積 (南から)

50. 中島遺跡 第17地区1次調査



1. 1Tr 完掘 (北東から)



2. 1Tr 土層堆積 (東から)

49. 舟久保遺跡 第79地区1次調査



1. 1Tr 完掘 (北西から)



2. 1Tr 土層堆積 (北から)

51. 水神堂遺跡 第4地区1次調査



1. 1Tr 土層堆積 (東から)



2. 3Tr 完掘 (南西から)





1. 4次調査 上面遺構（南から）



2. 4次調査 下面遺構（南から）



天間沢遺跡 Q 地区



1. 1次調査 西側トレンチ



2. 1次調査 東側南北トレンチ



3. 1次調査 東側東西トレンチ



4. 3次調査 3～7Tr (西から)



5. 3次調査 1～3Tr (西から)



6. 3次調査 1Tr 遺構検出 (南から)



7. 3次調査 2Tr 遺構検出 (南から)



PL.22 第2章 天間沢遺跡

天間沢遺跡 Q地区



1. 3次調査 2Tr 南北セクション西壁 (東から)



2. 3次調査 2Tr 遺構全景 (南から)



3. 3次調査 2Tr SK1 (南東から)



4. 3次調査 2Tr SK1 セクション (南西から)



5. 3次調査 3Tr 遺構検出 (西から)



6. 3次調査 4Tr 遺構検出 (西から)



7. 3次調査 4Tr 集石 (南から)



8. 3次調査 7Tr SU1 土器検出状況 (東から)



天間沢遺跡 Q 地区



1. 3次調査 7Tr SK4 (東から)



2. 3次調査 7Tr SK5 (南西から)



3. 4次調査 上面遺構 (西部分、北から)



4. 4次調査 上面遺構 (北東部分、南西から)



5. 4次調査 Pit63 遺物出土状況 (北西から)



6. 4次調査 Pit63 下層遺物出土状況 (北西から)



7. 4次調査 Pit66 (南西から)



8. 4次調査 集石 (南から)







天間沢遺跡 Q 地区



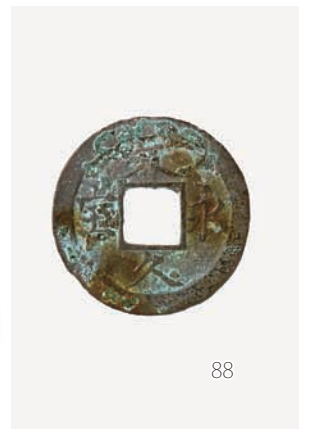
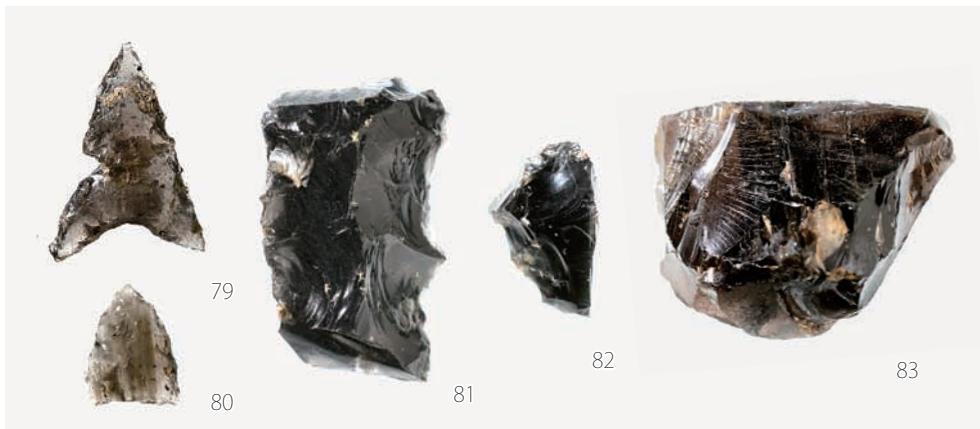
出土遺物







天間沢遺跡 Q 地区





PL.28 第2章 天間沢遺跡

天間沢遺跡 R 地区



1. 1Tr 人力掘削の様子



2. 1Tr 全景 (南から)



3. 1Tr 東西セクション北壁 (南東から)

天間沢遺跡 S 地区



1. 1Tr 全景 (西から)

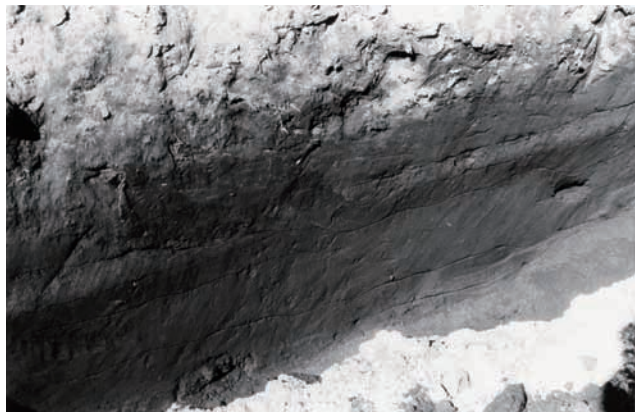
天間沢遺跡 V 地区



1. 調査地全景 (南東から)



2. 1Tr 全景 (南から)



3. 1Tr 南北セクション西壁 (東から)



2. 1Tr 東西セクション北壁 (南から)



天間沢遺跡 S地区





PL.30 第2章 天間沢遺跡

天間沢遺跡 T地区



1. 2Tr 全景（西から）



2. 2Tr 東西セクション北壁（南から）

天間沢遺跡 U地区



1. 1Tr・2Tr 全景（西から）



2. 4Tr 全景（南東から）



3. 4Tr 南北セクション西壁（東から）



4. 6Tr 東西セクション北壁（南東から）



5. 8Tr 全景（西から）



6. 調査の様子（4Tr、南から）



天間沢遺跡 横道下地区



1. b地区 全景（東から）



2. b地区 SK3 遺物出土状況（南から）



3. b地区 SK3 完掘（北から）



4. b地区 SK4 遺物出土状況（南西から）



5. b地区 SK4 完掘（北から）





1. b地区 配石遺構（東から）



2. b地区 配石遺構（北から）



3. b地区 石斧出土状況



4. b地区 土器出土状況



5. c地区 全景（北から）



6. c地区 トレンチ西側土層堆積状況（北から）



7. d地区 全景（北から）









天間沢遺跡 横道下地区



64 (SK4)

65 (上部) (SK4)

65 (下部) (SK4)

出土遺物





68 (SK4)



72 (SK4)



73 (SK4)

天間沢遺跡 横道下地区



出土遺物



PL.38 第2章 天間沢遺跡

天間沢遺跡 横道下地区



91



92



94



90



93



95



96

出土遺物



天間沢遺跡 横道下地区



PL.40 第2章 天間沢遺跡

天間沢遺跡 表面採集資料等



1 (表面)



1 (裏面)



2



7



8



3



4



5



6



9



10

報告書抄録

|        |   |
|--------|---|
| ふりがな   | ふじしないいせきはつくつちょうさほうこくしよ                        |
| 書 名    | 富士市内遺跡発掘調査報告書                                 |
| 副書名    | 令和 5 年度                                       |
| シリーズ名  | 富士市埋蔵文化財調査報告                                  |
| シリーズ番号 | 第 82 集  |
| 編著者名   | 佐藤祐樹（編著）・若林美希（著）・笹原芳郎（著）・村井咲月（著）              |
| 編集機関   | 富士市教育委員会（担当課：文化財課）                            |
| 所在地    | 〒 417-0061 静岡県富士市伝法 66 番地の 2 TEL 0545-30-7850 |
| 市町村コード | 22210   |
| 発行年月日  | 令和 7 年 3 月 28 日                               |

| 調査<br>番号 | 所収<br>番号             | 所収遺跡名                                      |      | 所在地  |    | 種別             | 遺構           |                 |
|----------|----------------------|--|------|--|----|----------------|--------------|-----------------|
|          |                      | 地区名  |      | 北緯   | 東経 | 主な時代           | 遺物           |                 |
|          |                      | 調査面積                                       | 調査原因 | 調査期間   |    | 市遺跡番号          | 特記事項         |                 |
| R05-01   | 第 1 章<br>第 2 節<br>1  | ナカノオキダ イセキ<br>中野沖田遺跡<br>第 4 地区 1 次調査       |      | ヒタマツノ<br>北松野 1883-1 外<br>35 11′ 12.88″       |    | 138 35′ 54.46″ | 散布地・集落跡・生産遺跡 | なし              |
|          |                      | 79.727 m <sup>2</sup>                      | 確認調査 | 20230405 ～ 20230406                          |    | 227            | 古墳           | 土器（古墳時代）        |
|          |                      |  |      |  |    |                |              |                 |
| R05-02   | 第 1 章<br>第 2 節<br>2  | タニシタ イセキ<br>滝下遺跡<br>Q 地区 1 次調査             |      | デンボロ<br>伝法 1944-1<br>35 10′ 29.77″           |    | 138 40′ 44.75″ | 集落跡          | なし              |
|          |                      | 16.782 m <sup>2</sup>                      | 確認調査 | 20230404                                     |    | 44             |              | なし              |
|          |                      |  |      |  |    |                |              |                 |
| R05-03   | 第 1 章<br>第 2 節<br>3  | ミツコ イサハ イジヤト<br>三日市廃寺跡<br>東平第 156 地区 1 次調査 |      | セウジヤンホンチョウ<br>浅間本町 3423-3 外<br>35 10′ 00.77″ |    | 138 40′ 42.71″ | 集落跡・社寺跡      | なし              |
|          |                      | 3.345 m <sup>2</sup>                       | 確認調査 | 20230417                                     |    | 43             |              | なし              |
|          |                      |  |      |  |    |                |              |                 |
| R05-04   | 第 1 章<br>第 2 節<br>4  | ナカハライ イセキ<br>中原遺跡<br>第 33 地区 1 次調査         |      | デンボロ<br>伝法 444-1 外<br>35 10′ 51.66″          |    | 138 40′ 15.47″ | 散布地          | なし              |
|          |                      | 243.868 m <sup>2</sup>                     | 確認調査 | 20230410 ～ 20230412                          |    | 19             |              | なし              |
|          |                      |  |      |  |    |                |              |                 |
| R05-05   | 第 1 章<br>第 2 節<br>5  | サンシンデン イセキ<br>三新田遺跡<br>Q 地区 1 次調査          |      | サンシンデン<br>三新田 4-11<br>35 08′ 21.94″          |    | 138 43′ 44.11″ | 集落跡          | なし              |
|          |                      | 7.392 m <sup>2</sup>                       | 確認調査 | 20230406                                     |    | 96             |              | なし              |
|          |                      |  |      |  |    |                |              |                 |
| R05-07   | 第 1 章<br>第 2 節<br>6  | フナダ 田 イセキ<br>舟久保遺跡<br>第 77 地区 1 次調査        |      | イヘイダミロクサウイ<br>今泉六丁目 662-19<br>35 10′ 07.18″  |    | 138 41′ 32.84″ | 集落跡          | なし              |
|          |                      | 2.128 m <sup>2</sup>                       | 確認調査 | 20230412                                     |    | 46             |              | なし              |
|          |                      |  |      |  |    |                |              |                 |
| R05-08   | 第 1 章<br>第 2 節<br>7  | テンノボロ イセキ<br>天間沢遺跡<br>第 72 地区 1 次調査        |      | テンマ<br>天間 1327-14<br>35 12′ 12.31″           |    | 138 38′ 29.13″ | 集落跡          | なし              |
|          |                      | 4.971 m <sup>2</sup>                       | 確認調査 | 20230419                                     |    | 7              | 平安           | 土器（平安時代）        |
|          |                      |  |      |  |    |                |              |                 |
| R05-09   | 第 1 章<br>第 2 節<br>8  | カメゾウ イセキ<br>亀窪遺跡<br>隣接地【第 1 地区 1 次調査】      |      | カメゾウ 田<br>鶴無ヶ淵 43 外<br>35 11′ 20.43″         |    | 138 43′ 21.72″ | 散布地          | なし              |
|          |                      | 23.396 m <sup>2</sup>                      | 試掘調査 | 20230414                                     |    | 29             |              | なし              |
|          |                      |  |      |  |    |                |              |                 |
| R05-10   | 第 1 章<br>第 2 節<br>9  | センリツジヤン イセキ<br>善得寺廃寺跡<br>第 9 地区 1 次調査      |      | イヘイダミロクサウイ<br>今泉三丁目 1067-1<br>35 10′ 02.29″  |    | 138 41′ 49.03″ | 社寺跡          | なし              |
|          |                      | 3.636 m <sup>2</sup>                       | 確認調査 | 20230509                                     |    | 126            |              | なし              |
|          |                      |  |      |  |    |                |              |                 |
| R05-12   | 第 1 章<br>第 2 節<br>10 | カワサタ イセキ<br>川窪遺跡<br>第 7 地区 2 次調査           |      | アヲハラ<br>厚原 185-1<br>35 10′ 50.09″            |    | 138 39′ 05.74″ | 集落跡・その他の墓    | なし              |
|          |                      | 6.821 m <sup>2</sup>                       | 確認調査 | 20230426                                     |    | 127            |              | なし              |
|          |                      |  |      |  |    |                |              |                 |
| R05-13   | 第 1 章<br>第 2 節<br>11 | コホリ イセキ<br>児森遺跡<br>第 4 地区 1 次調査            |      | ナカダ<br>中里 1379-2<br>35 09′ 59.25″            |    | 138 44′ 04.38″ | 集落跡          | 溝・土坑・ピット        |
|          |                      | 22.930 m <sup>2</sup>                      | 確認調査 | 20230427                                     |    | 108            | 古墳           | 土器（古墳時代）        |
|          |                      |  |      |  |    |                |              |                 |
| R05-14   | 第 1 章<br>第 2 節<br>12 | ヒロシタ イセキ<br>東平遺跡<br>東平第 158 地区 1 次調査       |      | デンボロ<br>伝法 2795-4 外<br>35 10′ 16.54″         |    | 138 40′ 15.91″ | 集落跡          | なし              |
|          |                      | 7.048 m <sup>2</sup>                       | 確認調査 | 20230628                                     |    | 42             |              | なし              |
|          |                      |  |      |  |    |                |              |                 |
| R05-15   | 第 1 章<br>第 2 節<br>13 | フジサカ コファン<br>富士岡 1 古墳群<br>第 20 地区 1 次調査    |      | ヒナ<br>比奈 2819-1<br>35 10′ 20.38″             |    | 138 43′ 32.50″ | 古墳           | 古墳（横穴式石室墳）      |
|          |                      | 6.165 m <sup>2</sup>                       | 確認調査 | 20230525 ～ 20230526                          |    | 192            | 古墳           | なし              |
|          |                      |  |      |  |    |                |              | 富士岡 F- 第 66 号墳か |
| R05-16   | 第 1 章<br>第 2 節<br>14 | ヒナ コファン<br>比奈 1 古墳群<br>第 12 地区 1 次調査       |      | ヒナ<br>比奈 2359-1 外<br>35 10′ 27.05″           |    | 138 43′ 18.06″ | 古墳           | なし              |
|          |                      | 156.969 m <sup>2</sup>                     | 確認調査 | 20230605 ～ 20230607                          |    | 178            |              | なし              |
|          |                      |  |      |  |    |                |              |                 |
| R05-17   | 第 1 章<br>第 2 節<br>15 | オホ イセキ<br>沖田遺跡<br>第 170 次調査地点 1 次調査        |      | イヘイダミロクサウイ<br>今泉二丁目 124-5 外<br>35 09′ 57.02″ |    | 138 41′ 36.77″ | その他の遺跡・その他の墓 | なし              |
|          |                      | 9.279 m <sup>2</sup>                       | 確認調査 | 20230608                                     |    | 53             |              | なし              |
|          |                      |  |      |  |    |                |              |                 |



| 調査<br>番号 | 所収<br>番号         | 所収遺跡名  |      | 所在地  |    | 種別           | 遺構                      |
|----------|------------------|--|------|--|----|--------------|-------------------------|
|          |                  | 地区名  |      | 北緯   | 東経 | 主な時代         | 遺物                      |
|          |                  | 調査面積   | 調査原因 | 調査期間   |    | 市遺跡番号        | 特記事項                    |
| R05-18   | 第1章<br>第2節<br>16 | カワサキ イ セキ<br>川坂遺跡<br>第14地区1次調査                 |      | 天間 845-6 外<br>35 12′ 30.37″ 138 38′ 09.39″                       |    | 散布地          | なし                      |
|          |                  | 17.983 m <sup>2</sup>                          | 確認調査 | 20230621   |    | 5            | なし                      |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-19   | 第1章<br>第2節<br>17 | ヒロシゲ イ セキ<br>東平遺跡<br>東平第121地区2次調査              |      | 伝法 2502-1 外<br>35 10′ 27.93″ 138 40′ 18.66″                      |    | 集落跡          | なし                      |
|          |                  | 9.233 m <sup>2</sup>                           | 確認調査 | 20230613   |    | 42           |                         |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-21   | 第1章<br>第2節<br>18 | クニタニ イ セキ<br>国久保遺跡<br>第13地区1次調査                |      | 国久保三丁目 2245-23 外<br>35 10′ 19.51″ 138 40′ 49.04″                 |    | 集落跡          | なし                      |
|          |                  | 5.982 m <sup>2</sup>                           | 確認調査 | 20230614 ～ 20230615  |    | 45           | 土器（奈良時代・平安時代）           |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-22   | 第1章<br>第2節<br>19 | クニタニ イ セキ<br>国久保遺跡<br>第14地区1次調査                |      | 国久保三丁目 2003-6 外<br>35 10′ 23.82″ 138 40′ 54.86″                  |    | 集落跡          | なし                      |
|          |                  | 5.247 m <sup>2</sup>                           | 確認調査 | 20230724   |    | 45           |                         |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-23   | 第1章<br>第2節<br>20 | カミタニ コ フナヅメ<br>神谷古墳群<br>第13地区1次調査              |      | 神谷 846-4 外<br>35 10′ 19.79″ 138 44′ 38.15″                       |    | 古墳           | 古墳（横穴式石室墳）              |
|          |                  | 33.563 m <sup>2</sup>                          | 確認調査 | 20230628 ～ 20230719  |    | 200          | 須恵器（古墳時代）               |
|          |                  |  |      |  |    |              | 千人塚古墳・須津J-第12号墳         |
| R05-24   | 第1章<br>第2節<br>14 | ヒナ コ フナヅメ<br>比奈1古墳群<br>第12地区2次調査               |      | 比奈 2359-1 外<br>35 10′ 27.05″ 138 43′ 18.06″                      |    | 古墳           | なし                      |
|          |                  | 58.430 m <sup>2</sup>                          | 確認調査 | 20230712 ～ 20230718  |    | 178          |                         |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-26   | 第1章<br>第2節<br>21 | ミザワ<br>沢東A遺跡<br>第31次調査地点1次調査                   |      | 久沢 180-2<br>35 11′ 02.05″ 138 38′ 55.45″                         |    | 集落跡          | なし                      |
|          |                  | 14.555 m <sup>2</sup>                          | 確認調査 | 20230817   |    | 33           | なし                      |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-27   | 第1章<br>第2節<br>22 | アヲハラ<br>厚原横道下遺跡<br>第7地区1次調査                    |      | アヲハラ<br>厚原 1200-4 外<br>35 11′ 17.18″ 138 39′ 43.78″              |    | 散布地          | なし                      |
|          |                  | 4.721 m <sup>2</sup>                           | 確認調査 | 20230728   |    | 15           | なし                      |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-28   | 第1章<br>第2節<br>23 | ナカカンワバラシラシゲン<br>柏原遺跡<br>第22地区1次調査              |      | ナカカンワバラシラシゲン<br>中柏原新田 187-1 外<br>35 08′ 06.42″ 138 44′ 49.64″    |    | 集落跡          | なし                      |
|          |                  | 13.340 m <sup>2</sup>                          | 確認調査 | 20230817 ～ 20230818  |    | 97           | 土器（古墳時代）                |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-29   | 第1章<br>第2節<br>24 | テンマザワ イ セキ<br>天間沢遺跡<br>第73地区1次調査               |      | テンマ<br>天間 1022-1<br>35 12′ 36.28″ 138 38′ 37.43″                 |    | 集落跡          | なし                      |
|          |                  | 14.221 m <sup>2</sup>                          | 確認調査 | 20230828   |    | 7            | なし                      |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-30   | 第1章<br>第2節<br>25 | ハラダ<br>宇東川遺跡<br>第34地区1次調査                      |      | 原田 691-4 外<br>35 10′ 13.77″ 138 42′ 08.86″                       |    | 集落跡          | 堅穴建物、土坑                 |
|          |                  | 50.484 m <sup>2</sup>                          | 確認調査 | 20230824 ～ 20230825  |    | 50           | 土器（縄文時代・古墳時代・奈良時代・平安時代） |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-31   | 第1章<br>第2節<br>26 | キタマツ<br>外原遺跡<br>第1地区1次調査                       |      | 北松野 616-1 外<br>35 11′ 34.43″ 138 35′ 13.85″                      |    | 散布地          | なし                      |
|          |                  | 1.200 m <sup>2</sup>                           | 確認調査 | 20230824   |    | 220          | なし                      |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-32   | 第1章<br>第2節<br>27 | フジサカ コ フナヅメ<br>富士岡1古墳群<br>第21地区1次調査            |      | ヒナ<br>比奈 1704-1<br>35 10′ 17.26″ 138 43′ 34.31″                  |    | 古墳           | なし                      |
|          |                  | 23.903 m <sup>2</sup>                          | 確認調査 | 20230830 ～ 20230831  |    | 192          | なし                      |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-33   | 第1章<br>第2節<br>28 | ヒロシゲ イ セキ<br>東平遺跡<br>東平第159地区1次調査              |      | ゲンボウ<br>伝法 2505-1<br>35 10′ 26.60″ 138 40′ 19.17″                |    | 集落跡          | なし                      |
|          |                  | 10.449 m <sup>2</sup>                          | 確認調査 | 20230904   |    | 42           | なし                      |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-34   | 第1章<br>第2節<br>29 | フナタニ イ セキ<br>舟久保遺跡<br>第78地区1次調査                |      | イマイズミキョウヂョウメ<br>今泉九丁目 1510-2<br>35 10′ 10.34″ 138 41′ 05.89″     |    | 集落跡          | なし                      |
|          |                  | 9.456 m <sup>2</sup>                           | 確認調査 | 20230829   |    | 46           | なし                      |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-35   | 第1章<br>第2節<br>30 | ゼンツクジョウワツ トウセンインヤマト<br>善得寺城跡・東泉院跡<br>第10地区1次調査 |      | イマイズミハシジョウメ<br>今泉八丁目 1370-6 外<br>35 09′ 54.67″ 138 41′ 19.10″    |    | 集落跡・城館跡・社寺跡  | なし                      |
|          |                  | 4.438 m <sup>2</sup>                           | 確認調査 | 20230911   |    | 102          | 土器（奈良時代・平安時代）           |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-36   | 第1章<br>第2節<br>31 | サキタ イ セキ<br>沖田遺跡<br>第171次調査地点1次調査              |      | イマイズミ<br>今泉 495-3 外<br>35 09′ 41.39″ 138 42′ 07.59″              |    | その他の遺跡・その他の墓 | なし                      |
|          |                  | 5.490 m <sup>2</sup>                           | 確認調査 | 20231113   |    | 53           | なし                      |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-37   | 第1章<br>第2節<br>32 | クニタニ イ セキ<br>国久保遺跡<br>第6地区2次調査                 |      | クニタニ イ シンヂョウメ<br>国久保一丁目 2120-6 外<br>35 10′ 12.22″ 138 41′ 01.63″ |    | 集落跡          | 堅穴建物                    |
|          |                  | 17.958 m <sup>2</sup>                          | 確認調査 | 20230914   |    | 45           | 土器（奈良時代・平安時代）           |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-38   | 第1章<br>第2節<br>33 | ナカノ<br>中野遺跡<br>隣接地【第2地区1次調査】                   |      | ミナトマツ<br>南松野 2465-1<br>35 11′ 08.29″ 138 36′ 08.17″              |    | 集落跡・その他の墓    | 炉                       |
|          |                  | 56.347 m <sup>2</sup>                          | 試掘調査 | 20231101   |    | 228          | 土器（弥生時代）                |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-39   | 第1章<br>第2節<br>34 | フナタニ イ セキ<br>花守遺跡<br>第10地区1次調査                 |      | 富士岡 225-1 外<br>35 09′ 39.51″ 138 43′ 34.05″                      |    | 散布地          | なし                      |
|          |                  | 18.036 m <sup>2</sup>                          | 確認調査 | 20231010   |    | 66           |                         |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-40   | 第1章<br>第2節<br>35 | ヒロシゲ イ セキ<br>東平遺跡<br>東平第160地区1次調査              |      | 伝法 2452-1 外<br>35 10′ 18.28″ 138 40′ 26.63″                      |    | 集落跡          | 堅穴建物・土坑・ビット             |
|          |                  | 84.650 m <sup>2</sup>                          | 確認調査 | 20231010 ～ 20231011  |    | 42           | 土器・陶磁器・金属製品（奈良時代・平安時代）  |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |
| R05-41   | 第1章<br>第2節<br>36 | ヒナ ノ フナヅメ<br>比奈ノ前遺跡<br>第8地区1次調査                |      | 比奈 1619<br>35 09′ 55.16″ 138 43′ 34.61″                          |    | 集落跡          | なし                      |
|          |                  | 3.203 m <sup>2</sup>                           | 確認調査 | 20231005   |    | 57           |                         |
|          |                  |  |      |  |    |              |                         |

| 調査<br>番号 | 所収<br>番号         | 所収遺跡名                   |        | 所在地   |    | 種別          | 遺構            |
|----------|------------------|-------------------------|--------|---|----|-------------|---------------|
|          |                  | 地区名                     |        | 北緯  | 東経 | 主な時代        | 遺物            |
|          |                  | 調査面積                    | 調査原因   | 調査期間  |    | 市遺跡番号       | 特記事項          |
| R05-42   | 第1章<br>第2節<br>37 | 東平遺跡<br>東平第161地区1次調査    |        | 伝法 2542-3<br>35 10' 21.67" 138 40' 16.91"       |    | 集落跡         | なし            |
|          |                  | 15.046 m <sup>2</sup>   | 確認調査   | 20231106  |    | 42          | なし            |
|          |                  |                         |        |   |    |             |               |
| R05-43   | 第1章<br>第2節<br>38 | 東下天間古墳群<br>第1地区1次調査     |        | 天間 1408-4 外<br>35 12' 04.54" 138 38' 37.77"     |    | 古墳          | なし            |
|          |                  | 74.149 m <sup>2</sup>   | 確認調査   | 20231107 ～ 20231108                             |    | 縄文          | 土器（縄文時代）      |
|          |                  |                         |        |   |    | 136         |               |
| R05-44   | 第1章<br>第2節<br>30 | 善得寺城跡・東泉院跡<br>第10地区2次調査 |        | 今泉八丁目 1370-6 外<br>35 09' 54.67" 138 41' 19.10"  |    | 集落跡・城館跡・社寺跡 | なし            |
|          |                  | 7.525 m <sup>2</sup>    | 確認調査   | 20231023 ～ 20231025                             |    | 平安～中世       | 土器（平安時代～中世）   |
|          |                  |                         |        |   |    | 102         |               |
| R05-46   | 第1章<br>第2節<br>39 | 天間沢遺跡<br>第74地区1次調査      |        | 天間 1942-5<br>35 12' 54.47" 138 38' 48.26"       |    | 集落跡         | なし            |
|          |                  | 5.893 m <sup>2</sup>    | 確認調査   | 20231102  |    |             | なし            |
|          |                  |                         |        |   |    | 7           |               |
| R05-47   | 第1章<br>第2節<br>10 | 川窪遺跡<br>第7地区3次調査        |        | 厚原 185-1<br>35 10' 50.09" 138 39' 05.74"        |    | 集落跡・その他の墓   | 溝・ビット         |
|          |                  | 10.567 m <sup>2</sup>   | 確認調査   | 20231121  |    | 古墳          | 土師器（古墳時代）     |
|          |                  |                         |        |   |    | 127         |               |
| R05-48   | 第1章<br>第2節<br>40 | 天間沢遺跡<br>第75地区1次調査      |        | 天間 1296-6<br>35 12' 15.15" 138 38' 36.33"       |    | 集落跡         | なし            |
|          |                  | 28.269 m <sup>2</sup>   | 確認調査   | 20231129 ～ 20231130                             |    |             | なし            |
|          |                  |                         |        |   |    | 7           |               |
| R05-49   | 第1章<br>第2節<br>41 | 三新田遺跡<br>R地区1次調査        |        | 田中新田 275-15 外<br>35 08' 16.43" 138 43' 38.56"   |    | 集落跡         | なし            |
|          |                  | 17.691 m <sup>2</sup>   | 確認調査   | 20231120  |    |             | なし            |
|          |                  |                         |        |   |    | 96          |               |
| R05-50   | 第1章<br>第2節<br>20 | 神谷古墳群<br>第13地区2次調査      |        | 神谷 846-4 外<br>35 10' 19.79" 138 44' 38.15"      |    | 古墳          | なし            |
|          |                  | 5.512 m <sup>2</sup>    | 確認調査   | 20231121 ～ 20231122                             |    | 古墳          | 須恵器（古墳時代）     |
|          |                  |                         |        |   |    | 200         |               |
| R05-51   | 第1章<br>第2節<br>42 | 富士岡1古墳群<br>第22地区1次調査    |        | 富士岡 1610-1<br>35 10' 20.84" 138 43' 42.23"      |    | 古墳          | なし            |
|          |                  | 10.337 m <sup>2</sup>   | 確認調査   | 20231225  |    |             | なし            |
|          |                  |                         |        |   |    | 192         |               |
| R05-52   | 第1章<br>第2節<br>43 | 厚原遺跡<br>第11地区1次調査       |        | 厚原 741-1、-7<br>35 11' 15.06" 138 39' 24.76"     |    | 散布地         | なし            |
|          |                  | 16.134 m <sup>2</sup>   | 確認調査   | 20240111  |    |             | なし            |
|          |                  |                         |        |   |    | 12          |               |
| R05-53   | 第1章<br>第2節<br>44 | 東平遺跡<br>東平第143地区2次調査    |        | 伝法 3091-1<br>35 10' 04.50" 138 40' 18.18"       |    | 集落跡         | なし            |
|          |                  | 10.644 m <sup>2</sup>   | 確認調査   | 20240111  |    |             | なし            |
|          |                  |                         |        |   |    | 42          |               |
| R05-54   | 第1章<br>第2節<br>45 | 沢上遺跡<br>第7次調査地点1次調査     |        | 中ノ郷 4056-13<br>35 08' 50.46" 138 36' 57.66"     |    | 散布地・その他の墓   | なし            |
|          |                  | 4.203 m <sup>2</sup>    | 確認調査   | 20240214  |    |             | なし            |
|          |                  |                         |        |   |    | 249         |               |
| R05-55   | 第1章<br>第2節<br>46 | 東平遺跡<br>東平第162地区1次調査    |        | 伝法 2502-5 外<br>35 10' 27.83" 138 40' 19.29"     |    | 集落跡         | ビット           |
|          |                  | 4.935 m <sup>2</sup>    | 確認調査   | 20240118  |    | 奈良・平安       | 土器（奈良時代・平安時代） |
|          |                  |                         |        |   |    | 42          |               |
| R05-56   | 第1章<br>第2節<br>47 | 中桁・中ノ坪遺跡<br>第24地区1次調査   |        | 厚原 429-9<br>35 10' 33.67" 138 39' 36.42"        |    | 集落跡         | なし            |
|          |                  | 5.469 m <sup>2</sup>    | 確認調査   | 20240313  |    | 奈良・平安       | 土器（奈良時代・平安時代） |
|          |                  |                         |        |   |    | 128         |               |
| R05-57   | 第1章<br>第2節<br>48 | 東平遺跡<br>東平第163地区1次調査    |        | 伝法 2736-1 外<br>35 10' 17.53" 138 40' 05.12"     |    | 集落跡         | ビット・溝         |
|          |                  | 18.023 m <sup>2</sup>   | 確認調査   | 20240304 ～ 20240306                             |    | 奈良・平安       | 土器（奈良時代・平安時代） |
|          |                  |                         |        |   |    | 42          |               |
| R05-58   | 第1章<br>第2節<br>49 | 舟久保遺跡<br>第79地区1次調査      |        | 今泉六丁目 1598-12 外<br>35 10' 09.27" 138 41' 22.41" |    | 集落跡         | なし            |
|          |                  | 6.255 m <sup>2</sup>    | 確認調査   | 20240227  |    |             | なし            |
|          |                  |                         |        |   |    | 46          |               |
| R05-59   | 第1章<br>第2節<br>50 | 中島遺跡<br>第17地区1次調査       |        | 原田 774-4<br>35 10' 21.30" 138 42' 12.55"        |    | 集落跡         | なし            |
|          |                  | 4.365 m <sup>2</sup>    | 確認調査   | 20240313 ～ 20240315                             |    |             | なし            |
|          |                  |                         |        |   |    | 49          |               |
| R05-60   | 第1章<br>第2節<br>51 | 水神堂遺跡<br>第4地区1次調査       |        | 原田 810<br>35 10' 28.65" 138 42' 02.37"          |    | 散布地         | なし            |
|          |                  | 16.250 m <sup>2</sup>   | 確認調査   | 20240313  |    | 奈良・平安       | 土器（奈良時代・平安時代） |
|          |                  |                         |        |   |    | 105         |               |
| S58      | 第2章<br>第2節       | 天間沢遺跡<br>Q地区（第17地区）1次調査 |        | 天間 1106-1<br>35 12' 21.33" 138 38' 30.72"       |    | 集落跡         | なし            |
|          |                  | 125 m <sup>2</sup>      | 確認調査   | 19830418 ～ 19830419                             |    |             | なし            |
|          |                  |                         |        |   |    | 7           |               |
| H03      | 第2章<br>第2節       | 天間沢遺跡<br>Q地区（第17地区）2次調査 |        | 天間 1115-1 外<br>35 12' 20.09" 138 38' 31.16"     |    | 集落跡         | なし            |
|          |                  | m <sup>2</sup>          | 工事立会い  | 19911219  |    |             | なし            |
|          |                  |                         |        |   |    | 7           |               |
| H14      | 第2章<br>第2節       | 天間沢遺跡<br>Q地区（第17地区）3次調査 |        | 天間 1117-1 外<br>35 12' 20.90" 138 38' 32.07"     |    | 集落跡         | 埋甕土坑・ビット・土坑   |
|          |                  | 365 m <sup>2</sup>      | 確認調査   | 20020508 ～ 20020520                             |    | 縄文          | 縄文土器・石器       |
|          |                  |                         |        |   |    | 7           |               |
| H14      | 第2章<br>第2節       | 天間沢遺跡<br>Q地区（第17地区）4次調査 |        | 天間 1117-1 外<br>35 12' 21.49" 138 38' 32.54"     |    | 集落跡         | ビット           |
|          |                  | 683 m <sup>2</sup>      | 記録保存調査 | 2020527 ～ 20020701                              |    | 縄文          | 縄文土器・石器       |
|          |                  |                         |        |   |    | 7           |               |

| 調査<br>番号 | 所収<br>番号   | 所収遺跡名                     |      | 所在地                 |    | 種別    | 遺構         |
|----------|------------|---------------------------|------|---------------------|----|-------|------------|
|          |            | 地区名                       |      | 北緯                  | 東経 | 主な時代  | 遺物         |
|          |            | 調査面積                      | 調査原因 | 調査期間                |    | 市遺跡番号 | 特記事項       |
| H03      | 第2章<br>第3節 | 天間沢遺跡<br>R地区（第18地区）1次調査   |      | 天間 1943-1           |    | 集落跡   | なし         |
|          |            | 35 12' 52.04"             |      | 138 38' 47.19"      |    |       | なし         |
|          |            | 22 m <sup>2</sup>         | 確認調査 | 19920316 ～ 19920319 |    | 7     |            |
| H04      | 第2章<br>第4節 | 天間沢遺跡<br>S地区（第19地区）1次調査   |      | 天間 1001-4           |    | 集落跡   | なし         |
|          |            | 35 12' 31.93"             |      | 138 38' 41.50"      |    |       | なし         |
|          |            | 65 m <sup>2</sup>         | 確認調査 | 19920708 ～ 19920710 |    | 7     |            |
| H04      | 第2章<br>第5節 | 天間沢遺跡<br>T地区（第20地区）1次調査   |      | 天間 1127-1 外         |    | 集落跡   | なし         |
|          |            | 35 12' 22.20"             |      | 138 38' 37.13"      |    |       | なし         |
|          |            | 312 m <sup>2</sup>        | 確認調査 | 19911013 ～ 19921026 |    | 7     |            |
| H04      | 第2章<br>第6節 | 天間沢遺跡<br>U地区（第21地区）1次調査   |      | 天間 591-1            |    | 集落跡   | なし         |
|          |            | 35 12' 24.35"             |      | 138 38' 25.11"      |    |       | なし         |
|          |            | 194 m <sup>2</sup>        | 確認調査 | 19921020 ～ 19921027 |    | 7     |            |
| H04      | 第2章<br>第3節 | 天間沢遺跡<br>V地区（第22地区）1次調査   |      | 天間 1785-21          |    | 集落跡   | なし         |
|          |            | 35 12' 46.61"             |      | 138 38' 53.86"      |    |       | なし         |
|          |            | 40 m <sup>2</sup>         | 確認調査 | 19930225            |    | 7     |            |
| S62      | 第2章<br>第7節 | 天間沢遺跡<br>横道下地区（第23地区）2次調査 |      | 天間 1001-4           |    | 集落跡   | 配石遺構・炉穴・土坑 |
|          |            | 35 12' 36.60"             |      | 138 38' 41.74"      |    | 縄文    | 縄文土器・石器    |
|          |            | 400 m <sup>2</sup>        | 確認調査 | 19870907 ～ 19870921 |    | 7     |            |

富士市埋蔵文化財調査報告 第82集

# 富士市内遺跡発掘調査報告書

— 令和5年度 —

発行年月日 令和7年3月28日

編集・発行 富士市教育委員会  
〒417-0061 静岡県富士市伝法66番地の2  
TEL 0545-30-7850 FAX 0545-30-6210  
E-mail:ky-bunkazai@div.city.fuji.shizuoka.jp

印刷・製本 株式会社文光堂  
〒417-0041 静岡県富士市御幸町3-18

（富士市行政資料登録番号 R6-53）